

小諸市教育委員会小諸市立小諸高等学校創立50周年記念事業

石神地誌

石 神

—— 小諸市立小諸高等学校地誌調査報告書 ——

1994. 5

小諸市教育委員会

小諸市埋蔵文化財発掘調査報告書第19集

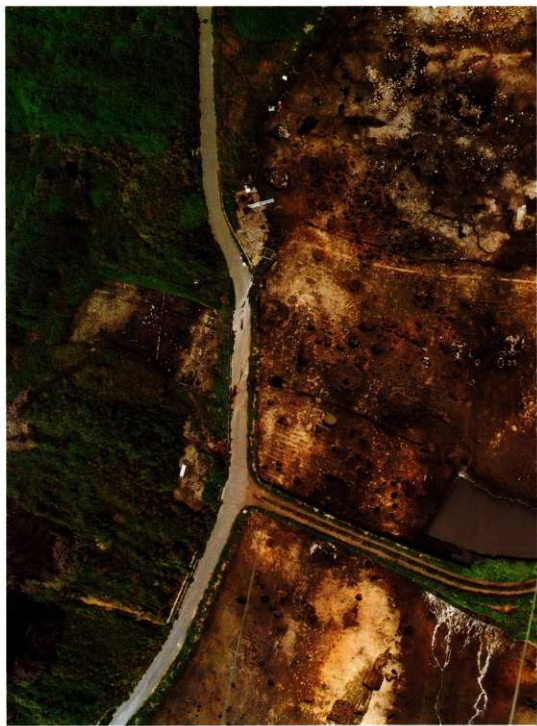
石神遺跡群

石 神

—長野県小諸市石神遺跡発掘調査報告書—

1994. 3

小諸市教育委員会



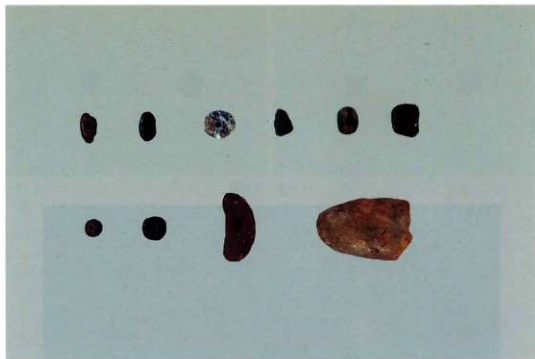
第III・V・VII区



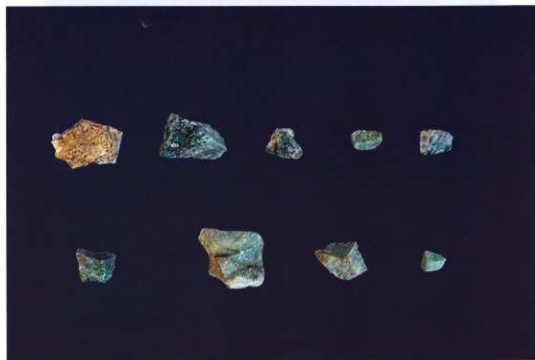
第 V 区



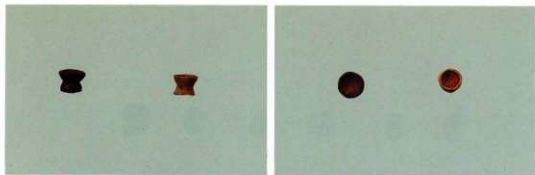
第 XIII・XIV・XVII 区



玉類 (上段左からJ15号住居址・1159・1157・V-G3G・1162・1163
下段左から1161・1160・1158・測-G10G)



ヒスイ原石 (上段左からV-J4G・V-C5G・III-J4G・1173・SK169 下段左から1172・J18号住居址・1171・1170)



ミニチュア土器



骨角器



土偶・耳飾に見られる縄文人の顔



美齊津一夫氏採集資料（小諸市立郷土博物館蔵）



序 文

小諸市教育委員会
教育長 矢 嶋 正 一

この調査は、小諸市石神遺跡群の発掘で、県営圃場整備事業のために行なわれたものです。その場所は、小諸市の北東部、浅間山麓の南に傾斜する標高800m前後の地点で、八満、乗瀬地区の中間に位置します。中心部には現在も湧水があり、なだらかな傾斜地ゆえに排水がよく、一帯は高原野菜の産地となっています。

発掘は、平成2年11月から12月にわたって試掘が行なわれ、それに基づき平成3年4月より12月に調査が実施されました。調査面積は20,000㎡に及びました。

調査の結果は、45棟の縄文時代住居址をはじめ、土坑墓、石棺墓、配石遺構などであり、墓坑は、土坑、土坑の壁に数点石を配したもの、石棺の三種に大別されます。出土遺物には縄文人骨をはじめとする動物遺存体があり、内陸部においては珍しいものです。その他土器・石器のほか、土偶、耳飾、ヘアピン（骨角器）があり、中でも翡翠製垂飾や鹹水産の貝殻等からは、当時の交流が、私たちの予想をはるかに越え、広域にわたるものであったことがうかがえます。

遺跡に立ってみれば、縄文時代、われわれの先祖がこの泉を中心にどのような生活をしていただろうかと、様々に思い廻らされます。本書が、浅間山麓における縄文時代研究に少しでも寄与するものとなれば幸いです。

本調査をすすめるに当たり、県文化課の見玉卓文指導主事、信州大学西沢寿晃先生、早稲田大学金子浩昌先生のご指導を頂けたことは誠にありがたいことであります。また、直接発掘にあたられた小淵武一団長をはじめ、作業に快くご参加下さった皆様、事業に深いご理解ご協力を惜しまれなかった多くの方々から心からお礼を申しあげ序にかえます。

例 言

- 1 本書は、平成3年に発掘された、長野県小諸市大字八満字孤島、石神に所在する石神遺跡群石神遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 本調査は、佐久地方事務所の委託を受け、小諸市教育委員会が実施した。
- 3 本調査は、小淵武一を調査団長とし、花岡 弘を発掘担当者とし、有識者を調査員とし、地元原村区、御代田、小諸広域シルバー人材センターのご協力を得て実施した。
- 4 遺構実測図の作成は、次の者が行なったほか、新日本航業株式会社の協力を得た。
井出喜八、小淵武一、太田史夫、小野山 浩、星野保彦、相場さ代子、佐藤君代、塩川朋広、竹内優一、中沢保之、花岡 弘
- 5 遺構実測図のトレースは、太田史夫・古谷里江・岡田悦子・塩川峰子が行なった。遺物実測図の作成・トレースは、花岡 弘が行なったほか、株式会社パスコ、株式会社シン技術コンサル、有限会社やまいちやの協力を得た。また、土器拓影図の一部は、柳沢宏幸氏の協力を得た。
- 6 遺構・遺物の写真撮影は、小淵武一・太田史夫・星野保彦・花岡 弘が行なった。
- 7 本書の執筆は、第II章1を小淵武一が、他を花岡 弘が行なった。付表作成は、古谷里江・岡田悦子・塩川峰子が行なった。
- 8 本書の総括・付編については以下の各位より玉稿を賜った。
西沢寿晃「石神遺跡出土の人骨」
金子浩昌「縄文時代後期の住居址から検出された貝片・骨角器（獣骨片）の分類・同定」
「縄文時代後期の住居址から検出された貝片・鳥・獣類遺体・骨角器の分類・同定
（第2報）」
綿田弘実「土器群の様相」
角張淳・「石神遺跡出土の石器について」
- 9 本書の編集は、太田史夫・花岡 弘が行ない、小淵武一がこれを校閲、監修した。

10 本遺跡の出土資料は、小諸市教育委員会の責任下に保管されている。

発掘調査および報告書作成に際しては、次の方々に御指導・御配慮・御協力を賜わった。ここに御芳名を記して厚く御礼申し上げる（50音順、敬称略）。

石井 寛、市川隆之、稲村晃嗣、植田 真、宇賀神誠司、白田武正、大谷祐司、岡本範之、川崎 保、角張淳一、加藤修司、児玉卓文、小林正春、小宮山 隆、小山岳夫、大工原 豊、佐藤正雄、菅谷道保、辻本崇夫、堤 隆、鶴原 明、中村 豊、中村良幸、賛川 明、寺島俊郎、馬場保之、原 明芳、町田勝則、百瀬長秀、柳沢宏幸、山田昌久、綿田弘実

（関係機関） 勤長野県埋蔵文化財センター、株式会社シン技術コンサル、株式会社パスコ、バリノ・サーヴェイ株式会社、新日本航業株式会社、有限会社やまいちや、有限会社堀籠重機

凡 例

- 1 各遺構の略号は、次のとおりである。

縄文時代住居址——J 平安時代住居址——H 竪穴状遺構・試掘時のトレンチ——T
掘立柱建物址——ST 溝址——SD 土坑——SK 集石状遺構・石棺墓——SX

- 2 遺構実測図の縮尺は、次のとおりである。

住居址・竪穴状遺構・掘立柱建物址・土坑墓・石棺墓・土坑・埋燬・溝址断面図——1/80
炉址・カマド——1/40 溝址——1/100（但し、第2号溝址は1/80） 遺構全体図——1/600

- 3 遺物実測図の縮尺は、次のとおりである。

土器・土器拓影図——1/4 石器類・玉類・石鏃・骨角器・土製品・ミニチュア土器
・銭貨——1/2 石皿などの大形品——1/5（但し、第265図1179は1/2）

- 4 住居址平面図における点のスクリーントーンは、炉址・カマド・焼土を表す。

- 5 土器実測図において断面を黒塗にしたものは、須恵器・灰釉陶器を、土器実測図・骨角器実測図において点のスクリーントーンを貼付したものは黒色土器もしくは赤色塗彩を表す。

- 6 水糸レベルの原点は、第4図に示した。

- 7 図版中、遺物の縮尺は次のとおりである。

土器・石皿等——約1/4 打製石斧等の石器類——約1/3 玉類・骨角器・土製品・銭貨・動物遺存体・石鏃等——約1/2

- 8 図版中では遺物番号を簡略化した。例えば、第149図1は149-1と表わす。また、石器写真は通し番号も併用した。なお、石器・土製品のうち、写真図版のみの掲載にとどまったものがあり、その場合は、遺構名あるいはグリッド・トレンチNoを記した。

- 9 土層色調は、「新版 標準土色帖」の表示に基づいて示した。

本文目次

巻頭図版

序 文

例 言

凡 例

本文目次

付表目次

插图目次

図版目次

I 発掘調査の経緯	1
1 調査に至る動機	1
2 調査の概要	2
3 調査の経過	2
II 遺跡の概観	4
1 遺跡の自然的環境	4
2 遺跡の歴史的環境	6
III 層 序	9
IV 遺構と遺物	11
1 縄文時代住居址	11
(1) J 1号住居址	11
(2) J 2号住居址	11
(3) J 3号住居址	12
(4) J 4号住居址	12
(5) J 5号住居址	13
(6) J 6号住居址	14
(7) J 7号住居址	14
(8) J 8号住居址	15
(9) J 9号住居址	15
00 J 10号住居址	16
01 J 11号住居址	16
02 J 12号住居址	17
03 J 13号住居址	17
04 J 14号住居址	18
05 J 15号住居址	18
06 J 16号住居址	18
07 J 17号住居址	19
08 J 18号住居址	19
09 J 19号住居址	20
00 J 21号住居址	20
01 J 22号住居址	21
02 J 23号住居址	21
03 J 24号住居址	22
04 J 25号住居址	22
05 J 26号住居址	23
06 J 27号住居址	23

07	J 28号住居址	23	06	J 39号住居址	27
08	J 29号住居址	24	07	J 40号住居址	28
09	J 30号住居址	24	08	J 41号住居址	28
00	J 31号住居址	25	09	J 42号住居址	29
01	J 32号住居址	25	10	J 43号住居址	29
02	J 33号住居址	25	11	J 44号住居址	29
03	J 34号住居址	26	12	J 45号住居址	30
04	J 37号住居址	26	13	J 46号住居址	30
05	J 38号住居址	27			
2	平安時代住居址	77			
(1)	H 1号住居址	77	(5)	H 5号住居址	82
(2)	H 2号住居址	78	(6)	H 7号住居址	84
(3)	H 3号住居址	79	(7)	H 8号住居址	85
(4)	H 4号住居址	80	(8)	H 9号住居址	86
3	竪穴状遺構	88			
4	掘立柱建物址	91			
5	土坑墓	101			
6	集石状遺構・石棺墓・配石址	103			
7	溝址	109			
(1)	第1号溝址	109	(3)	第3号溝址	110
(2)	第2号溝址	110	(4)	第4号溝址	113
8	埋 甕	113			
9	土 坑	115			
10	グリッド出土遺物	123			
V	総 括	316			
1	土器群の様相	316			
2	石神遺跡出土の石器について	324			
3	遺構の変遷	326			
	引用参考文献	334			
付編1	石神遺跡出土の人骨	335			
付編2	縄文時代後期の住居址から検出された貝片・骨角器(獣骨片)の分類・同定	343			
付編3	縄文時代後期の住居址から検出された貝片・鳥・獣類遺体・骨角器の分類・同定 (第2報)	348			

付表目次

第1表 型穴状道構一覧表……………88	第4表 土坑一覧表……………115～123
第2表 土坑森一覧表……………102	土坑層序説明……………184～193
第3表 石棺墓一覧表……………103	

挿図目次

第1図 遺跡の位置 (1:50,000)……………1	第32図 J22号住居址実測図……………57
第2図 遺跡付近の地質図……………4	第33図 J24号住居址実測図……………58
第3図 調査区 (1:5,000)……………8	第34図 J25号住居址実測図……………59
第4図 層序模式図……………9	第35図 J26号住居址実測図……………60
第5図 グリッド設定図 (1:1,500)……………10	第36図 J27号住居址実測図……………61
第6図 J1・J3・J3・J11号住居址炉址実測図……………31	第37図 J28号住居址実測図……………62
第7図 J10・J12・J16号住居址炉址実測図……………32	第38図 J29号住居址実測図……………63
第8図 J15・J18・J19・J21号住居址炉址実測図……………33	第39図 J31・J33号住居址実測図……………64
第9図 J22・J24・J26号住居址炉址実測図……………34	第40図 J32号住居址実測図……………65
第10図 J25・J27・J29号住居址炉址実測図……………35	第41図 J34号住居址実測図……………66
第11図 J28・J30・J32号住居址炉址実測図……………36	第42図 J37号住居址実測図……………67
第12図 J40・J44・J46号住居址炉址実測図……………37	第43図 J38号住居址実測図……………68
第13図 J1号住居址実測図……………38	第44図 J39号住居址実測図……………69
第14図 J2号住居址実測図……………39	第45図 J40号住居址実測図……………70
第15図 J3号住居址実測図……………40	第46図 J41号住居址実測図……………71
第16図 J4号住居址実測図……………41	第47図 J42号住居址実測図……………72
第17図 J5号住居址実測図……………42	第48図 J43号住居址実測図……………73
第18図 J6号住居址実測図……………43	第49図 J44号住居址実測図……………74
第19図 J7号住居址実測図……………44	第50図 J45号住居址実測図……………75
第20図 J8号住居址実測図……………45	第51図 J46号住居址実測図……………76
第21図 J9号住居址実測図……………46	第52図 H1号住居址実測図……………77
第22図 J10号住居址実測図……………47	第53図 H2号住居址実測図……………78
第23図 J11・J17号住居址実測図……………48	第54図 H2号住居址コマド実測図……………79
第24図 J12号住居址実測図……………49	第55図 H3号住居址コマド実測図……………79
第25図 J13号住居址実測図……………50	第56図 H3号住居址実測図……………80
第26図 J14号住居址実測図……………51	第57図 H4号住居址実測図……………81
第27図 J15号住居址実測図……………52	第58図 H4号住居址コマド実測図……………82
第28図 J16号住居址実測図……………53	第59図 H5号住居址コマド実測図……………83
第29図 J18号住居址実測図……………54	第60図 H5号住居址実測図……………83
第30図 J19号住居址実測図……………55	第61図 H7号住居址実測図……………84
第31図 J21号住居址実測図……………56	第62図 H8号住居址実測図……………85

第63区	118号住居址カマド実测图	86	号土坑实测图	138
第64区	H9号住居址实测图	87	第10区	第103~105·108·114·117·118·126·146
第65区	第2号竪穴状遺構实测图	88	号土坑实测图	139
第66区	第3号竪穴状遺構实测图	89	第11区	第115·116·119·121·123·124·131·132· 202号土坑实测图
第67区	第5号竪穴状遺構实测图	90	第12区	第133~139·174号土坑实测图
第68区	第6号竪穴状遺構实测图	90	第13区	第140~145·147·148号土坑实测图
第69区	掘立柱建物址出土土器拓影图	91	第14区	第149·151·153·154·156·158·161·164
第70区	第4~6号掘立柱建物址实测图	92	号土坑实测图	143
第71区	第1·2号掘立柱建物址实测图	93·94	第15区	第152·157·159·160·162·163·165·186
第72区	第3号掘立柱建物址实测图	95·96	号土坑实测图	144
第73区	第9·12号掘立柱建物址实测图	97	第16区	第155·166~169·173·176·182号土坑实测图
第74区	第10号掘立柱建物址实测图	98	第17区	第172·175·177~180·183号土坑实测图
第75区	第13·14号掘立柱建物址实测图	99	第18区	第184·185·187~193号土坑实测图
第76区	第16号掘立柱建物址实测图	100	第19区	第194~201·203·236号土坑实测图
第77区	第1·2·4号土坑实测图	101	第20区	第204~208·210~212·215~216号土坑实测图
第78区	第3·5号土坑墓实测图	102	第21区	第217~219·221·222·228·237·238·241· 242号土坑实测图
第79区	第1号集石状遺構墓址实测图	104	第22区	第220·232·239·243~247·262~264·274
第80区	第2·3号石棺墓实测图	104	号土坑实测图	151
第81区	第4~8号石棺墓实测图	105	第23区	第223~227·229~231·233~235·240号土坑 实测图
第82区	第9·11·12·22号石棺墓实测图	106	第24区	第248~250·275~277·286·287·293·337· 339·348号土坑实测图
第83区	第10·14·15·18·19号石棺墓实测图	107	第25区	第251~253·256·257·259·260·284·285· 304·336·364号土坑实测图
第84区	第13·16·17·20·21号石棺墓实测图	108	第26区	第254·255·258·261·265~272·278~283· 331~335·347·356~359号土坑实测图
第85区	第1号溝址实测图	109	第27区	第273·292·294·296·307~311·360·386
第86区	第2号溝址实测图	110	号土坑实测图	157
第87区	第3·4号溝址实测图	111·112	第28区	第288~291·305·306·338·340·351~355
第88区	第3·4号溝址出土古代土器实测图	113	号土坑实测图	158
第89区	塚廻1~3实测图	114	第29区	第296~299·303·313·315·363·384号土坑 实测图
第90区	第1~9号土坑实测图	124	第30区	第300~302·314·316·330·385号土坑实测图
第91区	第10~13·31·33·35号土坑实测图	125	第31区	第312·319·321·323~328·381号土坑实测图
第92区	第14~19·32号土坑实测图	126	第32区	第317·318·320·322·329·349·350·361
第93区	第20~23·34·40·41号土坑实测图	127	号土坑实测图	162
第94区	第24~30·44·45号土坑实测图	128	第33区	第341·343·344·362·377·426·437·448
第95区	第36~39·42·47·50·51·129号土坑实测图	129	号土坑实测图	163
第96区	第43·46·48·49·52·53·59号土坑实测图	130	第34区	第342·345·346·366·390·392·394号土坑 实测图
第97区	第54·56·63·64·69·128号土坑实测图	131		164
第98区	第60·61·65~68·83号土坑实测图	132		
第99区	第62·75·77·79·170·171号土坑实测图	133		
第100区	第70~73·80·94~96号土坑实测图	134		
第101区	第78·81·82·84·85·87·93号土坑实测图	135		
第102区	第88~92·97·127号土坑实测图	136		
第103区	第98~100·106·111·112·130号土坑实测图	137		
第104区	第101·107·109·110·120·122·125·150			

第134图	第365·371·380·383·387·388号土坑实测图	·165
第135图	第367~370·376·379·391·431号上坑实测图	·166
第136图	第372~375·378·382·413·414·421号土坑 实测图	·167
第137图	第389·393·395~397·402~404·406·407· 427号土坑实测图	·168
第138图	第398~401·405·411·412·415~417·424 号土坑实测图	·169
第139图	第408~410·423·430·482·508·509号土坑 实测图	·170
第140图	第419·422·428·432·434~436·450·483· 506号土坑实测图	·171
第141图	第429·433·439·449·459·493号土坑实测图	·172
第142图	第438·444~446·460·470·474号土坑实测图	·173
第143图	第440~443·447·461·462·465·469号土坑 实测图	·174
第144图	第451·452·456·457·466~468号土坑实测图	·175
第145图	第453~455·463·464·473·477·485号土坑 实测图	·176
第146图	第471·472·479~481·488·489·499号土坑 实测图	·177
第147图	第484·486·487·490·502·510·518·519 号土坑实测图	·178
第148图	第491·492·494~497·507·516·517·522 号土坑实测图	·179
第149图	第500·501·503~505·521号土坑实测图	·180
第150图	第511~515号土坑·ヒット群实测图	·181
第151图	第213·418·420·425·475·476号土坑实测图	·182
第152图	第458·478·498号土坑实测图	·183
第153图	J 1号住居址出土器实测图	·194
第154图	J 1·J 2号住居址出土器实测图	·195
第155图	J 2·J 3号住居址出土器实测图	·196
第156图	J 3·J 5~J 7号住居址出土器实测图	·197
第157图	J 9·J 15号住居址出土器实测图	·198
第158图	J 10·J 11号住居址出土器实测图	·199
第159图	J 11·J 15·J 18·J 19号住居址出土器实测图	·200
第160图	J 21~J 23号住居址出土器实测图	·201
第161图	J 24·J 25号住居址出土器实测图	·202
第162图	J 25·J 26号住居址出土器实测图	·203
第163图	J 26~J 28号住居址出土器实测图	·204
第164图	J 31~J 33号住居址出土器实测图	·205
第165图	J 33号住居址出土器实测图	·206

第166图	J 33号住居址出土器实测图	·207
第167图	J 33号住居址出土器实测图	·208
第168图	J 34·J 37·J 39号住居址出土器实测图	·209
第169图	J 39·J 40号住居址出土器实测图	·210
第170图	J 40号住居址出土器实测图	·211
第171图	J 40~J 42号住居址出土器实测图	·212
第172图	J 44·J 46号住居址出土器实测图	·213
第173图	J 1号住居址出土器拓影图	·214
第174图	J 1号住居址出土器拓影图	·215
第175图	J 1·J 2号住居址出土器拓影图	·216
第176图	J 3·J 4号住居址出土器拓影图	·217
第177图	J 5号住居址出土器拓影图	·218
第178图	J 5·J 6号住居址出土器拓影图	·219
第179图	J 7~J 10号住居址出土器拓影图	·220
第180图	J 10~J 12号住居址出土器拓影图	·221
第181图	J 13~J 16号住居址出土器拓影图	·222
第182图	J 18·J 19号住居址出土器拓影图	·223
第183图	J 19号住居址出土器拓影图	·224
第184图	J 19·J 21·J 22号住居址出土器拓影图	·225
第185图	J 22·J 23号住居址出土器拓影图	·226
第186图	J 24·J 25号住居址出土器拓影图	·227
第187图	J 26~J 28号住居址出土器拓影图	·228
第188图	J 28·J 29号住居址出土器拓影图	·229
第189图	J 30~J 32号住居址出土器拓影图	·230
第190图	J 32·J 34号住居址出土器拓影图	·231
第191图	J 34·H 9号住居址出土器拓影图	·232
第192图	H 9·J 37~J 40号住居址出土器拓影图	·233
第193图	J 40·J 41·J 44号住居址出土器拓影图	·234
第194图	古代土器实测图	·235
第195图	SX出土器实测图(A)	·236
第196图	SX出土器实测图(B)	·237
第197图	SX01~SX06·SX08出土器拓影图	·238
第198图	SX08~SX11出土器拓影图	·239
第199图	SX11·SX12出土器拓影图	·240
第200图	SX13~SX15出土器拓影图	·241
第201图	SX15~SX17出土器拓影图	·242
第202图	SX17·SX18出土器拓影图	·243
第203图	SX20~SX22出土器拓影图	·244
第204图	埋藏 1·2 实测图	·245
第205图	埋藏 3 实测图	·246
第206图	埋藏 4 实测图	·247
第207图	土坑出土器实测图(A)	·248

第394図	土坑出土土器実測図(B)	249
第395図	土坑出土土器実測図(C)	250
第396図	土坑出土土器実測図(D)	251
第397図	七坑出土土器拓影図(A)	252
第398図	土坑出土土器拓影図(B)	253
第399図	土坑出土土器拓影図(C)	254
第400図	土坑出土土器拓影図(D)	255
第401図	土坑出土土器拓影図(E)	256
第402図	土坑出土土器拓影図(F)	257
第403図	土坑出土土器拓影図(G)	258
第404図	七坑出土土器拓影図(H)	259
第405図	土坑出土土器拓影図(I)	260
第406図	土坑・溝址出土土器拓影図	261
第407図	グリッド出土土器実測図(A)	262
第408図	グリッド出土土器実測図(B)	263
第409図	グリッド出土土器実測図(C)	264
第410図	グリッド出土土器実測図(D)	265
第411図	グリッド出土土器実測図(E)	266
第412図	グリッド出土土器・土製品実測図	267
第413図	グリッド出土土器拓影図(A)	268
第414図	グリッド出土土器拓影図(B)	269
第415図	グリッド出土土器拓影図(C)	270
第416図	グリッド出土土器拓影図(D)	271
第417図	グリッド出土土器拓影図(E)	272
第418図	グリッド出土土器拓影図(F)	273
第419図	土偶実測図(A)	274
第420図	土偶実測図(B)	275
第421図	土偶・土製品実測図	276
第422図	土製耳飾実測図(A)	277
第423図	土製耳飾実測図(B)	278
第424図	土製耳飾・土製品実測図	279
第425図	土製品実測図	280
第426図	土製円板実測図(A)	281
第427図	土製円板実測図(B)	282
第428図	土製円板実測図(C)	283
第429図	石器実測図(A)	284
第430図	石器実測図(B)	285
第431図	石器実測図(C)	286
第432図	石器実測図(D)	287
第433図	石器実測図(E)	288
第434図	石器実測図(F)	289
第435図	石器実測図(G)	290

第436図	石器実測図(H)	291
第437図	石器実測図(I)	292
第438図	石器実測図(J)	293
第439図	石器実測図(K)	294
第440図	石器実測図(L)	295
第441図	石器実測図(M)	296
第442図	石器実測図(N)	297
第443図	石器実測図(O)	298
第444図	石器実測図(P)	299
第445図	石器実測図(Q)	300
第446図	石器実測図(R)	301
第447図	石器実測図(S)	302
第448図	石器実測図(T)	303
第449図	石器実測図(U)	304
第450図	石器実測図(V)	305
第451図	石器実測図(W)	306
第452図	石器実測図(X)	307
第453図	石器実測図(Y)	308
第454図	石器実測図(Z)	309
第455図	石器実測図(A')	310
第456図	石器実測図(B')	311
第457図	石器実測図(C')	312
第458図	石器実測図(D')	313
第459図	石器実測図(E')	314
第460図	骨角器・ミニチュア土器実測図	315
第461図	鏡貨拓影図	315
第462図	土坑墓・石棺墓の長軸方位	328
第463図	石神遺跡遺構全体図(I)	329・330
第464図	石神遺跡遺構全体図(II)	331・332

図版目次

巻頭図版 1 第III・V・VIII区

巻頭図版 2 第V区 第Ⅲ・Ⅳ・Ⅵ区

巻頭図版 3 玉類 ヒスイ原石

巻頭図版 4 ミニチュア土器 骨角器 土偶・耳飾に見られる縄文人の顔

巻頭図版 5 美斉津一夫氏採集資料(小諸市立郷土博物館蔵)

巻頭図版 6 航空写真

図版 1 J 1号住居址 J 2号住居址 J 3号住居址

図版 2 J 4号住居址 J 5号住居址 J 6号住居址

図版 3 J 7号住居址 J 8号住居址 J 9号住居址

図版 4 J 10号住居址 J 11号住居址(右) J 17号住居址
(左上) J 12号住居址

図版 5 J 13号住居址 J 14号住居址 J 15号住居址

図版 6 J 16号住居址 J 18号住居址 J 19号住居址

図版 7 J 21号住居址 J 22号住居址 J 24号住居址

図版 8 J 25号住居址 J 26号住居址 J 27号住居址

図版 9 J 28号住居址 J 29号住居址 J 31号住居址

図版10 J 32号住居址 J 32号住居址(掘形) J 33号住居址

図版11 J 34号住居址 J 37号住居址 J 38号住居址

図版12 J 39号住居址 J 40号住居址 J 41号住居址

図版13 J 42号住居址 J 43号住居址 J 44号住居址

図版14 J 46号住居址 SK175号土坑内炉址 H 1号住居
址

図版15 H 2号住居址 H 3号住居址 H 4号住居址

図版16 H 5号住居址 H 7号住居址 H 8号住居址

図版17 H 9号住居址 第2号型穴状遺構 第3号型穴状
遺構

図版18 第5号型穴状遺構 第6号型穴状遺構 第1号掘
立柱建物址

図版19 第2号掘立柱建物址 第3号掘立柱建物址 第5
号掘立柱建物址

図版20 第9号掘立柱建物址 第10号掘立柱建物址 第12
号掘立柱建物址

図版21 第13号掘立柱建物址 第14号掘立柱建物址 第1
号溝址

図版22 第2号溝址 第3号溝址 第4号溝址

図版23 第2号石棺墓 第3号石棺墓 第4号石棺墓

図版24 第5号石棺墓 第6号石棺墓 第7号石棺墓

図版25 第8号石棺墓 第9号石棺墓 第10号石棺墓

図版26 第11号石棺墓 第12号石棺墓 第13号石棺墓

図版27 第14号石棺墓(奥) 第15号石棺墓 第16号石棺墓

図版28 第17号石棺墓 第18号石棺墓 第19号石棺墓

図版29 第20号石棺墓 第21号石棺墓 第22号石棺墓

図版30 第1号土坑墓 第2号土坑墓 第3号土坑墓

図版31 第4号土坑墓 第5号土坑墓 配石址

図版32 第1号土坑 第2号土坑 第3号土坑 第4号土
坑 第5号土坑 第6号土坑 第7号土坑 第8
号土坑 第10号土坑 第11号土坑

図版33 第12号土坑 第13号土坑 第14号土坑 第15号土
坑 第16号土坑 第17号土坑 第18号土坑 第19
号土坑 第20号土坑 第21号土坑

図版34 第22号土坑 第23号土坑 第24号土坑 第25号土
坑 第26号土坑 第27号土坑 第28号土坑 第29
号土坑 第30号土坑 第31号土坑

図版35 第32号土坑 第33号土坑 第34号土坑 第35号土
坑 第36号土坑 第37号土坑 第38号土坑 第39
号土坑 第40号土坑 第41号土坑

図版36 第42号土坑 第43号土坑 第44号土坑 第45号土
坑 第46号土坑 第47号土坑 第48号土坑 第49
号土坑 第50号土坑(手割) 第51号土坑(奥) 第
52号土坑

図版37 第53号土坑 第54号七坑 第55号土坑 第56号土
坑 第59号土坑 第60号土坑 第61号土坑 第62
号土坑 第63号土坑 第64号土坑

図版38 第65号土坑 第66号七坑 第67号土坑 第68号土
坑 第69号土坑 第70号土坑 第71号土坑(右)
第96号土坑(左) 第72号土坑(右) 第95号土坑
(左) 第73号土坑(左) 第123号土坑(右) 第75
号土坑

图版39 第77号土坑 第78号上坑 第79号土坑 第80号土坑 第81号土坑 第83号土坑 第84号上坑 第87号土坑 第88号土坑 第89号土坑

图版40 第90号土坑 第91号土坑 第92号土坑 第93号土坑 第94号土坑 第97号上坑 第98号土坑(右) 第112号土坑(左) 第99号土坑 第100号上坑 第101号上坑

图版41 第105号土坑 第106号土坑 第107号土坑 第108号土坑 第109号土坑 第110号土坑 第111号土坑 第114号土坑 第115号土坑 第116号土坑

图版42 第117号上坑 第118号土坑 第119号土坑 第120号土坑 第121号上坑 第122号土坑 第124号土坑 第125号土坑 第126号上坑 第127号土坑

图版43 第128号土坑 第129号土坑 第130号上坑 第131号土坑 第132号土坑 第133号土坑 第134号土坑 第135号土坑 第136号上坑 第137号土坑

图版44 第138号土坑 第139号土坑 第141号上坑 第142号土坑 第143号土坑 第144号土坑 第145号上坑 第147号土坑 第148号土坑 第149号土坑

图版45 第150号土坑 第151号土坑 第152号上坑 第153号上坑 第154号土坑 第155号土坑 第156号上坑 第157号上坑 第158号土坑 第159号土坑

图版46 第160号土坑 第161号上坑 第162号土坑(右) 第163号土坑(左) 第164号土坑 第165号土坑 第166号土坑 第167号土坑 第168号土坑 第169号土坑(左) 第176号土坑(右) 第170号土坑

图版47 第171号土坑 第172号土坑 第173号上坑 第174号土坑 第175号土坑 第177号土坑 第178号上坑 第179号土坑 第180号上坑 第182号土坑

图版48 第183号土坑 第184号土坑 第185号上坑 第186号土坑 第187号土坑 第188号土坑 第189号上坑 第190号土坑 第191号土坑 第192号土坑

图版49 第193号土坑 第194号土坑 第195号上坑 第196号土坑(左) 第197号土坑(右) 第198号土坑 第199号土坑 第200号上坑 第201号土坑 第202号上坑(奥) 第203号土坑(上左) 第236号土坑(上中) 第237号土坑(下右) 第238号土坑(下左) 第242号土坑(上右)

图版50 第204号土坑 第205号土坑 第206号土坑 第207号土坑 第208号土坑 第209号上坑 第210号土坑 第211号土坑 第212号土坑 第213号土坑

图版51 第215号土坑 第216号上坑 第217号土坑 第218

号土坑 第219号土坑 第220号土坑 第221号土坑 第222号土坑 第223号土坑(右) 第231号土坑(左) 第224号土坑(右) 第232号土坑(左) 第239号上坑(中)

图版52 第225号土坑 第226号上坑(右奥) 第234号土坑(右) 第235号土坑(左) 第227号上坑 第228号土坑 第229号土坑(右) 第230号土坑(左) 第233号上坑(上左) 第263号土坑(下左) 第264号土坑(右) 第240号土坑 第241号土坑 第243号土坑(上左) 第244号土坑(上右) 第246号土坑(下左) 第262号土坑(下右) 第245号土坑

图版53 第247号上坑 第248号土坑(左) 第249号土坑(右) 第250号土坑 第251号上坑(右) 第252号土坑(左) 第253号土坑(右) 第336号土坑(左) 第254号土坑 第255号土坑 第256号土坑 第257号土坑 第258号上坑

图版54 第259号土坑(左) 第260号土坑(右) 第261号土坑 第265号土坑 第266号土坑 第267号上坑 第268号土坑 第269号上坑(左) 第270号土坑(右) 第282号土坑(下) 第271号土坑(左) 第272号土坑(右) 第283号土坑(上) 第273号上坑 第274号上坑

图版55 第275号土坑(右) 第276号上坑(左) 第277号土坑(中) 第278号土坑(上) 第357号上坑(下) 第279号上坑 第280号土坑(左) 第334号土坑(右) 第281号土坑(右) 第359号土坑(左) 第284号土坑 第285号土坑 第286号土坑(左) 第287号土坑(右) 第288号土坑(下) 第355号土坑(上) 第289号土坑

图版56 第290号土坑 第291号土坑 第292号上坑 第293号上坑 第294号土坑 第295号土坑 第296号土坑 第297号土坑 第298号土坑 第299号土坑(左) 第363号土坑(右)

图版57 第300号上坑 第301号土坑 第302号土坑 第303号土坑 第304号土坑 第305号土坑(右) 第306号土坑(左) 第307号土坑 第308号上坑 第309号上坑 第310号上坑

图版58 第311号土坑 第312号土坑 第313号上坑 第314号上坑(手前) 第330号土坑(奥) 第315号上坑 第316号土坑 第317号上坑 第318号土坑(奥) 第366号土坑(手前) 第319号土坑(左) 第381号土坑(右) 第320号上坑

图版59 第321号土坑 第322号上坑(右) 第329号上坑(左) 第323号土坑 第324号土坑(右) 第325号土坑(左) 第326号土坑 第327号土坑(左) 第328号上坑(右) 第331号七坑 第332号土坑 第333号上坑(左) 第335号上坑(右) 第337号上坑

图版60 第338号土坑 第339号土坑と四辺ビット 第340号土坑 第341号土坑 第342号土坑 第343号土坑 第344号上坑 第345号土坑 第346号土坑 第347号土坑(右) 第358号上坑(左)

图版61 第348号土坑 第349号土坑 第350号土坑 第351号土坑 第352号土坑(右) 第353号土坑(左) 第354号上坑(奥) 第356号土坑 第360号土坑 第361号土坑 第362号土坑 第364号上坑

图版62 第365号土坑(中) 第380号土坑(奥) 第383号土坑(手前) 第367号土坑(左) 第368号土坑(右) 第369号土坑(左) 第376号土坑(右) 第370号上坑 第371号土坑 第372号土坑 第373号土坑 第374号土坑 第375号土坑 第377号土坑

图版63 第378号上坑 第379号上坑 第382号上坑 第384号土坑 第385号土坑 第386号土坑 第387号土坑(左) 第388号土坑(右) 第389号土坑 第390号土坑 第391号土坑

图版64 第392号土坑 第393号上坑(奥) 第397号上坑(手前) 第394号土坑 第395号土坑 第396号土坑(右) 第421号土坑(左) 第398号土坑(右) 第405号土坑(左) 第399号上坑 第400号上坑 第401号土坑 第424号土坑 第402号土坑 第403号土坑 第404号土坑

图版65 第406号上坑 第407号上坑 第408号上坑 第409号土坑(上) 第410号土坑(下) 第411号土坑 第412号土坑 第413号土坑 第414号土坑 第415号土坑 第416号上坑(左) 第417号上坑(右)

图版66 第418号土坑 第419号土坑 第420号上坑 第422号土坑(右) 第426号土坑(左) 第483号土坑(中) 第423号上坑 第425号土坑 第427号土坑 第428号土坑 第429号土坑 第431号土坑

图版67 第432号土坑 第433号土坑 第434号土坑(中) 第435号上坑(右) 第436号土坑(左) 第437号土坑 第438号土坑(左) 第444号土坑(右) 第439号土坑 第440号土坑 第441号土坑 第442号土坑 第443号土坑 第445号土坑(左) 第446号土坑(右) 第447号土坑 第448号土坑

图版68 第449号土坑 第450号土坑 第451号上坑 第452号土坑 第453号土坑 第454号土坑 第455号上坑 第456号上坑 第457号土坑 第458号土坑

图版69 第459号上坑 第460号土坑 第461号土坑 第462号土坑 第463号土坑 第464号上坑 第465号土坑 第466号土坑 第467号土坑 第468号上坑

图版70 第469号土坑 第470号土坑 第471号土坑 第472号上坑 第473号土坑 第474号上坑 第475号土坑 第476号土坑 第477号土坑 第478号上坑

图版71 第479号土坑 第480号土坑 第481号土坑 第482号土坑(上) 第503号上坑(中) 第504号土坑(下) 第484号土坑 第485号土坑 第486号土坑 第487号土坑 第488号土坑 第489号土坑

图版72 第490号土坑 第491号土坑 第492号土坑 第493号上坑 第494号上坑 第495号土坑(左) 第522号土坑(右) 第496号土坑 第497号土坑 第498号土坑 第499号土坑

图版73 第500号土坑 第501号上坑 第502号土坑 第505号土坑 第506号土坑 第507号上坑 第508号土坑(右) 第509号土坑(左) 第510号土坑 第511号土坑 第512号上坑 第513号土坑 第514号土坑 第515号上坑 第516号上坑

图版74 第517号土坑 第518号土坑 第519号上坑 第521号土坑 遺物出土状態 遺物 J 124号住居跡 SX07 J 1号住居跡 J 18号住居跡 J 32号住居跡

图版75 J 1号住居跡出土土器

图版76 J 1・J 2号住居跡出土土器

图版77 J 2・J 3号住居跡出土土器

图版78 J 3・J 5~J 7号住居跡出土土器

图版79 J 9・J 15号住居跡出土土器

图版80 J 10・J 11号住居跡出土土器

图版81 J 11・J 15・J 18・J 19号住居跡出土土器

图版82 J 21~J 23号住居跡出土土器

图版83 J 24・J 25号住居跡出土土器

图版84 J 25・J 26号住居跡出土土器

图版85 J 26~J 28号住居跡出土土器

图版86 J 31~J 33号住居跡出土土器

图版87 J 33号住居跡出土土器

图版88 J 33号住居跡出土土器

图版89 J 33号住居跡出土土器

图版90 J 34・J 37・39号住居跡出土土器

- 図版91 J39・J40号住居址出土土器
- 図版92 J40号住居址出土土器
- 図版93 J40～J42号住居址出土土器
- 図版94 J44・J46号住居址出土土器
- 図版95 J1号住居址出土土器
- 図版96 J1号住居址出土土器
- 図版97 J1・J2号住居址出土土器
- 図版98 J3・J4号住居址出土土器
- 図版99 J5号住居址出土土器
- 図版100 J5・J6号住居址出土土器
- 図版101 J7～J10号住居址出土土器
- 図版102 J10～J12号住居址出土土器
- 図版103 J13～J16号住居址出土土器
- 図版104 J18・J19号住居址出土土器
- 図版105 J19号住居址出土土器
- 図版106 J19・J21・J22号住居址出土土器
- 図版107 J22・J23号住居址出土土器
- 図版108 J24・J25号住居址出土土器
- 図版109 J26～J28号住居址出土土器
- 図版110 J28・J29号住居址出土土器
- 図版111 J30～J32号住居址出土土器
- 図版112 J32・J34号住居址出土土器
- 図版113 J34・H9号住居址出土土器
- 図版114 H9・J37～J40号住居址出土土器
- 図版115 J40・J41・J44号住居址出土土器
- 図版116 古代土器
- 図版117 SX出土土器
- 図版118 SX出土土器
- 図版119 埴 罎
- 図版120 埴 甕
- 図版121 埴 甕
- 図版122 土坑出土土器
- 図版123 土坑出土土器
- 図版124 土坑出土土器
- 図版125 土坑出土土器
- 図版126 グリッド出土土器
- 図版127 グリッド出土土器
- 図版128 グリッド出土土器
- 図版129 グリッド出土土器
- 図版130 グリッド出土土器
- 図版131 グリッド出土土器
- 図版132 土 偶
- 図版133 土 偶
- 図版134 土偶・土製品
- 図版135 土製耳飾
- 図版136 土製耳飾
- 図版137 土製耳飾・土製品
- 図版138 土製耳飾・土製品
- 図版139 土製品
- 図版140 土製円板
- 図版141 土製円板
- 図版142 土製円板
- 図版143 J1～J12・J15・J16・J18号住居址出土石器
- 図版144 J5・J6・J11～J14・J17・J41・J42号住居址出土石器
- 図版145 J18・J19・J22・J24・J25・J27・J28号住居址出土石器
- 図版146 J28号住居址出土石器
- 図版147 J28・J29・J32～J34号住居址出土石器
- 図版148 J34・J37～J40・J42・J44・J46・H4・H5・H8号住居址、第2～4・6号型穴状遺構出土石器
- 図版149 土坑出土石器
- 図版150 土坑・溝・グリッド出土石器
- 図版151 グリッド出土石器
- 図版152 グリッド出土石器
- 図版153 グリッド出土石器
- 図版154 グリッド出土石器
- 図版155 グリッド出土石器
- 図版156 グリッド出土石器
- 図版157 グリッド出土石器
- 図版158 グリッド出土石器
- 図版159 グリッド出土石器
- 図版160 グリッド出土石器
- 図版161 グリッド出土石器
- 図版162 グリッド出土石器
- 図版163 グリッド出土石器
- 図版164 グリッド出土石器
- 図版165 グリッド出土石器
- 図版166 グリッド出土石器
- 図版167 グリッド出土石器
- 図版168 グリッド出土石器
- 図版169 グリッド出土石器
- 図版170 グリッド出土石器
- 図版171 グリッド出土石器

- 図版172 グリッド出土石器
図版173 グリッド出土石器
図版174 グリッド出土石器
図版175 グリッド出土石器
図版176 グリッド出土石器
図版177 グリッド出土石器
図版178 グリッド出土石器
図版179 グリッド出土石器
図版180 グリッド出土石器
図版181 グリッド出土石器
図版182 グリッド・トレンチ出土石器
図版183 トレンチ出土石器
図版184 グリッド出土石器
図版185 葉石状遺構・石棺蓋出土石器
図版186 打製石斧
図版187 打製石斧
図版188 打製石斧
図版189 打製石斧
図版190 磨製石斧
図版191 磨製石斧
図版192 石棒・石剣
図版193 石棒・石剣
図版194 砥石・石鏃・石冠
図版195 砥石製品
図版196 砥石製品
図版197 石匙・コア
図版198 石皿・砥石
図版199 骨角器・貝製品・貝類・銭貨
図版200 動物遺存体

I 発掘調査の経緯

1 調査に至る動機

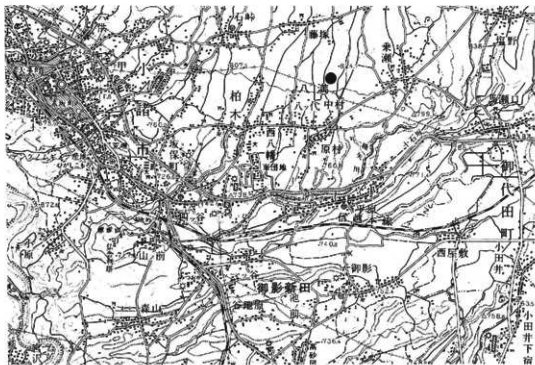
佐久地方事務所は、北大井地区の農業の近代化に即応するため、耕地・農道・水路全般を対象として、平成元年度より圃場整備事業を開始した。

この地籍内にある原村区石神、狐島も計画領域となった。この対象地域内には、石神遺跡群が存在する。計画によると、この事業により破壊されるため、緊急調査の必要が生じた。

そこで、長野県教育委員会文化課指導主事児玉卓文先生の御指導を受け、佐久地方事務所と協議を行なった。

計画によれば、圃場整備の対象地域内における石神遺跡群の範囲は、約105,600㎡に及ぶため、平成2年11～12月に遺構の状況を把握するため、試掘調査を行なった。

その後、試掘の結果をもとに再度協議を行ない、小諸市教育委員会は、佐久地方事務所の依頼を受理し、平成3年4月16日より調査に着手した。



第1図 遺跡の位置 (1:50,000)

2 調査の概要

- 遺跡名 石神遺跡群石神遺跡
- 所在地 長野県小諸市大字八満字狐島815-1、823-1、826、827、828-1番地、字石神829、830、851、855-1～3、856-858、860、861、864、866-1番地
- 調査期間 平成3年4月16日～12月13日
- 調査に関する事務局の構成組織は下記のとおりである。

高見沢勇 小諸市教育委員会教育次長（平成4年3月31日付退任）
中沢一晃 " " （平成4年4月1日付就任）
古平菊敏 " 社会教育課長（平成4年5月1日付転任）
依田茂美 " " （平成4年5月1日付就任）
荒井章雄 " 社会教育係長（平成3年10月1日付転任）
清水隆夫 " 社会教育課長補佐、社会教育係長（平成3年10月1日付就任）
前田洋子

- 調査団の構成組織は下記のとおりである。

団長 小淵武一 小諸市文化財審議委員長
副団長 井出喜八
担当者 花岡 弘
調査主任 星野保彦
調査員 太田史夫、小野山清、高瀬武雄、松本甲子雄、山浦 実
調査補助員 相場さ代子、佐藤君代
参加者（遺物整理を含む）岡田悦子、岡村照子、高地近子、塩川峰子、清水せつ、高瀬けさ子、遠山正一郎、古谷里江、松村泰子、吉野安子、有賀守雄、井出孝子、小野沢二十八、掛川きん子、掛川ひさ子、片岡周雄、相良きみよ、田口巳津郎、土屋 功、成沢シメノ、武者あい子、村上亀吉、村上国利、村上まつ子、柳沢すみ江、柳沢たけ子、柳沢ゆき子、柳沢りん、佐藤拓也、塩川朋広、竹内優一、中沢保之

3 調査の経過

調査日誌（抄）	遺構検出作業を開始する。
4月16日（火） 晴	5月10日（金） 晴
重機による削土作業を開始する。	遺構検出作業に併行して、遺構（溝址）の掘り下げを始める。
4月22日（月） 晴	

5月16日(木) くもり時々晴
住居址の掘り下げを始める。

5月20日(月) 晴
東小学校6年生見学。

5月22日(水) 晴
住居址、土坑の掘り下げ。重機による削土作業。

6月4～6・11日(火～木・火)
グリッド、ベンチマーク設定。

6月20日(木) 雨
雨天により作業中止。図面整理。

6月26日(水) くもり後晴 曇り
土坑の掘り下げ、実測、写真撮影。バルーンによる遺構測量。

7月5日(金) 雨
雨天により作業中止。図面整理。

7月12日(金) 雨後くもり
雨のため、午前中、土器洗い。午後、遺構検出作業。グリッド遺物分布図作成。

7月20日(土) 雨後くもり
午後、佐久考古学会員視察。

8月7～13日(水～火)
航空測量準備。

8月16日～18日(金～日)
休み。

8月23日(金) 晴
航空測量準備。

8月27日(火) 晴
航空測量。

8月31日(土) 雨
雨天により作業中止。図面修正。

9月3日(火) 晴
バルーンによる遺構測量。

9月9日(月) くもり時々雨

安中市教育委員会大工原 豊氏他3名視察。

9月13日(金) 雨
遺構検出後、10時すぎ雨のため土器洗い。

9月18日(水) くもり後雨
10時過ぎ雨のため土器洗い。

9月20日(金) くもり
SK250から流紋岩製丸瓦、J32号住居址から土偶出土。

9月26日(木) くもり後雨
雨のため、午後から土器洗い。

10月1日(火) 雨
雨天により作業中止。

10月7日(月) 雨
雨天により作業中止。

10月9日(水) 雨
3時すぎから雨のため土器洗い。

10月21・22日(月・火)
グリッド設定。

10月25日(金) 雨
雨天により作業中止。

11月5日(火) 晴
土坑実測。バルーンによる遺構測量。

11月9日(土) 晴
航空測量。

11月22日(金) 晴
バルーンによる遺構測量。

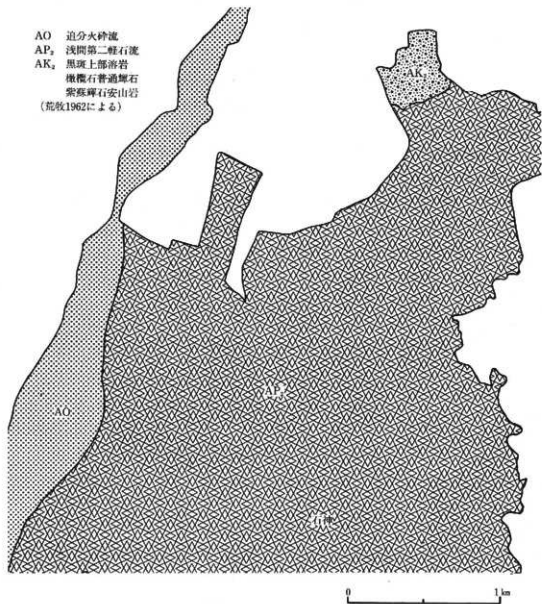
11月23日(土) 晴
遺構の掘り下げを終え、実測作業・写真撮影を進める。

12月3日(火) 晴
実測作業の後、器材の片付けを行なう。

12月13日(金) 晴
器材撤出。

II 遺跡の概観

1 遺跡の自然的環境



第2図 遺跡付近の地質図

石神遺跡は、小諸市大字八満の石神地籍にある。石神の地名は、明治13年4月、八満村人民総代人と戸長の連署で「長野県町村誌」⁽¹⁾に報告されている。それによると、石神周辺の地籍名は、荒井宿、浜茄子、八満反などが記載されている。

石神の面積は、東西170間（約307.7m）、南北244間4尺（約443.2m）と記録されている。

この地籍は、東北方に活火山浅間山（標高2,560m）が聳えている、その南西の緩傾斜面の標高800mから825mの間の地を占めている。

東方は、平尾山を前景に関東境の山並が続いている。南方は、平坦な佐久平が展開し、それを隔てて雄大な八ヶ岳連峰が続き、西の端には蓼科山がある。西には、御牧ヶ原台地、その向う美ヶ原高原を経て北アルプスが遠望できる。

遺跡の地層は、黒斑山よりの家原泥流の堆積の上に、浅間山からの第1軽石流（A.P₁）、さらに時が過ぎて、第2軽石流（A.P₂）が堆積している。軽石流は、軽石と火山灰の混合した地質のため、凝結性が乏しく、崩れ易く、合せて通水性に富んでいる。

この付近一帯の土地利用の状況は、尾根部分は畑作に、その他は水田地帯に大別されている。

水田の水源は、石神社の社前の門地に湧水があり、水量も豊富で古米利用され、現在も下流の水田敷町歩を潤している。この他にも少量ではあるが、3箇所湧水がある。このほか、南原地籍の湧水を引き利用している。また、東方の真楽寺の湧水を利用している水出堰もあり、水は豊かである。

畑地は、旧て養蚕が盛んなころは桑園として利用されたが、養蚕業が衰微するにつれて、一部は果樹が栽培されて、現在も栗林や胡桃林が残っている。現在は、野菜栽培に変わっている。

付近には、林は全然なく、独立木も稀で、柿の木、梅など2・3見られるのみである。

木本では、石神社の神木のケヤキが2本大木で育ち、遠方からも見ることができる。

このほかは、前記の果樹と環端低木、ノイバラ、ヤナギ、クマヤナギ、ウツギ、ナワシロイチゴ、クサボケ等で他地籍にくらべて種類がすくない。

草本は多く、湧水地帯のオランダガラシをはじめとし、セリ、畦畔や畑土手には、オオミゾソバ、ヤナギタデ、コナギ、カヤツリグサ、オモダカ、タネツケバナ、ナズナ、タンポポ、カタバミ、スミレ、アカザ、ギシギシ、スベリヒユウ、ウシハコベ、カワラナデシコ、このような在来種の外、帰化植物のセイヨウタンポポ、ハルシオン、ヒメジョオン、ハキダメギク、メマツヨイグサ等が見られる。なお、他ではあまり見ない、オランダフウロ、ウサギアオイ、オオセンナリも見られた。

開発が進むに従い、従来からの植生は大きな変化を来たしている。

註

(1) 長野県 1936 『長野県町村誌 東信篇』

2 遺跡の歴史的環境

石神遺跡の学史的意義を中心として述べることにしたい。

石神遺跡が記録に最初に現われるのは、明治13年(1880年)に出された八満村の石神社の項で次のように書かれている。すなわち、「御魂代の石礎数基、長二三尺、大小あり。美質にして青白二種、又陽形なるあり。社地の四面田あり、又畑あり。平坦にして土中より、祭器の碎たる古瓦等多く出で、砂石に混ず。又矢の根石の出る事多し。基質二種、色青黒、玉質あり、石質あり。

又社前より清冷の湧水激出して、数町の田に注ぐ。里老傳へ曰ふ、古昔塩野牧、沼辺駅の近地、此所ありしと。該證たる北に古牧、牧留の字又沼辺、牛冷シ、中ノ宮、荒井宿の字あり。荒井は新家にて、駅の跡なり。南に駒形の字ありて、中間に此旧社あり、皆延喜式に載する所にして、遺址の神なりと云えり。」とある。

この文章からすると、おそらく、2～3尺(約60～90cm)の緑泥片岩、花崗岩製の石棒が御神体として祀られていること、土器片、石鏃が多く、石鏃の材質には2種あることを述べている。石材は、黒曜石とチャートであろうか。

また、後半では、牧と駅のことについて触れている。

このように、少なくとも明治13年には、遺跡の存在が知られているが、岩崎長忠氏によれば、考古学及びその趣味の発達向上に伴って、明治30年(1897年)前後から石神地籍での遺物の採集が盛んになったといわれている。

昭和9年(1925年)には、八幡一郎氏により『北佐久郡の考古学的調査』が発刊された。全国的にみても注目に値する地域調査であり、当時の考古学レベルの最高水準のものといえる。

そして、この背景には、宮下健司氏が指摘されたように、当時の教師や教育会の郷土教育・郷土研究の隆盛があったことを物語るものといえる。

さて、『北佐久郡の考古学的調査』の中では、縄文時代前・後・晩期の土器、石器のほか、石神古墳出土の勾玉、切子玉、丸玉、金環が掲載されている。

また、先史時代前期遺跡の平面分布では、浅間山裾野地帯が豊富であり、水との関連では、千曲川流域より遙か高位で川筋から離れているが、遺跡の付近には、ほとんど必ず小川が流れていることを指摘し、また、その垂直分布では、標高800m台の立地が最も多く、600、700m台がこれに次々とされている。

一方、同年、島田和夫氏は北人井村の遺跡について触れ、⁽⁵⁾ その中で、石神遺跡では石鏃の材料として最も多いのが黒曜石で、それは八ヶ岳に近い関係であることのほか、未製品があることから石鏃の製作所ではなかったかと指摘されている。また、この付近から直刀が一振出土したと記されている。断定できないが、『北佐久郡の考古学的調査』に掲載された石神古墳と関連するのかもしれない。

昭和24年(1949年)、岩崎長思氏は、先述したように明治30年前後から採集が盛んになったこと、中でも美斉津一夫氏の資料は多く、また、系統的に整理されているとしている⁽⁶⁾。なお、美斉津一夫氏の採集資料は昭和43年(1968年)に市立火山博物館(現、市立郷土博物館)に寄贈され、保管されている。中でも、岩崎長思氏も述べられているように、顔面付注口土器、遮光器土偶は注目されている(巻頭図版5)。

昭和31年(1956年)には、『信濃考古綜覧』⁽⁷⁾が発刊された。その中では、神ノ木式、堀之内式、大洞B・C・A式に併行する資料のほか、石器類、晩期の遮光器土偶、耳飾が取り上げられている。

昭和49年(1974年)には、『小諸市誌 考古編』⁽⁸⁾が発刊された。この中では、昭和47年(1972年)11月に見つかった敷石遺構の図が掲載され、伴出した土器から晩期のものとされている。

昭和57年(1982年)には長野県考古学会編集の『遺跡と遺物』⁽⁹⁾が出版され、石神遺跡の顔面付注口土器、遮光器土偶が掲載されている。なお、前後するが、この2点は、昭和55年(1980年)、辰野町郷土美術館で開催された「信濃の土偶展」⁽¹⁰⁾に出品、展示された。

昭和59年(1984年)、五十嵐幹雄氏は、『「凹穴石」小考』の研究史の中で、八幡一郎氏により紹介された石神遺跡の凹穴石について触れられている。

昭和63年(1988年)には『長野県史 考古資料編 遺構・遺物』⁽¹¹⁾が発行され、この中で、晩期初頭及び佐野式土器の資料が掲載されているほか、滑石・翡翠・琥珀製品の分布で、滑石製品の出土遺跡として記されている。

以上、大まかに見てきたが、石神遺跡は、学史的にも浅間山麓において著名な遺跡であると言える。

註

- (1) 長野県 1936 『長野県町村誌 東信篇』
- (2) 岩崎長思 1949 「石神」『史跡名勝天然記念物調査報告 第27集』
- (3) 八幡一郎 1925 『北佐久郡の考古学的調査』 北佐久教育会
- (4) 宮下健司 1988 「I 長野県の考古学史」『長野県史 考古資料編 全一卷(4) 遺構・遺物』 長野県史刊行会
- (5) 島田和夫 1934 「北大井村の考古学的瞥見」『信濃』第1次第3巻第12号
- (6) 前掲註(2)の文献。
- (7) 信濃史料刊行会 1956 『信濃考古綜覧 (上)・(下)』
- (8) 小諸市誌編集委員会編 1974 『小諸市誌 考古編』 小諸市教育委員会
- (9) 長野県考古学会編 1982 『遺跡と遺物』 信濃毎日新聞社
- (10) 辰野町郷土美術館編 1980 『信濃の土偶』 青雲社
- (11) 五十嵐 幹雄 1984 「「凹穴石」小考」『中部高地の考古学 III』 長野県考古学会
- (12) 前掲註(4)の文献。



第3图 调查区 (1:5,000)

III 層 序

第I層 黒色土層 (7.5Y R2/1)

第II層 黒色土層 (10Y R2/1)

第III層 明黄褐色土層
(10Y R6/6)

第IV層 黒褐色土層 (10Y R3/1)

石神遺跡は、浅間山麓の南に傾斜する尾根上に位置し、標高は、794~845mを測る。

第I層は、耕作土層で、層厚は30~80cmを測る。

バミスを含み、バサバサとしており、比較的吸水性に富んでいる。

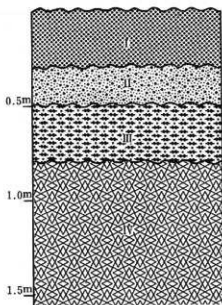
第II層は、部分的に認められたもので、V区F列から、VII区A列の間に存在した。層厚は、約20cmである。

第III層は、浅間第2軽石流 (AP₂) の頂部にあたる。遺構確認の大半は、本層上面において行なった。φ0.5~25cmのバミスを含む。また、20~30cmより下部は、0.5cm前後のバミスを含み、上部より締ったものとなり、にぶい黄褐色 (10Y R5/4) を呈する。

なお、V区G列より南は、第III層が厚く (80cm以上) 堆積している。

軽石流のうち、浅間第1軽石流 (AP₁) は、その後に出した浅間第2軽石流 (AP₂) との間に厚さ約10cmの黒褐色土があることから、両軽石流の噴出には数百年の隔たりがあったと考えられている。また、二つの軽石流は、1.0~1.1万年前に浅間火山の硬質安山岩マグマの活動により噴出されたものとされている。

第IV層は、φ20~70cmの河床礫を含む黒褐色土層で、V区G列までは確実に認められる。

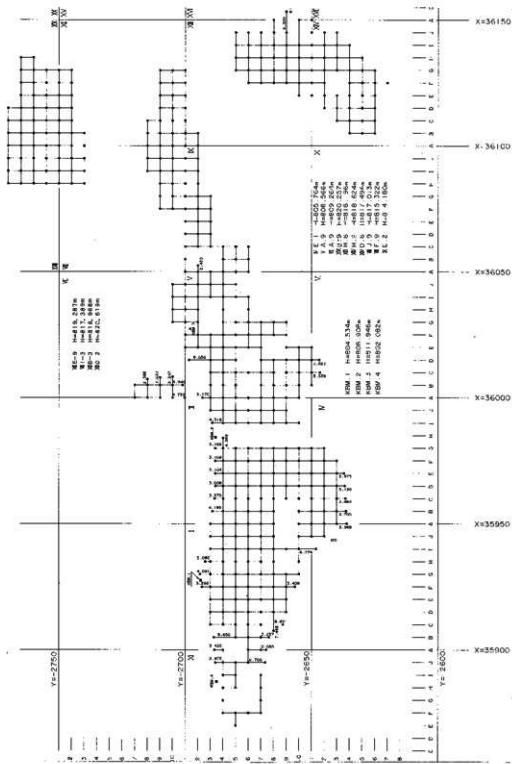


第4図 層序模式図

註

(1) 田中邦雄監修・降旗和雄編 1979 『長野県地学のガイド』 コロナ社

(2) 註(1)の文献に同



第5図 グリッド設定図 (1:1,500)

IV 遺構と遺物

1 縄文時代住居址

(1) J1号住居址

遺構(第6・13図、図版1)

V-C・D1・2グリッドに位置する。他遺構との重複関係はない。

東西460cm、南北382cmを測り、平面プランは、東西に長くやや不整な楕円形を呈する。

南北軸の方位は、N-3°-Eを示す。確認面からの壁高は、5~40cmを測る。

住居址覆土は2層に区分される。なお、土層断面図には表していないが、北壁際で東西195cm、南北110cmを測る灰層が認められた。

柱穴は壁下を中心に検出され、南側を除きほぼ全周する。

炉址は、住居址ほぼ中央部に位置する。安山岩質の礫を用いた石囲炉である。

遺物(第149・150・169~171・229・231・235・261・264・266・269・270図、図版74~76・95~97・139・143・186・194・195・198・199)

本住居址からは多量の遺物が出土している。特に、獣骨類は遺構確認時から既に多数認められていることから住居址廃絶後、廃棄された可能性が強い。

図示したものに、縄文土器、土製品、石器、骨角器がある。土製品には、土偶、スプーンがある。石器には、石棒の破片、牛伏砂岩製の砥石、石皿、軽石製品などがある。

また、獣骨類のほか骨角器の点数も貝刃を含め11点と多く、遺跡出土総点数の61%を占める。ハマグリ製の貝刃(1)、牙鏃(2)、鹿角鏃(3)各1点、骨針・ヘアピンと考えられるもの(4~10)7点などである。10の骨針頂部には陰刻部分の一部に赤色塗彩を施している。

なお、自然遺物には鹹水産、淡水産の貝殻もあり、詳細については後述する。

本住居址の所産期は、縄文時代後期中葉に比定される。

(2) J2号住居址

遺構(第14図、図版1)

V-B・C5・6グリッドに位置する。第114号土坑、第5号土坑墓と重複関係を有し、第114号土坑、第5号土坑墓によって切られている。

東西590cm、南北464cmを測り、平面プランは、東西に長く、東西壁が弧状をなす隅丸長方形ブ

ランを呈する。南北軸の方位は、N-2°-Wを示す。確認面からの壁高は、20cm前後を測る。

住居址覆土は、黒色土層1層で、第5号土坑墓の掘り込みは明確にし得なかった。

炉址は、住居址ほぼ中央部に位置する。石囲炉であった可能性が強いが、大半を第5号土坑墓により破壊されている。

ピットは、径10cm前後のものと同径40cm前後のものに大別され、後者が主柱穴と考えられる。

遺物（第150・151・171・232・235・236・258・260図、図版76・77・97・135・139・140・143・186・190・194）

図示したものに、縄文土器、土製品、石器がある。縄文土器のうち、第151図3は、天井部に一孔を有するもので、後代のいわゆる蜻蛉形土器に似るが、用途は不明である。また、5の注口土器は、外面赤色塗彩がなされる。

土製品には、土製円板、スプーン、耳飾、石器には打製石斧、磨製石斧がある。

本住居址の所産期は、出土土器に時間巾があるが、一応、縄文時代後期中葉に位置付けておきたい。

(3) J 3号住居址

遺構（第6・15図、図版1）

III-H 5・6グリッドに位置する。他遺構との重複関係はない。

柄鉢形の敷石住居址と考えられるが、南側を欠く。東西353cm、南北は残存部で306cmを測る。

南北軸の方位は、N-23°-Eを示す。

炉址は、住居址ほぼ中央部に位置するものと思われる。炉石は、北側と西側を残すだけであった。石囲埋甕炉で、炉址内には土器が2個休用いられていた。

なお、柱穴は確認できなかった。

遺物（第151・152・172・236・260・268図、図版77・78・98・140・143・186・192）

図示したものに、縄文土器、土製品、石器がある。

土器のうち、第151図3、第152図1は、炉に用いられた土器である。また、第151図1は、注口土器のミニチュア土器で、絵画様のヘラ描沈線が認められる。

土製品は、土製円板が1点出土している。石器には、打製石斧と緑泥片岩製の石棒がある。

本住居址の所産期は、縄文時代後期前葉に比定される。

(4) J 4号住居址

遺構（第16図、図版2）

I-J 8・9、III-A 8・9グリッドに位置する。

調査時では1棟と考えたが、2棟が重複していた可能性が強く、ここでは北側に位置するものをJ4B号住居址、南側に位置するものをJ4A号住居址として述べることにしたい。

J4B号住居址——J4A号住居址、第63号土坑と重複関係を有し、J4A号住居址を切り、第63号土坑に切られている。

東西490cm、南北598cmを測り、平面プランは、隅丸長方形を呈する。

南北軸の方位は、N-3°-Eを示す。確認面からの壁高は、残存部において12~25cmを測る。

ピットのうち、P₁~P₄が支柱穴と考えられる。また、P₅は拡張に伴うものかもしれない。

P₃については、位置から推して、J4A号住居址に伴う可能性がある。

周溝は、北・西壁で認められた。住居址北部では、周溝が二重となることから、北側が拡張された可能性が強い。

住居址覆土は4層に区分されるが、第1層の黒褐色土層が大半を占める。

なお、炉址は精査にもかかわらず確認することができなかった。

J4A号住居址——J4B号住居址、第1号土坑墓、第63号土坑と重複関係を有し、J4B号住居址、第1号土坑墓、第63号土坑に切られている。

東西、南北とも残存部で各々420cm、426cmを測り、平面プランは、おそらく、隅丸方形を呈するものと思われる。確認面からの壁高は、残存部において20cm前後である。

南北軸の方位は、N-8°-Eを示す。

ピットは、西壁下において支柱穴が検出され、北西コーナーでは、一部、周溝が認められた。

なお、炉址は確認されなかった。

遺物 (第172図、図版98・143)

図示したものに、縄文土器がある。出土土器は、J4号住居址として一括して取り上げたためJ4A・B号住居址両者のものが混在しているが、J4A号住居址出土土器は量的に少なく、大半は、J4B号住居址に伴うものと考えられる。

所産期は、出土土器からJ4B号住居址が縄文時代前期中葉に比定される。また、J4A号住居址は、重複関係からするとJ4B号住居址より遡るものの、他の遺構・グリッド遺物から推して縄文時代前期初頭~前葉に位置付けられるものと考えられる。

(5) J5号住居址

遺構 (第6・17図、図版2)

III-A・B6・7グリッドに位置する。他遺構との重複関係はない。

東西432cm、南北501cmを測り、平面プランは、隅丸長方形を呈する。

南北軸の方位は、N-8.5°-Eを示す。

炉址は、住居址中央部やや北寄りに位置する地床炉である。

主柱穴は8基検出された。西側に拡張が行なわれており、P₇・P₈はその際P₅・P₆から変更されたものであろう。

住居址覆土は、黒褐色土層1層である。

遺物 (第152・173・174・239図、図版78・99・100・143・144)

図示したものに、縄文土器、石器がある。

石器には、黒曜石製の石鏃4点、チャート製の石鏃1点、チャート製の石匙3点、黒色安山岩製の石匙1点がある。

本住居址の所産期は、縄文時代前期前半に比定される。

(6) J 6号住居址

遺構 (第18図、図版2)

I-I・J-Jグリッドに位置する。他遺構との重複関係はない。

東西332cm、南北426cmを測り、平面プランは、楕円形を呈する。

南北軸の方位は、N-12°-Eを示す。確認面からの壁高は、14~24cmを測る。

ピットは、P₁~P₅のほか、径15cm前後の壁柱穴が認められた。P₁~P₅のうち、P₁・P₂・P₃が主柱穴と考えられる。

が址は、精査にもかかわらず、確認することができなかった。

周溝は、住居址北側部分に巡り、全周していない。

住居址覆土は、2層に区分されるが、第1層の黒褐色土層が大半を占める。

遺物 (第152・174・222・239図、図版78・100・131・143・144)

図示したものに、縄文土器、石器がある。

石器には、黒曜石製の石鏃2点、チャート製、黒色安山岩製の石匙各1点がある。

本住居址の所産期は、縄文時代前期中葉に比定される。

(7) J 7号住居址

遺構 (第19図、図版3)

I-Gグリッドに位置する。他遺構との重複関係はない。

東西414cm、南北376cmを測り、平面プランは、不整な隅丸台形を呈する。

南北軸の方位は、N-7°-Wを示す。確認面からの壁高は、4~20cmを測る。

ピットは、総計13基検出された。おそらく、壁柱穴が主体となるものと思われる。

住居址覆土は、2層に区分されるが、第1層の黒褐色土層が大半を占める。

なお、炉址、周溝は検出されなかった。

遺物（第152・175・232図、図版78・101・135・143）

図示したものに、縄文土器、土製品がある。

縄文土器のうち、第152図1は手づくね土器である。

土製品は、耳飾で、混入品の可能性が高い。

本住居址の所産期は、縄文時代前期後半に比定される。

(8) J 8号住居址

遺構（第20図、図版3）

I-H・I 3 グリッドに位置する。他遺構との重複関係はない。

東西380cm、南北408cmを測り、平面プランは、隅丸方形プランを呈する。

南北軸の方位は、N-1°-Wを示す。確認面からの壁高は、4-22cmを測る。

ビットは、総計6基検出されたが、主柱穴は明確でない。

住居址覆土は、2層に区分され、自然堆積と考えられる。

なお、炉址、周溝は検出されなかった。

遺物（第175・260図、図版101・143・186）

図示したものに、粗製土器の口辺部破片2点、打製石斧1点がある。

本住居址の所産期は、いま一つ明確でないが、一応、縄文時代後期以降と考えておきたい。

(9) J 9号住居址

遺構（第21図、図版3）

III-D・E 4・5 グリッドに位置する。第59号土坑と重複関係を有し、第59号土坑に切られている。

調査時では一棟と考えたが、確認面において鉄平石が認められたこと、住居址の形状、出土土器から推して、竪穴住居址（J 9 A号住居址とする）と敷石住居址（J 9 B号住居址とする）の2棟が重複していた可能性が高い。敷石住居址の方は、全体が不明なため、ここでは竪穴住居址を中心に触れる。

東西・南北とも残存部で各々504cm、404cmを測り、平面プランは、隅丸方形もしくは隅丸長方形を呈するものと思われる。南北軸の方位は、N-11°-Eを示す。

炉址は、住居址ほぼ中央部に位置する。土器を埋設した埋燵炉である。

ビットは、径15cm前後のものが多数検出された。深さは6-40cm前後と多様である。

住居址覆土は、黒色土層1層である。

遺物 (第153・175図、図版77・101・143・186)

図示したものに、縄文土器がある。

所産期については、前述したように2棟の住居址の重複と考え、竪穴住居址が縄文時代前期中葉、敷石住居址が縄文時代後期中葉に比定される。

(I) J10号住居址

遺構 (第7・22図、図版4)

V-B4、C3・4グリッドに位置する。J18号住居址と重複関係を有し、J18号住居址を切って構築されている。

東西460cm、南北399cmを測り、平面プランは、楕円形を呈する。

南北軸の方位は、N-2.5°-Wを示す。確認面からの壁高は、8~22cmを測る。

炉址は、住居址ほぼ中央部南寄りに位置する。安山岩質の礫を用いた石囲炉である。

ピットは壁下を中心に多数検出されたが、支柱穴については明確でない。また、南西部の溝状のピットは、出入口部の施設に関連するものであろう。

住居址覆土は4層に区分されるが、大半を第1層の黒褐色土層が占める。

遺物 (第154・175・176図、図版80・101・102・143)

図示したものに、縄文土器がある。なお、自然遺物については後述する。

本住居址の所産期は、縄文時代後期中葉に比定される。

(II) J11号住居址

遺構 (第6・23図、図版4)

XI-I・J5・6グリッドに位置する。J17号住居址と重複関係を有し、J17号住居址を切って構築されている。

東西460cm、南北516cmを測り、平面プランは、隅丸長方形を呈する。

南北軸の方位は、N-37°-Wを示す。確認面からの壁高は、25~45cmを測る。

炉址は、住居址中央部、やや北寄りに位置する。上部に礫が認められたが、地床炉と考えられる。なお、明確な焼土層は検出されなかった。

ピットは、壁柱穴をはじめ多数検出された。このうち、P₁~P₆の6基が支柱穴と考えられる。

周溝は、部分的に途切れる箇所が認められるが、全周する。

住居址覆土は7層に区分されるが、大半を第1層の黒色土層が占める。

遺物 (第154・155・176・239図、図版80・81・102・143・144)

図示したものに、縄文土器、石器がある。

石器には、黒曜石製の石鏃4点のほか、棒状の河床礫があるが、用途は不明である。

本住居址の所産期は、縄文時代前期中葉に比定される。

(12) J12号住居址

遺構(第7・24図、図版4)

I-A・B4・5グリッドに位置する。住居址南部を耕作による擾乱溝により壊されている。東西・南北とも残存部で各々472cm、558cmを測り、平面プランは、不整な隅丸台形を呈する。南北軸の方位は、N-8°-Eを示す。確認面からの壁高は、6~18cmを測る。

炉址は、住居址ほぼ中央部に位置する。上部に礫が認められたが、地床炉と考えられる。

なお、明確な焼土層は検出されなかった。

ピットは、壁柱穴をはじめ多数検出された。主柱穴については、明確でないが、一応、P₁~P₅の5基を主柱穴と考えておきたい。

住居址覆土は2層に区分されるが、第1層の黒色土層が大半を占める。

遺物(第176・239図、図版102・143・144)

図示したものに、縄文土器、石器がある。

石器は全て石鏃で、6点出土しており、黒曜石製のものが主体をなす。

本住居址の所産期は、縄文時代早期末葉~前期初頭に比定される。

(13) J13号住居址

遺構(第25図、図版5)

I-B3・4、C3グリッドに位置する。住居址東壁の一部および南部を耕作による擾乱溝により壊されている。

東西618cm、南北は残存部で570cmを測り、平面プランは、不整な隅丸台形を呈する。

南北軸の方位は、N-6°-Eを示す。確認面からの壁高は、0~25cmを測る。

ピットは、壁柱穴をはじめ多数検出されたが、主柱穴については、明確でない。

炉址は、精査にもかかわらず、確認することができなかった。

周溝は、西壁寄りて検出されており、西側部分が拡張された可能性が強い。

住居址覆土は、黒色土層1層である。

遺物(第177・239・270図、図版103・144・197・199)

図示したものに、縄文土器、石器、骨角器がある。

石器は、黒曜石製の石鏃1点である。

骨角器は、鹿角製のヘアピンで、他の例からすると混入品かもしれない。

本住居址の所産期は、縄文時代早期末葉～前期初頭に比定される。

(14) J14号住居址

遺構 (第26図、図版5)

I-A・B6・7グリッドに位置する。第111号土坑と重複関係を有し、第111号土坑により切られている。

東西は調査し得た範囲で302cm、南北430cmを測り、平面プランは、やや不整な楕円形を呈するものと思われる。南北軸の方位は、N-15°-Eを示す。

確認面からの壁高は、10cm前後を測る。

ピットは、径15cm前後のものと径30cm前後のものに大別され、後者が主柱穴と考えられる。

炉址は、精査にもかかわらず、確認することができなかった。

住居址覆土は、第1層の黒色土層と第2層の黒褐色土層の2層に区分される。

遺物 (第177・239図、図版103・144)

図示したものに、縄文土器がある。

本住居址の所産期は、縄文時代前期初頭に比定される。

(15) J15号住居址

遺構 (第8・27図、図版5)

V-E5、F4・5グリッドに位置する。他遺構との重複関係はない。

東西372cm、南北384cmを測り、平面プランは、やや不整な円形プランを呈する。

南北軸の方位は、N-7°-Wを示す。確認面からの壁高は、4～12cmを測る。

炉址は、住居址中央部やや南西寄りに位置する。安山岩質の礫などをを用いた石囲炉である。

柱穴は、壁に沿って位置する壁柱穴の形式である。

住居址覆土は2層に区分されるが、大半を第1層の黒色土層が占める。

遺物 (第153・155・177・236・264図、図版81・103・140・143)

図示したものに、縄文土器、土製品、翡翠がある。土製品は、土製円板である。このほか、図示できなかったが、瑪瑙製の垂飾が1点出土している (巻頭図版3)。

出土土器には時間巾が認められるため、本住居址の所産期については断定できないが、ここでは、一応、縄文時代晩期中葉と考えておきたい。

(16) J16号住居址

遺構 (第7・28図、図版6)

I-B・C5・6グリッドに位置する。第6号竪穴状遺構と重複関係を有し、第6号竪穴状遺構を切って構築されている。

東西490cm、南北524cmを測り、平面プランは、隅丸台形を呈する。

南北軸の方位は、N-12°-Wを示す。確認面からの壁高は、6~12cmを測る。

炉址は、住居址中央部北寄りに位置する。地山を15~20cm掘り込んだ地床炉である。

ビットは、壁柱穴をはじめ多数検出されたが、主柱穴については明確でない。

住居址覆土は、黒色土層1層である。

遺物 (第177図、図版103・143)

図示したものに、縄文土器がある。

本住居址の所産期は、縄文時代前期中葉に比定される。

(17) J17号住居址

遺構 (第23図、図版4)

XI-I・J5グリッドに位置する。J11号住居址と重複関係を有し、J11号住居址に切られている。

東西・南北ともに残存部で各々384cm、550cmを測り、平面プランは、おそらく、不整な隅丸長方形を呈するものと思われる。

南北軸の方位は、N-50°-Wを示す。確認面からの壁高は、20~23cmを測る。

ビットは、壁柱穴が検出されたが、J11号住居址に切られていることもあり、主柱穴については明確でない。また、炉址も残存部においては確認されなかった。

住居址覆土は、黒色土層1層である。

遺物 (第239図、図版144)

図示し得たものに黒曜石製の石鏃2点がある。

本住居址の所産期は、重複関係からするとJ11号住居址より遅るものの、他の遺構・グリッド遺物から推して、縄文時代前期初頭~前半に位置付けられるものと考えられる。

(18) J18号住居址

遺構 (第8・29図、図版6)

V-C・D3・4グリッドに位置する。J10号住居址、第174・175・177・227号土坑と重複関係を有し、J10号住居址、第174・175・177・227号土坑により切られている。

東西560cm、南北は残存部で542cmを測り、平面プランは、東西にやや長い楕円形を呈する。

南北軸の方位は、N-6°-Wを示す。確認面からの壁高は、3~19cmを測る。

炉址は、住居址ほぼ中央部やや南寄りに位置する。安山岩質の礫を用いた石囲炉である。

ピットは、壁柱穴をはじめ多数検出されたが、主柱穴については明確でない。

住居址覆土は、黒色土(7.5YR2/1)層1層である。

遺物(第155・178・264・270図、図版74・81・104・143・145・190・195・198・199)

図示したものに、縄文土器、骨角器、翡翠原石がある。

骨角器は2点出土しており、いずれもヘアピンである。

本住居址の所産期は、縄文時代後期中葉に比定される。

(19) J19号住居址

遺構(第8・30図、図版6)

V-E 6・7グリッドに位置する。J31号住居址と重複関係を有し、J31号住居址を切って構築されている。

東西362cm、南北312cmを測り、平面プランは、円形を呈する。なお、住居址内において敷石が部分的に認められたことから、柄鏡形の敷石住居址の可能性も考えられる。

南北軸の方位は、N-15°-Wを示す。確認面からの壁高は、0~28cmを測る。

炉址は、住居址ほぼ中央部に位置する。おそらく、石囲炉であったものと思われる。ピットは、壁柱穴をはじめ多数検出されたが、主柱穴については明確でない。住居址覆土は、黒色土層1層である。

遺物(第155・178~180・236・264・266・269図、図版81・104~106・140・145・192・194・198)

図示したものに、縄文土器、石器、石製品、土製品がある。

石器は、河床礫を加工した石錘と砥石である。石製品は、チャート製の垂飾で両面から穿孔される。

本住居址の所産期は、縄文時代後期中葉に比定される。

(20) J21号住居址

遺構(第8・31図、図版7)

V-E・F 7・8グリッドに位置する。

柄鏡形の敷石住居址であったと思われるが、第2・4号石棺墓などの構築により、柄にあたる部分が壊されたものと考えられる。

東西316cm、南北306cmを測り、南北軸の方位は、N-1°-Eを示す。

敷石部分は全面にわたっておらず、炉を挟んだ南北部分及び北西部において認められた。

炉址は、住居址ほぼ中央部に位置する。安山岩質の礫を用いた石囲炉で、平面形は五角形気味

となる。

確認面からの壁高は、14～20cmを測り、壁は比較的なだらかに立ち上がる。
住居址覆土は、黒色土層と黒褐色土層の2層に区分される。

遺物 (第156・180・236図、図版82・106・140)

図示したものに、縄文土器、土製品がある。

土製品は、土製円板1点である。

本住居址の所産期は、縄文時代後期前葉に比定される。

(21) J22号住居址

遺構 (第9・32図、図版7)

V-G・H2・3グリッドに位置する。他遺構との重複関係はない。

東西608cm、南北596cmを測り、平面プランは、東西に長い楕円形を呈する。

南北軸の方位は、N-3°-Wを示す。

炉址は、住居址ほぼ中央部に位置する。安山岩質の礫を用いた石囲炉である。

ビットは、径15cm前後のものと同径40cm前後のものに大別され、後者が主柱穴と考えられる。

住居址覆土は、2層に区分されるが、大半を第1層の黒色土層が占める。

遺物 (第156・180・181・232図、図版82・106・107・135・145・195)

図示したものに、縄文土器、弥生土器、土製品がある。

土製品は、耳飾が1点出土している。弥生土器 (第181図16) は、後期の箱清水式土器甕の肩部破片である。

本住居址の所産期は、出土土器に年代巾があるため、いま一つ明確でないが、一応、縄文時代後期中葉もしくは晩期中葉と考えておきたい。

(22) J23号住居址

遺構 (第9図)

V-E7グリッドに位置する。J19・J31号住居址、第5号石棺墓と重複し、J19・J31号住居址、第5号石棺墓に切られているものと思われる。

石囲炉を検出したにとどまり、全体のプラン・規模は不明である。

炉址には、安山岩質の礫が用いられていた。

遺物 (第156・181図、図版82・107)

図示したものに、縄文土器がある。

本住居址の所産期は、縄文時代後期前葉～中葉に比定される。

⑳ J24号住居址

遺構（第9・33図、図版7・74）

XI-A3グリッドに位置する。他遺構との重複関係はない。

東西426cm、南北474cmを測り、平面プランは、おそらく、南北に長い楕円形を呈するものと思われる。

南北軸の方位は、N-12°-Wを示す。

炉址は、住居址ほぼ中央部に位置する。径15cm前後の河床礫を用いた石囲炉で、平面プランは長方形を呈する。

ピットは、壁柱穴が主体となるものと思われる。また、住居址西部では粗製の深鉢を用いた埋甕が認められた。住居址覆土は、黒色土層1層である。

遺物（第157・182・232・236図、図版83・108・145・186）

図示したものに、縄文土器、土製品がある。縄文土器のうち、第157図1は埋甕に用いられていた粗製の深鉢である。土製品には、土製門板1点と耳飾3点がある。

本住居址の所産期は、縄文時代晩期前葉に比定される。

㉑ J25号住居址

遺構（第10・34図、図版8）

VII-G・H10グリッドに位置する。他遺構との重複関係はない。

東西335cm、南北305cmを測り、平面プランは、不整な円形を呈するが、柄鏡形を呈する可能性もある。

南北軸の方位は、N-4°-Eを示す。確認面からの壁高は、23～40cmを測る。

住居址床面には、部分的に鉄平石・扁平な河床礫を用いた敷石部が認められた。

炉址は、住居址ほぼ中央部に位置する。土器を埋設した埋甕炉である。

ピットは、壁柱穴が主体となるものと思われる。

住居址覆土は4層に区分され、自然堆積と考えられる。

遺物（第158・159・182・269図、図版83・84・108・145・190・194）

図示したものに、縄文土器、石製品がある。石製品は石鏃である。

本住居址の所産期は、縄文時代後期前葉に比定される。

(25) J 26号住居址

遺構 (第9・35図、図版8)

Ⅶ-I・H・I 9・10グリッドに位置する。

敷石住居址で、残存部は東西238cm、南北154cmを測る。敷石下に深い掘り込みが認められたが関連は不明である。南北軸の方位は、N-11°-Wを示す。

炉址は、住居址ほぼ中央部に位置したと思われる。石囲炉の可能性が強いが、炉石は一部残されていたにすぎない。

住居址覆土は、黒色土層1層で、確認面からの壁高は、4~12cmを測る。

なお、ピットは東・西壁中央部で各1基検出された。

遺物 (第158・159・183・232・236図、図版84・85・109・135・140・186)

図示したものに、縄文土器、土製品がある。土製品は、土製円板、耳飾各1点である。

本住居址の所産期は、縄文時代後期前葉に比定される。

(26) J 27号住居址

遺構 (第10・36図、図版8)

Ⅸ-A・B 4グリッドに位置する。他遺構との重複関係はない。

東西553cm、南北618cmを測り、平面プランは、おそらく、南北に長い楕円形を呈するものと思われる。南北軸の方位は、N-7.5°-Wを示す。

炉址は、住居址ほぼ中央部に位置する。安山岩質の礫を用いた石囲炉である。

ピットは、壁柱穴が主体をなすものと考えられる。

住居址覆土は、黒色土層1層で、確認面からの壁高は、3~4cm前後である。

遺物 (第159・183・236図、図版85・109・140・145)

図示したものに、縄文土器、土製品がある。

土製品には、土製円板3点がある。

本住居址の所産期は、縄文時代晩期前葉に比定される。

(27) J 28号住居址

遺構 (第11・37図、図版9)

V-G 4・5、H 4グリッドに位置する。第230号土坑と重複関係を有し、第230号土坑により切られている。また、南側は暗渠により壊されている。

東西425cm、南北452cmを測り、平面プランは、不整な楕円形を呈するものと思われる。

南北軸の方位は、N-44°-Wを示す。確認面からの壁高は、13cm前後である。

炉址は、住居址は中央部に位置する。安山岩質の礫を用いた石囲炉である。

ピットは、壁柱穴が主体をなすものと考えられる。

住居址覆土は、黒色土(10YR2/1)層1層である。

遺物(第159・183・184・235・236・264・268・269図、図版85・109・110・139・140・145~147・186・190・192・194・195・197)

図示したものに、縄文土器、土製品、石器がある。石器は、石剣と石鏃である。

土製品には、スプーンがある。また、第159図6は、円筒状を呈するもので、外面に刺突文を施す。土製品の可能性があるが、一応、土器実測図に含めた。

本住居址の所産期は、縄文時代晩期中葉に比定される。

(28) J 29号住居址

遺構(第10・38図、図版9)

V-H・I 2・3グリッドに位置する。第204号土坑と重複関係を有し、第204号土坑により切られている。

東西580cm、南北588cmを測り、平面プランは、楕円形を呈する。

南北軸の方位は、N-5.5°-Wを示す。

炉址は、住居址は中央部に位置する。安山岩質の礫を用いた石囲炉である。

ピットは、壁柱穴が主体をなすものと考えられる。

住居址覆土は、黒色土(10YR2/1)層1層である。

遺物(第184図、図版110・147・186)

図示したものに、縄文土器がある。

出土土器には、年代巾が認められるが、本住居址の所産期は、一応、縄文時代後期前葉もしくは晩期前葉と考えておきたい。

(29) J 30号住居址

遺構(第11図)

V-D 7グリッドに位置する。J 31号住居址と重複関係を有し、おそらく、J 31号住居址に切られていたものと思われるが、全体のプランを確認できず、炉の検出にとどまった。

炉址は、安山岩質の礫を用いた石囲炉である。なお、ピットは検出されなかった。

遺物(第185図、図版111)

図示したものに、縄文土器がある。

本住居址の所産期は、縄文時代後期中葉に比定される。

30) J 31号住居址

遺構 (第39図、図版9)

V-D・E 6・7グリッドに位置する。J 19・J 30号住居址、第211・213号土坑と重複関係を有し、J 30号住居址を切り、J 19号住居址、第211・213号土坑により切られている。

東西420cm、南北328cmを測り、平面プランは、隅丸方形を呈する。

南北軸の方位は、N-12.5°-Wを示す。確認面からの壁高は、5~12cmを測る。

炉址は、住居址中央部に位置していたものと思われるが、第211号土坑に切られているため不明である。住居址覆土は、黒色土層1層である。

遺物 (第160・185図、図版86・111)

図示したものに、縄文土器がある。

本住居址の所産期は、縄文時代後期前葉~中葉に比定される。

31) J 32号住居址

遺構 (第11・40図、図版10)

VIII-G 10、H 9・10グリッドに位置する。第250・340・351・361号土坑と重複関係を有し、第250・340・351・361号土坑に切られている。

東西508cm、南北647cmを測る。柄鏡形の敷石住居址と考えられるが、敷石は張出部に認められたのみである。南北軸の方位は、N-11°-Wを示す。

炉址は、住居址南部の張出部近くに位置する。安山岩質の礫を用いた石囲炉である。

ピットの大半は、壁柱穴である。また、径30~40cmを測るピットは、主柱穴と考えられる。

住居址覆土は、3層に区分され、確認面からの壁高は、0~28cmを測る。

遺物 (第160・185・186・229・232・235・236図、図版86・111・112・132・135・139・140・147・186・187・190・194・195)

図示したものに、縄文土器、土製品がある。

土製品には、土偶、土製円板各1点、耳飾2点がある。

本住居址の所産期は、出土土器に年代巾が認められるものの、一応、縄文時代後期後葉に比定しておく。

32) J 33号住居址

遺構 (第39図、図版10)

VII-I・J 8・9 グリッドに位置する。西側部分を自然流路により壊されている。

東西・南北とも残存部で各々176cm、421cmを測り、平面プランは、不整な円形を呈するものと思われる。

南北軸の方位は、N-12°-Wを示す。確認面からの壁高は、44~50cmを測る。

炉址は、精査にもかかわらず、確認されなかった。

ピットは、総計2基検出された。

住居址覆土は、3層に区分され、自然堆積と考えられる。

遺物 (第160~163・264図、図版86~89・147)

図示したものに、縄文土器、瑠璃製垂飾がある。

本住居址の所産期は、縄文時代後期前葉に比定される。

(33) J 34号住居址

遺構 (第41図、図版11)

VIII-H 9、I 8・9 グリッドに位置する。第516号土坑と重複関係を有し、第516号土坑に切られている。また、住居址西側を自然流路に切られている。

東西は残存部で400cm、南北596cmを測り、平面プランは、不整形を呈する。

南北軸の方位は、N-11.5°-Eを示す。確認面からの壁高は、0~16cmを測る。

住居址中央部分では、敷石が認められ、敷石住居であった可能性がある。

ピットは、住居址東部で壁柱穴が確認されたにとどまり、西側では明確でない。

なお、炉址は検出されなかった。

遺物 (第164・186・187・231図、図版90・112・113・139・147・148・190・194)

図示したものに、縄文土器、土製円板がある。

本住居址の所産期は、出土土器片に年代巾が認められるが、一応、縄文時代後期後葉と考えておきたい。

(34) J 37号住居址

遺構 (第42図、図版11)

V-I・J 3・4 グリッドに位置する。第203・236~238・242・245号土坑と重複関係を有し、第203・236~238・242・245号土坑により切られている。

東西470cm、南北486cmを測り、平面プランは、楕円形を呈する。

南北軸の方位は、N-10°-Eを示す。

炉址は、住居址中央部に設置されていたものと思われるが、土坑に切られているため、不明で

ある。

ビットは、壁柱穴と考えられるものをはじめ多数検出された。このうち、径40cm前後を測るのが主柱穴と考えられる。

住居址覆土は、黒色土(10YR2/1)層1層である。

遺物(第164・188・268図、図版90・114・148・192・195)

図示したものに、縄文土器、石器がある。

本住居址の所産期は、縄文時代晩期中葉に比定される。

(35) J 38号住居址

遺構(第43図、図版11)

V-I・J 4・5 グリッドに位置する。第222・228号土坑と重複関係を有し、第222・228号土坑により切られている。

東西406cm、南北470cmを測り、平面プランは、楕円形を呈する。

南北軸の方位は、N-13°-Wを示す。

炉址は、住居址中央部に設置されていたものと思われるが、土坑に切られているため、不明である。

ビットは、壁柱穴が主体になるものと思われる。

住居址覆土は、黒色土(10YR2/1)層1層である。

遺物(第188図、図版114・148)

図示したものに、縄文土器がある。

本住居址の所産期は、縄文時代晩期中葉に比定される。

(36) J 39号住居址

遺構(第44図、図版12)

W-F・G 1・2 グリッドに位置する。第515号土坑と重複関係を有し、第515号土坑により切られている。

東西512cm、南北は残存部で332cmを測る。柄鏡形の敷石住居址の可能性が強いが、一部で敷石が認められたのみで、張出部の存在についても不明である。

南北軸の方位は、N-38°-Eを示す。

炉址は、石囲炉であったと思われるが、一部に炉石が残るのみであった。

住居址覆土は、黒褐色土層1層である。

なお、ビットは、総計6基検出された。主柱穴配置でなく、壁柱穴を巡らせている。

遺物 (第164・165・188・236・269図、図版90・91・114・140・148・194)

図示したものに、縄文土器、土製品、石器がある。石器は石鏃である。

土製品には、土製円板1点がある。

本住居址の所産期は、縄文時代後期前葉に比定される。

(37) J 40号住居址

遺構 (第12・45図、図版12)

XII-J 10、XIV-J 1 グリッドに位置する。J 44号住居址、第482・502号土坑と重複関係を有し、J 44号住居址を切り、第432・502号土坑に切られている。

東西398cm、南北391cmを測る。杢筒形の敷石住居址の可能性が強く、住居址北部で鉄平石の敷設が認められたが、張出部については不明である。

炉址は、住居址ほぼ中央部に位置する。安山岩質の礫を炉石に用い、内部に土器 (第167図3) を埋設した石囲埋燗炉である。

ピットは、總計13基検出された。主柱穴配置でなく、壁柱穴を巡らせている。

住居址覆土は、2層に区分され、確認面からの壁高は、16～37cmを測る。

遺物 (第165～167・188・189・268図、図版91～93・114・115・134・148・190・192・195)

図示したものに、縄文土器、石器がある。石器は、石剣である。

本住居址の所産期は、縄文時代後期前葉に比定される。

(38) J 41号住居址

遺構 (第46図、図版12)

XI-A・B 1、XX-A・B 10グリッドに位置する。他遺構との重複関係はない。

東西544cm、南北614cmを測り、平面プランは、不整な円形を呈する。

南北軸の方位は、N-15.5°-Eを示す。確認面からの壁高は、8～32cmを測る。

炉址は、精査にもかかわらず、確認されなかった。

柱穴は、壁柱穴を巡らせている。また、住居址北西部で二重の周溝が認められたことから、拡張が行われた可能性が強い。

住居址覆土は、2層に区分されるが、第1層の黒色土層が大半を占める。

遺物 (第167・189・239図、図版93・115・144)

図示したものに、縄文土器、石器がある。

石器は3点出土しており、いずれも黒曜石製の石鏃である。

本住居址の所産期は、縄文時代前期後半に比定される。

(39) J 42号住居址

遺構 (第47図、図版13)

Ⅹ-C 9・10、D10グリッドに位置する。他遺構との重複関係はない。

東西322cm、南北300cmを測り、平面プランは、不整な円形を呈する。

南北軸の方位は、N-18°-Wを示す。確認面からの壁高は、8~40cmを測る。

か址は、精査にもかかわらず、確認されなかった。

柱穴は、壁柱穴が主体となる。また、住居址南東部で壁柱穴が二重に認められたことから、拡張が行なわれた可能性が強い。

住居址覆土は、3層に区分されるが、第1層の黒色土層が大半を占める。

遺物 (第167・239図、図版93・144・148)

図示したものに、縄文土器、石器がある。

縄文土器のうち、第167図1は、無文有孔浅鉢の底部である。

石器は2点出土しており、いずれも黒曜石製の石鏃である。

本住居址の所産期は、縄文時代前期後半に比定される。

(40) J 43号住居址

遺構 (第48図、図版13)

Ⅹ-C 9・10グリッドに位置する。第304・450号土坑と重複関係を有し、第304・450号土坑に切られている。

東西・南北とも残存部で各々428cm、185cmを測り、平面プランは、楕円形を呈するものと思われる。

南北軸の方位は、N-6°-Eを示す。確認面からの壁高は、0~20cm前後を測る。

炉址は、精査にもかかわらず、確認されなかった。

柱穴は、壁柱穴が主体となるものと思われる。

住居址覆土は、黒色土層1層である。

遺物

図示し得るものは皆無である。

本住居址の所産期は、重複関係から縄文時代後期と考えておきたい。

(41) J 44号住居址

遺構 (第12・49図、図版13)

ⅩI-J 10、ⅩV-J 1、ⅩVI-A 10、ⅩⅧ-A 1グリッドに位置する。J 40・J 45・J 46号住居址、H 4号住居址、第394・409・484・487・502・518号土坑と重複関係を有し、J 40・J 45号住居址、

H 4 号住居址、第394・409・484・487・502・518号土坑に切られている。

東西410cm、南北は残存部で437cmを測り、平面プランは、おそらく円形を呈するものと思われる。

南北軸の方位は、N-15°-Eを示す。確認面からの壁高は、13~25cm前後を測る。

炉址は、住居址ほぼ中央部に位置し、北部を第487号土坑により壊されている。土器を埋設した埋燬炉である。

柱穴は、壁柱穴が主体となるものと思われる。また、P₁・P₃は、規模などから推して、貯蔵穴的な機能を有するものかもしれない。

また、住居址北東部および北西部で、鉄平石が認められた。

住居址覆土は、2層に区分されるが、第1層の黒褐色土(10YR2/2)層が大半を占める。

遺物(第168・189図、図版94・115・148)

図示したものに、縄文土器がある。

本住居址の所産期は、縄文時代後期初頭に比定される。

(42) J 45号住居址

遺構(第50図)

XV-A10グリッドに位置する。J 44・J 46号住居址と重複関係を有し、J 44・J 46号住居址を切つて構築されている。敷石住居址の一部と考えられ、敷石部分は、東西140cm、南北は260cmを測る。

なお、炉址、ピットは検出されなかった。

遺物

図示し得るものは、皆無である。

本住居址の所産期は、重複関係および出土土器から縄文時代後期と考えておきたい。

(43) J 46号住居址

遺構(第12・51図、図版14)

XVI-A・B 9・10グリッドに位置する。J 44・J 45号住居址、H 4・H 5号住居址、第430・486号土坑と重複関係を有し、第430号土坑を切り、H 4・H 5号住居址、第486号土坑に切られている。また、J 44号住居址との関係は、いま一つ明確でないが、土器の様相からするとJ 44号住居址の方が古いといえる。

東西は残存部で536cm、南北488cmを測り、平面プランは、楕円形を呈する。

南北軸の方位は、N-6°-Eを示す。

炉址は、住居址ほぼ中央部に位置する。土器を埋設した埋燬炉で、東西の炉石の抜き取り痕と考えられるピットが認められたことから、石囲埋燬炉であった可能性もある。

ピットは、壁柱穴が主体となるものと思われる。

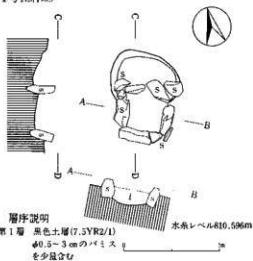
遺物 (第168図、図版94・148)

図示したものに、縄文土器がある。

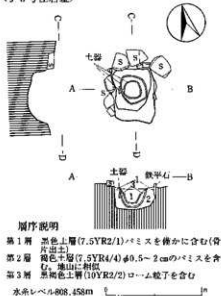
このうち、第168図1は、炉址に用いられた土器である。

本住居址の所産期は、縄文時代後期前葉に比定される。

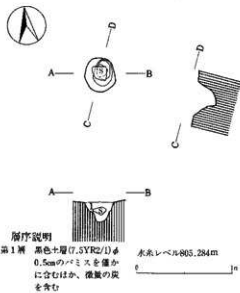
〈J1号住居址〉



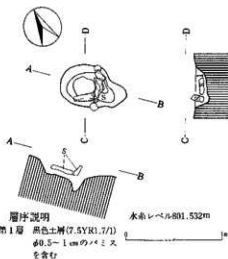
〈J3号住居址〉



〈J5号住居址〉

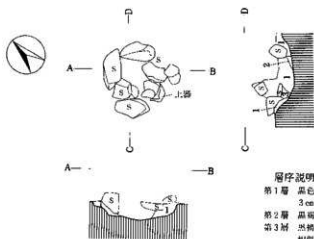


〈J11号住居址〉



第6図 J1・J3・J5・J11号住居址炉址実測図

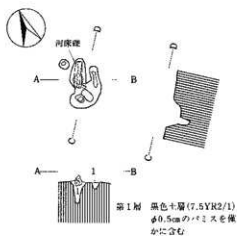
〈J10号住居址〉



水糸レベル4810.546m



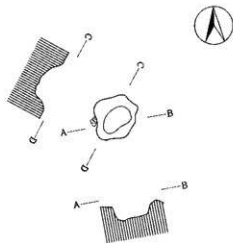
〈J12号住居址〉



水糸レベル802.732m



〈J16号住居址〉

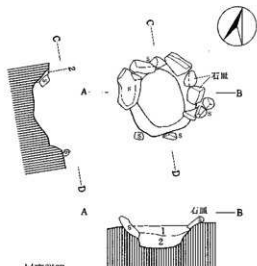


水糸レベル803.082m



第7図 J10・J12・J16号住居址が址実測図

<J15号住居址>

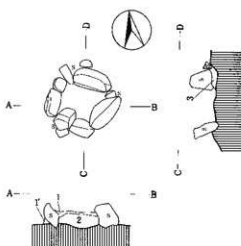


層序説明

- 第1層 黒色土層(10YR1.7/1)φ0.5~2cmのパミスを少々含む
 第2層 黒褐色土層(10YR3/1)ローム粒子を多く含むほか、竹片を含む

0 1m

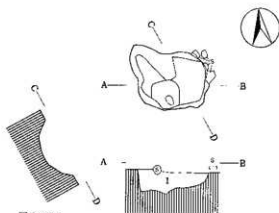
<J18号住居址>



層序説明

- 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~1cmのパミスを含む。住居址敷土に同じ
 第1'層 第1層に似るが、ローム粒子を含み、締っている
 第2層 灰白色土層(10YR8/2)灰質
 第3層 黒褐色土層(10YR2/2)ローム粒子を含む。砂質
 水深レベル810.896m 0 1m

<J19号住居址>

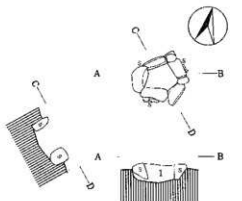


層序説明

- 第1層 黒色土層(10YR2/1)φ0.5~1cmのパミス、炭を含む

水深レベル811.496m 0 1m

<J21号住居址>



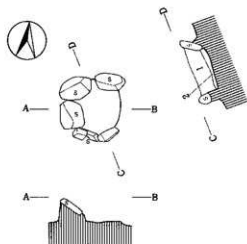
層序説明

- 第1層 黒色土層(10YR2/1)φ0.5~7cmのパミス、炭を含む

水深レベル810.258m 0 1m

第8図 J15・J18・J19・J21号住居址炉址実測図

<J 22号住居址>

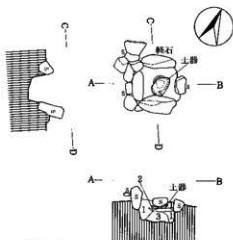


層序説明

- 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5cm前後のバミスを併かに含む
 第2層 黒褐色土層(10YR3/1)ローム粒子を多く含む

水糸レベル811.946m

<J 23号住居址>

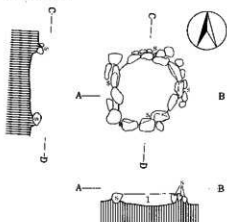


層序説名

- 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~1cmのバミスを少量含む
 第2層 褐色土層(10YR4/6)焼土、灰層
 第3層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~2cmのバミスのほか、ローム粒子を多く含む

水糸レベル810.596m

<J 24号住居址>

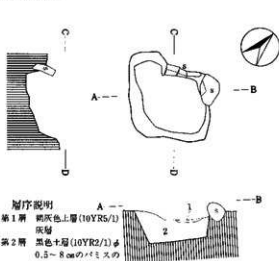


層序説明

- 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5cm前後のバミスのほか、併かに灰を含む

水糸レベル812.296m

<J 26号住居址>



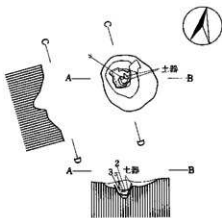
層序説明

- 第1層 銅灰色土層(10YR5/1)灰層
 第2層 黒色土層(10YR2/1)φ0.5~8cmのバミスのほか、炭、骨片を含む

水糸レベル811.946m

第9図 J 22~J 24・J 26号住居址炉址実測図

<J 25号住居址>

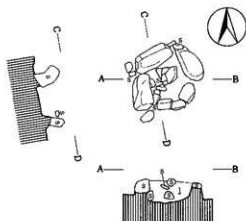


層序説明

- 第1層 黄褐色土層(7.5YR3/1)φ1~3cmのパミス、ローム
 粒子を含む
 第2層 黒色土層(7.5YR1.7/1)パミスをほとんど含まない
 第3層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5cmのパミスを含む

水糸レベル811.546m

<J 27号住居址>

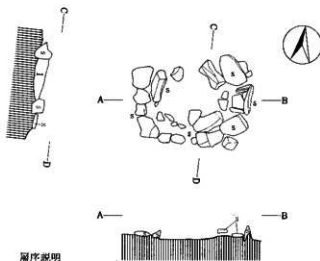


層序説明

- 第1層 黒色土層(10YR1.7/1)ローム粒子を含む。粘性あり

水糸レベル812.446m

<J 29号住居址>



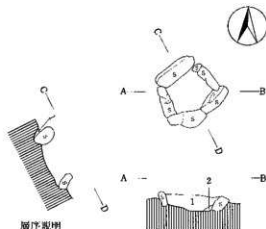
層序説明

- 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~1cmのパミスを含む

水糸レベル812.146m

第10図 J 25・J 27・J 29号住居址炉址実測図

<J28号住居址>



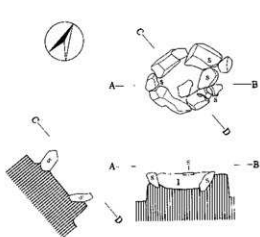
層序説明

第1層 黒色土層(7.5YR1.7/1)φ1cm前後のバミスを少量含む

第2層 黒色土層(10YR2/1)ローム粒を多く含むほか、骨片、炭をばかに含む

水深レベル811.546m

<J30号住居址>

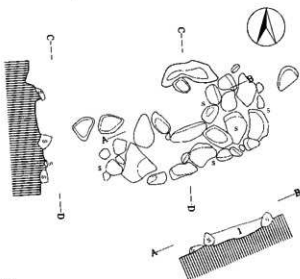


層序説明

第1層 黒色土層(10YR2/1)φ0.5cm前後のバミスを含む

水深レベル810.196m

<J32号住居址>



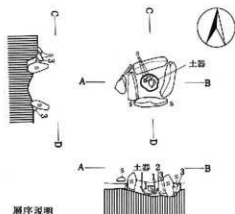
層序説明

第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~1.3cmのバミスのほか、骨片を含む

水深レベル815.722m

第11図 J28・J30・J32号住居址址実測図

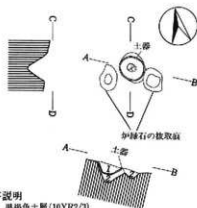
<J 40号住居址>



- 層序説明**
- 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)ローム殻子を僅かに含む。粘性強か
にある
- 第2層 赤褐色土層(5YR4/8)焼土層
- 第3層 黒褐色土層(10YR2/3)φ0.5mm前後のバリを含む。埋土

水深レベル819.024m

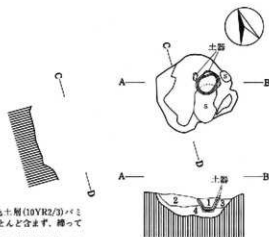
<J 46号住居址>



- 層序説明**
- 第1層 黒褐色土層(10YR2/3)
ローム殻子を含む。砂質
- 第2層 暗褐色土層(10YR3/4)
上部で焼土屑子を含む。
粘性強かにある

水深レベル819.857m

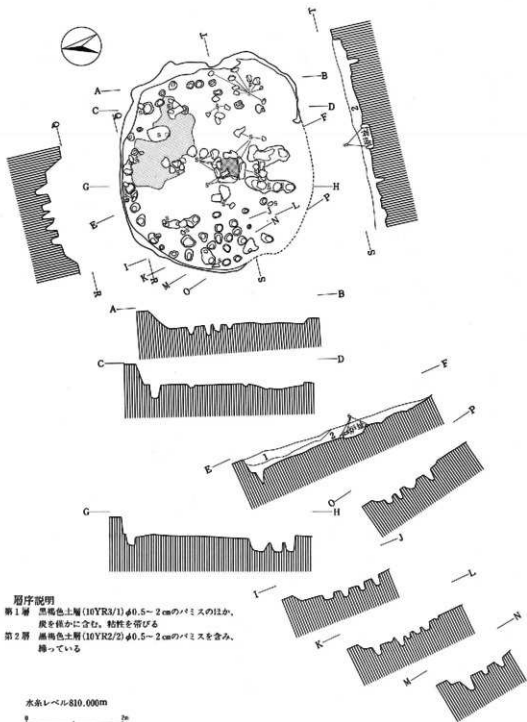
<J 44号住居址>



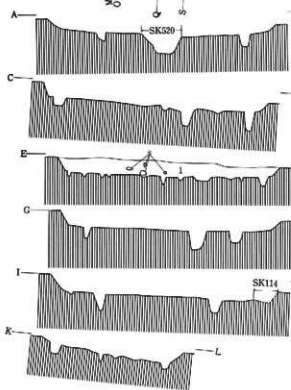
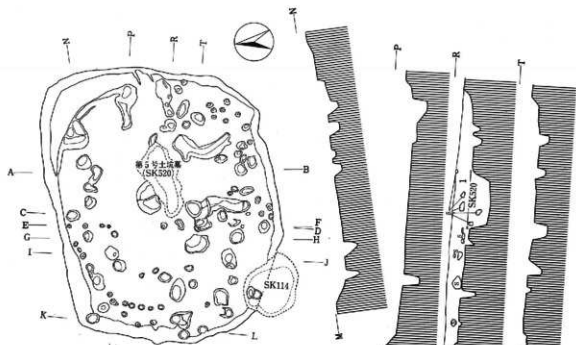
- 層序説明**
- 第1層 黒褐色土層(10YR2/3)バリ
スをほとんど含まず。締っ
ていない
- 第2層 黒褐色土層(10YR2/3)バリ
ス、焼土を僅かに含む
- 第3層 褐色土層(10YR4/6)焼土を
多量に含む
- 第4層 暗褐色土層(7.5YR3/4)バリ
スをほとんど含まず。焼土を
含む

水深レベル819.274m

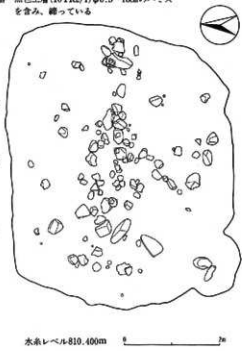
第12図 J 40・J 44・J 46号住居址炉址実測図



第13図 J 1号住居址実測図

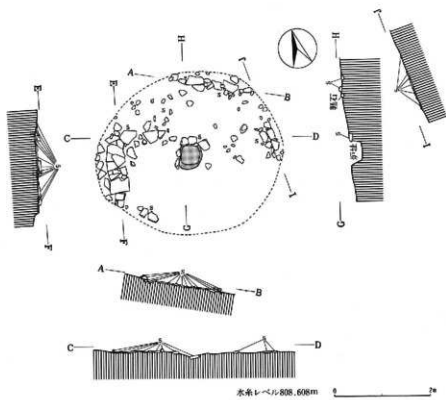


層序説明
 第1層 黒色土層(10YR2/1)φ0.5~16mmのハミス
 を含み、締っている

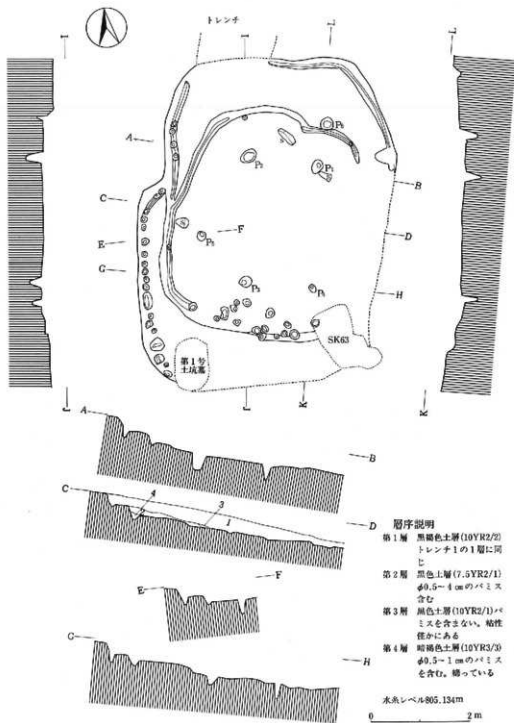


水準レベル810.400m 2m

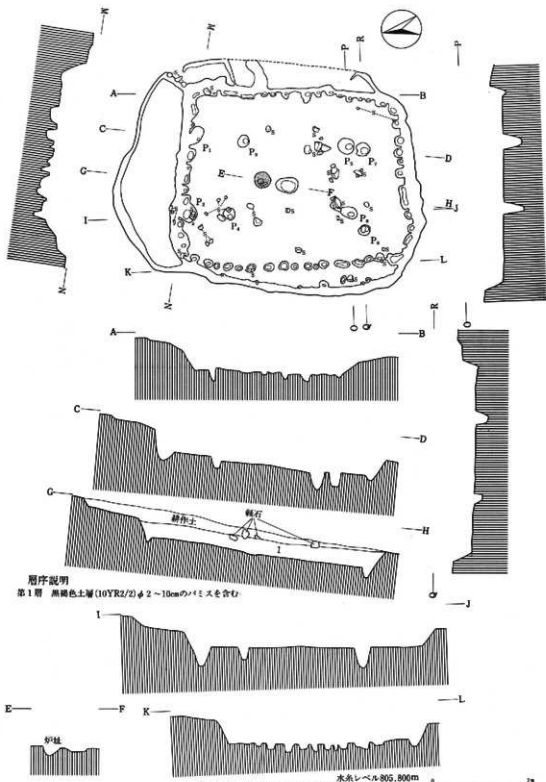
第14図 J2号住居址実測図



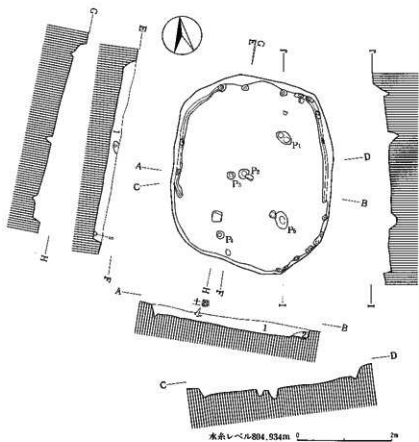
第15図 J 3号住居址実測図



第16図 J4号住居址実測図



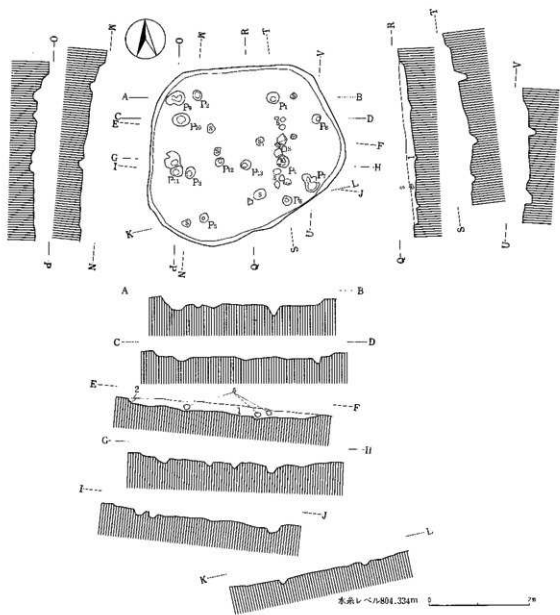
第17図 J5号住居址実測図



層序説明

- 第1層 黒褐色土層(10YR2/2) ϕ 0.2~10cmのバミスを含むが、 ϕ 0.2~2cmのものが顕著
 第2層 黒褐色土層(10YR3/2) ϕ 0.2~2cmのバミス、ローム粒子含む

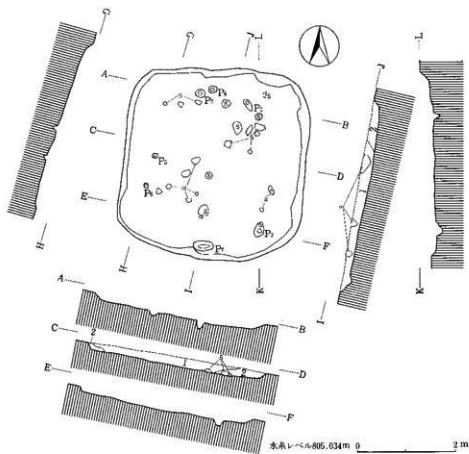
第18図 J 6号住居址実測図



層序説明

- 第1層 黒褐色土層 (10YR2/2) ϕ 0.5~10mmのバリミスと炭化物を備へに含む
 第2層 黄褐色土層 (10YR5/6) ロームブロック

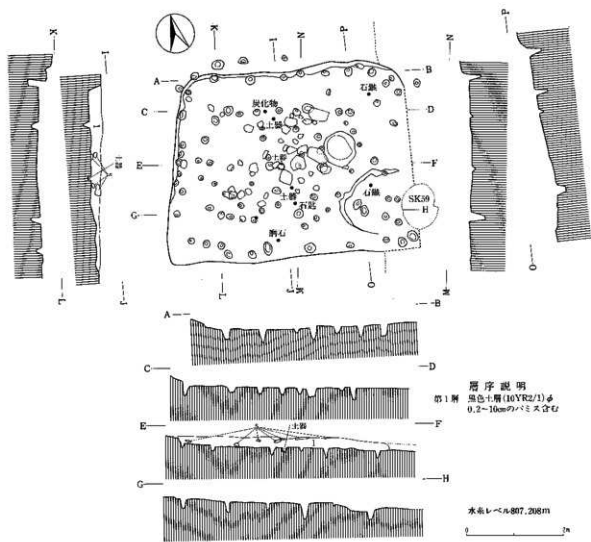
第191図 J7号住居址実測図



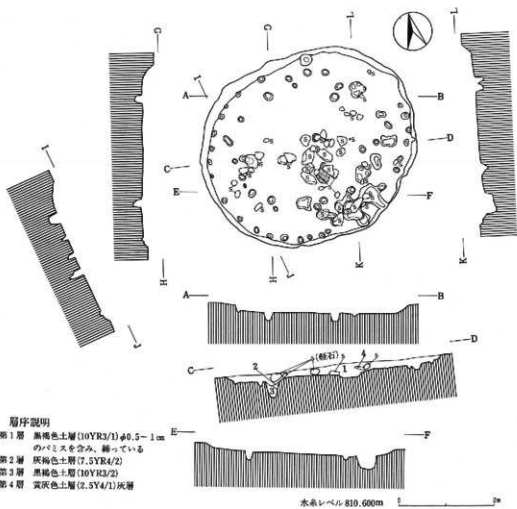
層序説明

- 第1層 黒色土層(10YR2/1)φ0.1~10mmのバミス含む。締っていない
 第2層 灰褐色土層(10YR2/2)φ0.1~6mmのバミスを多量に含む

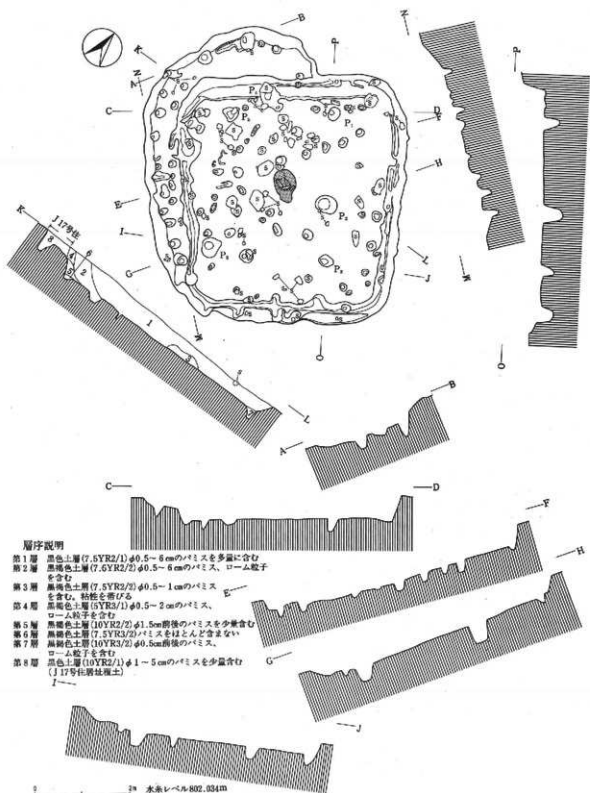
第20図 J8号住居址実測図



第21図 J9号住居址実測図



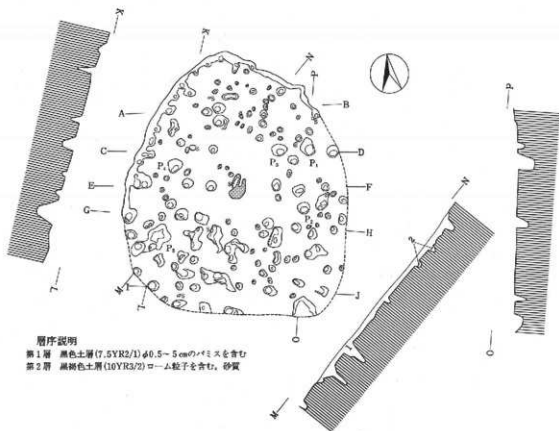
第22図 J10号住居址実測図



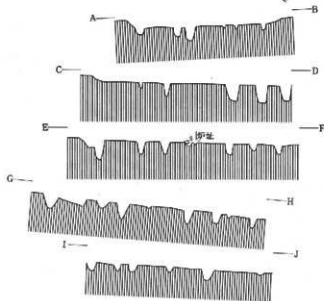
層序説明

- 第1層 褐色土層(7.5YR2/1)φ0.5-6cmのパリスを多量に含む
- 第2層 黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.5-6cmのパリス、ローム粒子を含む
- 第3層 黒褐色土層(7.5YR2/3)φ0.5-1cmのパリスを含む、粘性を帯びる
- 第4層 黒褐色土層(5YR3/1)φ0.5-2cmのパリス、ローム粒子を含む
- 第5層 黒褐色土層(10YR2/2)φ1.5cm前後のパリスを少量含む
- 第6層 黒褐色土層(7.5YR3/2)パリスをほとんど含まない
- 第7層 黒褐色土層(10YR3/2)φ0.5cm前後のパリス、ローム粒子を含む
- 第8層 褐色土層(10YR2/1)φ1-5cmのパリスを少量含む(J17号住居址覆土)

第23図 J11・J17号住居址実測図



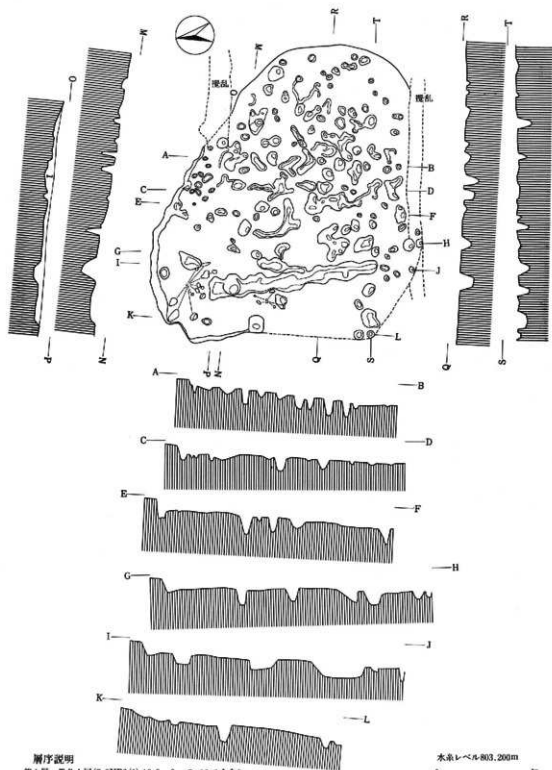
層序説明
 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5-5cmのノミスを含む
 第2層 黒褐色土層(10YR3/2)ローム粒子を含む、砂質



水糸レベルφ03.000m



第24図 J12号住居址実測図



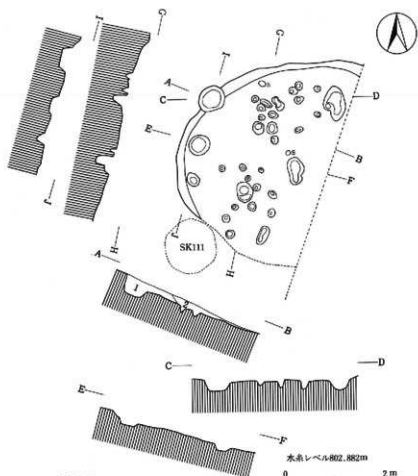
層序説明

第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5-3cmのハリスを含む

水糸レベル803.200m

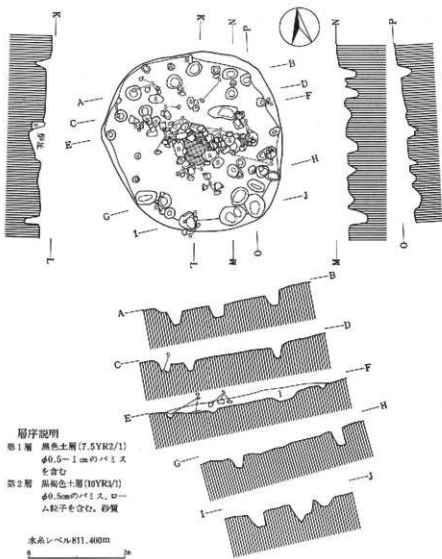
0 2m

第25図 J13号住居址実測図



層序説明
 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.2~4cmのハミスを多量に含む
 第2層 黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.2~2cmのハミスを多量に含む

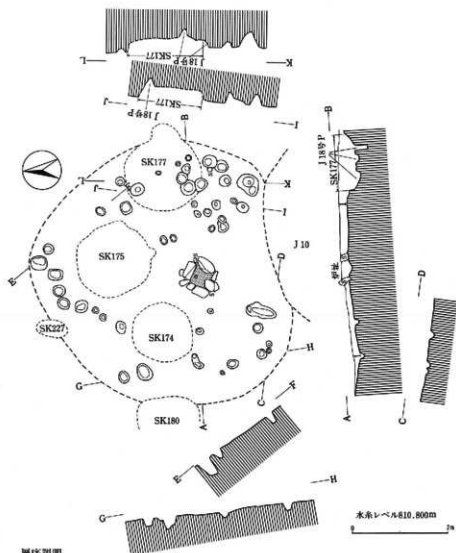
第26図 J14号住居址実測図



第27図 J15号住居址実測図



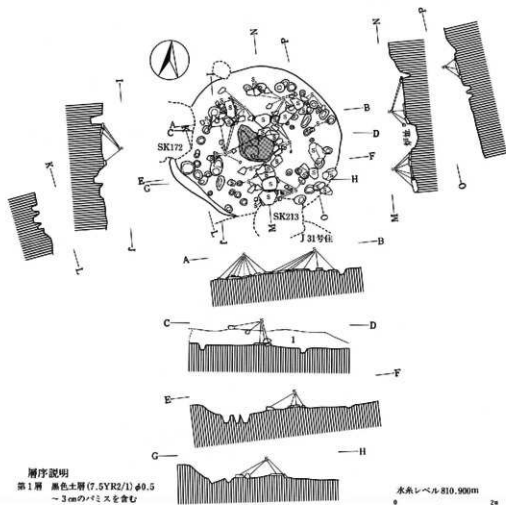
第28図 J16号住居址実測図



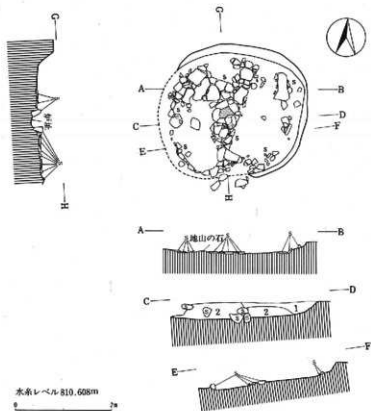
層序説明

第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5-3cmのベリスを含む

第29図 J18号住居址実測図



第30図 J 19号住居址実測図

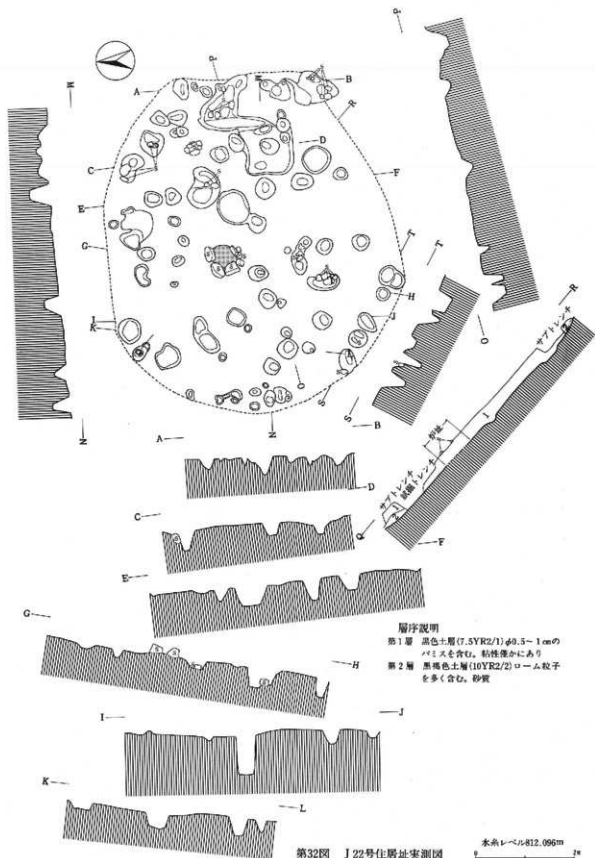


層序説明

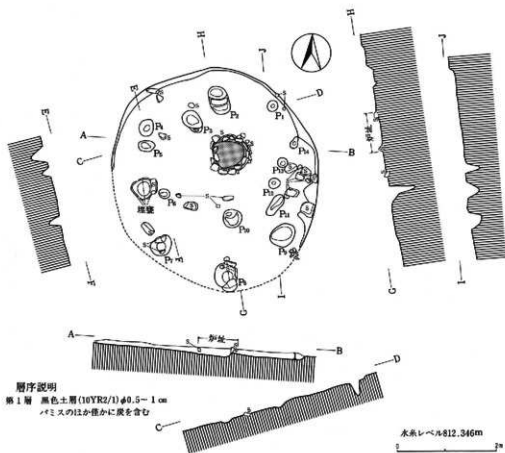
第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5-3cmのバミスを含む

第2層 黒褐色土層(7.5YR3/2)φ5-15cmのバミスを多量に含む

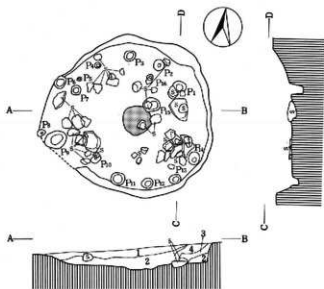
第31図 J21号住居址実測図



第32図 J22号住居址実測図



第33図 J24号住居地実測図

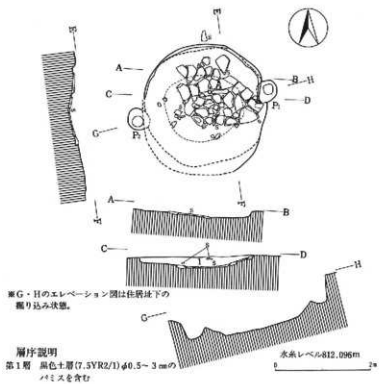


層序説明

- 第1層 黒色土層(10YR2/1)φ0.3-7cmのパミスを含む
- 第2層 黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.3-4cmのパミス、ローム粒子を含み、固く締っている 本表レベル812.046m
- 第3層 黒褐色土層(7.5YR3/2)φ0.3-1cmのパミス、ローム粒子を含み、固く締っている
- 第4層 灰黄褐色土層(10YR4/2)φ0.3-1cmのパミスと地山に相似のローム粒子を含む

0 2m

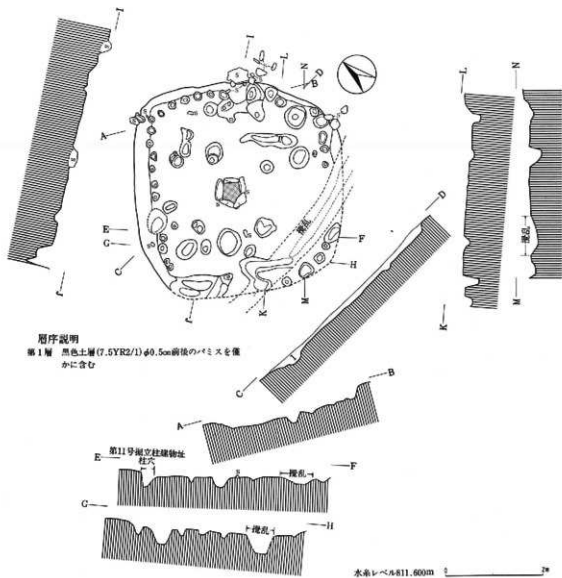
第34図 J25号住居址実測図



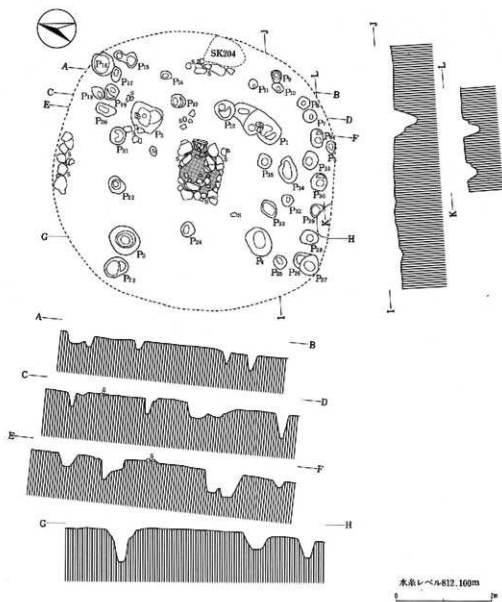
第35図 J26号住居址実測図



第36図 J27号住居址実測図

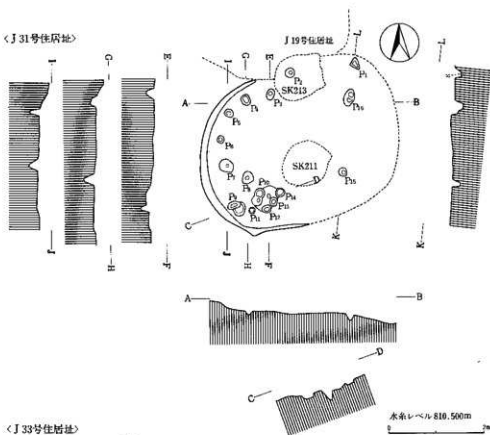


第37図 J28号住居址実測図

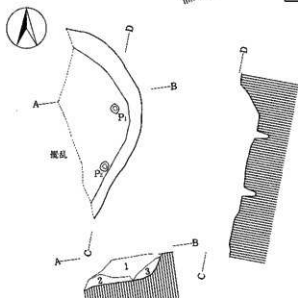


第38図 J29号住居址実測図

〈J31号住居址〉



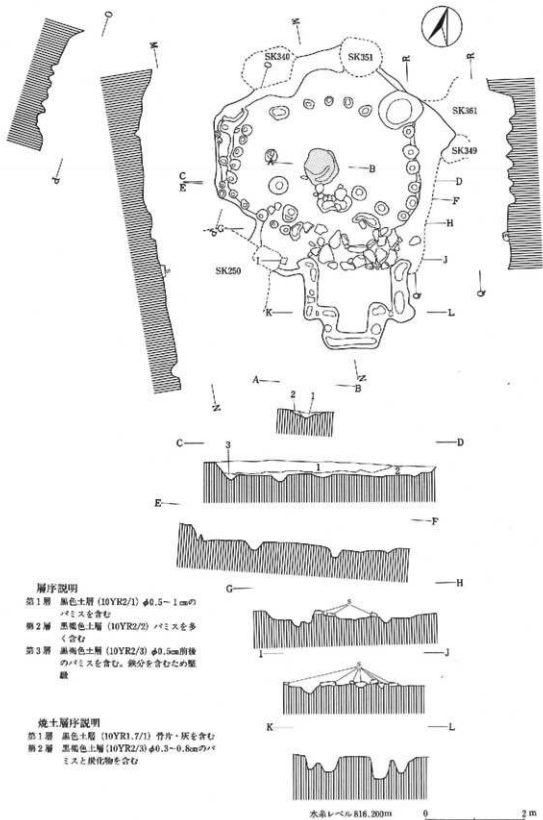
〈J33号住居址〉



層序説明

- 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.3~1.5cmのパミスを多く含み、締っている
 第2層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3~8cm前後のパミスを多く含み、締っている
 第3層 紅褐色土層(7.5YR2/3)φ1cm前後のパミス、ローム粒丁合せ
 水準レベル816.713m

第39図 J31・J33号住居址実測図



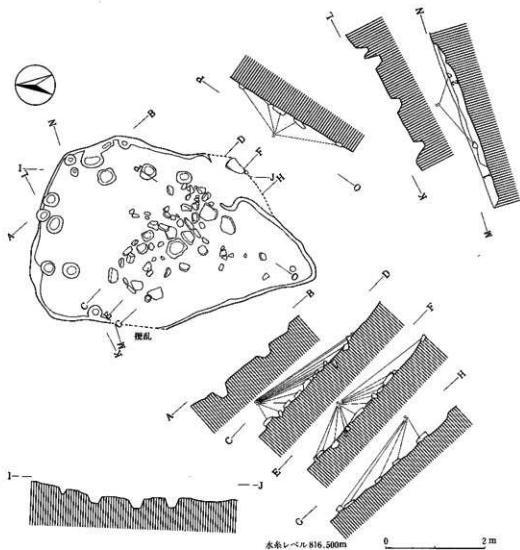
層序説明

- 第1層 黒色土層 (10YR2/1) ϕ 0.5-1cmの
パミスを含む
- 第2層 黒褐色土層 (10YR2/2) パミスを多く
含む
- 第3層 黒褐色土層 (10YR2/3) ϕ 0.5cm前後
のパミスを含む。鉄分を含むため
磁鉄

焼土層序説明

- 第1層 黒色土層 (10YR1.7/1) 骨片・灰を含む
- 第2層 黒褐色土層 (10YR2/3) ϕ 0.3-0.5cmのパ
ミスと炭化物を含む

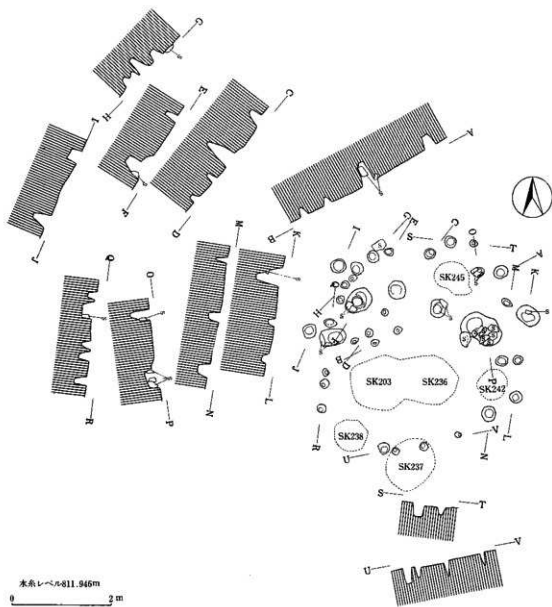
第40図 J32号住居址実測図



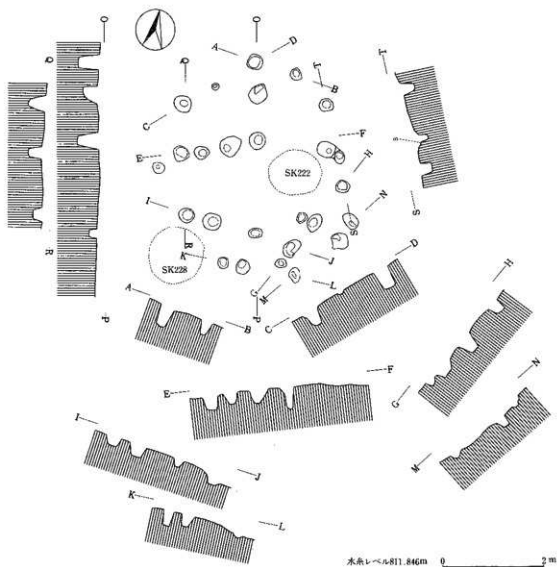
層序説明

- 第1層 赤褐色土層(7.SYR2/2) ϕ 0.3~1.5cmのパミス、 ϕ 0.5~1cmの礫を含み、強く締っている
 第2層 黒色土層(7.SYR2/1) ϕ 0.3~2.5cmのパミス、 ϕ 0.5~1cmの礫を含み、強く締っている

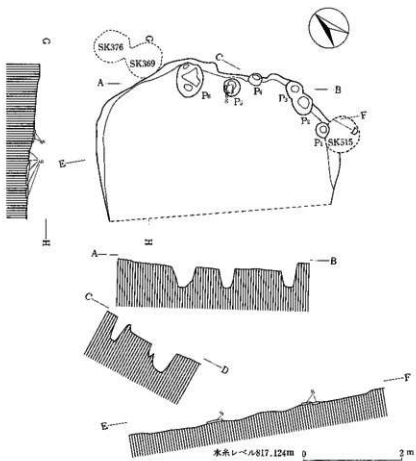
第41図 J34号住居址実測図



第42図 J37号住居址実測図

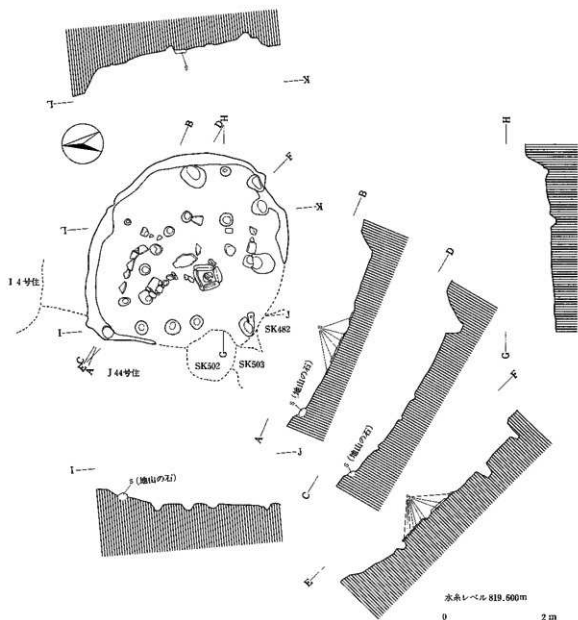


第43図 J38号住居址実測図

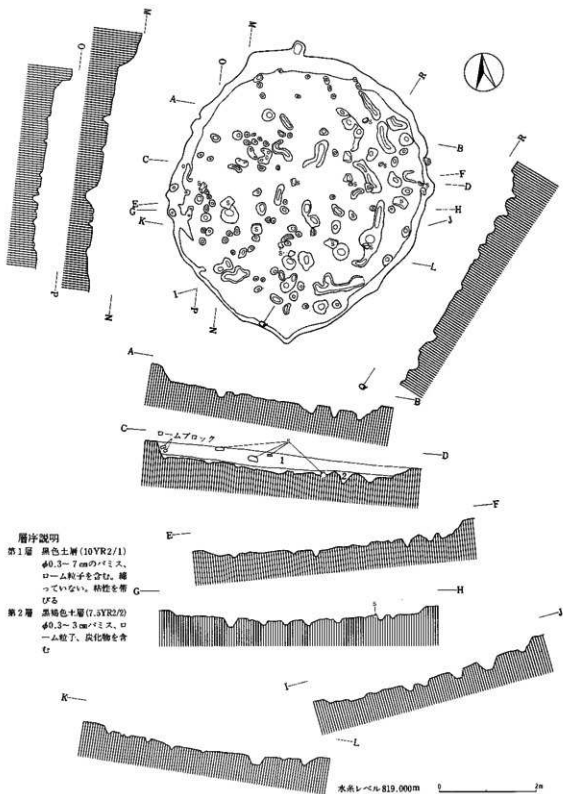


ピット覆土
 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-5cmのパミスを含む。砂質

第44図 J39号住居址実測図



第45図 J40号住居址実測図



層序説明

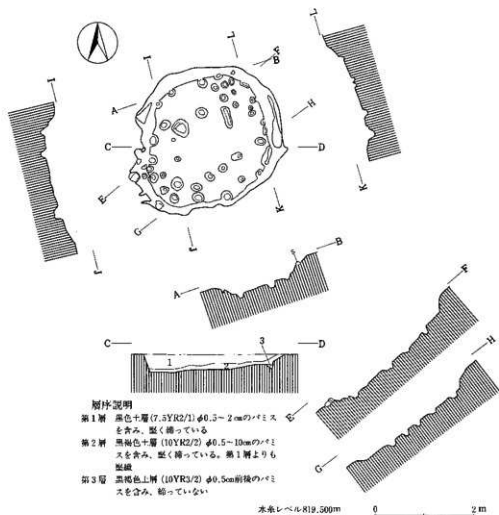
第1層 黒色土層(10YR2/1)

φ0.3-7cmのバミス、
ローム粒子を含む。締
っていない。粘粒を帯
びる

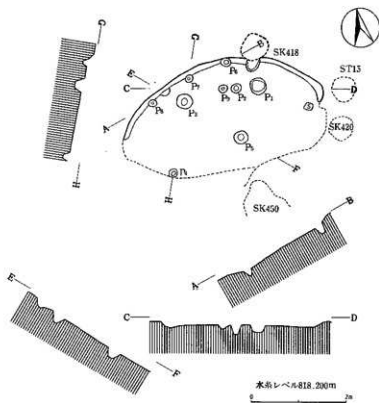
第2層 黒褐色土層(7.5YR2/2)

φ0.3-3cmバミス、ロ
ーム粒了、炭化物を含
む

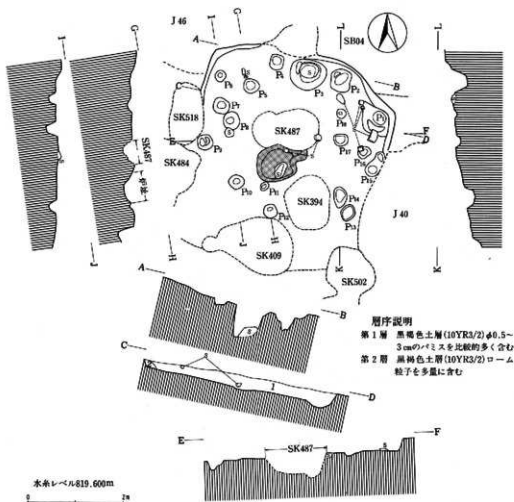
第46図 J41号住居址実測図



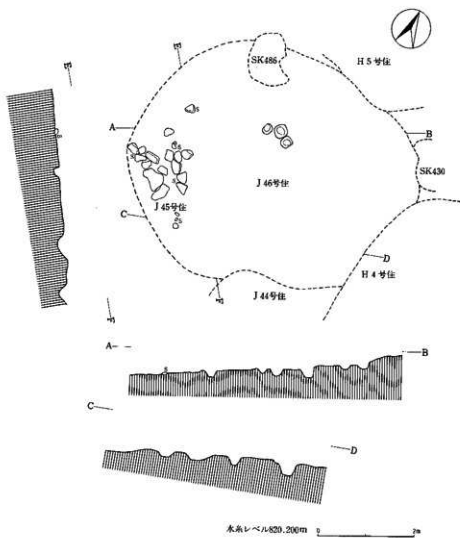
第47図 J42号住居址実測図



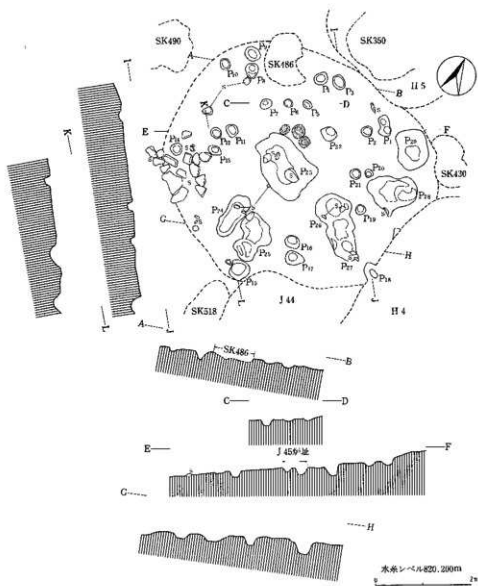
第48図 J43号住居址実測図



第49図 J 44号住居址実測図



第50図 J45号住層址実測図



第51図 J46号住居址実測図

2 平安時代住居址

(1) H1号住居址

遺構 (第52図、図版14)

試掘調査時の工事中に検出されたもので、東西368cm、南北350cmを測り、平面プランはやや不整な隅丸方形プランを呈する。南北軸の方位は、N-16°-Eを示す。

確認面からの壁高は、10~30cmを測り、壁は比較的緩やかに立ち上がる。

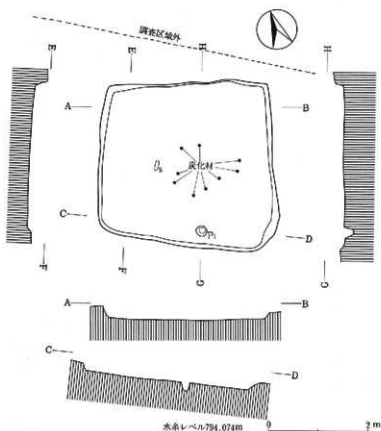
ビットが1基検出されたのみで、炉・カマド・周溝等の施設は検出されなかった。

なお、炭化材が検出されたことから、本住居址は焼失住居の可能性がある。

遺物

炭化材、礫が検出されたのみで出土土器は皆無である。

本住居址の所産期については不明である。



第52図 H1号住居址実測図

(2) H 2号住居址

遺構 (第53・54図、図版15)

MX-I 8・9、J 9 グリッドに位置する。第479号土坑と重複関係を有し、第479号土坑を切っている。東西424cm、南北は残存部で364cmを測り、平面プランは隅丸方形を呈する。

カマドを中心とする主軸方位は、N-7'-Eを示す。

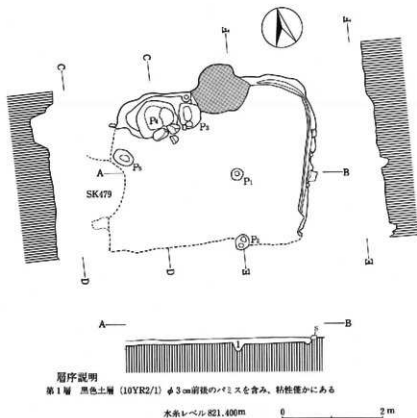
カマドは、北壁ほぼ中央部に位置する。遺存状態は比較的良好で、軽石を袖芯とし、にぶい黄褐色 (10YR5/4) を呈する粘土を主体として構築されていた。

住居址覆土は、黒色土 (10YR2/1) 層1層で、確認面からの壁高は、12~20cmである。

床面は、中央部が堅緻であったが壁際では軟弱であった。ピットは、総計5基検出された。

このうち、P₁が支柱穴、P₄が貯蔵穴と考えられる。

なお、周溝は検出されなかった。



第53図 H 2号住居址実測図

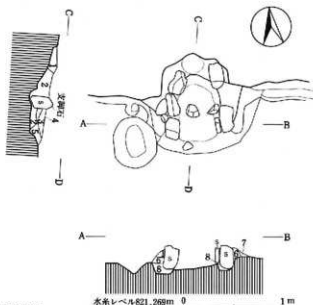
遺物 (第190図、図版116)

図示したものに、土師器甕・小型甕・椀、黒色土器椀、灰釉陶器甕がある。

土師器小型甕(5)の胴部外面には、焼成前に刻書された「金」の文字が認められる。

灰釉陶器甕(7)は、東濃瀬光ヶ丘竈式期のものである。

本住居地の所産期は、平安時代に比定される。



層序説明

- 第1層 黒褐色土層(10YR2/3)φ0.5~1cmのバミスを少量含むほか、粘土粒子を比較的多く含む
- 第2層 黒褐色土層(10YR2/3)粘土粒子を含むが、第1層より少ない
- 第3層 黒色土層(10YR2/1)φ0.5cm前後のバミスを含む、粘性僅かにある
- 第4層 暗褐色土層(10YR3/3)灰層で粘性がある
- 第5層 黒色土層(10YR2/1)φ0.5cm前後のバミスのほか、炭を含み、締っている。粘性僅かにある
- 第6層 濃い黄褐色土層(10YR5/4)φ3cm前後のバミス若干含む。粘土層
- 第7層 黒褐色土層(10YR2/2)粘土粒子、炭を含む、住居址覆土
- 第8層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5cm前後のバミスのほか、ローム粒子を含み、締っている

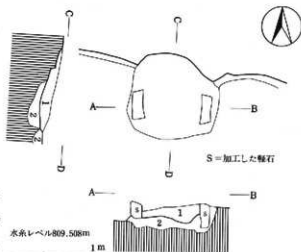
第54図 H2号住居址カマド実測図

(3) H3号住居址

遺構 (第55・56図、図版15)

III-J 4・5グリッドに位置する。他遺構との重複関係はない。

東西460cm、南北は残存部において222cmを測る。



層序説明

- 第1層 黒褐色土層(7.5YR2/2)粘土粒子のほか、僅かに炭化物を含む。
- 第2層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~3cmのバミスを含む、床積装土

第55図 H3号住居址カマド実測図

平面プランは、おそらく隅丸方形を呈するものと思われる。

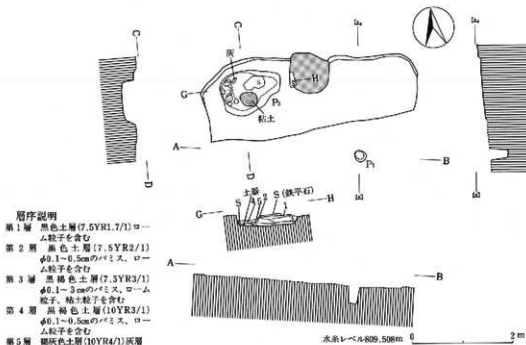
カマドを中心とする主軸方位は、N-2°-Eを示す。カマドは、北壁ほぼ中央部に位置するが、遺存状態は悪く、袖石が確認されたにとどまる。

ピットは、総計2基検出された。このうち、P₁が支柱穴、P₂は貯蔵穴あるいは灰落としの機能を果たしていたものであろう。なお、周溝は調査し得た範囲では検出されなかった。

遺物

土師器片、黒色土器片、灰釉陶器片が出土しているが、図示し得るものは皆無である。

本住居の所産期は、出土土器片から平安時代に比定される。



第56図 H3号住居実測図

(4) H4号住居址

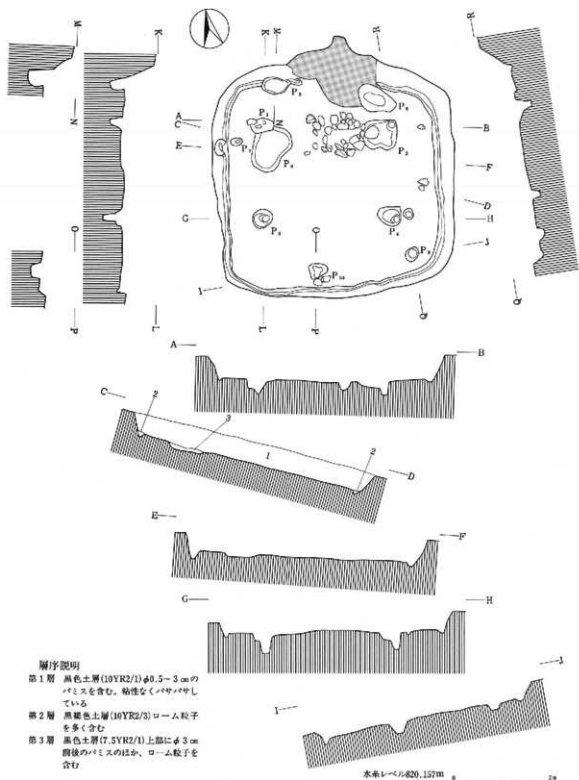
遺構 (第57・58図、図版15)

XI-A・B10、VII-A・B1グリッドに位置する。J44号住居址、第408・430・481・488・519号土坑と重複関係を有し、各々の遺構を切って構築されている。

東西508cm、南北484cmを測り、平面プランは隅丸方形を呈する。

カマドを中心とする主軸方位は、N-10°-Eを示す。

カマドは、北壁ほぼ中央部に位置するが、遺存状態は悪い。おそらく、石芯の粘土カマドであったと思われる。



第57図 H4号住居址実測図

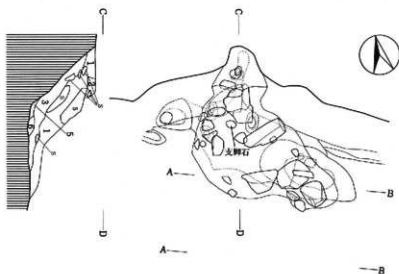
住居址覆土は3層に区分されるが、大半を第1層の黒色土層が占める。

ピットは、総計12基検出された。このうち、P₁～P₄の4基が主柱穴と考えられる。また、P₁₀は出入口部の施設に関連するものであろう。周溝は、カマド部分を除き全周する。

遺物 (第190・234・269図、図版116・137・148・194)

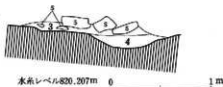
図示したものに、土師器甕、黒色土器杯・椀、須恵器杯、土製管玉、石錘がある。黒色土器杯(1)は、外面に墨書がなされるが文字は不明である。須恵器杯(6)は、底部へラキリ未調整のもので、混入品であろう。

本住居址の所産期は、平安時代に比定される。



層序説明

- 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)ローム粒子を含む。粘性強かにある
- 第2層 黒色土層(10YR2/1)ローム粒子を僅かに含む。粘性強かにある
- 第3層 暗褐色土層(10YR3/4)焼土粒子を含む。締っていない
- 第4層 黒褐色土層(10YR2/2)ローム粒子を多く含む。パミスはほとんど含まない
- 第5層 褐色土層(10YR4/4)ローム粒子を多量に含む。締っていない
- 第6層 暗褐色土層(7.5YR3/4)焼土を多量に含む。バラバラしている



第58図 H4号住居址カマド実測図

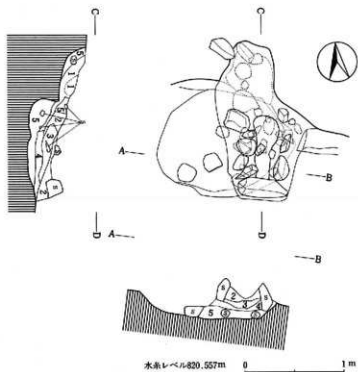
(5) H5号住居址

遺構 (第59・60図、図版16)

XI-B10グリッドに位置する。第350・485号土坑と重複関係を有し、第485号土坑を切り、第350号土坑に切られている。

東西326cm、南北292cmを測り、平面プランは東西にやや長い不整な隅丸長方形を呈する。

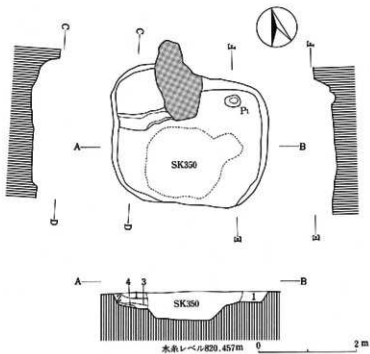
カマドを中心とする主軸方位は、N-15°-Eを示す。



第59図 H5号住居址カマド実測図

層序説明

- 第1層 黒褐色土層(10YR2/3)パミス
をほとんど含まない。砂質
- 第2層 黒褐色土層(10YR2/2)灰を含む。
砂質
- 第3層 暗褐色土層(10YR3/4)焼土粒
子を比較的多く含む
- 第4層 黒褐色土層(10YR2/3)砂質。構
築土
- 第5層 黒褐色土層(10YR3/2)ロー
ムブロックを含み、比較的締っ
ている。構築土



第60図 H5号住居址実測図

層序説明

- 第1層 黒色土層(10YR2/1)パミス
をほとんど含まない。ロー
ム粒子を僅かに含む
- 第2層 黒褐色土層(10YR2/3)ロー
ム粒子を比較的多く含む
- 第3層 黒色土層(7.5YR2/1)パミス
を僅かに含む
- 第4層 暗褐色土層(10YR3/3)ロー
ム粒子を第2層より多く含む

カマドは、北壁部やや西寄りに位置する。遺存状態は比較的良好であった。おそらく、第4・5層の黒褐色土を構築土とした石組カマドであったと思われる。

ピットは1基検出されたにとどまる。位置、形状等から、一応、主柱穴と考えておきたい。なお、周溝は検出されなかった。

遺物 (第190図、図版116・148)

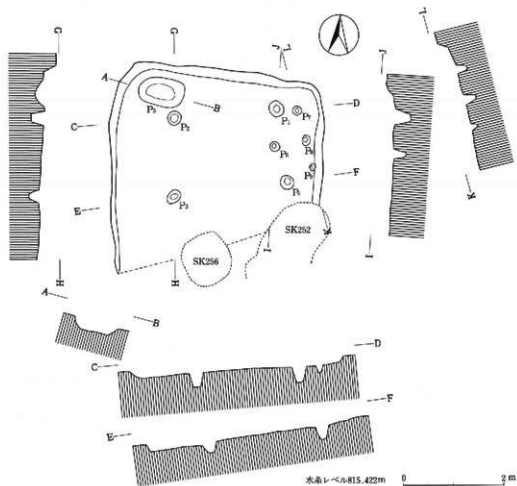
図示したものは、土師器小型甕1点である。底部は、糸切り未調整である。

本住居址の所産期は、平安時代に比定される。

(6) H 7号住居址

遺構 (第61図、図版16)

VII-F・G10、IX-F・G1グリッドに位置する。第252・256号土坑と重複関係を有し、第252・



第61図 H 7号住居址実測図

256号土坑を切って構築されている。

東西448cm、南北は残存部で452cmを測り、平面プランは、おそらく、隅丸方形プランを呈するものと思われる。南北軸の方位は、N-1°-Eを示す。

ピットは、総計9基検出された。このうち、P₁~P₄が主柱穴、P₅は貯蔵穴的な機能を有するものと思われる。なお、炉・カマド・周溝等の施設は検出されなかった。

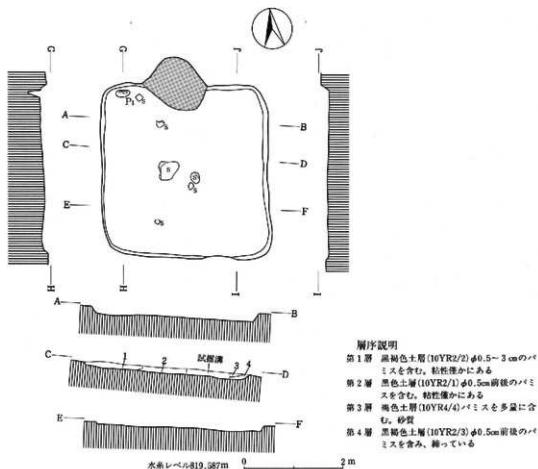
遺物

図示し得るものは皆無である。

本住居址の所産期は、出土土器片から平安時代と考えられる。

(7) H 8 号住居址

遺構 (第62・63図、図版16)

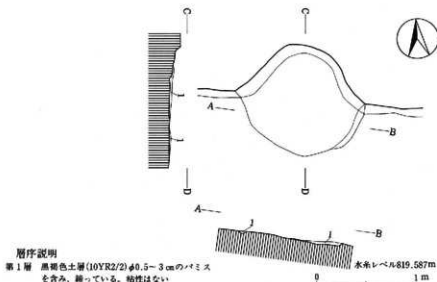


第62図 H 8 号住居址実測図

Ⅲ-F・G 9・10グリッドに位置する。他遺構との重複関係はない。
 東西350cm、南北366cmを測り、平面プランは、隅丸方形を呈する。
 カマドを中心とする主軸方位は、N-6°-Wを示す。
 カマドは、北壁ほぼ中央部に位置するが遺存状態は悪い。
 住居址覆土は4層に区分され、確認面からの壁高は、8~20cmを測る。
 ビットは、北西コーナーで1基検出された。なお、周溝は検出されなかった。

遺物 (図版148・187)

図示し得るものは皆無である。なお、石鏃・打製石斧は写真図版に示した。
 本住居址の所産期は、出土土器片から平安時代に比定される。



第63図 H 8号住居址カマド実測図

(8) H 9号住居址

遺構 (第64図、図版17)

XV-G・H 2・3グリッドに位置する。
 東西404cm、南北342cmを測り、平面プランは東西に長い不整な隅丸長方形を呈する。
 南北軸の方位は、N-54°-Eを示す。
 遺構覆土は5層に区分されるが、第1・2層が大半を占める。確認面からの壁高は、6~38cmを測る。

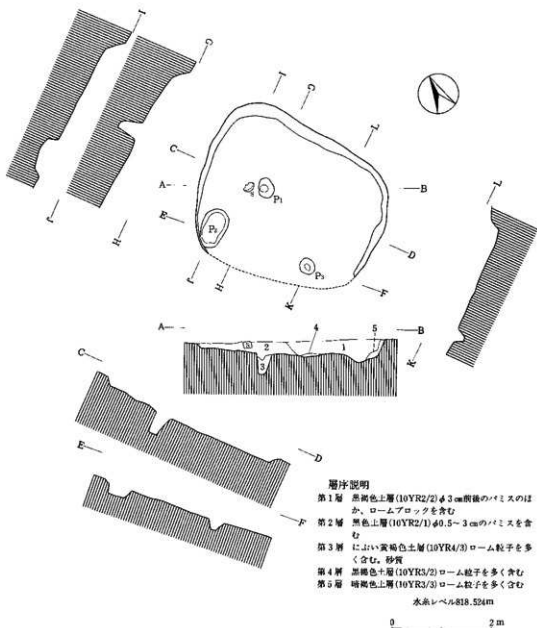
ビットは、総計3基検出された。位置的には疑問が残るが、P₁・P₂が支柱穴、P₃は土師器皿が出土したことから貯蔵穴的な機能を有するものかもしれない。

なお、炉・カマド・周溝等の施設は検出されなかった。

遺物 (第187・188・190図、図版116)

図示したものは、P₂出土の土師器皿1点のほか、縄文土器片がある。土師器皿の底部は糸切り未調整である。

本住居址の所産期は、平安時代に比定される。



第64図 H9号住居址実測図

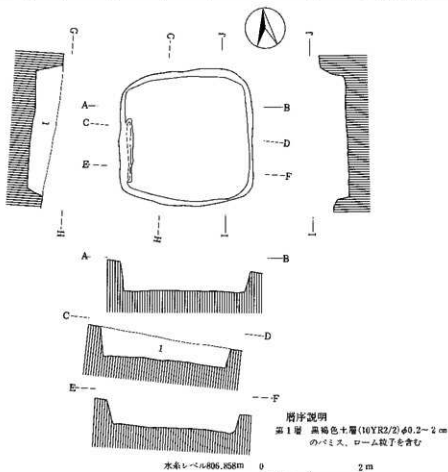
3 竪穴状遺構

遺構 (第65~68図、図版17・18) 遺物 (図版148)

竪穴状遺構は、総計4基検出された。この中には、第3号竪穴状遺構のように、竪穴住居址の

第1表 竪穴状遺構一覧表

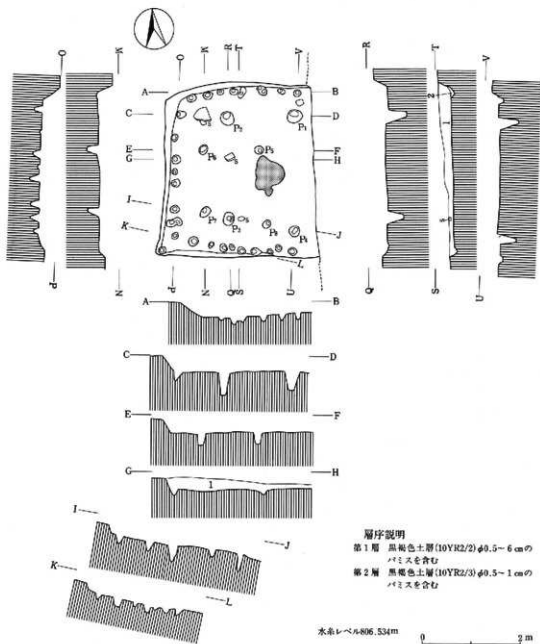
No	平面形	規模 (cm)			長軸方位	備考
		東西	南北	深さ		
2	隅丸方形	275	277	59	N-56°-E	
3	長楕円形	303	358	67	N-46°-E	
5	(楕円形)	408	250	17	N-76°-W	
6	(隅丸長方形)	268	(156)	13	N-69°-W	J16号住居址と重複



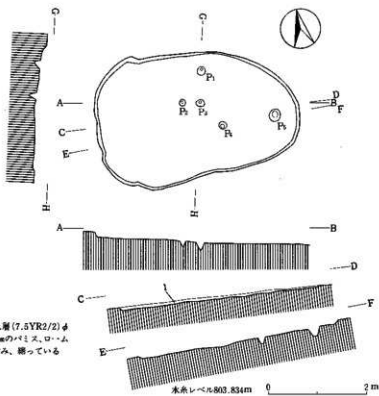
第65図 第2号竪穴状遺構実測図

可能性があるものも認められるが、炉・カマド等の施設の存否により、竪穴状遺構に含めた。

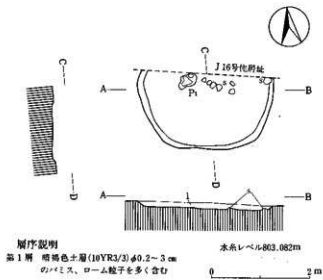
所産期については、出土土器片・重複関係および形状などから、第3・5号竪穴状遺構が縄文時代前期、第6号竪穴状遺構が縄文時代後期以前、第2号竪穴状遺構が内耳土器片の出土から中世と考えられる。



第66図 第3号竪穴状遺構実測図



第67図 第5号竪穴状遺構実測図



第68図 第6号竪穴状遺構実測図

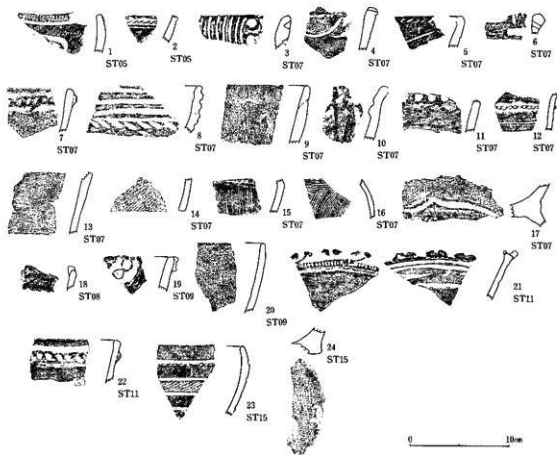
4 掘立柱建物址

遺構 (第70～76図、図版18～21) 遺物 (第69図)

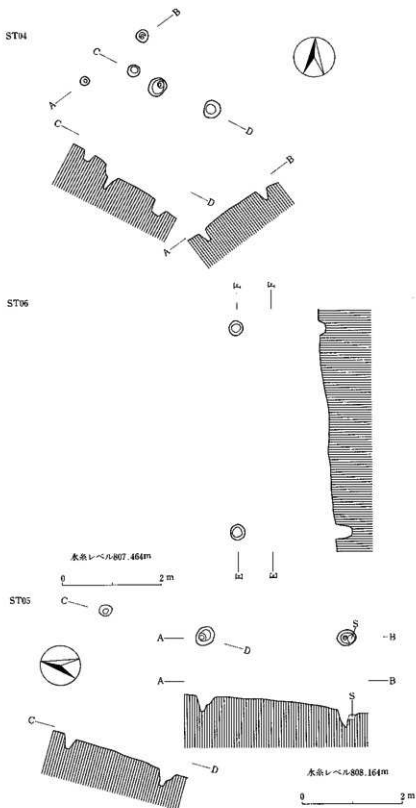
総計で 棟の掘立柱建物址が検出された。明確なまとまりを持つものはなく、中にはビット群とすべきものもあるが、一応、ここに含めた。

また、規模・平面プランは多様であり、また、位置的にも偏在性は認められない。

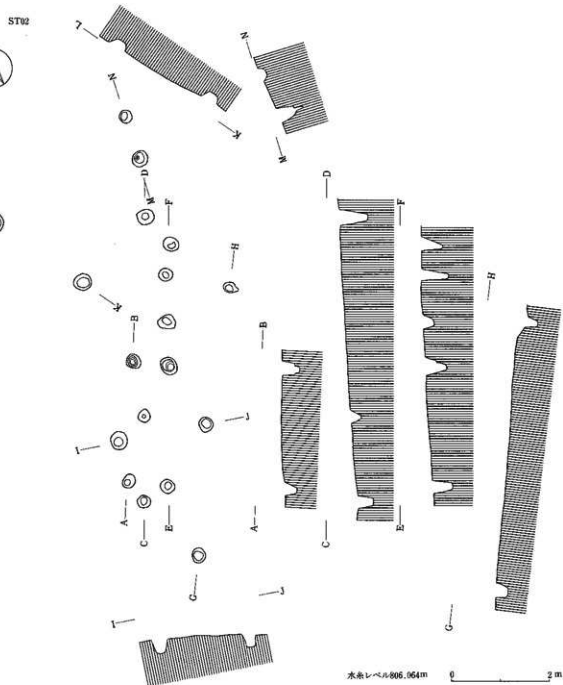
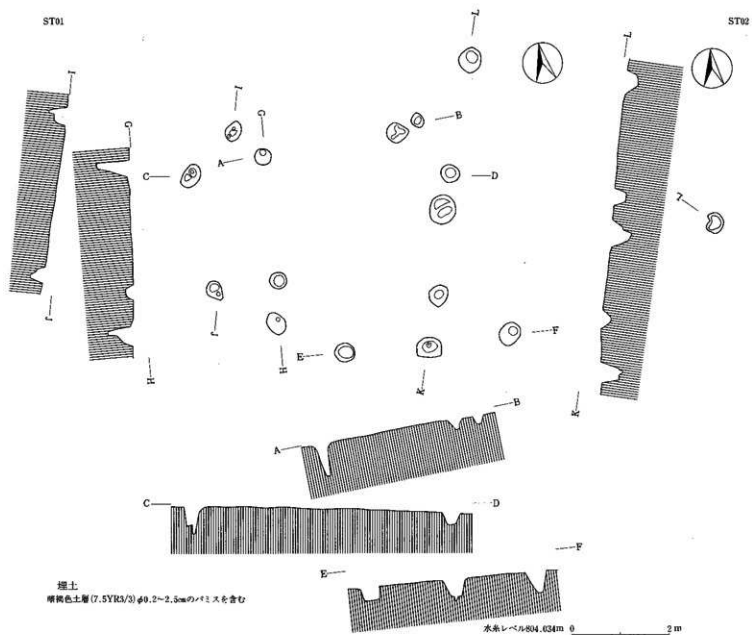
所産期については、不明なものがほとんどであるが、出土土器片から、第5・7～9号掘立柱建物址が縄文時代後期以降、第11号掘立柱建物址が縄文時代晩期以降、第15号掘立柱建物址は軟質須恵器杯の破片が認められることから平安時代以降と考えられる。



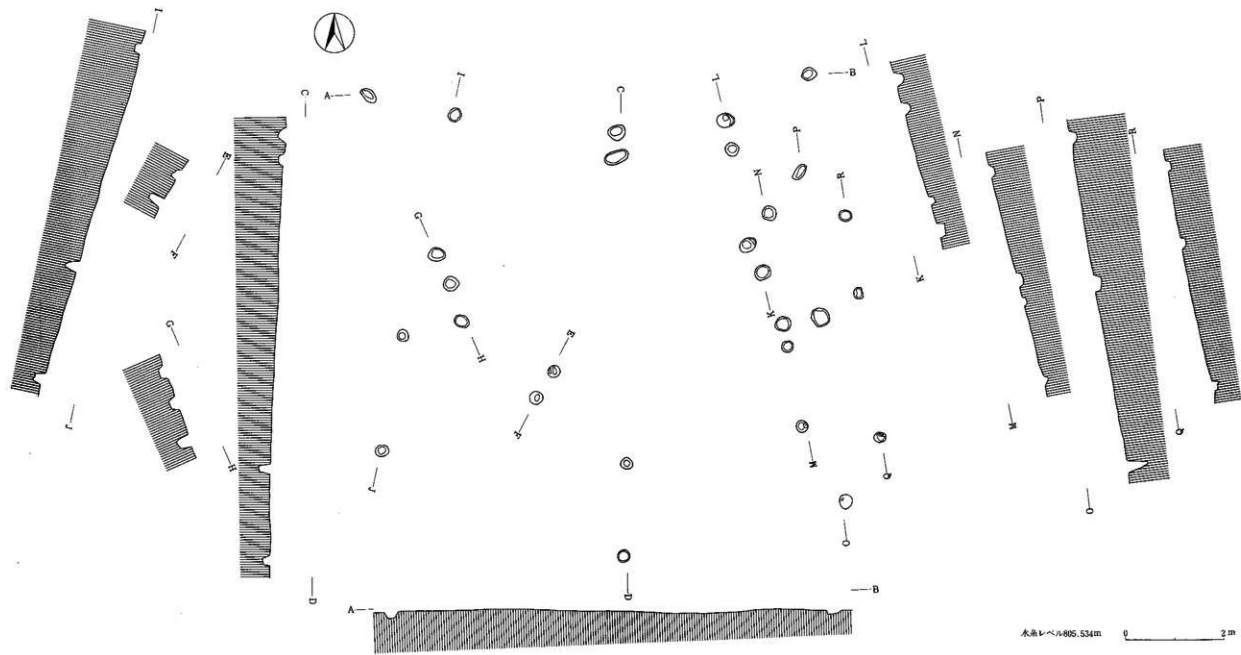
第69図 掘立柱建物址出土土器拓影図



第70図 第4～6号掘立柱建物址実測図

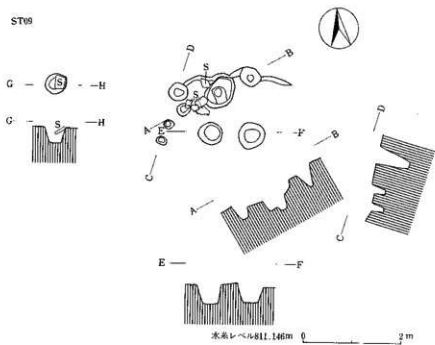


第71図 第1・2号掘立柱建物址実測図

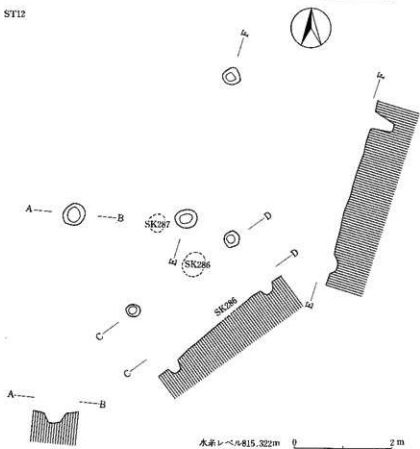


第72図 第3号独立柱建物址実測図

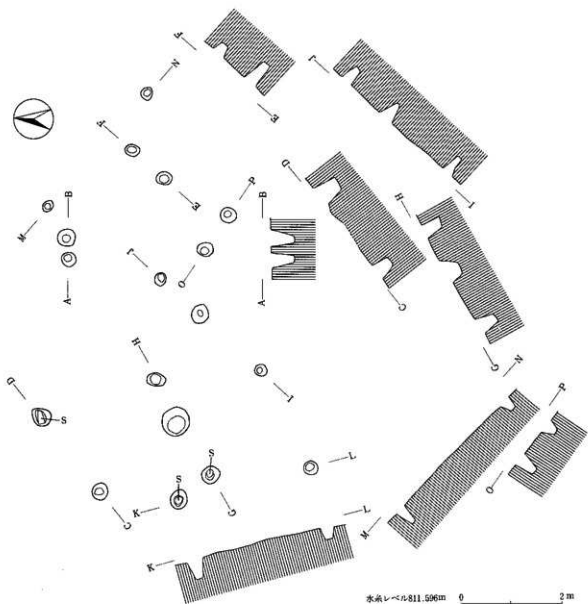
ST09



ST12

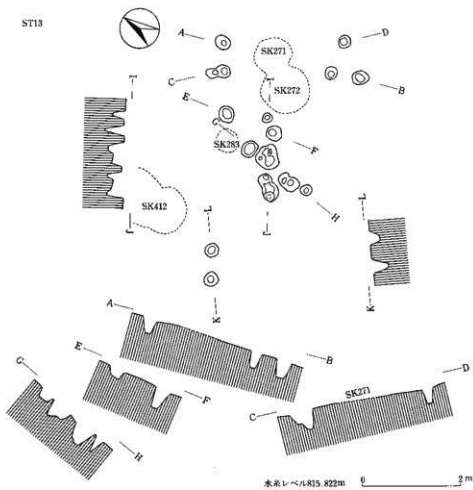


第73図 第9・12号掘立柱建物址実測図

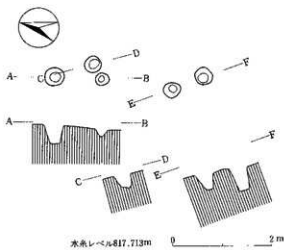


第74图 第10号掘立柱建物址実測図

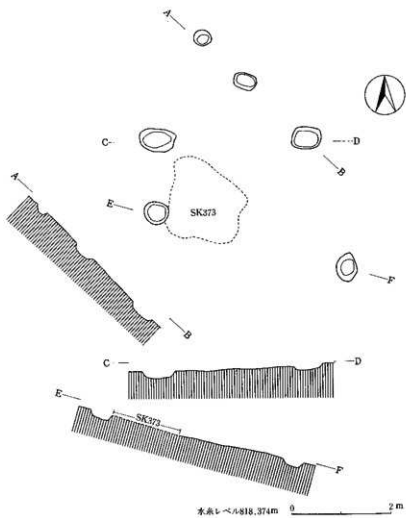
ST13



ST14



第75図 第13・14号掘立柱建物址実測図



第76图 第16号独立柱建物址实测图

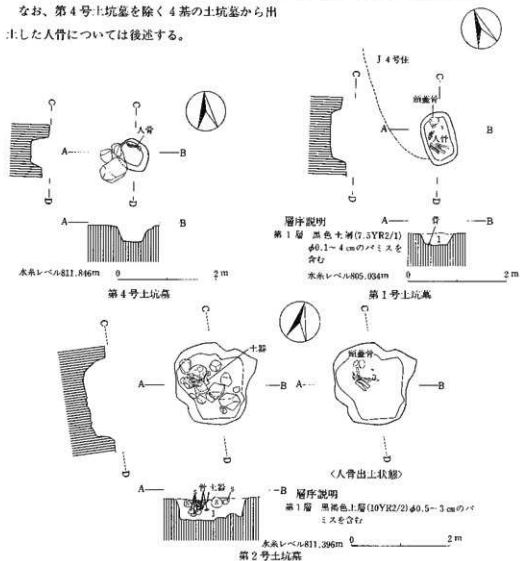
5 土坑墓

遺構 (第74・77・78図、図版30・31) 遺構 (第204・213図、図版123)

5基の土坑墓が検出された。規模、平面プラン等は多様で、第3号土坑墓のように北壁部と南壁部に大形の石を配したのも認められた。分布については、あえていうならV地区で3基が検出されていることが特徴といえる。

所産期は、第1号土坑墓が明確でないが、第2～4号土坑墓が縄文時代後期、第5号土坑墓はJ2号住居址を切って構築されていることから縄文時代晩期に下降する可能性がある。

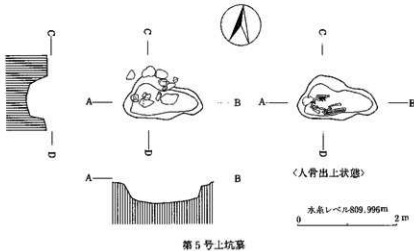
なお、第4号土坑墓を除く4基の土坑墓から出土した人骨については後述する。



第77図 第1・2・4号土坑墓実測図

第2表 土坑墓一覧表

No	平面形	規模 (cm)			長軸方位	備考
		東西	南北	深さ		
1	隅丸長方形	68	105	26	N-28°-E	
2	不整形	148	163	50	N-50°-E	SD01と重複
3	不整隅丸長方形	113	175	76	N-27°-E	
4	不整楕円形	64	65	33	N-27°-W	
5	不整楕円形	153	79	42	N-78°-E	J2号住居址と重複



第78図 第3・5号土坑墓実測図

6 集石状遺構・石棺墓・配石址

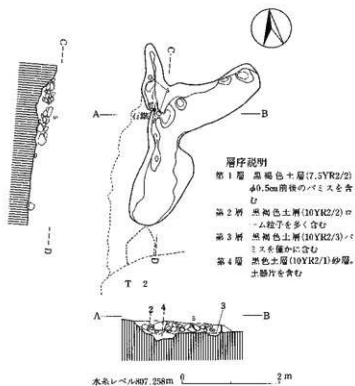
遺構 (第79~84図、図版23~29・31・74) 遺物 (第191~199・236・267図、図版117・118・185)

集石状遺構、石棺墓をSXとした。SX01は、III-F8グリッドに位置する集石状の遺構で、SX02~22が石棺墓である。石棺墓の分布は、V-D5・6、E7・8グリッドに位置する6基、XII-F8・9・G7~10グリッドに位置する14基、XV-D2グリッドに位置する1基と2つの区域に大別することが可能である。XII区に位置するものは、配石址との関連が窺われる。

また、構築法も礎を方形に一段並べたもの、蓋石を持つもの、底面に鉄平石を敷くものと多様

第3表 石棺墓一覧表

No	平面形	規模 (cm)			長軸方位	備考
		東西	南北	深さ		
2	楕円形	114	74	16	N-80°-W	壊れり葬
3	楕円形	96	132	28	N-12°-W	
4	方形	122	86	27	N-78°-W	
5	長方形	69	80	14	N-20°-W	
6	隅丸長方形	102	179	45	N-12°-W	複葬 変れり葬
7	楕円形	103	118	53	N-20°-E	
8	長方形	157	200	50	N-25°-W	
9	長方形	68	132	5	N-26°-W	
10	隅丸長方形	75	183	32	N-11°-E	
11	楕円形	151	153	50	N-8°-W	
12	不整隅丸方形	253	207	46	N-76°-E	
13	隅丸長方形	97	135	49	N-37°-W	
14	隅丸長方形	102	155	30	N-34°-W	
15	不整隅丸長方形	165	180	50	N-21°-E	
16	隅丸長方形	185	87	45	N-67°-E	
17	隅丸長方形	106	245	31	N-28°-W	
18	隅丸長方形	115	210	43	N-23°-E	
19	隅丸長方形	257	250	39	N-82°-W	
20	隅丸長方形	99	170	57	N-22°-E	
21	隅丸方形	109	148	30	N-35°-E	
22	長方形	121	100	68	N-67°-E	



第79図 第1号集石状遺構墓址実測図

である。

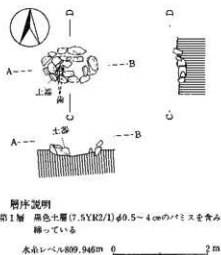
石棺墓のうち、人骨が出土したものにSX02・03・07の3基があり、SX07では2体が埋葬されていた。また、頭部に浅鉢を被せた例が、SX02・07で認められた。

なお、第192図 XII-G 8、1・2の土器は、グリッド出土遺物として取り上げたが、SX13~16・19に伴う可能性があるため、SX出土土器実測図に含めた。

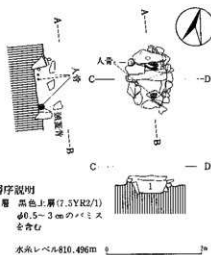
配石址は、XII-G 7グリッドから東に弧状に展開するもので、竈は東方に行くにつれ、狭らとなる。

縄文時代後期の所産と考えられ、浅い谷地形を意識して造られたものと思われる。

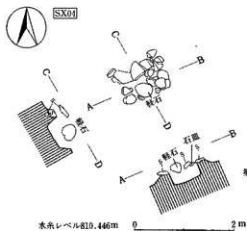
SX02



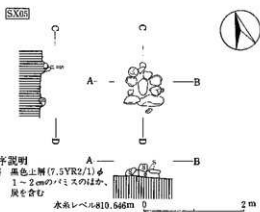
SX03



第80図 第2・3号石棺墓実測図

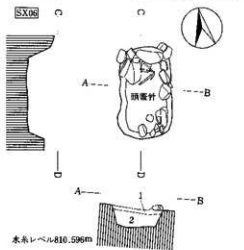


水糸レベル810.446m 0 2m



層序説明
第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ
1~2cmのパミスのほか、
炭を含む

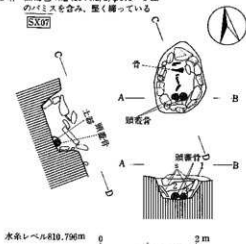
水糸レベル810.646m 0 2m



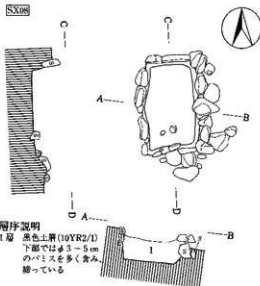
層序説明
第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~3cm
のパミスを含む

第2層 黒褐色土層(10YR3/2)φ0.5~3cm
のパミスを含み、強く締っている

SX07



水糸レベル810.790m 0 2m



層序説明
第1層 黒色土層(10YR2/1)
下部ではφ3~5cm
のパミスを多く含み、
締っている

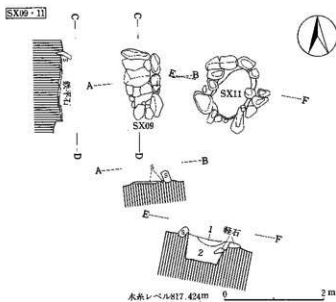
水糸レベル817.124m 0 2m



層序説明

第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~3cmの
パミスを含む。砂質
第2層 暗褐色土層(7.5YR3/3)φ0.5~3cmの
パミスを含む。鉄分を含み、非常に硬質
第3層 黒褐色土層(10YR3/2)φ0.5~3cmの
パミスを含む。砂質

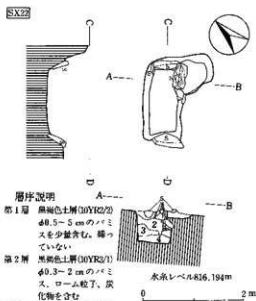
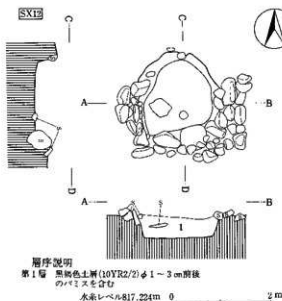
第81図 第4~8号石棺墓実測図



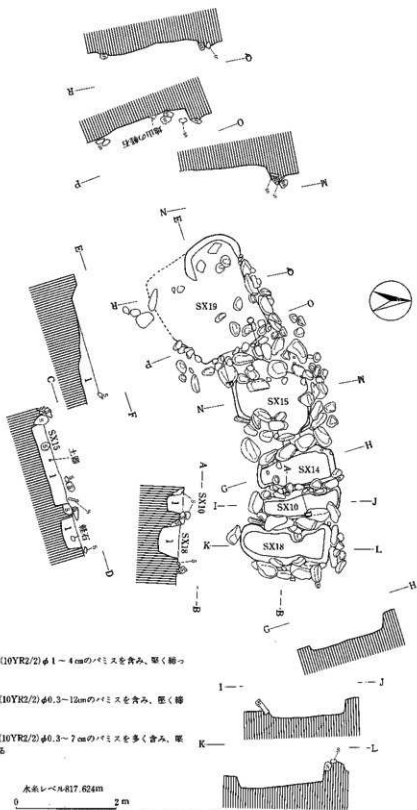
層序説明

SX11

- 第1層 黒褐色土層(10YR2/2) ϕ 0.5~1cmのバミスを含み、第2層より締っている
- 第2層 黒色土層(10YR2/1) ϕ 0.5~3cmのバミスを含む。2層とも粘性があるが第1層の方が強い



第82図 第9・11・12・22号石棺墓実測図



層序説明

SX10・SX19

第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ1~4cmのバリミを含み、堅く締っている

SX14・SX15

第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3~12cmのバリミを含み、堅く締っている

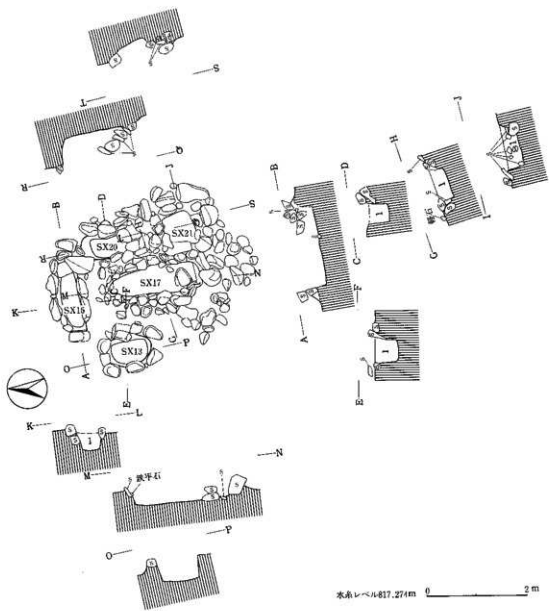
SX18

第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3~7cmのバリミを多く含み、堅く締っている

水深レベル417.624m

0 2m

第83図 第10・14・15・18・19号石棺単体測図



層序説明

SX13

第1層 黒色土層(10YR2/1)下部では ϕ 5cm前後のパミスを多く含む

SX16

第1層 黒褐色土層(10YR2/2) ϕ 0.5~5cmのパミスを含み、堅く締っている

SX17

第1層 黒褐色土層(10YR2/2) ϕ 0.5~3cmのパミスを含み、堅く締っている

SX20

第1層 黒褐色土層(10YR2/2) ϕ 0.3~5cmのパミスを含み、堅く締っている

SX21

第1層 黒褐色土層(7.5YR2/2) ϕ 0.3~8cmのパミスを含む、締っていない

第84図 第13・16・17・20・21号石棺墓実測図

7 溝 址

(1) 第1号溝址

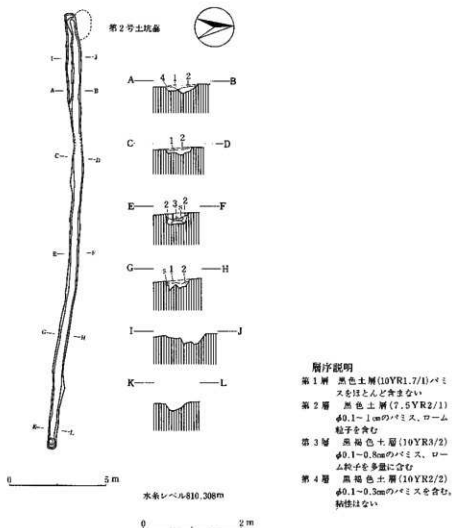
遺構 (第85図、図版21)

本遺構は、V-B2~6グリッドに位置する。第2号土坑墓と重複関係を有し、第2号土坑墓を切って構築されている。

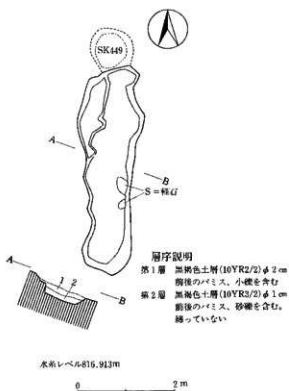
東西にはほぼ直線的に延びる遺構で、調査された部分は約23mの範囲である。

遺構覆土は4層に区別されるが、第1・2層が大半を占める。溝の掘形は、逆梯形状である。

溝巾は40~80cm、深さ10~22cmを測る。



第85図 第1号溝址実測図



第86図 第2号溝址実測図

なお、底面には砂の堆積はなく、水の流れた痕跡は認められなかった。

遺物 (第216図、図版150)

図示したものに縄文土器片がある。

本遺構の所産期は、出土土器片および重複関係から縄文時代後期以降と考えられる。

(2) 第2号溝址

遺構 (第86図、図版22)

本遺構は、Ⅷ- J 10・Ⅺ- A 10グリッドに位置する。

第449号土坑と重複関係を有し、第449号土坑を切って構築されている。

南北に細長い土坑ともいえるが、一応、溝址に含めた。

長さ4.35m、巾80～136cm、深さ20cm前後を測る。

なお、底面に砂の堆積はなく、水の流れた痕跡は認められなかった。

遺物 (第216図、図版150)

図示したものに、後期の所産と考えられる縄文土器片がある。

本遺構の所産期は、出土土器片および重複関係から縄文時代後期以降と考えられる。

(3) 第3号溝址

遺構 (第87図、図版22)

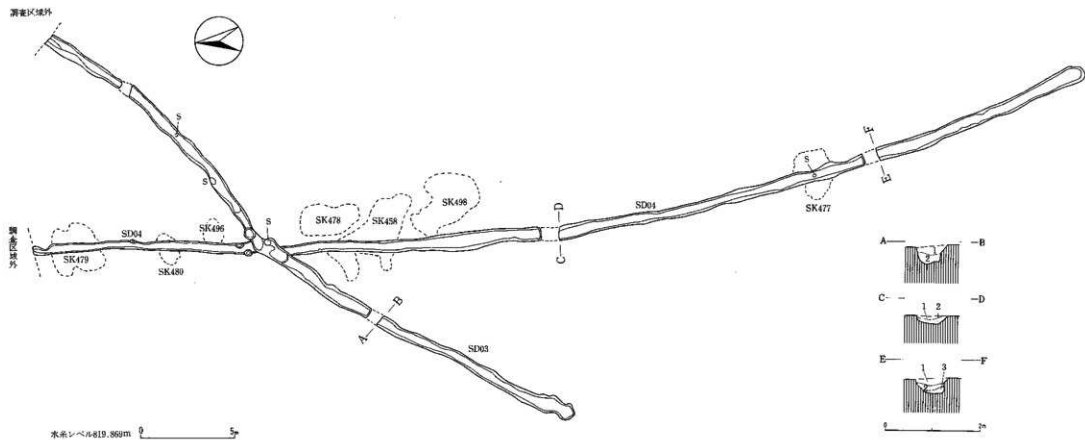
本遺構は、Ⅱ-D 6・7、E 7、F 7・8、G 8・9、H 8～10、I 10グリッドに位置する。

第4号溝址と重複関係を有し、第4号溝址を切って構築されている。

北東から南西にはほぼ直線的に延びる遺構で、調査区域内において調査された部分は、約34.5mの範囲である。

遺構覆土は、2層に区分され、このうち、第2層が砂層である。

溝の掘形は、逆梯形状を呈する。溝巾は70cm前後、深さ40cm前後を測る。



層序説明

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 第1層 棕色土層(10YR2/1)φ1cm前後のハリスを少 | 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ1-3cmのハリスを |
| 第2層 赤褐色土層(10YR3/3)砂質 | 第2層 黒褐色土層(10YR2/3)φ1-3cmのハリス、 |
| 第3層 赤褐色土層(10YR3/3)砂質 | 第3層 暗褐色土層(10YR2/3)砂質 |
| 第4層 赤褐色土層(10YR3/3)砂質 | |

第87図 第3・4号溝跡実測図

遺物 (第88・216図)

図示したものに後期の所産と考えられる縄文土器片、土師器碗破片、須恵器甕破片がある。
本遺構の所産期は、出土土器片から平安時代以降と考えられる。

(4) 第4号溝址

遺構 (第87図、図版22)

本遺構は、Ⅺ-Ⅰ10、Ⅸ9・10、Ⅹ-A・B9、C8・9、D~Ⅰ8グリッドに位置する。

第458・477~480・496号土坑、第3号溝址と重複関係を有し、第458・477~480・496号土坑を切り、第3号溝址に切られている。

北から南にはほぼ直線的に延びる遺構で、調査区域内において調査された部分は、約56mの範囲である。

遺構覆土は、3層に区分され、南部では砂の堆積が認められた。

溝の掘形は逆梯形状を呈する。溝巾は60~70cm、深さ16~32cmを測る。

遺物 (第88・216図、図版150・197)

図示したものに前期・後期の所産と考えられる縄文土器片、黑色土器杯の破片がある。

本遺構の所産期は、出土土器片から平安時代以降と考えられる。

<SI03>



<SD04>



0 10cm

第88図 第3・4号溝址出土古代土器実測図

8 埋 甕

遺構 (第89・130図、図版74) 遺物 (第200~203・206図、図版119~122・125)

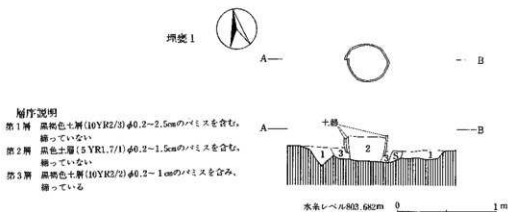
埋甕は4箇所検出されている。出土位置は次のとおりで、位置的には偏在性は認められない。

埋甕1——Ⅰ-D7グリッド、埋甕2——ⅩI-C9グリッド、埋甕3——Ⅴ-J2グリッド、埋甕4——ⅩI-J9グリッド (SK365)

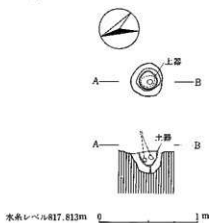
所産期は、埋甕1が縄文時代中期、埋甕2~4が縄文時代後期である。

なお、埋甕4は第365号土坑から出土しており、第130図に示した。また、第429号土坑からは深鉢内に注口土器が入れられた状態で出土しており、出土状態は第137図に、土器実測図は各々第

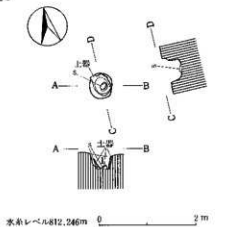
203・206図に示した。



埋変2



埋変3



第89図 埋変1~3実測図

9 土 坑

本遺跡からは、ローマウンド、土坑墓を除き、総計511基の土坑が検出された遺構(第90~148図、図版32~74)、遺物(第203~216・232・236・258・261~265図、図版122~125・149・150・187・190・192~195・197・198)。規模・平面プランは多様である。なお、土坑の詳細については、第4表に示した。

土坑のうち、特異なものとして、第175号土坑のように土坑内中央部に石囲炉を設けているもの(第112図、図版14・46)が一例検出されている。

所産期については、重複関係・出土遺物から、第44・350・481号土坑が平安時代以降と考えられる。

他の土坑については、住居址との関連、出土土器からその大半が縄文時代前期・後期の所産と考えられる。

第4表 土坑一覧表

土坑 No.	平 面 形	規 模 (cm)			長 軸 方 位	土坑 No.	平 面 形	規 模 (cm)			長 軸 方 位
		東西	南北	深さ				東西	南北	深さ	
1	不 整 円 形	123	127	22	N-13°-E	20	楕 円 形	90	104	17	N-1°-E
2	不整長楕円形	94	148	31	N-32°-W	21	不整楕円形	65	67	21	N-44°-E
3	不 整 円 形	48	45	28	N-18°-W	22	楕 円 形	95	114	31	N-22°-W
4	楕 円 形	53	72	22	N-10°-W	23	不整楕円形	148	175	19	N-9°-W
5	円 形	123	116	46	N-80°-E	24	楕 円 形	104	78	25	N-74°-W
6	不 整 円 形	122	119	20	N-76°-E	25	円 形	43	42	43	N-33°-E
7	円 形	135	145	35	N-33°-E	26	不 整 円 形	65	65	51	N-45°-W
8	不 整 円 形	113	105	39	N-27°-E	27	楕 円 形	70	95	20	N-33°-W
9	不 整 形	172	127	35	N-48°-E	28	不整楕円形	73	72	33	N-48°-W
10	不整楕円形	111	134	31	N-11°-W	29	不整楕円形	144	153	13	N-31°-W
11	楕 円 形	157	135	21	N-80°-E	30	不 整 円 形	119	128	16	N-21°-E
12	不整楕円形	142	120	70	N-82°-W	31	不 整 円 形	84	82	37	N-24°-E
13	不 整 円 形	138	137	38	N-46°-E	32	不整楕円形	113	257	45	N-26°-E
14	不 整 円 形	80	83	27	N-41°-W	33	不整楕円形	102	91	31	N-50°-W
15	楕 円 形	74	75	27	N-27°-E	34	不 整 円 形	128	129	50	N-57°-W
16	不 整 円 形	140	146	45	N-58°-E	35	円 形	80	80	18	N-38°-W
17	不整楕円形	78	77	49	N-45°-E	36	隅丸長方形	186	71	22	N-79°-E
18	不整楕円形	94	104	54	N-16°-W	37	不 整 円 形	144	137	29	N-58°-E
19	楕 円 形	126	126	40	N-47°-E	38	不 整 円 形	119	119	28	N-48°-W

土坑 No.	平 面 形	規 模 (cm)			長 軸 方 位	土坑 No.	平 面 形	規 模 (cm)			長 軸 方 位
		東西	南北	深さ				東西	南北	深さ	
39	不 整 円 形	103	105	26	N-36°-E	71	隅 丸 長 方 形	112	138	37	N-53°-E
40	不 整 円 形	108	106	19	N-30°-E	72	長 方 形	160	116	43	N-46°-W
41	不 整 方 形	94	100	38	N-58°-W	73	隅 丸 長 方 形	297	114	34	N-80°-W
42	不 整 楕 円 形	90	86	46	N-56°-W	74	ロ-ムマウンド				
43	不 整 楕 円 形	146	156	46	N-53°-E	75	不 整 楕 円 形	126	142	19	N-49°-E
44	円 形	83	78	34	N-55°-W	76	ロ-ムマウンド				
45	不 整 円 形	59	62	48	N-34°-W	77	不 整 円 形	88	88	33	N-47°-E
46	不 整 円 形	88	85	29	N-75°-W	78	不 整 長 楕 円 形	171	145	41	N-31°-E
47	不 整 楕 円 形	115	102	39	N-82°-W	79	隅 丸 方 形	68	66	12	N-55°-W
48	不 整 楕 円 形	70	87	20	N-22°-W	80	不 整 円 形	90	85	27	N-53°-W
49	不 整 隅 丸 長 方 形	131	91	24	N-60°-E	81	不 整 円 形	124	124	27	N-42°-W
50	不 整 楕 円 形	(98)	(82)	37	N-19°-W	82	不 整 長 楕 円 形	141	201	40	N-40°-W
51	不 整 形	111	(117)	66	N-44°-W	83	不 整 方 形	156	178	41	N-15°-W
52	不 整 円 形	106	116	36	N-13°-W	84	不 整 円 形	103	101	61	N-63°-E
53	不 整 楕 円 形	114	97	31	N-66°-E	85	不 整 楕 円 形	60	66	40	N-50°-W
54	不 整 楕 円 形	178	132	37	N-24°-E	86	ロ-ムマウンド				
55	第1号土坑墓					87	不 整 隅 丸 長 方 形	302	109	31	N-88°-W
56	不 整 楕 円 形	151	163	52	N-63°-W	88	不 整 形	153	108	29	N-72°-W
57	ロ-ムマウンド					89	不 整 円 形	248	258	22	N-36°-E
58	ロ-ムマウンド					90	不 整 円 形	156	142	41	N-33°-W
59	不 整 楕 円 形	67	92	70	N-37°-E	91	不 整 楕 円 形	181	136	25	N-74°-W
60	不 整 円 形	88	90	52	N-28°-E	92	楕 円 形	115	87	42	N-23°-E
61	楕 円 形	114	101	38	N-63°-E	93	不 整 楕 円 形	113	171	37	N-10°-W
62	不 整 長 楕 円 形	139	318	57	N-5°-E	94	不 整 長 楕 円 形	100	118	23	N-37°-E
63	不 整 長 方 形	82	129	31	N-15°-W	95	不 整 長 楕 円 形	185	108	21	N-60°-W
64	長 楕 円 形	91	215	38	N-15°-E	96	隅 丸 方 形	133	(37)	44	N-53°-E
65	不 整 楕 円 形	104	128	49	N-36°-W	97	不 整 楕 円 形	153	116	47	N-72°-W
66	不 整 円 形	110	110	30	N-77°-W	98	不 整 楕 円 形	67	68	64	N-45°-W
67	不 整 楕 円 形	94	112	19	N-8°-E	99	不 整 円 形	189	186	86	N-41°-E
68	不 整 円 形	92	87	35	N-74°-E	100	不 整 形	137	179	68	N-64°-W
69	不 整 円 形	107	99	21	N-69°-W	101	不 整 楕 円 形	88	93	42	N-38°-E
70	不 整 隅 丸 長 方 形	157	138	39	N-46°-W	102	第2号土坑墓				

土坑 No	平面形	規模 (cm)			長軸方位	土坑 No	平面形	規模 (cm)			長軸方位
		東西	南北	深さ				東西	南北	深さ	
103	不整円形	89	85	37	N-75°-E	135	不整方形	152	161	28	N-14°-W
104	不整方形	69	53	31	N-83°-W	136	不整円形	150	143	25	N-38°-W
105	不整形	109	119	32	N-14°-W	137	楕円形	65	57	9	N-64°-E
106	円形	92	94	18	N-37°-W	138	不整隅丸長方形	109	93	35	N-58°-W
107	不整楕円形	152	71	49	N-74°-E	139	不整円形	102	105	8	N-61°-W
108	不整方形	105	113	22	N-23°-E	140	不整楕円形	155	124	25	N-38°-W
109	不整楕円形	87	92	54	N-28°-E	141	不整楕円形	101	164	23	N-5°-E
110	不整形	69	91	28	N-45°-E	142	不整楕円形	122	50	60	N-70°-E
111	不整円形	103	112	31	N-5°-E	143	不整楕円形	73	45	58	N-63°-E
112	不整円形	73	67	35	N-62°-E	144	不整楕円形	165	150	27	N-70°-W
113	欠番					145	不整楕円形	69	82	22	N-6°-E
114	不整楕円形	125	108	54	N-70°-W	146	不整楕円形	87	65	22	N-69°-E
115	不整方形	87	97	63	N-16°-W	147	不整方形	121	126	32	N-22°-W
116	不整楕円形	95	89	71	N-43°-W	148	不整隅丸長方形	161	154	45	N-57°-W
117	楕円形	80	93	26	N-17°-W	149	不整円形	70	66	17	N-45°-W
118	不整楕円形	(101)	111	30	N-47°-W	150	不整隅丸方形	72	76	52	N-32°-E
119	不整円形	101	103	20	N-17°-E	151	不整円形	112	117	17	N-64°-W
120	不整楕円形	57	53	24	N-22°-E	152	不整楕円形	48	73	17	N-14°-W
121	不整隅丸方形	69	75	42	N-25°-E	153	楕円形	55	49	12	N-41°-E
122	不整楕円形	69	86	49	N-17°-E	154	不整円形	46	47	20	N-51°-E
123	(隅丸長方形)	74	(41)	51	N-35°-E	155	不整楕円形	81	68	19	N-73°-W
124	不整楕円形	110	80	7	N-64°-W	156	楕円形	76	81	13	N-47°-W
125	不整隅丸方形	87	91	44	N-59°-W	157	不整円形	58	60	28	N-38°-E
126	不整方形	153	148	14	N-87°-W	158	不整楕円形	51	53	20	N-38°-E
127	楕円形	69	69	24	N-50°-W	159	不整楕円形	40	45	42	N-9°-W
128	不整長楕円形	275	170	46	N-60°-W	160	不整方形	56	58	22	N-51°-E
129	不整長楕円形	149	68	26	N-82°-E	161	不整楕円形	146	125	49	N-76°-W
130	不整方形	89	95	42	N-30°-W	162	不整楕円形	101	74	24	N-89°-E
131	楕円形	146	135	33	N-63°-W	163	不整形	109	106	37	N-43°-W
132	不整円形	146	143	25	N-47°-W	164	不整隅丸長方形	140	78	18	N-71°-W
133	不整隅丸長方形	97	71	38	N-61°-E	165	不整隅丸長方形	184	168	46	N-67°-W
134	不整円形	122	123	26	N-74°-E	166	不整方形	178	189	33	N-50°-W

土坑 No	平面形	規模 (cm)			長軸方位	土坑 No	平面形	規模 (cm)			長軸方位
		東西	南北	深さ				東西	南北	深さ	
167	不整形	146	92	48	N-69°-W	199	不整楕円形	60	66	29	N-24°-E
168	不整楕円形	90	69	24	N-55°-W	200	不整円形	60	59	33	N-41°-E
169	不整楕丸長方形	169	166	63	N-83°-W	201	不整円形	47	42	49	N-44°-W
170	不整方形	258	253	19	N-71°-E	202	(不整楕円形)	148	(150)	62	N-17°-E
171	不整楕円形	108	198	58	N-19°-W	203	(不整楕円形)	(60)	110	26	N-57°-W
172	不整楕円形	121	128	45	N-23°-E	204	不整楕円形	53	82	26	N-33°-W
173	不整方形	182	186	41	N-64°-W	205	楕円形	47	51	61	N-70°-W
174	楕円形	126	127	60	N-33°-E	206	不整形	94	115	51	N-18°-W
175	不整円形	156	157	84	N-36°-E	207	不整楕円形	67	68	45	N-46°-E
176	(不整楕円形)	(67)	133	32	N-43°-E	208	不整長楕円形	121	(130)	23	N-10°-W
177	不整楕円形	182	163	45	N-82°-E	209	不整楕円形	48	81	37	N-16°-W
178	楕円形	60	76	18	N-26°-E	210	不整楕丸長方形	54	90	35	N-30°-W
179	不整円形	129	136	17	N-34°-W	211	不整楕円形	111	101	30	N-70°-E
180	不整楕丸長方形	93	153	60	N-6°-E	212	不整楕丸方形	158	196	79	N-23°-E
181	第3号土坑墓					213	不整楕円形	102	95	28	N-41°-E
182	不整方形	87	82	31	N-56°-E	214	第4号土坑墓				
183	不整楕円形	159	171	55	N-5°-W	215	不整円形	75	81	24	N-24°-E
184	不整楕円形	72	90	58	N-24°-E	216	不整楕丸方形	110	94	29	N-80°-W
185	不整方形	75	85	35	N-26°-E	217	不整楕円形	76	76	53	N-72°-E
186	楕円形	111	102	36	N-60°-E	218	不整楕円形	64	58	39	N-42°-E
187	不整形	174	151	65	N-64°-E	219	不整方形	58	66	42	N-45°-E
188	不整楕円形	129	125	38	N-11°-W	220	不整楕丸長方形	147	340	38	N-9°-E
189	不整楕円形	135	122	15	N-84°-W	221	不整楕円形	110	100	31	N-72°-E
190	(不整円形)	136	(108)	18	N-55°-W	222	楕円形	106	93	26	N-59°-W
191	不整形	87	78	57	N-46°-E	223	不整楕円形	92	78	31	N-66°-E
192	不整楕円形	60	61	71	N-44°-W	224	不整楕円形	131	126	52	N-29°-E
193	不整楕丸長方形	73	90	54	N-30°-W	225	円形	80	80	44	N-25°-E
194	不整楕円形	64	123	75	N-2°-E	226	不整楕円形	62	60	27	N-65°-W
195	不整方形	71	77	48	N-40°-W	227	楕円形	37	60	59	N-21°-E
196	楕円形	118	124	46	N-86°-W	228	円形	114	118	37	N-44°-E
197	不整楕円形	(115)	174	25	N-66°-W	229	不整楕丸長方形	64	42	51	N-11°-W
198	不整円形	46	49	33	N-35°-E	230	不整楕円形	42	41	54	N-23°-W

土坑 No	平 面 形	規 模 (cm)			長 軸 方 位	土 坑 No	平 面 形	規 模 (cm)			長 軸 方 位
		東西	南北	深さ				東西	南北	深さ	
231	不 整 形	59	114	59	N-22°-W	263	不 整 楕 圓 形	42	70	69	N-31°-W
232	楕 圓 形	74	73	44	N-66°-E	264	不 整 楕 圓 形	50	40	75	N-65°-E
233	不 整 楕 圓 形	41	38	27	N-49°-E	265	不 整 楕 圓 形	66	63	42	N-22°-E
234	楕 圓 形	41	59	52	N-6°-E	266	不 整 隅 丸 長 方 形	190	155	43	N-52°-E
235	不 整 楕 圓 形	48	65	73	N-11°-E	267	不 整 楕 圓 形	86	95	48	N-41°-E
236	不 整 長 楕 圓 形	160	84	40	N-84°-E	268	楕 圓 形	137	136	43	N-72°-W
237	楕 圓 形	99	107	40	N-24°-E	269	不 整 楕 圓 形	101	86	38	N-60°-W
238	圓 形	67	64	58	N-51°-W	270	不 整 楕 圓 形	111	110	48	N-40°-W
239	不 整 圓 形	36	35	41	N-49°-W	271	不 整 圓 形	97	103	46	N-10°-W
240	不 整 形	101	114	30	N-30°-E	272	不 整 圓 形	74	77	39	N-15°-W
241	不 整 隅 丸 方 形	73	57	30	N-75°-W	273	圓 形	75	69	31	N-67°-W
242	不 整 楕 圓 形	58	64	51	N-5°-E	274	楕 圓 形	59	93	32	N-53°-E
243	不 整 楕 圓 形	48	58	34	N-34°-E	275	不 整 楕 圓 形	54	57	11	N-64°-W
244	不 整 圓 形	54	53	52	N-43°-W	276	不 整 楕 圓 形	78	60	37	N-68°-E
245	不 整 方 形	69	65	45	N-63°-W	277	不 整 楕 圓 形	60	40	39	N-78°-E
246	不 整 圓 形	57	55	49	N-81°-E	278	隅 丸 長 方 形 (153)	259	49	N-21°-E	
247	楕 圓 形	78	74	33	N-38°-W	279	不 整 楕 圓 形 (99)	117	44	N-49°-W	
248	不 整 楕 圓 形	76	145	72	N-8°-W	280	不 整 楕 圓 形	55	51	53	N-61°-W
249	不 整 楕 圓 形	69	144	71	N-17°-W	281	不 整 楕 圓 形	42	40	56	N-64°-E
250	圓 形	223	226	42	N-34°-W	282	楕 圓 形	70	64	33	N-64°-W
251	不 整 楕 圓 形	56	63	33	N-37°-W	283	不 整 楕 圓 形	47	51	23	N-65°-E
252	不 整 長 楕 圓 形	129	148	24	N-52°-E	284	不 整 楕 圓 形	98	96	60	N-71°-W
253	不 整 楕 圓 形	113	112	32	N-44°-W	285	不 整 楕 圓 形	77	82	16	N-12°-W
254	不 整 楕 圓 形	142	159	74	N-45°-E	286	不 整 楕 圓 形	44	48	40	N-18°-E
255	不 整 楕 圓 形	125	142	63	N-7°-W	287	不 整 楕 圓 形	32	37	38	N-9°-W
256	不 整 隅 丸 方 形	96	103	27	N-19°-E	288	不 整 形	87	157	37	N-5°-E
257	隅 丸 長 方 形	128	46	47	N-74°-E	289	不 整 楕 圓 形	64	71	18	N-10°-W
258	不 整 隅 丸 長 方 形	184	266	27	N-35°-W	290	不 整 楕 圓 形	132	63	22	N-77°-W
259	不 整 圓 形	61	63	30	N-13°-W	291	不 整 圓 形	35	39	49	N-54°-E
260	不 整 楕 圓 形	55	61	51	N-19°-W	292	楕 圓 形	97	118	59	N-36°-E
261	圓 形	85	90	37	N-13°-W	293	不 整 形	119	126	22	N-63°-W
262	不 整 楕 圓 形	54	46	48	N-62°-W	294	不 整 楕 圓 形	71	88	36	N-11°-W

土坑No	平面形	規模 (cm)			長軸方位	土坑No	平面形	規模 (cm)			長軸方位
		東西	南北	深さ				東西	南北	深さ	
295	不整楕円形	71	44	42	N-63°-E	327	楕円形	76	86	17	N-32°-W
296	不整楕円形	108	104	47	N-13°-W	328	不整形	86	27	19	N-12°-W
297	不整円形	115	112	24	N-47°-W	329	楕円形	63	48	10	N-70°-E
298	楕円形	116	108	59	N-63°-W	330	楕円形	39	43	19	N-28°-E
299	不整楕円形	137	141	47	N-15°-W	331	不整楕円形	80	99	93	N-11°-E
300	不整楕円形	89	88	69	N-27°-E	332	不整楕円形	80	112	79	N-12°-E
301	不整形	122	197	49	N-13°-W	333	不整円形	61	53	36	N-69°-W
302	不整円形	163	163	83	N-77°-E	334	不整形	80	57	26	N-73°-W
303	(不整楕円形)	(81)	100	32	N-66°-E	335	円形	57	56	34	N-21°-W
304	不整楕円形	170	187	50	N-4°-W	336	不整円形	79	80	47	N-49°-W
305	楕円形	58	90	56	N-15°-E	337	不整楕円形	53	85	37	N-27°-W
306	円形	58	56	43	N-60°-W	338	不整楕円形	52	82	37	N-15°-W
307	不整楕円形	65	77	35	N-10°-W	339	不整楕円形	65	50	21	N-65°-E
308	不整形	68	70	15	N-37°-W	340	楕円形	106	96	28	N-59°-E
309	不整楕円形	79	62	14	N-74°-W	341	不整長楕円形	131	144	88	N-25°-W
310	不整楕円形	72	85	22	N-8°-W	342	不整楕円形	83	81	85	N-28°-E
311	不整円形	79	78	35	N-43°-E	343	不整円形	104	113	76	N-8°-E
312	不整楕円形	133	111	50	N-28°-E	344	不整長楕円形	187	164	65	N-45°-E
313	不整楕円形	133	138	47	N-25°-E	345	不整長楕円形	267	185	106	N-67°-W
314	不整楕円形	107	141	60	N-34°-E	346	不整楕円形	120	103	97	N-58°-E
315	不整楕円形	152	168	16	N-21°-E	347	不整楕円形	128	128	58	N-26°-W
316	楕円形	98	153	69	N-6°-W	348	不整楕円形	62	130	36	N-13°-W
317	不整楕円形	96	92	36	N-59°-E	349	不整形	49	(59)	43	N-24°-E
318	不整楕円形	98	108	71	N-26°-E	350	不整楕円形	170	151	59	N-79°-E
319	楕円形	78	91	24	N-12°-W	351	円形	87	84	42	N-76°-W
320	不整円形	80	77	39	N-53°-W	352	不整長方形	62	43	24	N-63°-E
321	不整楕円形	117	100	53	N-66°-W	353	楕円形	35	35	20	N-58°-E
322	不整楕円形	61	56	17	N-50°-W	354	不整形	52	56	42	N-60°-W
323	不整楕円形	57	46	15	N-41°-E	355	楕円形	30	28	31	N-32°-E
324	不整楕円形	70	64	84	N-71°-W	356	不整楕円形	79	74	21	N-68°-E
325	不整楕円形	65	71	46	N-35°-W	357	不整楕円形	(78)	100	60	N-31°-W
326	不整長方形	51	99	19	N-39°-W	358	不整形	(95)	106	47	N-53°-E

土坑 No.	平面形	規模 (cm)			長軸方位	土坑 No.	平面形	規模 (cm)			長軸方位
		東西	南北	深さ				東西	南北	深さ	
359	楕円形	40	30	34	N-71°-W	391	楕円形	84	103	44	N-8°-E
360	円形	69	61	23	N-54°-W	392	不整形	176	106	41	N-74°-E
361	不整形楕円形	102	66	36	N-73°-W	393	不整形	88	120	75	N-16°-W
362	不整形楕円形	71	89	54	N-12°-E	394	不整形楕円形	93	113	45	N-15°-E
363	不整形楕円形	71	62	54	N-90°-E	395	不整形楕円形	80	100	33	N-7°-W
364	楕円形	53	49	28	N-51°-W	396	不整形楕円形	109	125	34	N-24°-W
365	不整形	290	137	40	N-42°-W	397	不整形	(87)	136	54	N-36°-W
366	不整形楕円形	94	93	37	N-54°-E	398	不整形	147	122	36	N-36°-E
367	不整形楕円形	65	70	61	N-36°-E	399	不整形楕円形	249	235	27	N-69°-E
368	不整形楕円形	67	(61)	80	N-13°-E	400	不整形楕円形	95	97	28	N-17°-W
369	不整形楕円形	75	66	81	N-82°-W	401	不整形楕円形	61	58	38	N-34°-E
370	不整形楕円形	79	72	80	N-77°-W	402	不整形楕円形	53	57	47	N-9°-E
371	不整形楕円形	122	120	43	N-79°-E	403	円形	53	52	47	N-54°-W
372	不整形	110	113	46	N-47°-E	404	不整形楕円形	66	66	75	N-20°-W
373	不整形楕円形	144	176	50	N-27°-W	405	楕円形	52	43	41	N-72°-E
374	不整形	98	91	51	N-69°-E	406	不整形楕円形	51	57	43	N-33°-E
375	不整形楕円形	74	78	64	N-51°-E	407	不整形楕円形	74	57	49	N-72°-W
376	不整形楕円形	74	64	33	N-72°-W	408	不整形楕円形	95	116	55	N-39°-E
377	不整形	60	57	14	N-34°-W	409	不整形楕円形	141	111	64	N-74°-W
378	不整形楕円形	106	95	77	N-65°-W	410	不整形	95	96	34	N-46°-E
379	不整形	131	281	47	N-11°-E	411	不整形楕円形	69	84	35	N-7°-W
380	不整形楕円形	(113)	126	47	N-20°-E	412	不整形楕円形	97	171	25	N-7°-E
381	円形	59	58	16	N-41°-W	413	不整形	51	54	46	N-21°-E
382	不整形	92	108	43	N-31°-W	414	楕円形	45	35	29	N-79°-E
383	不整形楕円形	145	103	33	N-66°-W	415	不整形楕円形	107	132	45	N-15°-E
384	不整形楕円形	65	64	21	N-39°-W	416	不整形楕円形	57	54	28	N-66°-E
385	不整形楕円形	93	166	25	N-33°-E	417	不整形楕円形	60	59	24	N-42°-W
386	不整形楕円形	71	118	53	N-14°-W	418	楕円形	60	56	23	N-68°-E
387	不整形楕円形	66	65	44	N-55°-W	419	不整形楕円形	103	72	34	N-47°-E
388	不整形楕円形	98	103	37	N-23°-E	420	不整形楕円形	53	50	21	N-64°-E
389	不整形楕円形	71	69	76	N-34°-W	421	不整形楕円形	74	86	34	N-16°-W
390	不整形楕円形	129	175	62	N-31°-E	422	不整形楕円形	100	95	46	N-22°-W

土坑No	平面形	規模 (cm)			長軸方位	土坑No	平面形	規模 (cm)			長軸方位
		東西	南北	深さ				東西	南北	深さ	
423	不整楕円形	83	77	18	N-38'-W	455	不整隅丸方形	68	70	63	N-5'-W
424	不整楕円形	52	42	48	N-63'-W	456	不整長楕円形	281	112	55	N-90'-E
425	不整楕円形	84	65	22	N-72'-W	457	不整形	112	108	27	N-25'-W
426	円形	59	63	57	N-6'-E	458	不整形	388	388	67	N-40'-W
427	不整楕円形	39	59	43	N-34'-W	459	不整楕円形	124	107	16	N-80'-W
428	不整楕円形	87	159	31	N-15'-W	460	不整隅丸長方形	151	115	48	N-85'-W
429	不整楕円形	128	208	48	N-4'-E	461	不整隅丸方形	80	79	17	N-35'-W
430	不整楕円形	72	94	46	N-48'-W	462	不整楕円形	144	123	109	N-58'-E
431	不整楕円形	82	99	37	N-21'-W	463	不整隅丸長方形	146	120	36	N-30'-E
432	不整楕円形	66	59	31	N-68'-W	464	不整隅丸方形	156	143	52	N-42'-E
433	不整方形	176	173	50	N-52'-E	465	不整隅丸長方形	156	138	65	N-70'-W
434	不整楕円形	44	42	40	N-26'-W	466	不整楕円形	120	123	76	N-54'-E
435	楕円形	(71)	79	27	N-76'-E	467	不整長方形	91	66	47	N-82'-W
436	不整楕円形	79	72	20	N-48'-W	468	不整形	125	125	41	N-23'-W
437	不整楕円形	76	116	69	N-31'-E	469	不整長方形	163	179	53	N-32'-W
438	不整楕円形	55	47	21	N-42'-E	470	不整円形	242	262	61	N-7'-E
439	楕円形	158	133	32	N-79'-E	471	不整形	162	109	28	N-81'-E
440	円形	52	53	16	N-40'-E	472	不整楕円形	94	103	62	N-55'-W
441	不整楕円形	57	37	10	N-70'-W	473	不整円形	102	105	83	N-14'-E
442	不整楕円形	50	60	27	N-37'-W	474	不整形	172	172	32	N-74'-W
443	不整楕円形	44	84	30	N-17'-E	475	不整形	141	306	57	N-38'-W
444	不整楕円形	95	113	75	N-8'-W	476	不整形	283	516	42	N-8.5'-E
445	不整楕円形	68	86	74	N-15'-E	477	不整形	263	180	41	N-83'-W
446	不整隅丸長方形	83	96	44	N-11'-E	478	不整形	161	311	40	N-17'-W
447	不整楕円形	49	74	42	N-12'-E	479	不整形	267	258	29	N-36'-E
448	不整楕円形	48	46	24	N-39'-E	480	不整長方形	199	(113)	31	N-83'-E
449	不整楕円形	89	(86)	57	(N-26'-W)	481	不整楕円形	64	106	44	N-10'-E
450	不整形	85	86	37	N-24'-W	482	不整楕円形	118	144	54	N-48'-E
451	不整楕円形	140	165	39	N-4'-W	483	不整楕円形	110	129	33	N-31'-W
452	不整方形	140	145	19	N-28'-W	484	不整形	138	148	63	N-18'-E
453	不整隅丸方形	169	174	23	N-26'-W	485	不整長方形	129	137	28	N-46'-W
454	不整楕円形	68	72	53	N-24'-W	486	不整楕円形	105	95	23	N-50'-W

土塚 No.	平 面 形	規 模 (cm)			長 軸 方 位	土塚 No.	平 面 形	規 模 (cm)			長 軸 方 位
		東西	南北	深さ				東西	南北	深さ	
487	不整楕円形	141	78	39	N-65°-W	505	不整楕円形	61	44	34	N-79°-W
488	不 整 形	68	86	62	N-12°-W	506	不整楕円形	58	47	27	N-61°-E
489	円 形	73	78	29	N-12°-E	507	不整円形	46	48	25	N-65°-E
490	不整楕円形	105	168	36	N-17°-E	508	不整隅九方形	157	146	16	N-56°-W
491	不整楕円形	75	85	22	N-14°-E	509	不 整 形	(89)	59	17	N-68°-W
492	不整長方形	132	116	37	N-51°-E	510	不整楕円形	81	68	59	N-72°-E
493	不整長楕円形	193	241	39	N-10°-W	511	不 整 方 形	74	86	62	N-15°-W
494	不 整 形	127	(153)	36	N-21°-E	512	隅丸長方形	97	(78)	78	N-46°-E
495	円 形	78	78	44	N-68°-E	513	不整楕円形	62	(60)	30	N-32°-E
496	不 整 形	161	117	70	N-55°-E	514	不 整 方 形	68	62	38	N-45°-E
497	不整隅丸長方形	86	69	26	N-41°-E	515	不整楕円形	74	70	55	N-55°-E
498	不 整 形	353	398	48	N-24°-W	516	不整楕円形	82	95	36	N-22°-W
499	不整楕円形	116	105	79	N-54°-W	517	不整楕円形	61	68	14	N-20°-W
500	不整楕円形	111	123	104	N-22°-W	518	不整楕円形	71	127	38	N-9°-E
501	不整楕円形	92	140	39	N-35°-W	519	不整楕円形	48	42	50	N-40°-W
502	不整楕円形	103	98	33	N-38°-W	520	第5号土坑墓				
503	不 整 形	(81)	81	38	N-44°-E	521	不整長楕円形	323	341	84	N-37°-W
504	不整楕円形	94	121	42	N-37°-E	522	不整隅九方形	46	45	40	N-38°-W

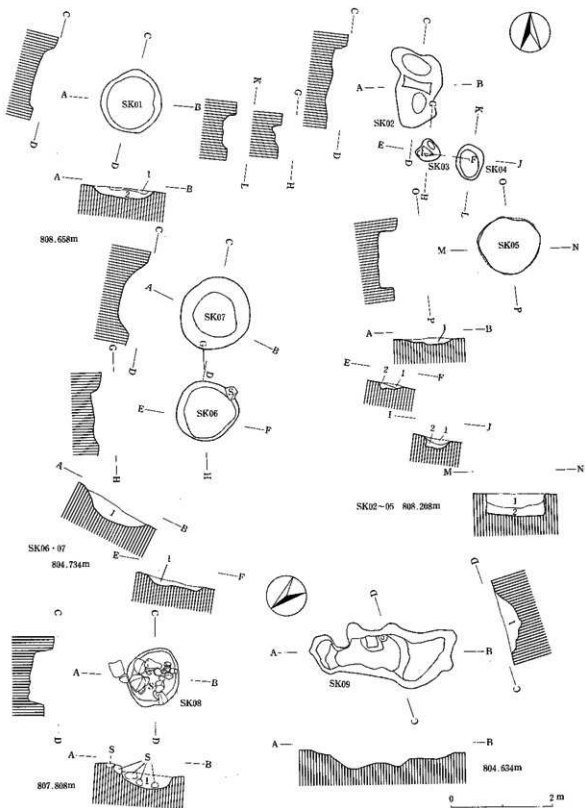
10 グリッド出土遺物

遺物 (第190・217~238・240~266・268~271岡、図版126~142・150~184・187~199)

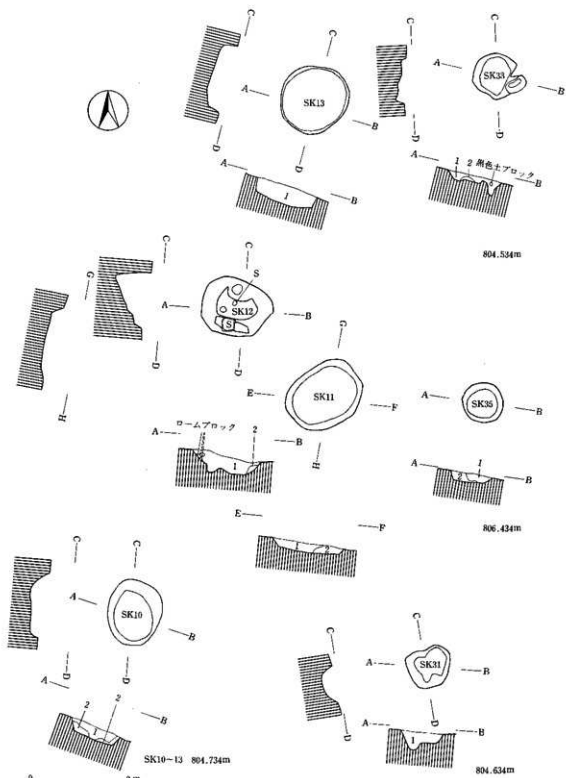
グリッド出土遺物には、縄文時代・弥生時代・平安時代の土器、縄文時代と考えられる土製品、石器、石製品、骨角器、獣骨類のほか、中近世の銭貨として「聖宋元宝」(1101年)、「寛永通宝」(1636~1860年)がある。

なお、前年行なわれた試掘調査時のトレンチ出土遺物もここに含めた。

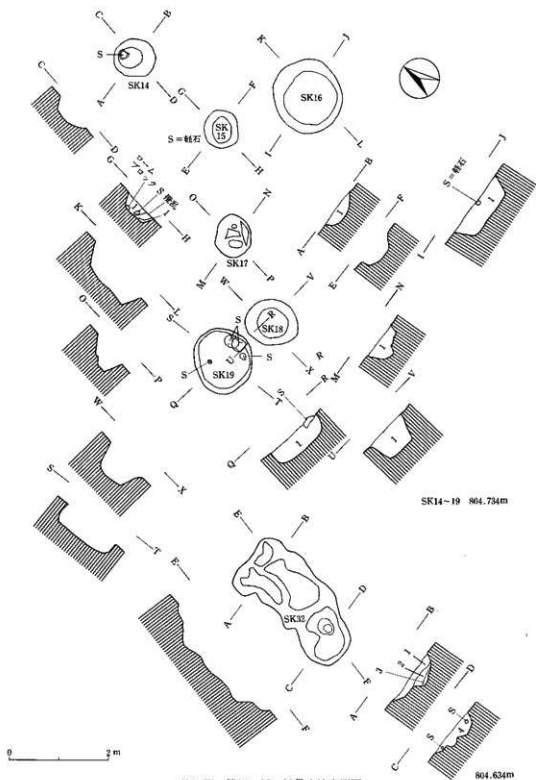
また、調査区V区F列からVII区A列にかけては、黒色土が存在し、遺構確認が困難であったため、遺物分布図を作成しながら、掘り下げを行なった。したがって、グリッド出土遺物には、住居址に伴出する遺物が存在すると考えられるが、時間の制約により割愛せざるをえなかった。



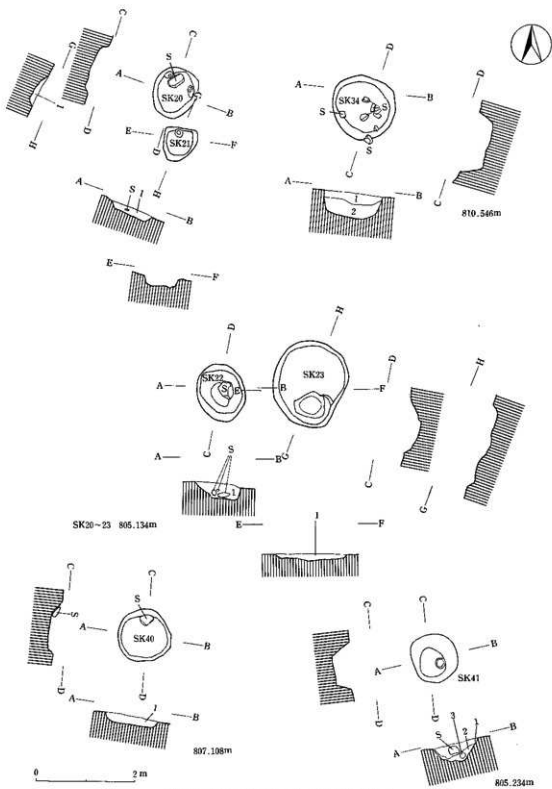
第90图 第1~9号土坑实测图



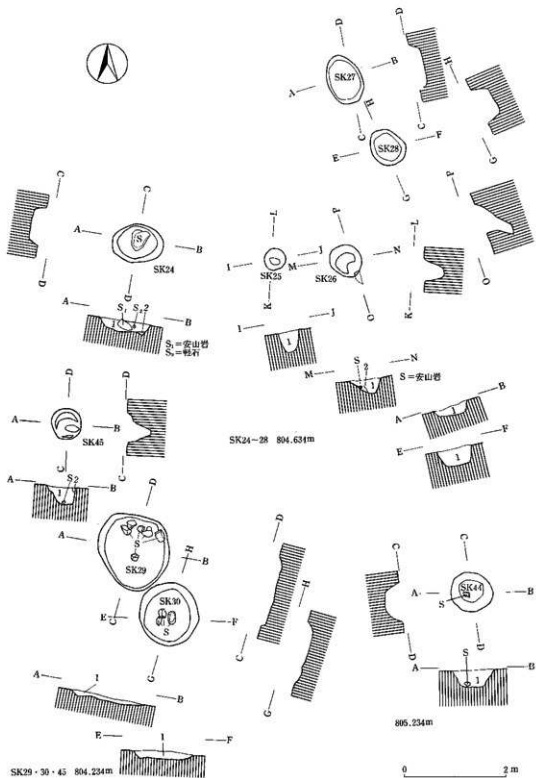
第91圖 第10~13・31・33・35号土坑実測圖



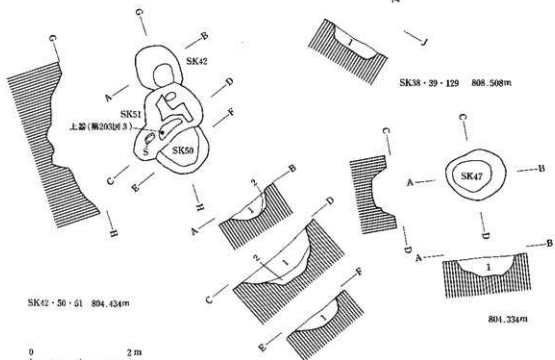
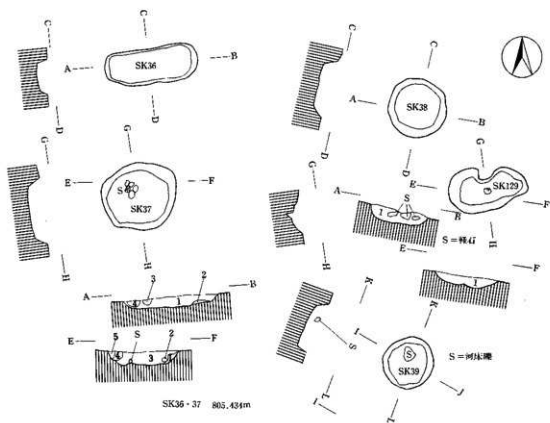
第92图 第14-19·32号土坑实测图



第93圖 第20~23·34·40·41号土坑炭測圖

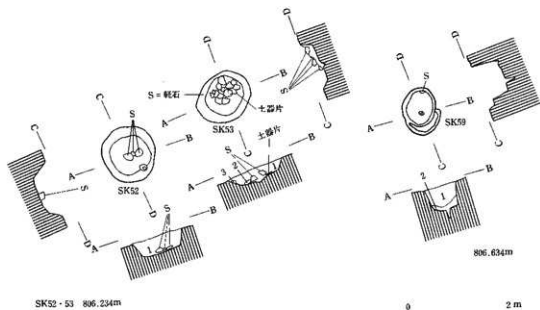
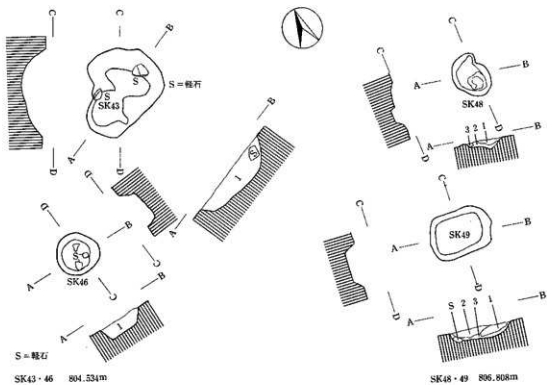


第94图 第24~30·44·45号土坑实测图

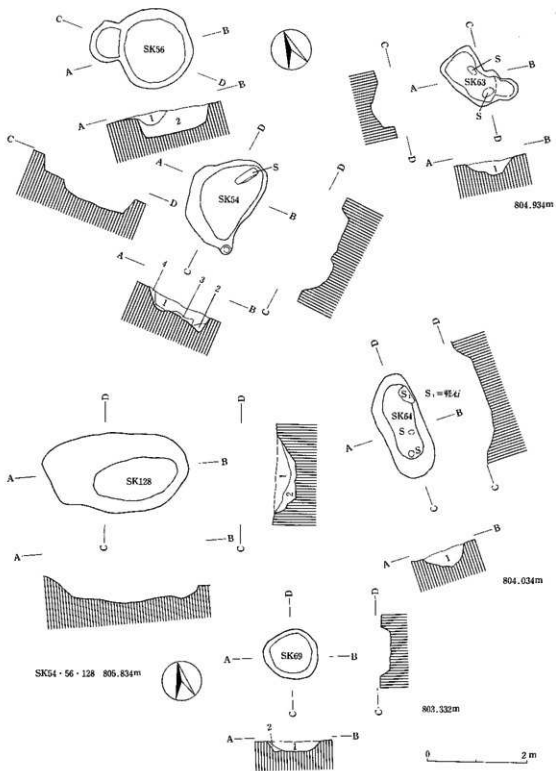


0 2 m

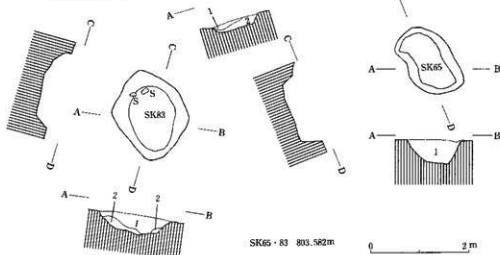
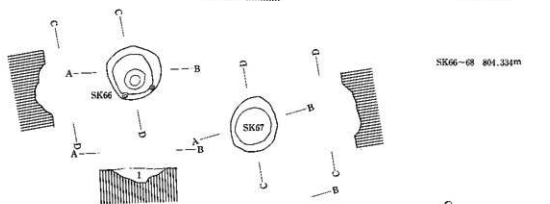
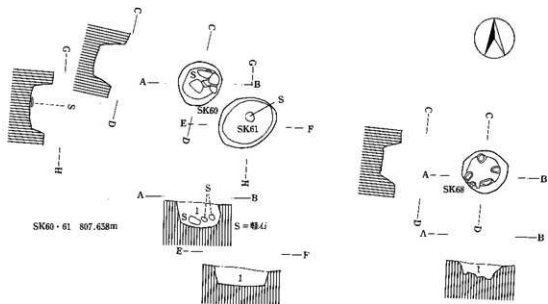
第95图 第36~39·42·47·50·51·129号土坑夷测图



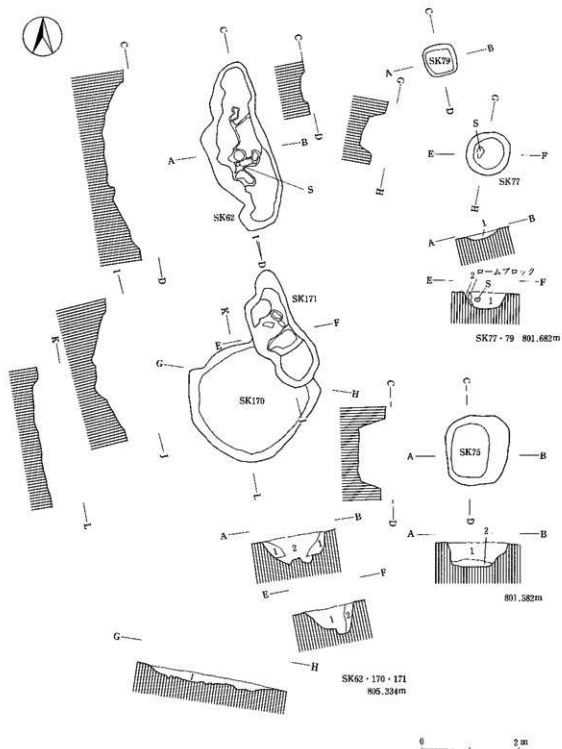
第96图 第43·46·48·49·52·53·59号土坑实测图



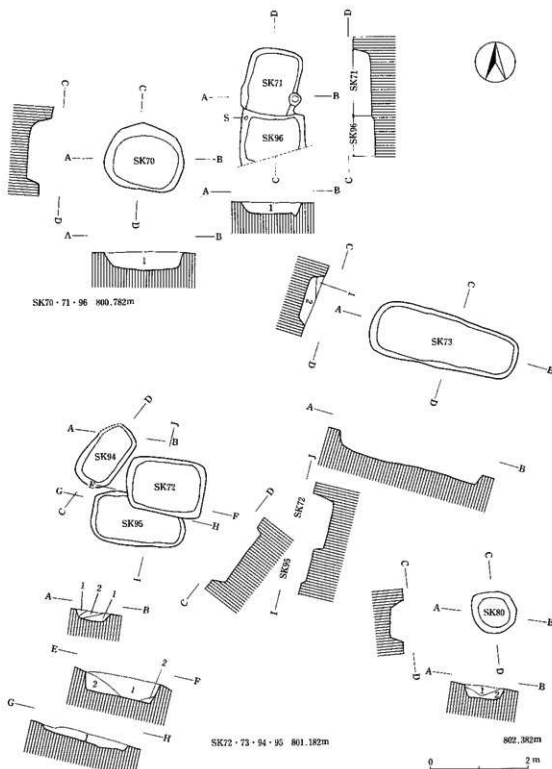
第97图 第54·56·63·64·69·128号土坑测图



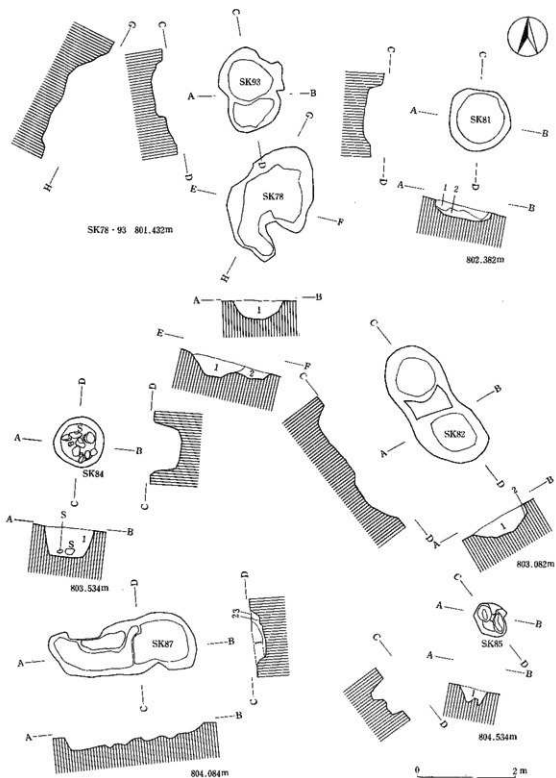
第98图 第60·61·65~68·83号土坑实测图



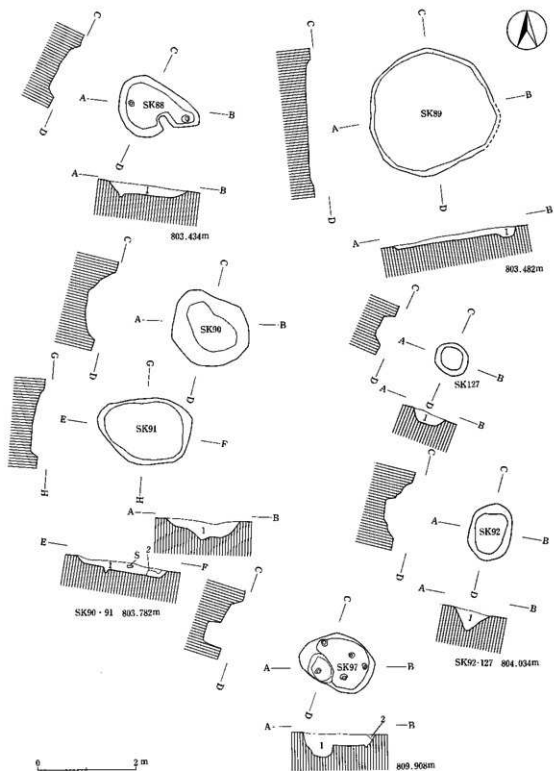
第99图 第62·75·77·79·170·171号土坑实测图



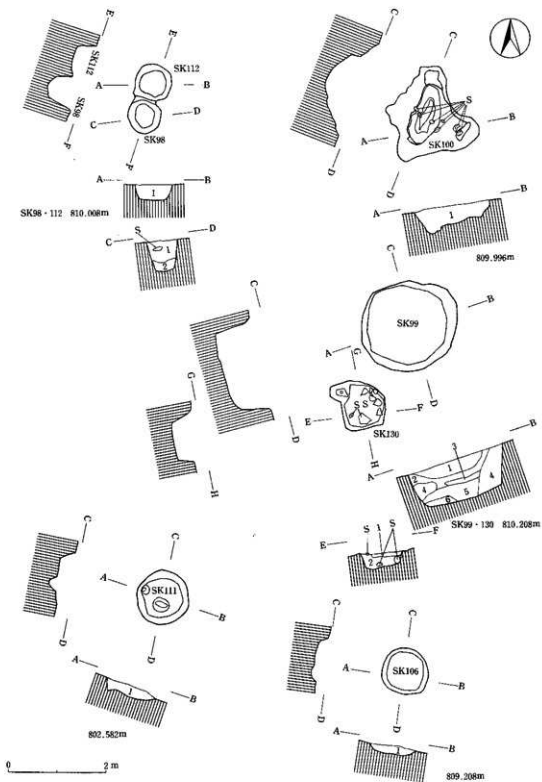
第100图 第70~73·80·94~96号土坑实测图



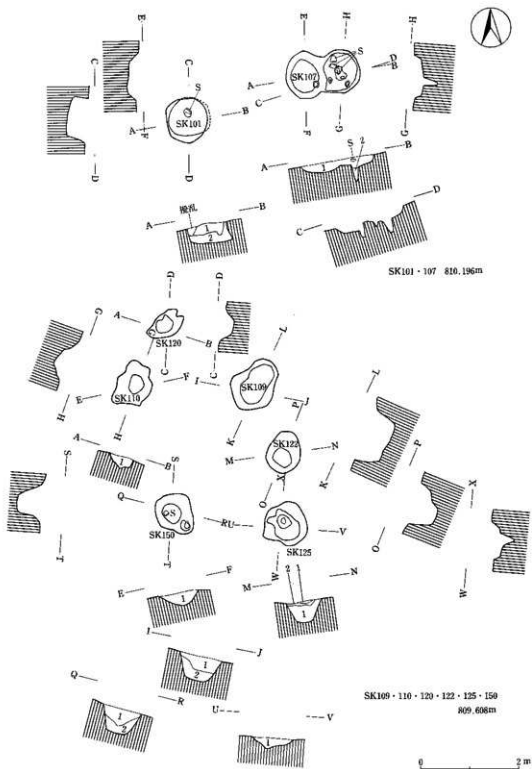
第101图 第78·81·82·84·85·87·93号土坑实测图



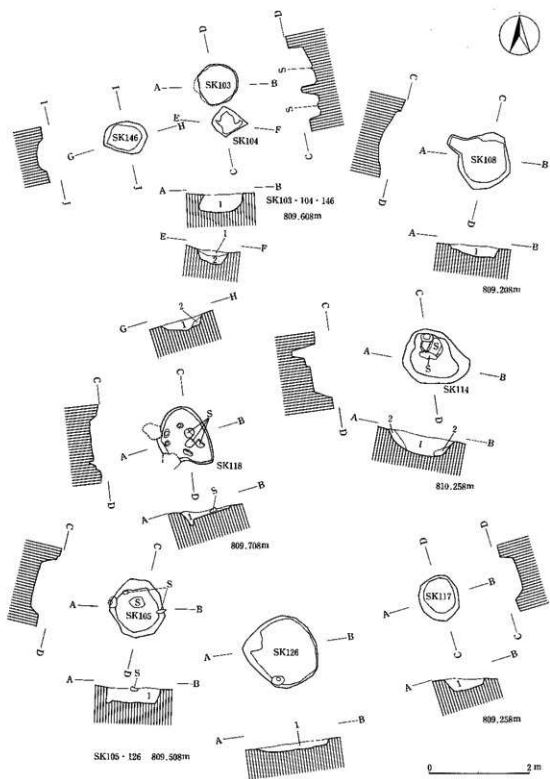
第102图 第88~92·97·127号上坑实测图



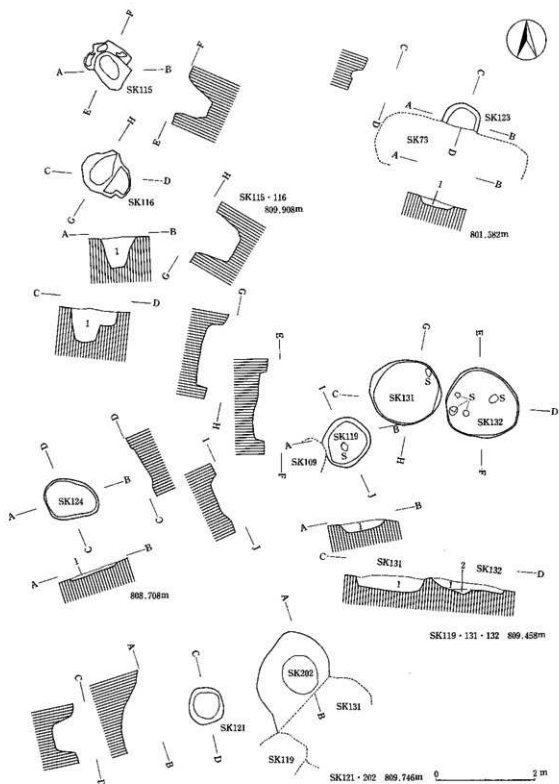
第103图 第98~100·106·111·112·130号土坑实测图



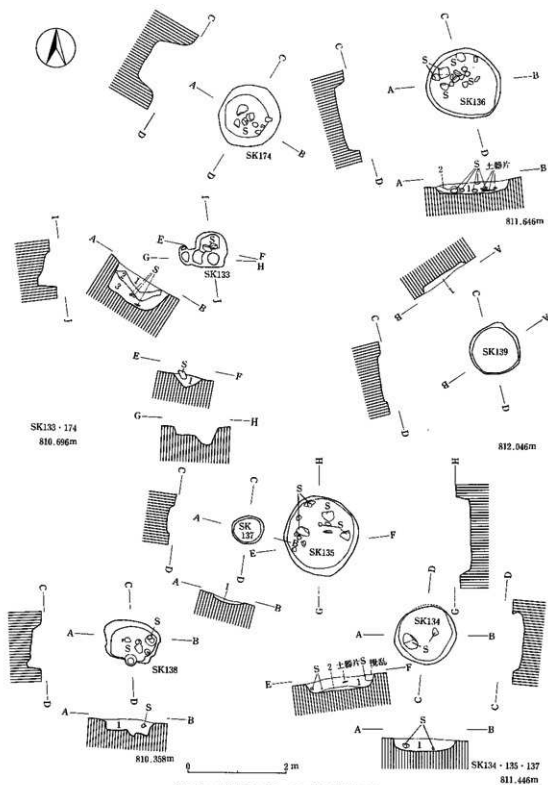
第104图 第101·107·109·110·120·122·125·150号上坑实例图



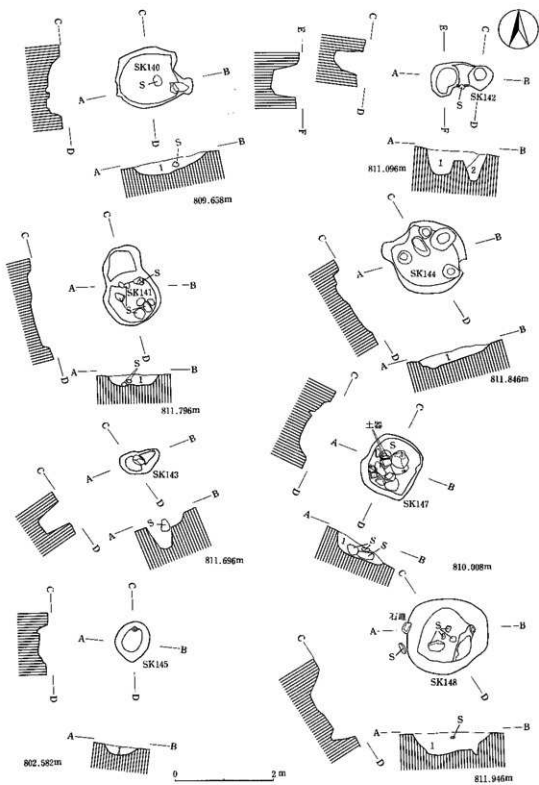
第105图 第103~105·108·114·117·118·126·146号土坑实测图



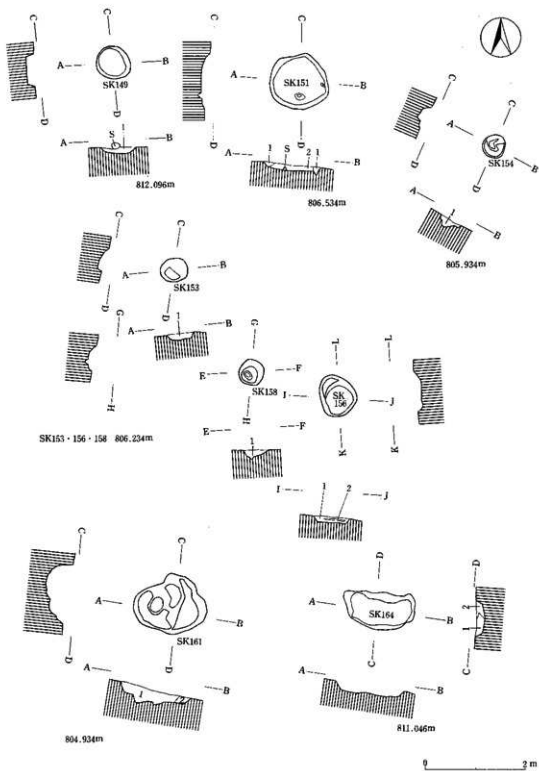
第106图 第115·116·119·121·123·124·131·132·202号土坑实测图



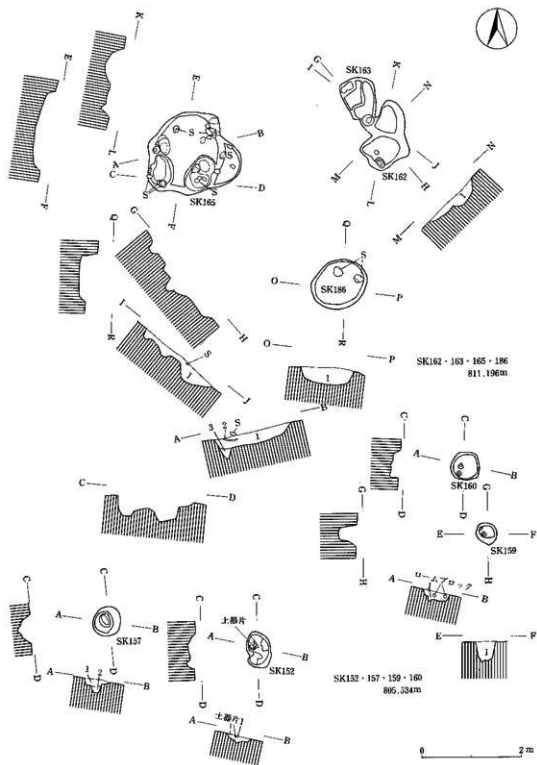
第107图 第133~139·174号土坑平面图



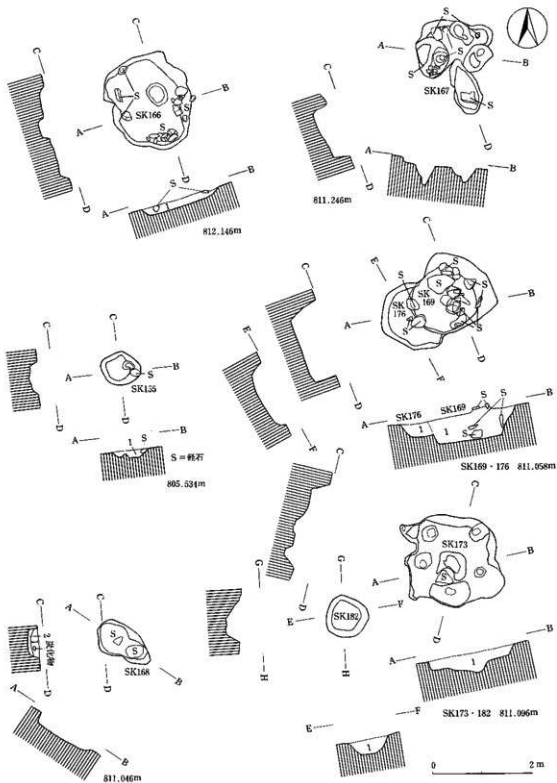
第108图 第140~145·147·148号土坑实测图



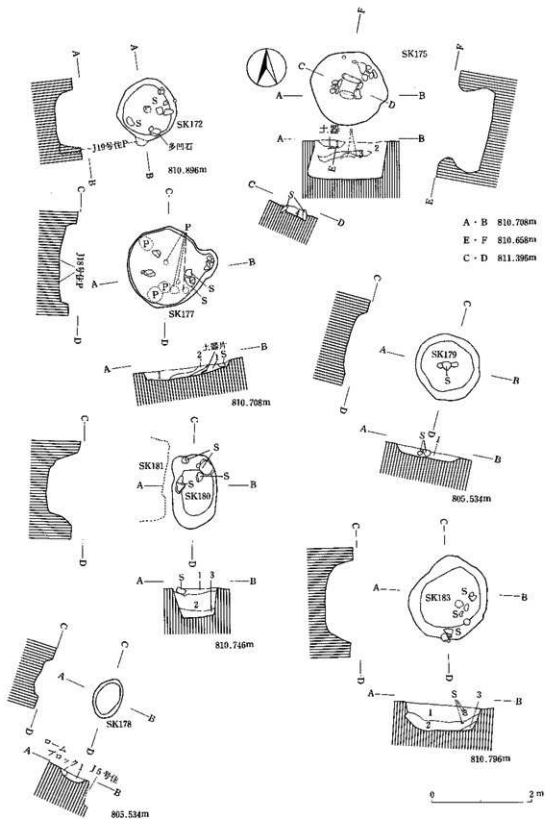
第109图 第149·151·153·154·156·158·161·164号土坑实测图



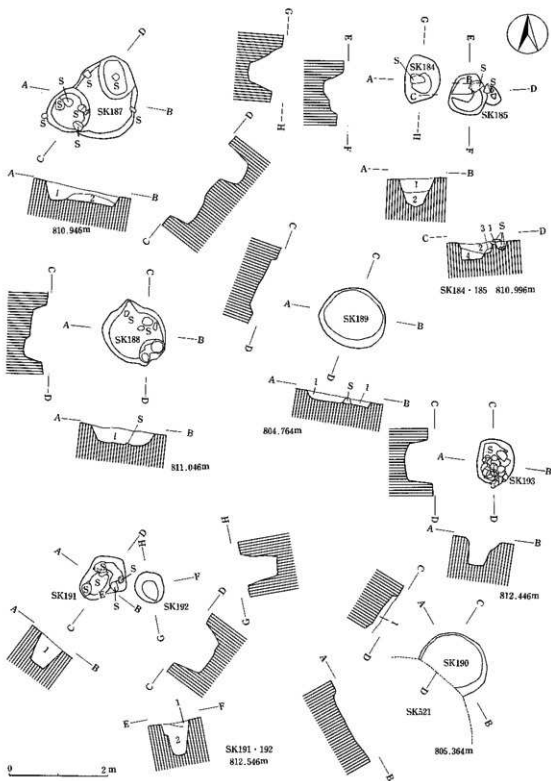
第110图 第152·157·159·160·162·163·165·186号土坑实测图



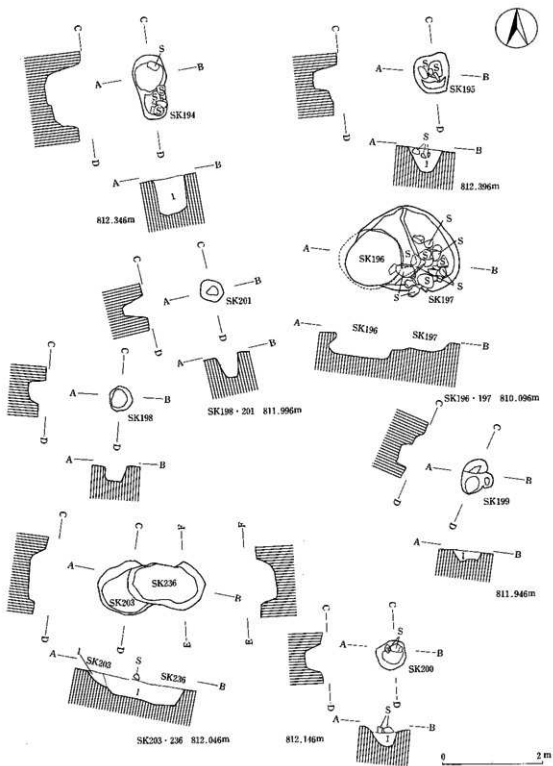
第111图 第155·166~169·173·176·182号土坑实测图



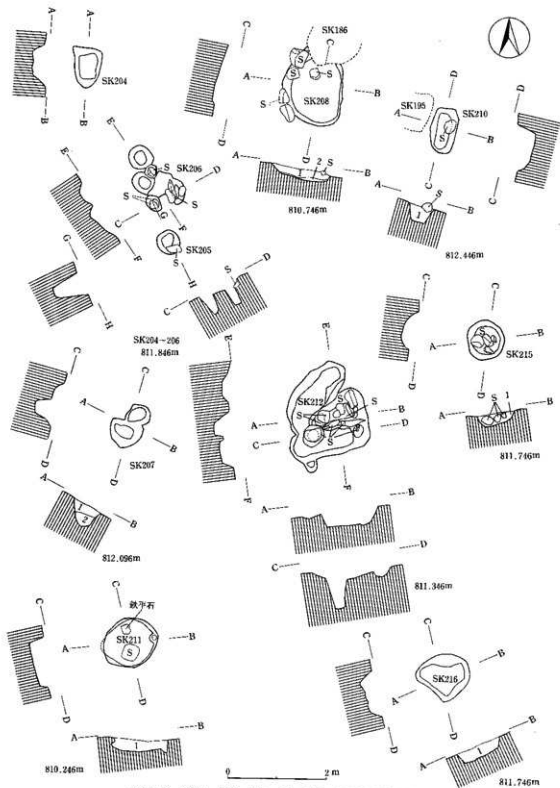
第112图 第172·175·177~180·183号土坑实测图



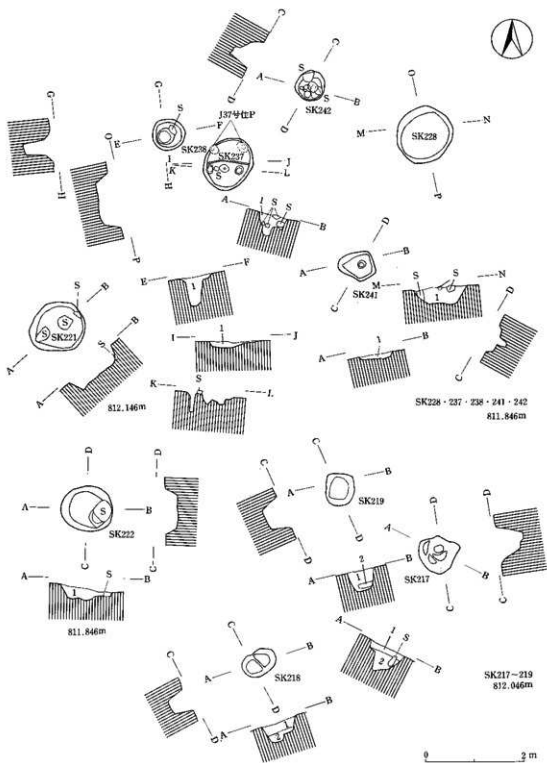
第113图 第184·185·187~193号上坑实测图



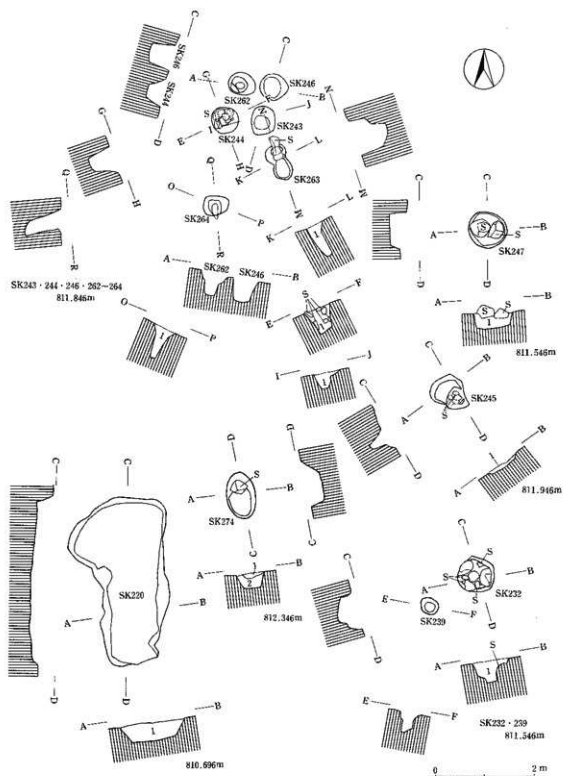
第114图 第194~201·203·236号土坑实测图



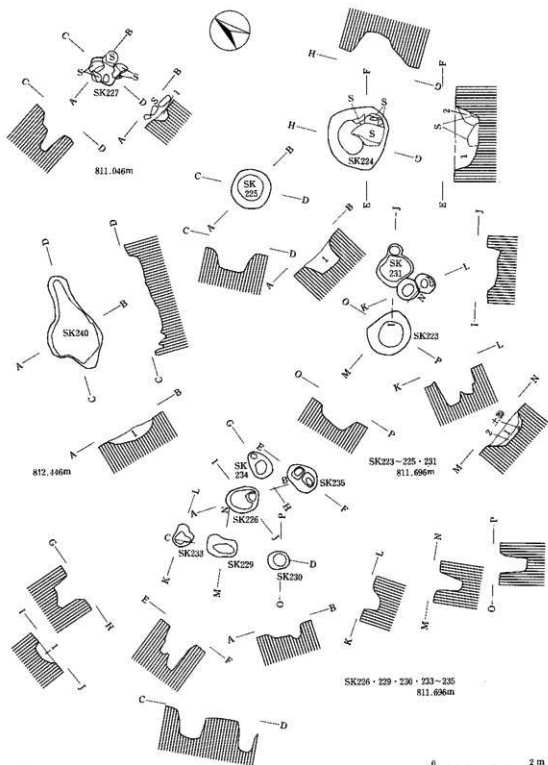
第115图 第204~208·210~212·215·216号土坑实测图



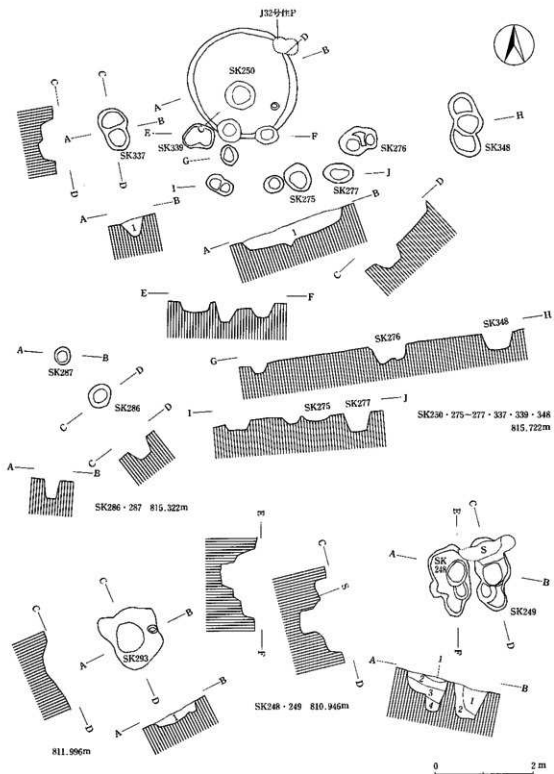
第116圖 第217-219·221·222·228·237·238·241·242号上坑実測圖



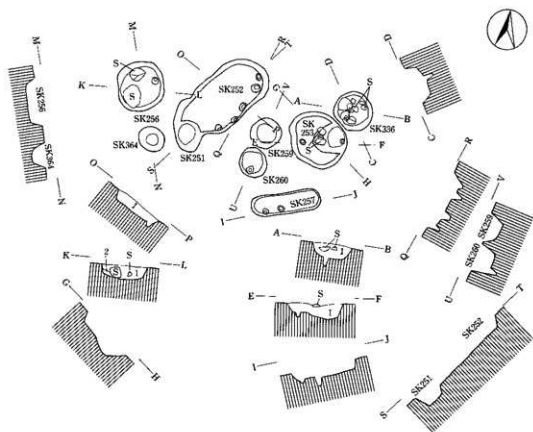
第117图 第220·232·239·243~247·262~264·274号土坑夹测图



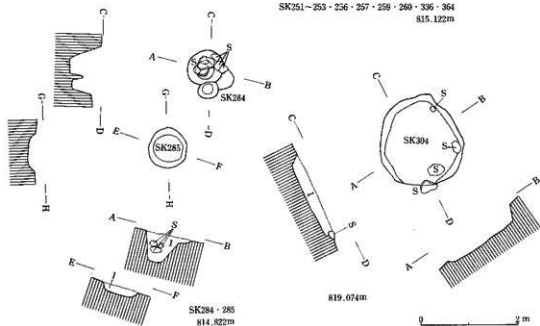
第118图 第223~227·229~231·233~235·240号土坑平面图



第119图 第248~250 · 275~277 · 286 · 287 · 293 · 337 · 339 · 348号土坑实测图



SK251~253·256·257·259·260·304·336·364
815.122m

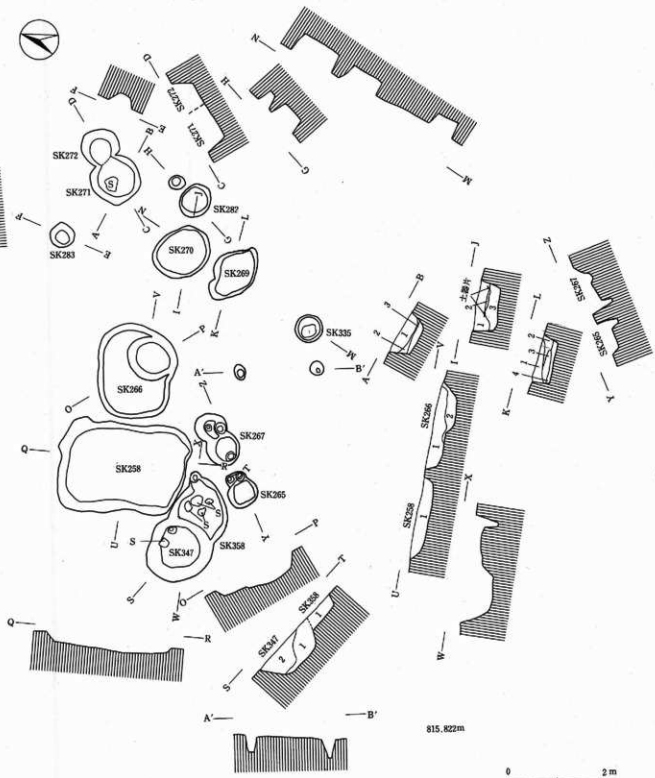
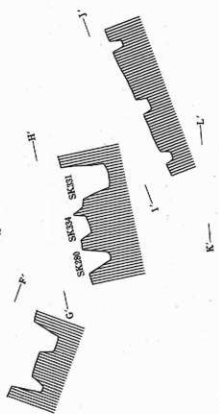
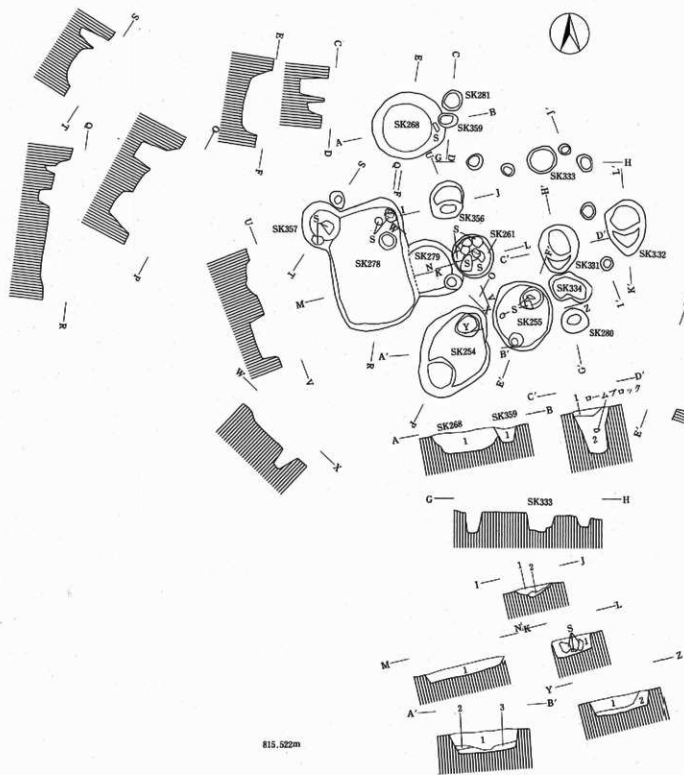


SK284·285
814.822m

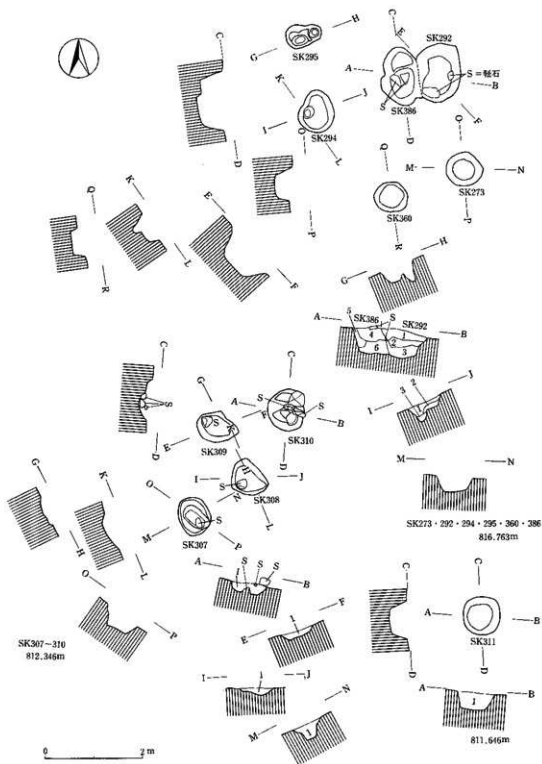
819.074m

0 2m

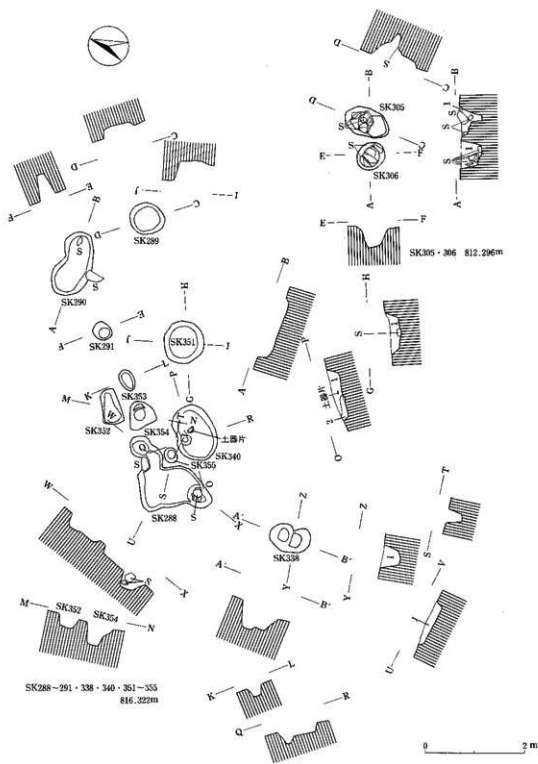
第120图 第251~253·256·257·259·260·284·285·304·336·364号土坑实测图



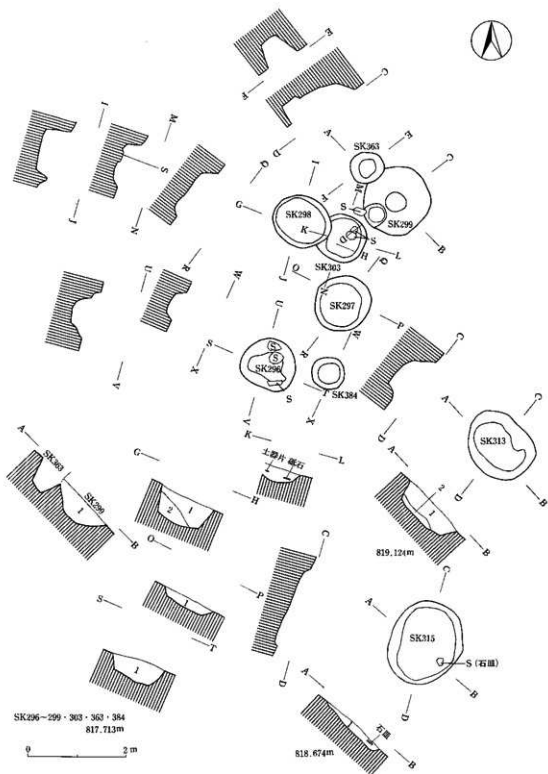
第121图 第254·255·258·261·265-272·278-283·331-335·347·356-359号土坑平面图



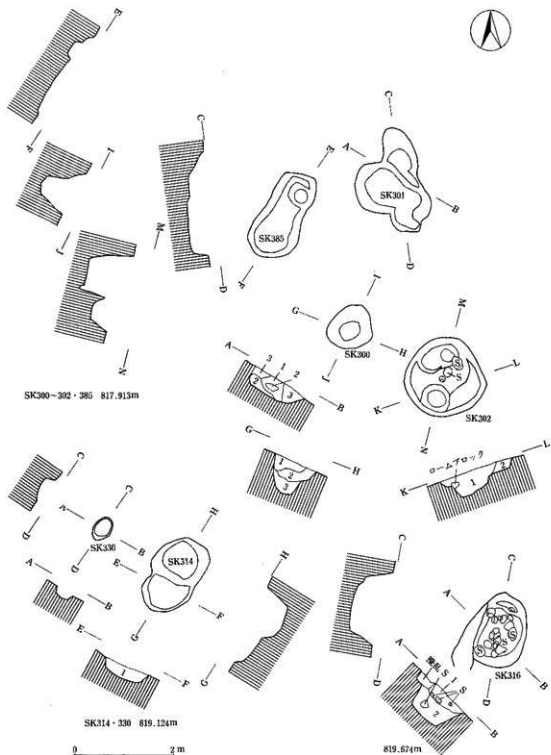
第122图 第273·292·294·295·307-311·360·386号土坑实测图



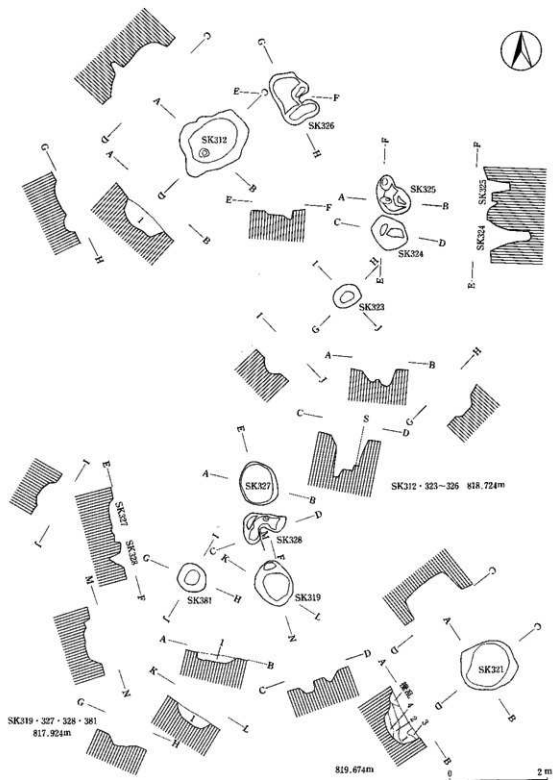
第123图 第288-291·305·306·338·340·351-355号土坑实测图



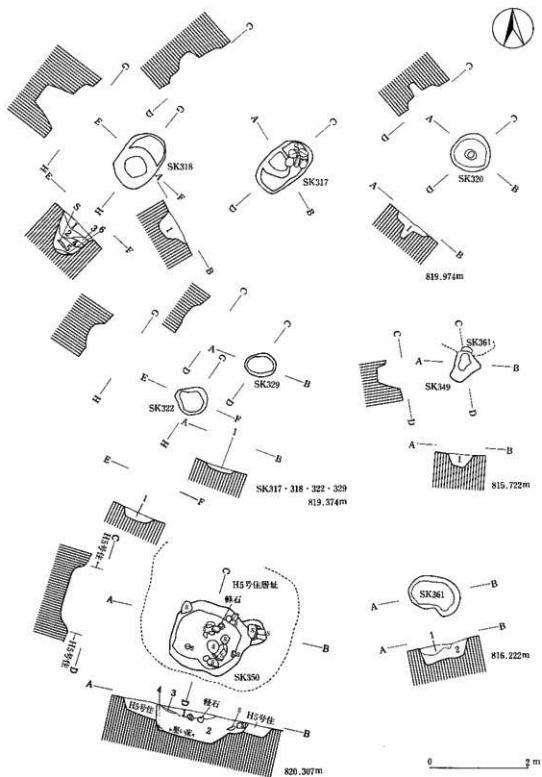
第124图 第296~299 · 303 · 313 · 315 · 363 · 384号土坑夷测图



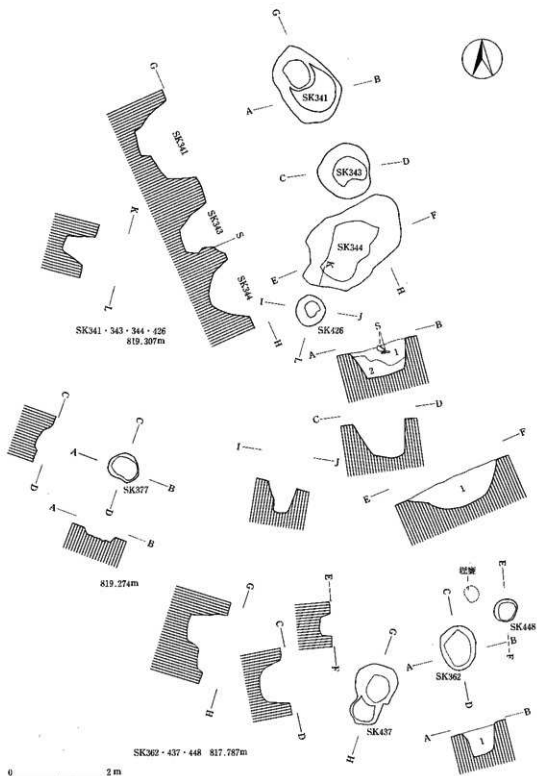
第125图 第300-302・314・316・330・385号土坑平面图



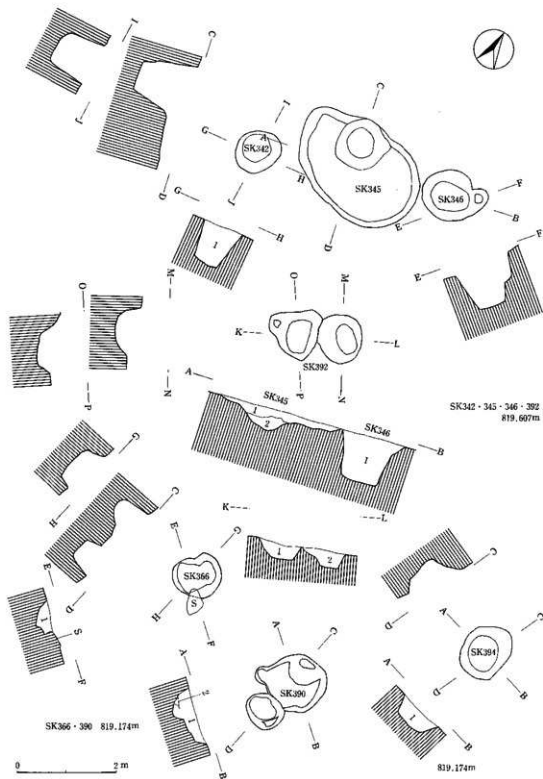
第126图 第312·319·321·323~328·381号土坑实测图



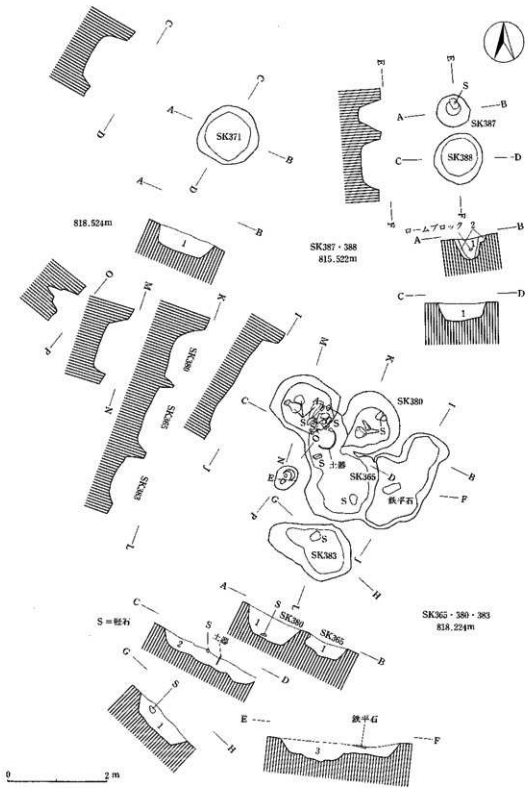
第127图 第317·318·320·322·329·349·350·361号土坑实测图



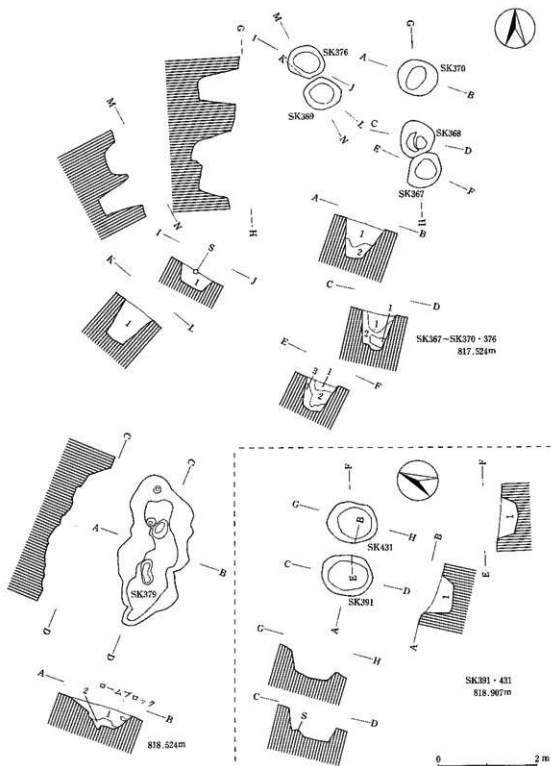
第128圖 第341·343·344·362·377·426·437·448号土坑実測圖



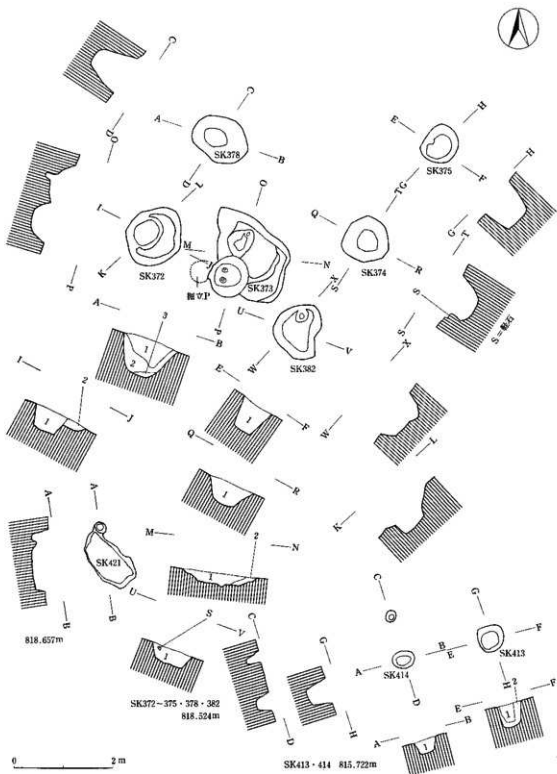
第129图 第342·345·346·366·390·392·394号上坑实测图



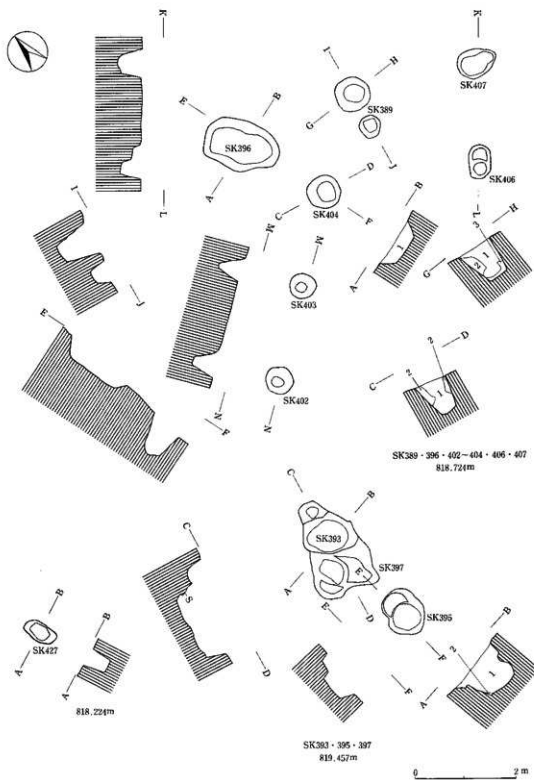
第130図 第365・371・380・383・387・388号土坑実測図



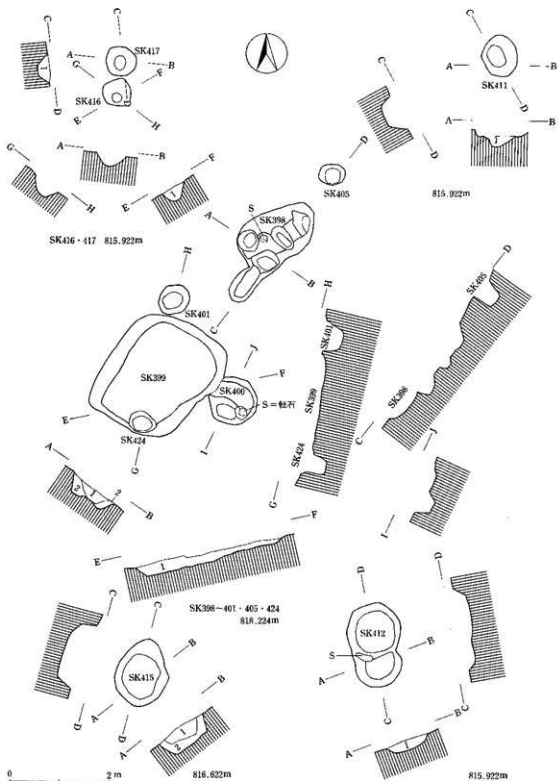
第131图 第367-370·376·379·391·431号土坑平面图



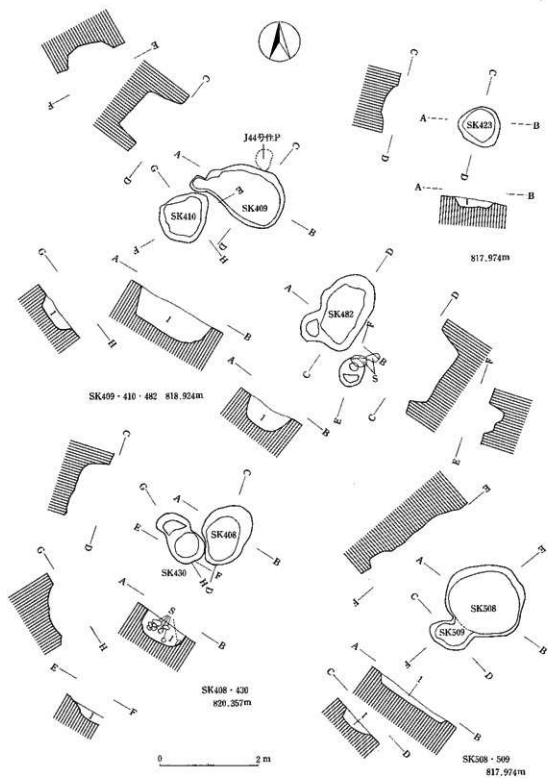
第132图 第372~375·378·382·413·414·421号土坑实测图



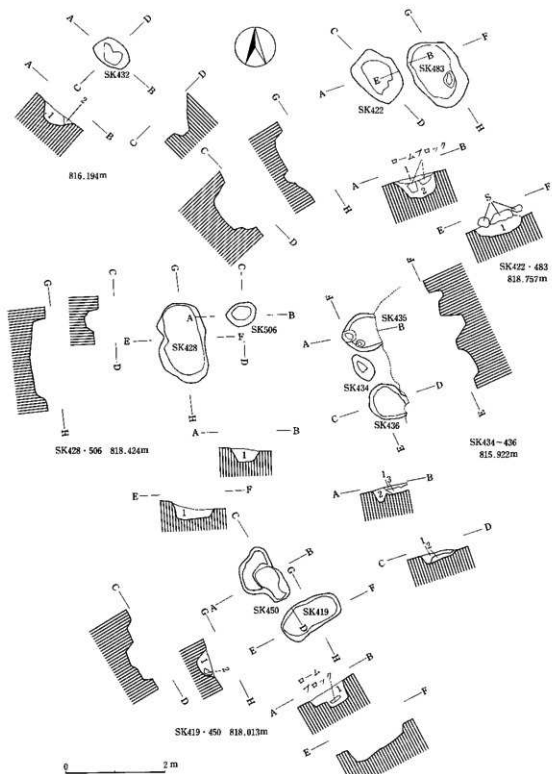
第133图 第389·393·395-397·402-404·406·407·427号土坑灾测图



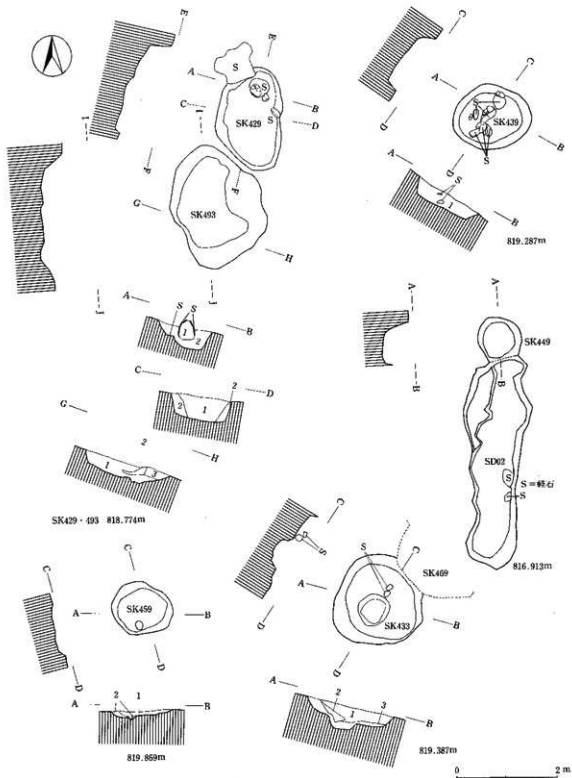
第134图 第398-401·405·412·415-417·424号土坑实测图



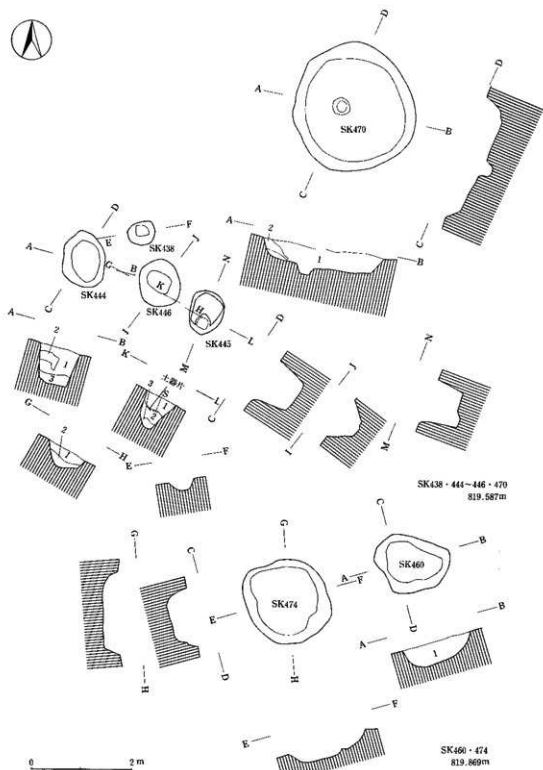
第135图 第408-410·423·430·482·508·509号土坑实测图



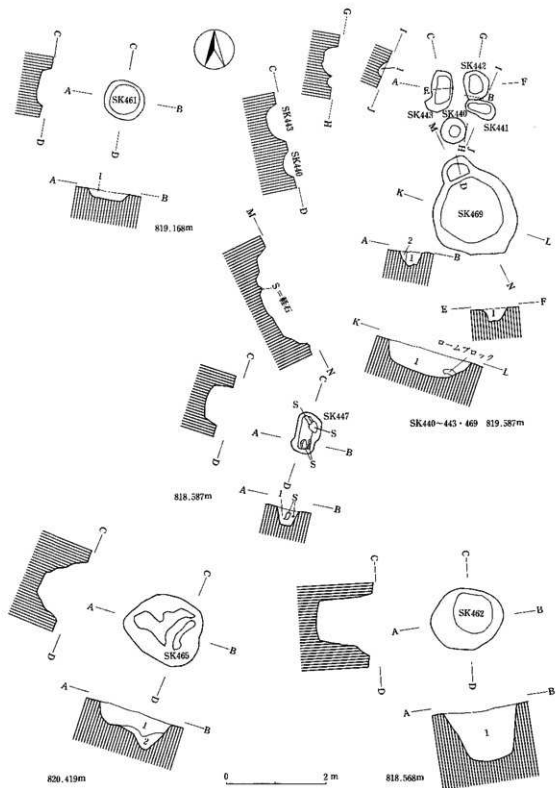
第136图 第419·422·428·432·434~436·450·483·506号土坑夹测图



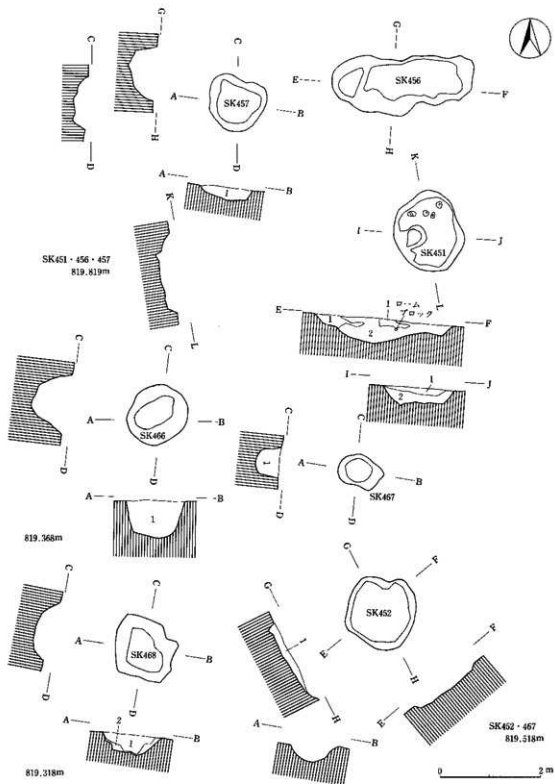
第137图 第429·433·439·449·459·493号土坑实测图



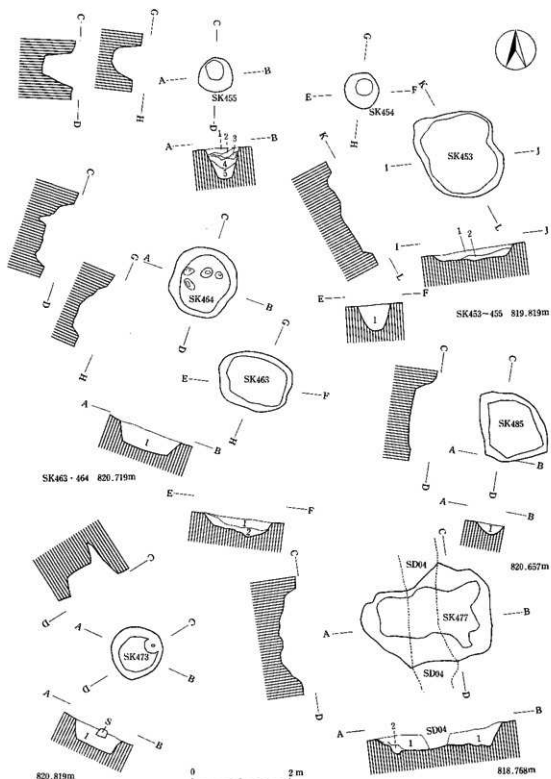
第138图 第438·444~446·460·470·474号土坑实测图



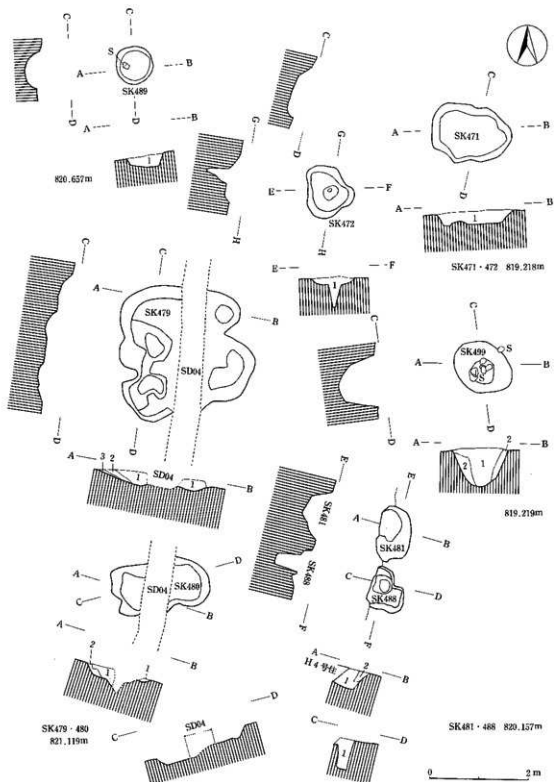
第139图 第440-443·447·461·462·465·469号土坑实测图



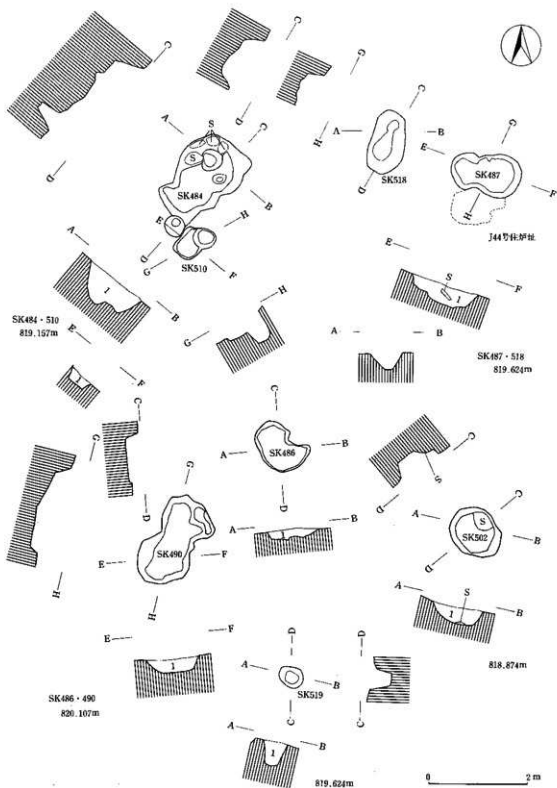
第140图 第451·452·456·457·466~468号土坑实测图



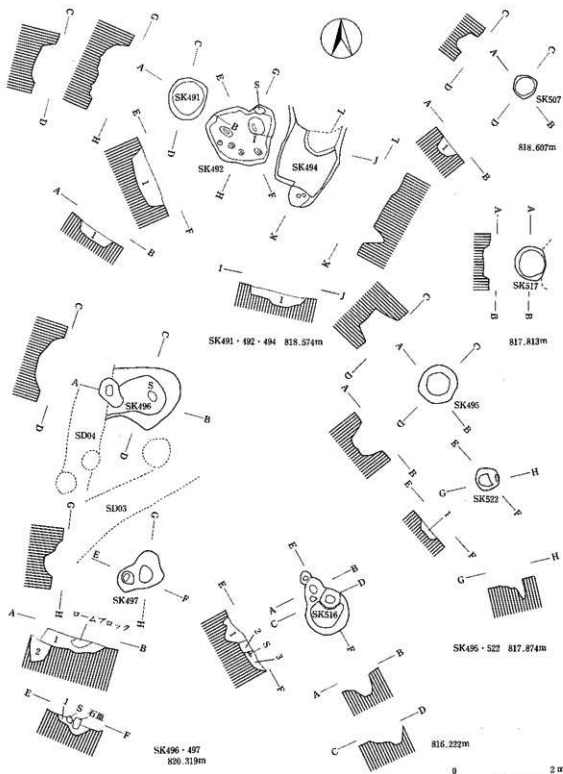
第141图 第453~455·463·464·473·477·485号土坑夹测图



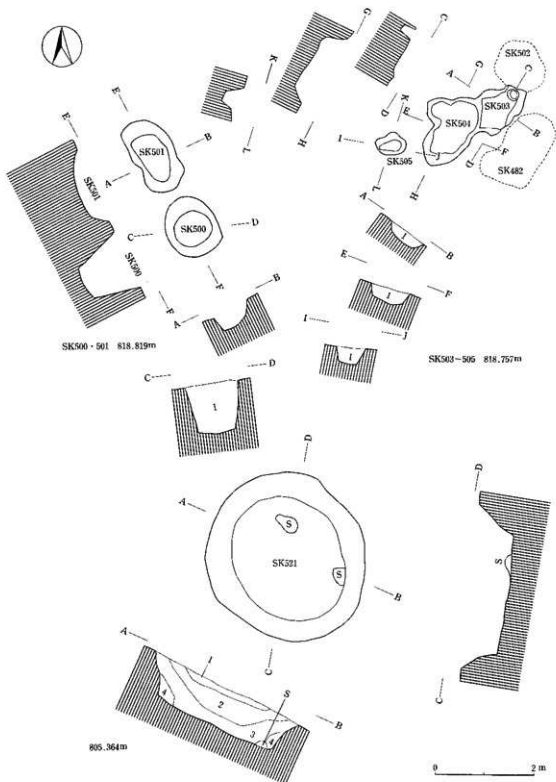
第142图 第471·472·479~481·488·489·499号土坑实测图



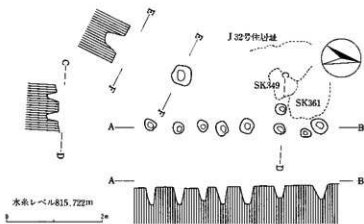
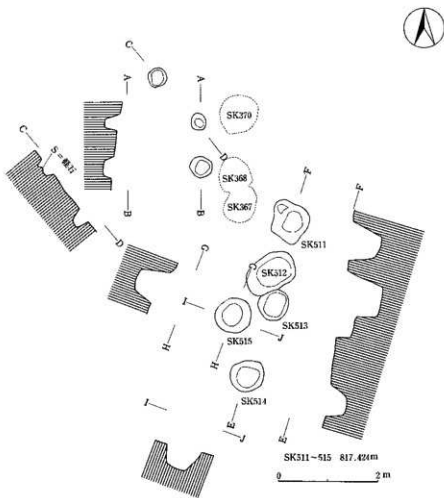
第143图 第484·486·487·490·502·510·518·519号土坑实测图



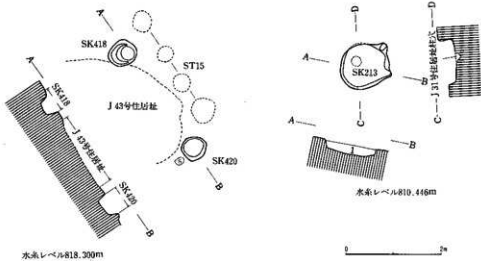
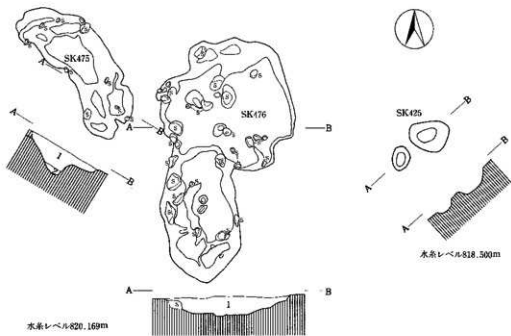
第144図 第491・492・494～497・507・516・517・522号土坑夷削図



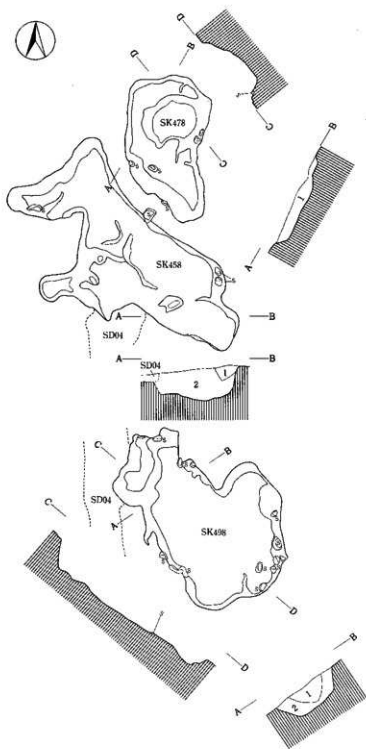
第145图 第500·501·503~505·521号土坑平面图



第146図 第511～515号土坑・ピット群実測図



第147図 第213・418・420・425・475・476号土坑実測図



第148図 第458・478・498号土坑実測図

土坑層序説明

第90回

- SK01 第1層 黒褐色土層(10YR3/2)φ0.5~2cmのバミスを、ローム粒子を含む
第2層 黒色土層(10YR2/1)φ0.5~1cmのバミス、ローム粒子を含む
- SK02 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~3cmのバミスを含む
- SK03 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~3cmのバミスを含む
第2層 褐色土層(7.5YR5/6)堆山に相限するか黒色土粒子を含む
- SK04 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~1cmのバミス、ローム粒子を含む
第2層 暗褐色土層(10YR3/3)φ0.5~7cmのバミスを含む
- SK05 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~2cmのバミスを含む
第2層 黒褐色土層(7.5YR3/1)φ0.5~1cmのバミスを含む
- SK06 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~2cmのバミスを含む
- SK07 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~6cmのバミスを含む
- SK08 第1層 黒色土層(7.5YR1.7/1)φ0.2~1cmのバミスを含む
- SK09 第1層 黒褐色土層(5YR2/1)φ0.2~1.5cmのバミスを含む、腐っていない

第91回

- SK10 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.2~3.5cmのバミスを含む
第2層 上層に黄褐色土層(10YR4/3)φ0.2~4cmのバミス、ローム粒子を含む
- SK11 第1層 暗褐色土層(10YR3/3)φ0.2~0.5cmのバミス、ローム粒子を多く含む
第2層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.2~6cmのバミスを多く含む
- SK12 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.1~0.3cmのバミスを含む
第2層 暗褐色土層(10YR3/3)ローム粒子を含む
- SK13 第1層 黒色土層(10YR2/1)φ0.2~5cmのバミスのほか、ローム粒を僅かに含む
- SK31 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.2~4cmのバミス、ローム粒子を含む
- SK33 第1層 黒褐色土層(10YR3/2)φ0.2~1cmのバミスのほか、黒色土ブロックを含む
第2層 黒色土層(10YR2/1)バミスを僅かに含む
- SK35 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~1cmのバミスを少量含む
第2層 上層に褐色土層(7.5YR5/3)φ1~2cmのバミスを含む

第92回

- SK14 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.2~1cmのバミスのほか、ローム粒を僅かに含む
- SK15 第1層 黒褐色土層(10YR3/2)φ0.2~2.5cmのバミスのほか、ローム粒子を含む
- SK16 第1層 黒色土層(10YR1.7/1)φ0.2~4cmのバミスを多く含むほか、ローム粒を僅かに含む
- SK17 第1層 黒色土層(7.5YR1.7/1)φ0.1~3cmのバミス、ローム粒子を多く含む
- SK18 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.1~4cmのバミスのほか、ローム粒子を含む
- SK19 第1層 黒色土層(10YR2/1)φ0.1~6cmのバミスのほか、ローム粒を僅かに含む
- SK32 第1層 暗褐色土層(7.5YR2/3)φ0.1~8cmのバミスを含む
第2層 褐色土層(7.5YR4/3)φ0.5~3cmのバミスを含む
第3層 褐色土層(7.5YR4/6)堆山に相限

第4層 黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.1~7cmのバミスを含む

第93回

- SK20 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.1~1cmのバミスのほか、ローム粒を含む
- SK21 第1層 黒褐色土層(7.5YR3/1)φ0.1~0.5cmのバミス、ローム粒を僅かに含む
- SK22 第1層 黒褐色土層(10YR2/3)φ0.1~10cmのバミスを多く含む
- SK23 第1層 黒褐色土層(10YR3/2)φ0.1~4cmのバミスを含む
- SK34 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~10cmのバミスを含む
第2層 黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.5~4cmのバミス、ローム粒を含む
- SK40 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~3cmのバミスを含む
- SK41 第1層 黒色土層(7.5YR1.7/1)φ0.5~1cmのバミスを含む
第2層 褐色土層(7.5YR4/6)φ0.5~1cmのバミスを多く含む
第3層 暗褐色土層(7.5YR2/3)ローム粒を多量に含む

第94回

- SK24 第1層 黒褐色土層(5YR3/1)φ0.1~1cmのバミスを僅かに含む
第2層 暗褐色土層(7.5YR3/3)φ0.1~0.3cmのバミス、ローム粒を多く含む
- SK25 第1層 黒褐色土層(10YR3/1)ローム粒を僅かに含む
- SK26 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.2~0.5cmのバミスを僅かに含む
第2層 褐色土層(7.5YR4/3)ローム粒を含む
- SK27 第1層 黒褐色土層(10YR3/2)φ0.1~0.5cmのバミス、ローム粒を含む
- SK28 第1層 黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.5~2cmのバミスを僅かに含む
- SK29 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.2~1.5cmのバミスを含む
- SK30 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.2~10cmのバミスを含む
- SK44 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~3cmのバミスを含む
- SK45 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~1cmのバミスを含む
第2層 黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.5cmのバミスを含む

第95回

- SK36 第1層 黒色土層(7.5YR1.7/1)φ0.1~3cm前後のバミスを含む
第2層 黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.1~3cmのバミスを多く含む
第3層 黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.1~3cmのバミスを含む
- SK37 第4層 暗褐色土層(7.5YR3/4)φ1~3cmのバミスを含む
第1層 褐色土層(7.5YR4/6)φ2cm前後のバミスを含む
第2層 上層に褐色土層(7.5YR5/4)ロームブロック
第3層 黒色土層(7.5YR1.7/1)φ0.1~3cmのバミスを含む
第4層 褐色土層(7.5YR4/3)ローム粒を含む
第5層 黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.1~3cmのバミスを含む
- SK38 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.1~3cmのバミスを含む
- SK39 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~3cmのバミスを含む
- SK42 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~6cmのバミスを含む
第2層 褐色土層(7.5YR4/6)φ0.5~0.8cmのバミスを含む
- SK47 第1層 黒褐色土層(10YR3/2)φ0.5~3cmのバミス、ローム粒を含む
- SK50 第1層 暗褐色土層(10YR3/3)φ0.1~0.5cmのバミス、ローム粒を僅かに含む
- SK51 第1層 黒褐色土層(10YR3/2)φ0.5~6cmのバミスを含む
第2層 黒褐色土層(7.5YR3/2)φ0.1~0.5cmのバミスを僅かに含む

SK129 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.2-8cmのバミス、ローム粒子を多く含む。締っていない

第96図

SK43 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.1-4cmのバミス、ローム粒子を多く含む

SK46 第1層 黒褐色土層(7.5YR3/2)φ0.2-4cmのバミス、ローム粒子を多く含む

SK48 第1層 黒色土層(7.5YR1.7/1)φ1-2cmのバミスを含む
第2層 褐色土層(7.5YR4/6)φ0.5-2cmのバミスを含む
第3層 黒色土層(7.5YR1.7/1)φ0.5cm前後のバミスを少し含む

SK49 第1層 暗褐色土層(7.5YR3/3)φ0.1-6cmのバミスを含む

第2層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.1-2cmのバミスを含む

第3層 黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.2-1cmのバミスを含む

SK52 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5-7cm前後のバミスを含む

SK53 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ1-4cmのバミスを含む

第2層 黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.5-3cmのバミスを含む

第3層 暗褐色土層(7.5YR3/3)φ0.5-2cmのバミスを含む

SK59 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.3-7cmのバミスを含む

第2層 黒褐色土層(10YR3/2)φ0.3-5cmのバミス、ローム粒子を多く含む

第97図

SK54 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5-5cmのバミスを含む

第2層 褐色土層(7.5YR4/6)φ1-2cmのバミスを含む

第3層 褐色土層(7.5YR4/6)ローム粒子を多量に含む

第4層 暗褐色土層(7.5YR3/3)φ0.5-7cmのバミスを含む

SK56 第1層 暗褐色土層(7.5YR3/3)φ1-2cm前後のバミスを含む

第2層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5-4cmのバミスを含む

SK63 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.3-6cmのバミス、ローム粒子を多く含む。締っていない

SK64 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5-6cmのバミスを多く含む

SK69 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5-8cmのバミスを含む

第2層 暗褐色土層(7.5YR3/3)φ0.5-2cmのバミスを含む

SK128 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.2-10cmのバミスを含む。締っている

第2層 黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.2-4cmのバミス、ローム粒子を多く含む。締っている

第98図

SK60 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-20cmのバミスを含む

SK61 第1層 黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.5-6cmのバミスを含む

SK65 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.2-12cmのバミスを含むほか、下部部にローム粒子を含む。締っていない

SK66 第1層 黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.5-6cmのバミスを含む。締っている

SK67 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5-3cmのバミスを含む

第2層 黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.5-2cmのバミスのほか、ローム粒子を多量に含む

第99図

SK68 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.2-2cmのバミスを含む。締っていない

SK83 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.3-10cmのバミスを含む。締っていない

第2層 黒褐色土層(10YR3/2)φ0.3-5cmのバミス、ローム粒子を多く含む

SK62 第1層 暗褐色土層(7.5YR3/3)φ0.5-3cmのバミス、ローム粒子を多く含む

第2層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.2-1cmのバミスを含む。締っていない

SK75 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5-3cmのバミスのほか、黒色土ブロックを含む。締っていない

第2層 黒褐色土層(10YR3/2)φ0.5-5cmのバミスを含む。締っていない

SK77 第1層 黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.5-1cmのバミスを含む

第2層 暗褐色土層(7.5YR3/3)φ0.5cmのバミスを含む

SK79 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-2cmのバミスを含む

SK170 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.2-5cmのバミスのほか、小礫を含む

SK171 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.2-0.8cmのバミスを僅かに含む

第2層 黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.2-0.5cmのバミスと地山(10YR6/2)灰黄褐色)のローム粒子を含む

第100図

SK70 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5-2cmのバミスを少量含む

SK71 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5-2cmのバミスを少量含む

SK72 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5-2cmのバミスを含む。2層に比べバミスは少ない

第2層 黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.5-5cmのバミス、ローム粒子を多く含む

SK73 第1層 黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.5cm前後のバミスを含む

第2層 黒褐色土層(10YR3/2)φ0.5-1cmのバミス、黒色土ブロックを含む。砂質

SK80 第1層 黒褐色土層(5YR2/1)φ0.5cm-10cmのバミスを含む

第2層 黒褐色土層(7.5YR3/2)φ0.5-1cmのバミスを多く含む。砂質

SK94 第1層 黒褐色土層(7.5YR3/2)φ0.5cm前後のバミス、ローム粒子を多く含む。砂質

第2層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5cm前後のバミスを少量含む。粘性あり

SK95 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5-2cmのバミスを含む

第101図

SK78 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5-5cmのバミスを含む

第2層 黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.5-3cmのバミスのほか、ローム粒子を含む

SK81 第1層 黒褐色土層(5YR2/1)φ0.5-10cmのバミスを含む

第2層 黒褐色土層(7.5YR3/2)φ0.5-1cmのバミスを多く含む。砂質

SK82 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5-9cmのバミスを含む

第2層 暗褐色土層(10YR3/3)φ0.5-2cmのバミスを含む。地山に相混

SK84 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5-2cmのバミスを含む

SK85 第1層 黒褐色土層(5YR2/2)φ0.2-0.8cmのバミスを含む

SK87 第1層 黒褐色土層(7.5YR3/1)φ0.5-3cmのバミスを多く含む

第2層 暗褐色土層(7.5YR3/3)φ0.5-1cmのバミスのほか、ローム粒子を含む。砂質

第3層 褐色土層(7.5YR2/1)バミスをほとんど含まない

SK33 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5-5cmのバミスを含む

第102図

SK88 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5-5cmのバミスを含む

SK89 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5-5cmのバミス、ロームブロックを含む

SK90 第1層 黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.5-10cmのバミスを含む

SK91	第1層	黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.5~15cmのバミスを含む	SK126	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ1~7cmのバミスを含む
	第2層	褐色土層(7.5YR4/6)地山に相似。砂質	SK146	第1層	暗褐色土層(10YR3/3)ロームブロック、黒色土を含む。砂質
SK92	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.2~2cmのバミス、ローム粒を含む		第2層	黒色土層(7.5YR2/1)バミスを僅かに含む
SK97	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~3.5cmのバミスを含む	第104回		
	第2層	暗褐色土層(10YR3/4)φ0.5cmのバミスのほか、ローム粒を多量に含む	SK115	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5~1cmのバミスを含む
SK127	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5cm前後のバミスを含む	SK116	第1層	黒色土層(10YR1.7/1)φ6~10cm前後のバミスを多量に含む
第103回			SK119	第1層	黒褐色土層(5YR2/1)φ0.5~2cmのバミス、ローム粒を僅かに含む
SK98	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~4cmのバミスを含む	SK123	第1層	黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.5~3cmのバミスのほか、ローム粒を含む
	第2層	黒色土層(10YR2/1)ローム粒を含む。粘質	SK124	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~3cmのバミスを含む
SK99	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~8cmのバミスを含む	SK131	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~5cmのバミスを含む
	第2層	黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.3~2cmのバミスを含む	SK132	第1層	黒褐色土層(5YR2/1)φ0.5~10cmのバミスを含む
	第3層	黒褐色土層(10YR2/2)ロームブロックを含む	第2層	暗褐色土層(7.5YR3/3)φ0.5cm前後のバミスのほか、ローム粒を含む	
	第4層	暗褐色土層(7.5YR3/3)ロームブロックを多く含む	第107回		
	第5層	黒色土層(10YR2/1)φ1.5~2cmのバミスを含む	SK133	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~1cmのバミスを含む
	第6層	黒褐色土層(10YR2/2)ローム粒を含む。粘質	SK134	第1層	黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.5~6cmのバミスを含み、締っている
SK100	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~7cmのバミスを含む	SK135	第1層	黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.5~3cmのバミスのほか、ローム粒と併かに炭を含む
SK106	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5~4cmのバミスを僅かに含む	第2層	暗褐色土層(10YR3/3)地山に相似。黒色土を含む	
SK111	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~7cmのバミスを含む。締っていない	SK136	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~8cmのバミスを含む
SK112	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~4cmのバミスを含む	第2層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5~3cmのバミスを含む	
SK130	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5~3cmのバミスを含む	第2層	黒褐色土層(10YR3/2)φ0.5~3cmのバミスを含む。砂質	
	第2層	黒褐色土層(10YR3/2)φ0.5~3cmのバミスを含む。			
第104回			SK137	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)バミスをほとんど含まない
SK101	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)バミスをほとんど含まない、ローム粒を若干含む	SK138	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~1cmのバミスのほか、ローム粒を含む。締っている
	第2層	黒褐色土層(10YR4/3)地山に相似するが締っていない	SK139	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~3cmのバミスを含み、締っている
SK107	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)バミスをほとんど含まない	SK174	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~5cmのバミスを含む。灰を若干含む
	第2層	黒褐色土層(10YR3/2)φ0.5cm前後のバミスのほか、ローム粒を多く含む	第2層	黒褐色土層(10YR4/3)ローム粒を多く含む	
SK109	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~3cm前後のバミスを含む	第3層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~3cmのバミスを含む	
	第2層	暗褐色土層(10YR3/3)φ0.5cm前後のバミスのほか、ローム粒を多量に含む	第108回		
SK110	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ2cm前後のバミスを含む	SK140	第1層	黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.5~8cmのバミスを比較的多く含む
SK120	第1層	黒褐色土層(5YR2/1)φ0.5~1cmのバミスを含む	SK141	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~15cmのバミスを含み、かたく締っている
SK122	第1層	黒褐色土層(10YR2/3)φ0.5~7cmのバミスを含む	SK142	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~1cmのバミスを含む
	第2層	黒褐色土層(10YR3/3)φ0.5~7cmのバミスを含む	第2層	黒褐色土層(7.5YR3/2)ローム粒、バミスを含む	
SK125	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~7cmのバミスを含む	SK143	概 上	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~1cmのバミスを含み、かたく締っている
SK150	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5~5cmのバミスを含む	第2層	黒褐色土層(10YR3/2)ローム粒を含み、かたく締っている	
	第2層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~3cmのバミスのほか、ローム粒を比較的多く含む	SK144	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~3cmのバミスを含み、かたく締っている
第105回			SK145	第1層	黒褐色土層(10YR2/3)φ0.3~14cmのバミスを含む。締っていない
SK103	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~7cmのバミスを含む	SK147	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~5cmのバミスを含む
SK104	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)バミスをほとんど含まない	SK148	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~15cmのバミスを含み、比較的締っている
	第2層	黒褐色土層(7.5YR3/2)φ7cm前後のバミスを多量に含む	第109回		
SK105	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5~7cmのバミスを若干含む	SK149	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5cmのバミスを含む
SK108	第1層	黒色土層(10YR1.7/1)φ0.5~7cmのバミスを比較的多く含む	SK151	第1層	黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.2~0.8cmのバミス、ローム粒を含む
SK114	第1層	黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.5~6cmのバミスのほか、ローム粒を含む	第2層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.2~1.2cmのバミスを含む	
	第2層	暗褐色土層(10YR3/3)φ0.5~3cmのバミスを含む。地山に相似	SK153	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.2~0.5cmのバミスを含む
SK117	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~4cmのバミスを含む	SK154	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.2~0.5cmのバミスを僅かに含む
SK118	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~2.5cmのバミスを含む	SK156	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.2~0.5cmのバミスを含む

	第2層	黒色土層(7.5YR1.7/1)パミスをはとど含まない
SK158	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.2-1cmのパミスを含む
SK161	第1層	黒色土層(7.5YR1.7/1)φ0.2-0.8cmのパミスを含む
	第2層	黒褐色土層(7.5YR3/2)φ0.2-1cmのパミス、ローム粒子を多く含む
SK164	第1層	暗褐色土層(10YR3/4)地山に相似。黒色土を含む
	第2層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-3cmのパミスのほか、僅かに炭を含む

第110図

SK152	第1層	黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.3-1.2cmのパミスを多く含むほか、ローム粒子を下部に含む
SK157	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.3-1.2cmのパミスを多く含む
	第2層	黒褐色土層(7.5YR3/2)φ0.3-0.8cmのパミス、ローム粒子を多く含む
SK159	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.3-1.2cmのパミスを含む。柱穴の可能性もあり
SK160	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.2-8cmのパミス、ローム粒子を多量に含む
SK182	第1層	黒色土層(10YR1.7/1)φ0.5-3cmのパミスのほか、炭化物を少し含む
SK163	第1層	黒褐色土層(10YR2/3)φ0.5-4cmのパミスを含む
SK165	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5-5cmのパミスを含む
	第2層	黒褐色土層(10YR2/3)ローム粒子を多く含む
	第3層	黒褐色土層(10YR2/2)ローム粒子を多く含む
SK186	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-3cmのパミスを含む

第111図

SK155	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.2-1.2cmのパミス、ローム粒子を含む
SK166	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.3-1cmのパミスを含む
SK168	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.3-4cmのパミスのほか、骨片を含む
	第2層	黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.3-3cmのパミス、ローム粒子を含む
SK169	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5-6cm前後のパミスのほか、炭を若干含む
SK173	第1層	黒褐色土層(10YR2/3)φ0.5-4cmのパミスを含む
SK176	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5-6cm前後のパミスのほか、炭を若干含む
SK182	第1層	黒褐色土層(10YR2/3)φ0.5-3cmのパミスを含む。砂質

第112図

SK172	覆土	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5-4cmのパミスを含む
SK175	第1層	褐灰色土層(7.5YR4/1)灰質
	第2層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5-3cmのパミスを含む
	第3層	黒褐色土層(10YR2/2)ローム粒子を多く含む
	第4層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5cm前後のパミスのほか、僅かに炭を含む(砂質)
SK177	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5-4cmのパミスを含む
	第2層	黒褐色土層(10YR2/3)ローム粒子を多く含む
SK178	第1層	黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.5-2cmのパミスのほか、ローム粒子を含む
SK179	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5-3cmのパミスを含む。高野法層を含む
SK180	第1層	黒褐色土層(7.5YR2/2)φ1cm前後のパミスを含む。砂質
	第2層	土に黄褐色土層(10YR5/3)地山に相似。僅かに黒色土を含む
	第3層	灰黄褐色土層(10YR4/2)地山に相似。砂質
SK183	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5-3cmのパミスのほか、炭を含む

第2層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5cm前後のパミスのほか、ローム粒子を含む
第3層	黒褐色土層(10YR2/3)ローム粒子を多量に含む。堅緻

第113図

SK184	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-3cmのパミスを含む
	第2層	黒褐色土層(10YR2/3)φ0.5-5cmのパミスを含む。堅緻
SK185	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)ローム粒子を伴うに含む。砂質
	第2層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5-5cmのパミスを伴う
	第3層	灰黄褐色土層(10YR4/2)φ0.5cmのパミスを伴う。地山に相似
	第4層	黒褐色土層(10YR2/3)φ2cm前後のパミスを伴う。堅緻
SK187	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5-1cmのパミスを含む
	第2層	黒褐色土層(10YR2/3)ローム粒子を多く含む。砂質
SK188	第1層	黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.3-2.5cmのパミス、ローム粒子を含む
SK189	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.2-1.5cmのパミス、ローム粒子を含む
SK190	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.2-3cmのパミス、ローム粒子を多く含む
SK191	第1層	灰黄褐色土層(10YR4/2)φ0.5cm前後のパミスを伴う
SK192	第1層	黒褐色土層(10YR3/1)φ0.5-1cmのパミスを伴う
	第2層	灰黄褐色土層(10YR4/2)φ0.5-1cmのパミスのほか、ローム粒子を含む

第114図

SK194	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-2cmのパミスを含む
SK195	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5-1cmのパミスを伴う
SK199	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-4cmのパミスを比較的多く含む
SK200	第1層	黒褐色土層(10YR3/2)φ0.5-7cmのパミスを含み、非常に堅緻
SK203	第1層	黒褐色土層(10YR3/1)ローム粒子を多く含む
SK236	第1層	黒色土層(10YR1.7/1)粘性を帯びる

第115図

SK207	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-3cmのパミスを含む
	第2層	黒褐色土層(10YR2/3)φ0.5-3cmのパミスのほか、鉄砂を多く含む堅緻
SK208	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.3-1cmのパミスと小礫(φ0.8cm)を含む
	第2層	黒褐色土層(7.5YR3/1)地山に相似のロームを含む
SK210	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-3cmのパミスを含み、締っている
SK211	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5-5cmのパミスを伴う
SK212	覆土	黒色土層(10YR2/1)φ0.3-25cmのパミスのほか、炭化物、赤色物質、骨片を含む
SK215	第1層	黒褐色土層(7.5YR3/1)φ0.3-3cmのパミスを伴う。締っている
SK216	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.3-2cmのパミス・礫を含む

第116図

SK217	第1層	黒褐色土層(10YR3/1)φ0.3-1cmのパミスを含み、締っている
	第2層	暗褐色赤褐色土層(5YR2/4)φ0.3-0.5cmのパミスを伴う。かたく締っている
SK218	第1層	黒褐色土層(7.5YR3/1)φ0.3-0.8cmのパミスを伴う。締っている
	第2層	暗褐色赤褐色土層(5YR2/4)φ0.3-0.5cmのパミスを伴う。かたく締っている
SK219	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.3-2cmのパミスを含む

	第2層	黒褐色土層(10YR3/2)φ0.3~1cmのバミス、ローム粒子を多く含む
SK222	第1層	黒色土層(10YR1.7/1)φ0.3~1cmのバミスを含む。締っていない
SK228	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.3~2cmのバミスを含む。かたく締っている
SK237	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.3~0.8cmのバミス、ローム粒子を含む。サラサラしている
SK238	第1層	黒色土層(7.5YR1.7/1)φ0.3~0.5cmのバミス、ローム粒子を含む
SK241	第1層	黒色土層(7.5YR1.7/1)φ0.3~1cmのバミス、ローム粒子を含む
SK242	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.3~1.5cmのバミスを含む。締っていない
第117図		
SK220	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~3cmのバミスと比較的多く含む
SK232	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~1cmのバミスを含む。粘性を帯びる
SK243	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.3~1.5cmのバミス、ローム粒子を含む。サラサラしている
SK244	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.3~1cmのバミス、ローム粒子を含む
SK245	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~1cmのバミスを含む
SK247	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~2cmのバミスを含む
SK263	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.3~8cmのバミスのほか、炭化物、赤色物質を少量含む
SK264	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.3~1.5cmのバミスのほか、炭化物を含む
SK274	第1層 第2層	黒色土層(10YR1.7/1)φ0.5~1cmのバミスを含む 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~4cmのバミスのほか、ローム粒子を多く含む
第118図		
SK223	第1層	黒色土層(7.5YR1.7/1)φ0.3~1cmのバミスのほか、竹片を含む
	第2層	黒褐色土層(10YR3/1)φ0.3~2cmのバミスを含む。サラサラしている
SK224	第1層	黒色土層(7.5YR1.7/1)φ0.3~4cmのバミス、ローム粒子を含む
	第2層	黒褐色土層(10YR3/1)φ0.3~1cmのバミスを含む
SK225	第1層	黒色土層(10YR1.7/1)φ0.5cm前後のバミス、炭少量とローム粒子を含む
SK226	第1層	黒色土層(5Y2/1)φ0.3~0.8cmのバミスを含む。締っていない
SK227	第1層	黒褐色土層(7.5YR3/2)φ0.5~2cmのバミスを含む。砂質
SK240	第1層	黒色土層(10YR1.7/1)φ0.5cm前後のバミスを少量含む
第119図		
SK248	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ1cm前後のバミスを含む。締っている
	第2層	黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.5~3cmのバミスのほか、ロームブロックを含む
	第3層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~3cmのバミスを含む。非常に堅硬
	第4層	黒褐色土層(10YR2/3)φ0.5~3cmのバミスを含む
SK249	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5~2cmのバミスを含む
	第2層	黒褐色土層(10YR2/3)φ0.5~3cmのバミスのほか、ローム粒子を多く含む
SK250	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5~8cmのバミスを含む
SK293	第1層	黒色土層(10YR1.7/1)φ0.5~2cmのバミスを含む
SK337	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~3cmのバミスを多く含む

第120図		
SK252	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3~0.8cmのバミス、ローム粒子を含む
SK253	第1層	黒褐色土層(10YR2/3)φ0.3~1cmのバミス、ローム粒子を多く含む。締っていない
SK256	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3~2.5cmのバミスを含む
	第2層	黒褐色土層(10YR3/3)φ0.3~0.5cmのバミス、ローム粒子を多く含む
SK284	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.3~2cmのバミス、ローム粒子を多く含む
SK285	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.3~1.2cmのバミス、ローム粒子を含む
SK304	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3~7cmのバミスを含む
SK326	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.3~2cmのバミスと小礫を含む。締っていない
第121図		
SK254	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3~1.8cmのバミスを多く含む。小礫混入あり
	第2層	褐色土層(10YR4/4)φ0.3~0.5cmのバミスとローム粒子の混れ込み
	第3層	黒褐色土層(10YR2/3)粘土質
SK255	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3~2cmのバミスを多く含む
	第2層	黒褐色土層(10YR3/2)粘土質
SK258	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~5cmのバミスを多量に含む
SK261	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3~1.2cmのバミス、小礫を含む
SK266	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5~3cmのバミスを含む
	第2層	暗褐色土層(10YR3/3)φ0.5~3cmのバミスのほか、ローム粒子を多量に含む
SK268	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5~4cmのバミスを含む
SK269	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5cm前後のバミスを含む。砂質
	第2層	黒褐色土層(10YR3/2)φ0.5~1cmのバミスを含む。砂質
	第3層	ふい黄褐色土層(10YR4/3)ローム粒子を多量に含む。砂質
	第4層	黒褐色土層(10YR2/2)バミスを含まない。粘性を帯びる
SK270	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5~2cmのバミスを含む
	第2層	黒色土層(7.5YR2/1)バミスを僅かに含む
	第3層	黒褐色土層(10YR3/2)φ0.5~1cmのバミスのほか、ローム粒子を多く含む。砂質
SK271	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5~3cmのバミスを含む
	第2層	褐色土層(10YR4/4)ローム粒子を多量に含む。砂質
	第3層	黒褐色土層(10YR2/2)バミスを含まない。粘性を帯びる
SK278	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3~0.8cmのバミスを多く含むほか、ローム粒子も含む
SK331	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.3~1.2cmのバミスを多く含む
	第2層	黒褐色土層(10YR2/3)φ0.3~3cmのバミスを含む。締っている。炭化物少量を含む
SK347	第1層	暗褐色土層(10YR3/3)φ0.5~6cmのバミスを多量に含む。砂質
	第2層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5~3cmのバミスを含む
SK356	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~2cmのバミスを含む
	第2層	ふい黄褐色土層(10YR5/4)地山に相似するが黒色土を含む
SK358	第1層	暗褐色土層(10YR3/3)φ0.5~6cmのバミスを多量に含む。砂質

SK359	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~3cmのバミスを含む。締っていない	第3層	ぶい黄褐色土層(10YR4/3)φ3cm前後のバミスのほか、ローム粒子を多量に含む。地山に類似するが締っていない	
第122図					
SK273	覆土	黒褐色土層(10YR3/2)ローム粒子を含む	SK301	第1層	褐色土層(10YR4/4)φ0.3~2cmのバミス、ローム粒子を含む。締っていない
SK292	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5~2cmのバミスを少量含む	第2層	黒色土層(10YR2/1)φ0.3~1cmのバミス、ローム粒子を含む	
SK386	第2層	ぶい黄褐色土層(10YR4/3)地山に類似。黒色土粒子を含む	第3層	黒褐色土層(10YR2/3)φ0.3~1cmのバミス、ローム粒子を含む。締っていない	
	第3層	黒褐色土層(10YR3/2)φ10cm前後のバミスを多く含む	SK302	第1層	黒褐色土層(10YR2/3)φ0.5~3cmのバミスを含む
	第4層	黒褐色土層(10YR2/2)φ5cm前後のバミスを含む	第2層	暗褐色土層(10YR3/4)φ0.5~5cmのバミスのほか、ローム粒子を多量に含む	
	第5層	ぶい黄褐色土層(10YR5/3)地山に類似。締っていない	SK314	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ2cm前後のバミスを僅かに含むほか、ロームブロックを含む
	第6層	暗褐色土層(7.5YR3/3)φ5cm前後のバミスを少量含む	SK316	第1層	黒褐色土層(10YR2/3)φ0.5~3cmのバミスを含む。粘性はない
SK294	第1層	黒褐色土層(10YR2/3)φ0.5~3cmのバミスを含む。締っている	第2層	褐色土層(10YR4/4)地山に類似するが、黒色土を含む。締っていない	
	第2層	ぶい黄褐色土層(10YR4/3)地山に類似。1層が若干浸透。砂質	第126図		
	第3層	褐色土層(10YR4/4)φ3cm前後のバミスを含む。強酸	SK312	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~3cmのバミスを含む。底面はしっかりしている
SK307	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~3cmのバミスを含む。	SK319	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~3cmのバミスを含む。比較的締っている
SK308	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5~2cmのバミスを含む。締っている	SK321	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~1cmのバミスを少量含む
SK309	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5~2cmのバミスを含む	第2層	黒褐色土層(10YR3/2)ローム粒子を多量に含む	
SK310	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5~2cmのバミスを含む	第3層	褐色土層(10YR4/4)φ0.5~5cmのバミスを含む。地山に類似	
SK311	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5~2cmのバミスを含む	第4層	暗褐色土層(7.5YR3/3)φ0.5cm前後のバミスを少量含むほか、ローム粒子を含む	
第123図					
SK288	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3~1cmのバミス、礫、ローム粒子を含む	SK324	覆土	黒褐色土層(10YR2/3)ローム粒子を多く含む。砂質
SK305	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~1cmのバミスを含む。強酸	SK325	覆土	黒褐色土層(10YR2/3)ローム粒子を多く含む。砂質
SK306	第1層	黒褐色土層(10YR3/1)φ0.5~4cmのバミスのほか、ローム粒子を多く含む。炭化物を僅かに含む	SK327	第1層	暗褐色土層(10YR3/3)φ0.5~6cmのバミスのほか、ローム粒子を含む
SK338	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3~2.5cmのバミス、ローム粒子を多く含む。粘性はない	第127図		
SK340	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.3~2cmのバミスと礫を含む。締っていない	SK317	第1層	黒褐色土層(10YR2/3)φ2cm前後のバミスのほか、ロームブロックを含む
	第2層	黒褐色土層(10YR3/2)φ0.3~0.5cmのバミス、ローム粒子を多く含む	SK318	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5cm前後のバミスを少量含む。砂質
SK351	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3~3cmのバミス、ローム粒子を多く含む	第2層	黒褐色土層(7.5YR2/2)ローム粒子を多く含む。砂質	
			第3層	暗褐色土層(10YR3/4)地山に類似するが、黒色土を含む。砂質	
第124図					
SK296	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ7~18cmのバミスを含む	第4層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5cm前後のバミスを僅かに含む。締っている	
SK297	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.3~7cmのバミスを含む。強酸	第5層	暗褐色土層(7.5YR3/3)ローム粒子を多く含む。締っている	
SK298	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~5cmのバミスを含む	第6層	黒色土層(10YR2/1)ローム粒子、バミスをほとんど含まない。粘性はない	
	第2層	暗褐色土層(7.5YR3/4)ローム粒子を多量に含む	SK320	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~1cmのバミスを少量含む
SK299	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ1.5~3cm前後のバミスを含む。強酸	SK322	第1層	暗褐色土層(10YR3/3)φ0.5~3cmのバミスを含む。砂質
SK303	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.3~1cmのバミスを含む。締っていない	SK329	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~5cmのバミスを含む。砂質
SK313	第1層	黒褐色土層(10YR2/3)φ0.5~5cmのバミスのほか、ローム粒子を多く含む。砂質	SK349	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.3~2cmのバミスを含む。締っている
	第2層	暗褐色土層(10YR3/4)粒子が細かく僅かに粘性を帯びる。僅かに炭を含む	SK350	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~3cmのバミスを含む
SK315	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~2cmのバミスを含む。比較的締っている	第2層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~5cmのバミスを含む	
SK363	覆土	黒色土層(10YR2/1)φ0.5~2cmのバミスを含む	第3層	黒褐色土層(10YR2/3)ローム粒子を多量に含む	
第125図					
SK300	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ3~9cmのバミスを含む	第4層	暗褐色土層(7.5YR3/3)ローム粒子を多量に含む	
	第2層	黒褐色土層(10YR2/3)φ0.5~3cmのバミスのほか、ローム粒子を多く含む。砂質	SK361	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.3~1.5cmのバミスを含む。締っていない

	第2層	褐色土層(10YR4/4)φ0.3~2.5cmのバミス、ローム粒子を多く含む	SK370	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.3~1cmのバミス、ローム粒子を多く含む
第128図				第2層	暗褐色土層(10YR3/3)φ0.3~3cmのバミス、ローム粒子を多く含む
SK341	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~10cmのバミスを含む、粘性強かある	SK376	第1層	黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.3~2cmのバミス、ローム粒子を多く含む
	第2層	暗褐色土層(10YR3/3)φ0.5~20cmのバミス、ローム粒子を多く含む	SK379	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5~5cmのバミスを含む、粘性強かある
SK344	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5~20cmのバミスを含む、粘性強かある		第2層	褐色土層(10YR4/4)地山に類似するが、黒色土を含む
SK362	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3~2.5cmのバミス、ローム粒子を多く含む	SK381	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.1~5cmのバミスを含む、粘性強かある
第129図			SK431	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5~3cmのバミスを含む、粘性強かある
SK342	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~12cmのバミスを含む、粘性強かある	第132図		
SK345	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~3cmのバミス少量を含む、粘性強かある	SK372	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~3cmのバミスを含む、砂質
	第2層	黒褐色土層(10YR2/3)ローム粒子を多く含む、砂質	第2層	暗褐色土層(10YR3/3)地山に類似するが、黒色土を含む。締っていない	
SK346	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~13cmのバミスを含む、粘性強かある	SK373	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5~4cmのバミスを含む
SK366	第1層	黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.5~1cmのバミス少量を含むほか、ロームブロックを含む	第2層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~5cmのバミスを含む、比較的締っている	
SK390	第1層	黒褐色土層(10YR2/3)φ1~7cmのバミス少量を含む、砂質	SK374	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ3~16cm前後のバミスを含む
	第2層	黒褐色土層(10YR2/2)バミスを含まず、締っていない	SK375	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ3~5cmのバミスを含む
SK392	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5~8cmのバミスを含む、粘性強かある	SK378	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~5cmのバミスを含む、砂質
	第2層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5~3cmのバミスを含む、粘性強かある	第2層	黒褐色土層(10YR2/3)φ0.5~5cmのバミスのほか、ローム粒子を多く含む、砂質	
SK394	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ1~3cmのバミスを含む、粘性強かある	第3層	土層(10YR4/3)ローム粒子を多量に含む	
第130図			SK382	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ1~4cmのバミスを含む
SK365	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ3~10cmのバミスを含む、粘性はない	SK413	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3~1cmのバミスを含む、締っていない
	第2層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~3cmのバミスを含む、かたく締っている	第2層	暗褐色土層(10YR3/4)φ0.3~2cmのバミス、ローム粒子を多く含む、締っていない	
	第3層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~10cmのバミスを多量に含む、砂質	SK414	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.3~1.2cmのバミスを含む、締っていない
SK371	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ2~6cmのバミスを含む、比較的締っている	第133図		
SK380	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5~2cmのバミスを含む、粘性はない	SK389	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~3cmのバミス少量を含む
SK383	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~5cmのバミスを含む、締っている	第2層	灰黄褐色土層(10YR5/2)バミス、ローム粒子を多く含む	
SK387	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.3~1.2cmのバミス、ロームブロックを含む	第3層	土層(10YR3/3)バミス、ローム粒子を多く含む	
	第2層	暗褐色土層(10YR3/3)φ0.3~3.5cmのバミス、ローム粒子を多く含む	SK393	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~3cmのバミスを含む、粘性はない
SK388	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.3~10cmのバミス、ローム粒子を多く含む、締っていない	第2層	暗褐色土層(10YR3/3)ローム粒子を多量に含む、粘性強かある	
第131図			SK396	第1層	黒褐色土層(10YR2/3)φ0.5~3cmのバミスのほか、炭化物を伴って含む、砂質
SK367	第1層	黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.3~0.8cmのバミスを伴って含む、締っていない	SK404	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~3cmのバミスを含む、砂質
	第2層	黒褐色土層(7.5YR3/2)φ0.3~1.5cmのバミス、ローム粒子を多く含む	第2層	暗褐色土層(10YR3/3)φ3cm前後のバミスのほか、ローム粒子を多量に含む、砂質	
	第3層	褐色土層(10YR4/4)φ0.3~1cmのバミス、ローム粒子を多量に含む	第134図		
SK368	第1層	黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.3~1cmのバミスを含む、締っていない	SK398	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5~3cmのバミスを含む、粘性強かある
	第2層	暗褐色土層(10YR3/3)φ0.3~1cmのバミス、ローム粒子を多く含む、締っていない	第2層	土層(10YR4/3)φ0.5~3cmのバミスを含む、砂質	
SK369	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.3~2.5cmのバミスを含む、締っていない	SK399	第1層	灰黄褐色土層(10YR4/2)φ0.5~7cmのバミスを含む、かたく締っている
			SK400	第1層	灰黄褐色土層(10YR4/2)φ0.5~7cmのバミスを含む、かたく締っている

SK411 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-4cmのバミス、ローム粒子を多く含む
 SK412 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-5cmのバミス、礫を多く含む。締っていない
 SK415 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3-1cmのバミス、ローム粒子を含む
 第2層 黒褐色土層(10YR3/2)φ0.3-1cmのバミス、ローム粒子を多く含む。締っていない
 SK416 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3-1.5cmのバミスとφ1cm前後の小礫を含む。締っていない
 SK417 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3-3.5cmのバミスとφ1cm前後の小礫を含む。締っていない

第135図

SK408 第1層 暗褐色土層(10YR3/4)φ0.5-3cmのバミスを含む。砂質
 SK409 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-3cmのバミスを含む。比較的締っている
 SK410 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-3cmのバミスを含む。比較的締っている
 SK423 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-3cmのバミスを含む。粘性強かにある
 SK430 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-5cmのバミスを含む。砂質
 SK482 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3-3cmのバミスと比較的多く含む。砂質
 SK508 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3-2cmのバミス、ローム粒子を含む。締っていない
 SK509 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3-3cmのバミスを含む
 第136図
 SK419 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3-1cmのバミス、ローム粒子を含む。締っている
 第2層 土に多い黄褐色土層(10YR4/3)φ0.3-2cmのバミス、ローム粒子を多く含む
 SK422 第1層 黒褐色土層(10YR3/2)φ0.5-1cmのバミスのほか、ローム粒子を含む。砂質
 第2層 暗褐色土層(10YR3/3)φ3cm前後のバミスのほか、ローム粒子を含む。ローム粒子は第1層より多い。砂質
 SK428 第1層 黒色土層(10YR2/1)φ0.3-3cmのバミスを含む。ローム粒子はほとんど含まない。粘性あり
 SK432 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3-5cmのバミスを含む。締っていない
 第2層 黒褐色土層(10YR3/2)φ0.3-2cmのバミス、ローム粒子を含む
 SK435 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.3-1cmのバミスを含む。締っている
 第2層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3-0.8cmのバミスのほか炭化物を含む。締っている
 第3層 暗褐色土層(10YR3/3)φ0.3-0.8cmのバミス、ローム粒子を含む
 SK436 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.3-1cmのバミスを含む。締っている
 第2層 暗褐色土層(10YR3/3)φ0.3-0.8cmのバミス、ローム粒子を含む
 SK450 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3-2cmのバミス、ローム粒子を含む。締っている
 SK483 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-3cmのバミスを含む。砂質
 SK506 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.3-3cmのバミス、ローム粒子を含む。締っていない。粘性あり

第137図

SK429 第1層 黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.3-2.5cmのバミス、ローム粒子、炭化物を含む。締っていない

第2層 黒褐色土層(10YR2/2)φ1cm前後のバミス、ローム粒子、赤色物質を含む
 SK433 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-10cmのバミスを含む。かたく締っている。砂質
 第2層 褐色土層(7.5YR4/4)ロームブロック。砂質
 第3層 黒色土層(10YR2/1)φ0.5-1cmのバミスを含む。かたく締っている。粘作性かにある
 SK439 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-10cmのバミスを含む。かたく締っている
 SK459 第1層 黒色土層(10YR2/1)φ0.5-5cmのバミス少量を含む。粘性強かにある
 第2層 暗褐色土層(10YR3/4)ローム粒子を多量に含む
 SK493 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3-8cmのバミス、ローム粒子を含む。締っていない
 第2層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3-1cmのバミス、ローム粒子を多く含む。締っていない
 第3層 褐色土層(10YR4/6)堆山に相似したローム粒子の層

第138図

SK444 第1層 黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.3-5.5cmのバミスを多く含む。かたく締っている
 第2層 赤褐色土層(5YR4/6)φ0.3-2cmのバミス層かを含む。褐色土が混じる
 第3層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.3-1.5cmのバミスを含む。締っていない
 SK445 第1層 暗褐色土層(7.5YR2/3)φ0.3-2cmのバミスを含む。かたく締っている
 第2層 黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.3-10cmのバミスを多く含む。締っている
 第3層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.8cm前後のバミスを含む。締っていない
 SK446 第1層 黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.3-1cmのバミス、ローム粒子を含む。かたく締っている
 第2層 黒褐色土層(10YR2/3)φ0.3-2.5cmのバミス、ローム粒子を含む。かたく締っている
 SK460 第1層 黒色土層(7.5YR2/1)φ0.3-4cmのバミスを含む。締っていない。粘作あり
 SK470 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-10cmのバミスのほか、φ15cm前後の礫を2つ含む。かたく締っている
 第2層 褐色土層(7.5YR4/4)堆山に相似するが、黒色土を含む。砂質

第139図

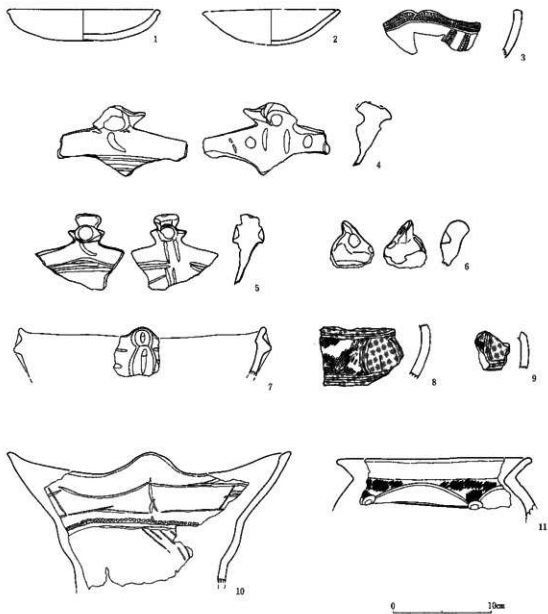
SK441 第1層 黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.8cm前後のバミス層かを含む。締っている
 SK442 第1層 黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.3-1cmのバミスを含む。締っている
 SK443 第1層 黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.3-1cmのバミスを含む。締っている
 第2層 暗褐色土層(7.5YR3/4)φ0.5cmのバミスを多く含む。締っている
 SK447 第1層 黒褐色土層(10YR3/1)φ0.3-3cmのバミスを含む。締っている
 SK461 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-3cm前後のバミスを含む。比較的締っている
 SK462 第1層 黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-3cmのバミスを含む。締っていない
 SK465 第1層 黒色土層(10YR2/1)φ0.5-15cmのバミスと比較的多く含む。粘性強かにある
 第2層 黒褐色土層(10YR2/3)φ3cm前後のバミスを含む。比較的締っている
 SK469 第1層 黒褐色土層(10YR2/3)φ0.5-18cmのバミスを含む。かたく締っている

第140図

SK451	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-1cmのバミスを含み、締っている
	第2層	黒褐色土層(10YR2/3)φ0.5-3cmのバミスを含み、締っている
SK452	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ1-5cmのバミスを含み、粘性強かある
SK456	第1層	黒褐色土層(10YR2/3)φ0.3-1cmのバミス、ローム粒子を多く含む。締っていない
	第2層	黒色土層(10YR2/1)φ0.3-3cmのバミス、ローム粒子を含む。締っていない
SK457	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3-7cmのバミスを多く含む。締っていない
SK466	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-15cmのバミスを多く含む。粘性強かある
SK467	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ1-2cmのバミスを含み、粘性強かある
SK468	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-15cmのバミスを含み、比較的締っている。粘性強かある
	第2層	明褐色土層(7.5YR5/6)地山に相似するが、黒色土を含む。砂質
第141回		
SK453	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ1-8cmのバミスを含み、粘性強かある
	第2層	暗褐色土層(10YR3/3)φ4cm前後のバミスを含み、締っている
SK454	第1層	黒色土層(7.5YR1.7/1)φ0.5-3cmのバミスを少量含む。粘性強かある
SK455	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5cmのバミスを表かに含む。締っていない
	第2層	暗褐色土層(7.5YR2/3)φ0.3-1cmのバミス、ローム粒子を多く含む。比較的締っている
	第3層	黒褐色土層(7.5YR3/1)ローム粒子的混じった灰
	第4層	黒褐色土層(3YR2/1)φ0.3-1cmのバミスを含むほか、ローム粒子を多く含む
	第5層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3-1cmのバミス、ローム粒子を多く含む。締っていない
SK463	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5-3cmのバミスを含み、粘性強かある
	第2層	暗褐色土層(10YR3/4)ローム粒子を多量に含む。砂質
SK464	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ3-5cm前後のバミスを比較的多く含む。粘性強かある
SK473	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.3-3cmのバミスを比較的多く含む。粘性強かある
SK477	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-1cmのバミスを含み、粘性強かある
	第2層	暗褐色土層(7.5YR3/3)バミスを含むほか、ローム粒子を多量に含む。砂質
SK485	第1層	暗褐色土層(10YR3/3)ローム粒子を多量に含む。砂質
第142回		
SK471	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3-7cmのバミス、ローム粒子を多く含む。締っていない
SK472	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.3-3cmのバミス、ローム粒子を含む。締っていない
SK479	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.3-6cmのバミスを含むほか、ローム粒子を僅かに含む。締っていない
	第2層	黒褐色土層(10YR2/3)φ0.3-1cmのバミス、ローム粒子を多く含む
	第3層	暗褐色土層(10YR3/3)φ0.3-0.5cmのバミス、ローム粒子を多く含む
SK480	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.3-7cmのバミス、ローム粒子を含む。締っていない

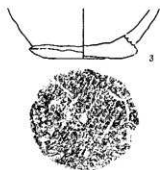
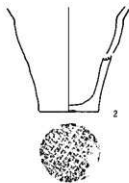
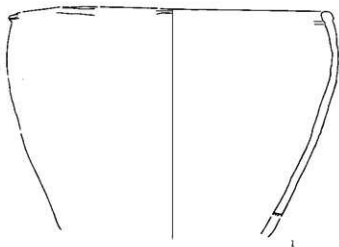
	第2層	黒褐色土層(10YR2/3)φ0.3-1.2cmのバミス、ローム粒子を多く含む
SK481	第1層	黒褐色土層(10YR2/3)φ0.5-3cmのバミスを含む。砂質
	第2層	ふい寅褐色土層(10YR4/3)ローム粒子を多量に含む。砂質
SK488	第1層	黒褐色土層(10YR2/3)φ0.5-3cmのバミスを含む。砂質
SK489	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)ローム粒子を比較的多く含む。砂質
SK499	第1層	黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.3-4cmのバミス、炭化物を含む。締っていない
	第2層	暗褐色土層(7.5YR2/3)φ0.3-6cmのバミス、ローム粒子を含む
第143回		
SK484	第1層	黒褐色土層(10YR2/3)φ0.5-5cmのバミスを含む。砂質
SK486	第1層	黒褐色土層(10YR2/3)ローム粒子を多量に含む。砂質
SK487	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-2cmのバミスを含み、比較的締っている
SK490	第1層	暗褐色土層(10YR3/4)ローム粒子を比較的多く含む。砂質
SK502	第1層	暗褐色土層(10YR3/3)φ0.5cm前後のバミスを少量含む。砂質。J40号仕西を切る
SK510	第1層	黒褐色土層(10YR2/3)φ0.3-0.5cmのバミス、ローム粒子を含む。締っていない
SK518	復十	黒褐色土層(10YR2/3)φ0.5-3cmのバミスを含み、粘性強かある
SK519	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-3cmのバミスを含む。砂質
第144回		
SK491	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5-3cmのバミスを含み、粘性強かある
SK492	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-3cmのバミスを含み、粘性強かある
SK494	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-1.5cmのバミス、ローム粒子を含む。締っていない
SK495	復十	暗褐色土層(10YR3/3)φ0.3-1cmのバミス、ローム粒子を多く含む
SK496	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.3-7cmのバミスを含むほか、ローム粒子を僅かに含む
	第2層	黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.3-5cmのバミスを含む。締っていない
SK497	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.3-5cmのバミスを含み、締っていない
SK507	第1層	黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.3-1cmのバミスを僅かに含む。締っていない
SK516	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.8cm前後のバミスを表かに含む。締っていない
	第2層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.3-2cmのバミス、小礫を含む
	第3層	暗褐色土層(10YR3/3)φ0.3-1cmのバミス、ローム粒子を含む。締っていない
SK522	第1層	黒褐色土層(10YR2/3)バミスをほとんど含まない。砂質
第145回		
SK500	第1層	黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.3-2cmのバミスを含み、締っていない
SK503	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-3cmのバミスを比較的多く含む。粘性強かある
SK504	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5-3cmのバミスを比較的多く含む。粘性強かある

SK505	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~5cmのバミスを含む。粘性強かにある
SK521	第1層	黒色土層(5YR1.7/1)φ0.5~8cmのバミスを含む
	第2層	黒褐色土層(5YR2/1)φ0.5~7cmのバミス、ローム粒子を含む
	第3層	黒色土層(5YR1.7/1)φ0.5~3cmのバミスを強かに含む
	第4層	黒色土層(7.5YR2/1)ローム粒子を多量に含む
第147図		
SK213	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.5~3cmのバミスを含む。底面は堅緻
SK475	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ0.5~5cmのバミスを含む。粘性强かにある
	第2層	黒褐色土層(10YR2/2)φ1cm前後のバミスのほか、ローム粒子を多量に含む
SK476	第1層	黒色土層(10YR2/1)φ1~13cmのバミスを多量に含む。粘性強かにある
第148図		
SK458	第1層	黒褐色土層(10YR2/2)φ0.5~5cmのバミスを含む。粘性強かにある
	第2層	暗褐色土層(10YR3/3)φ1~5cmのバミスを多量に含む。締っていない
SK478	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.3~10cmのバミスを含む
SK498	第1層	黒色土層(7.5YR2/1)φ0.3~9cmのバミスを含む。締っていない。粘性强
	第2層	黒褐色土層(7.5YR2/2)φ0.3~3cmのバミスのほか、ローム粒子を含む。締っていない

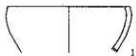


第149图 J1号住居址出土土器实测图

〈J 1号住居址〉



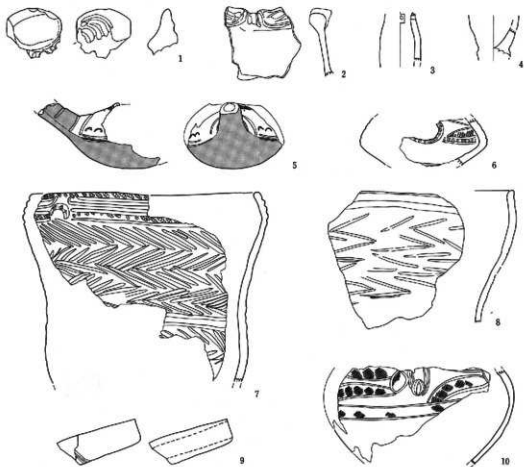
〈J 2号住居址〉



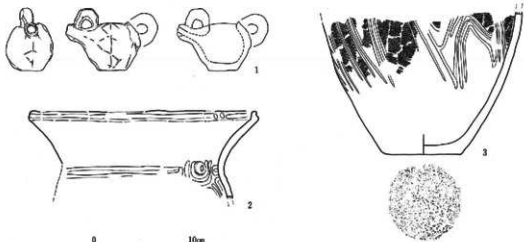
0 10cm

第150图 J 1・J 2号住居址出土土器実測图

<J 2号住居址>

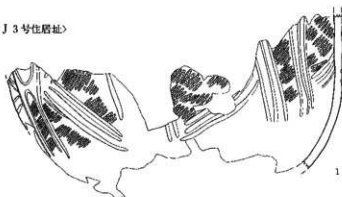


<J 3号住居址>



第151图 J 2·J 3号住居址出土土器实测图

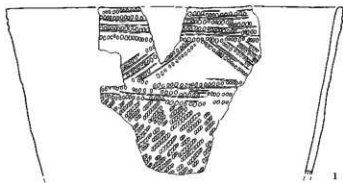
〈J 3号住居址〉



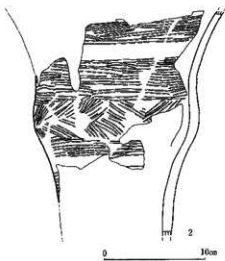
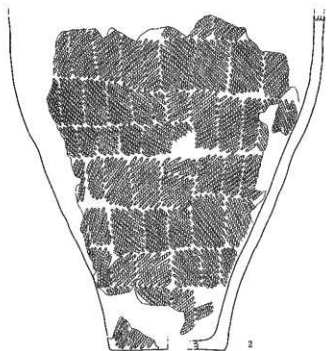
〈J 5号住居址〉



〈J 6号住居址〉



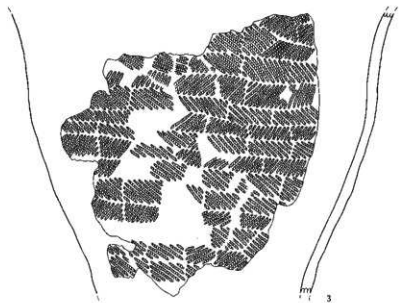
〈J 7号住居址〉



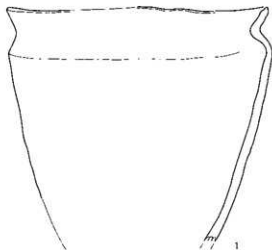
0 10m

第152图 J 3·J 5~J 7号住居址出土土器实测图

〈J 9号住居址〉



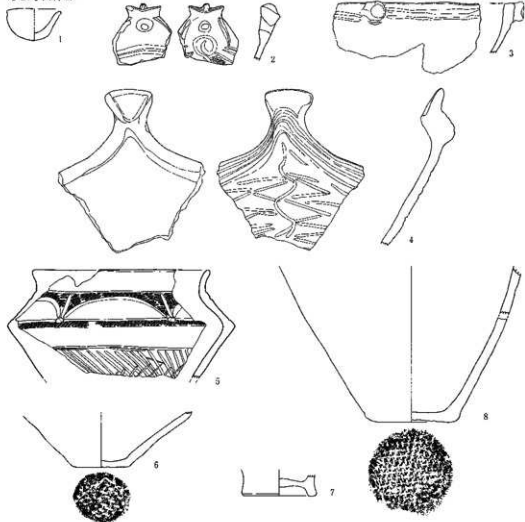
〈J 15号住居址〉



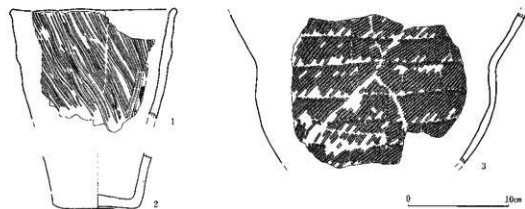
0 10cm

第153图 J 9・J 15号住居址出土土器実測图

〈J 10号住居址〉

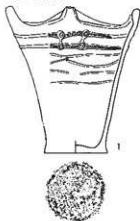


〈J 11号住居址〉

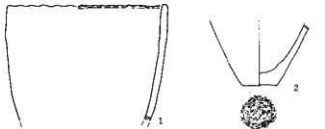


第154图 J 10·J 11号住居址出土土器实测图

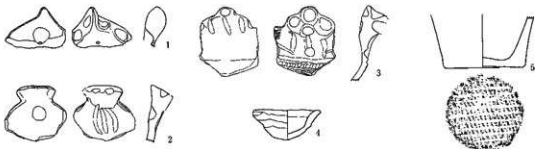
<J11号住居址>



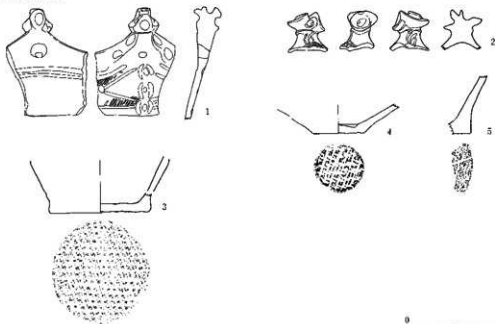
<J15号住居址>



<J18号住居址>



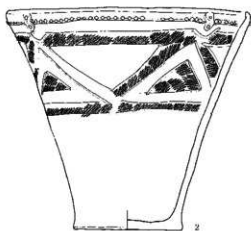
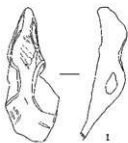
<J19号住居址>



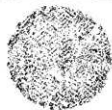
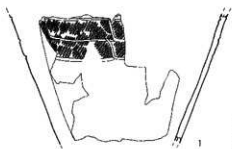
0 10cm

第155图 J11·J15·J18·J19号住居址出土石器实测图

〈J21号住居址〉



〈J22号住居址〉



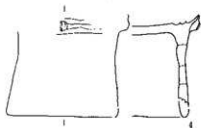
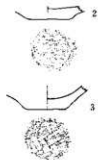
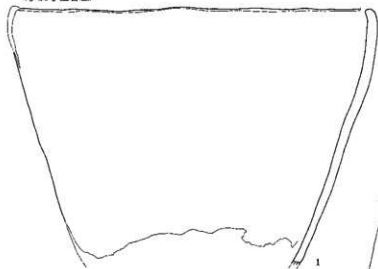
〈J23号住居址〉



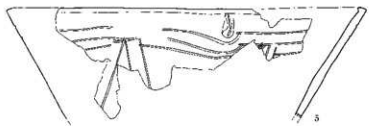
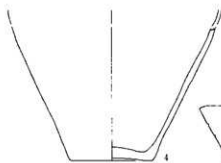
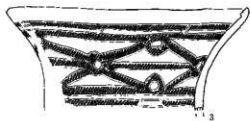
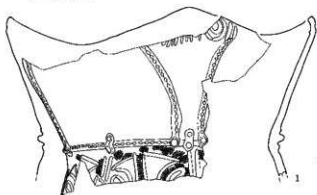
0 10cm

第156图 J21~J23号住居址出土土器実測図

〈J24号住居址〉



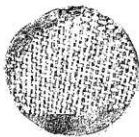
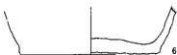
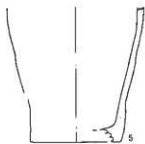
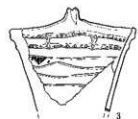
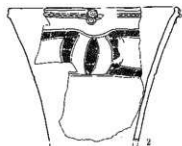
〈J25号住居址〉



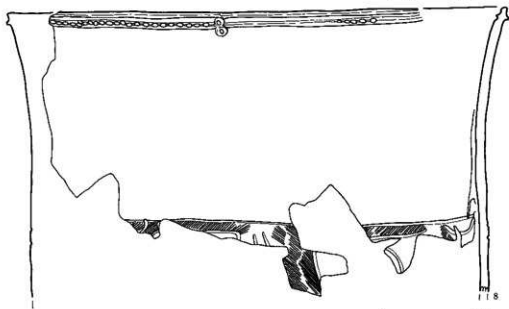
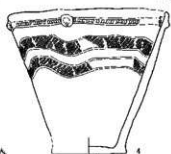
0 10cm

第157图 J24·J25号住居址出土土器実測图

〈J25号住居址〉



〈J26号住居址〉



0 10cm

第158图 J25·J26号住居址出土器実測图

<J26号住居址>



1



<J27号住居址>



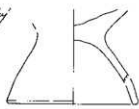
1

2

3



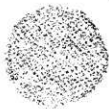
4



5



6



<J28号住居址>



1



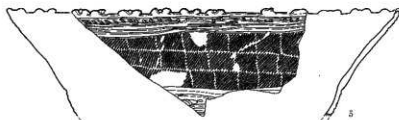
2



3



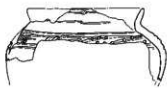
4



5



6



7



8



9



10

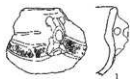


11



第159图 J26~J28号住居址出土土器实测图

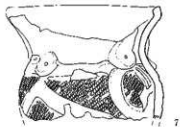
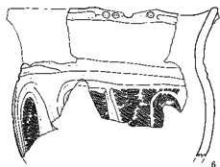
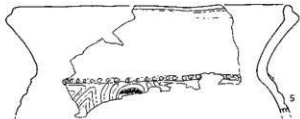
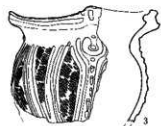
〈J31号住居址〉



〈J32号住居址〉

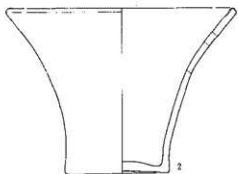
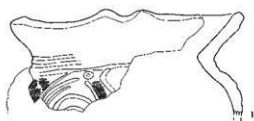


〈J33号住居址〉



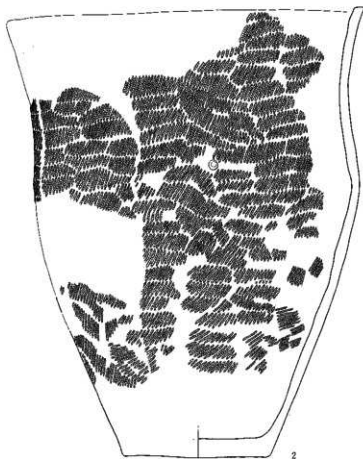
0 10cm

第160图 J31~J33号住居址出土土器实测图



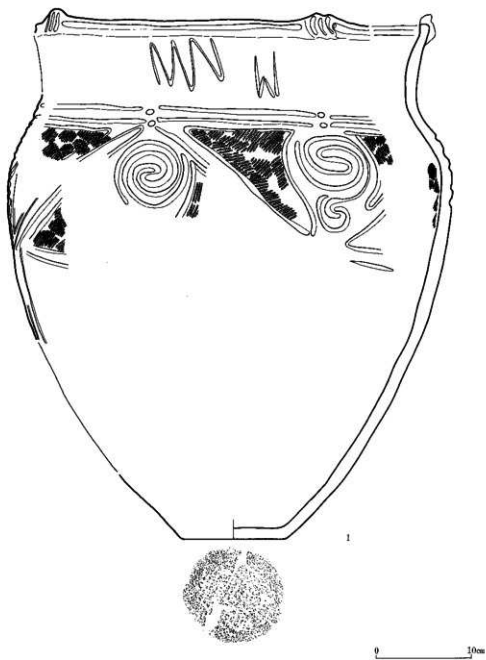
0 10cm

第161圖 J33号住居址出土土器実測図



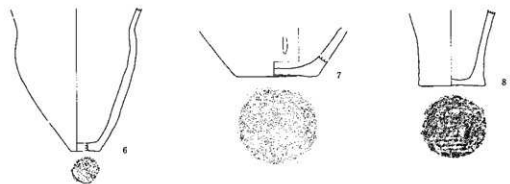
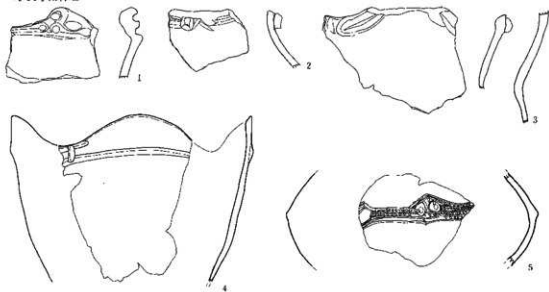
0 10cm

第162图 J33号住居址出土土器实测图



第163图 J33号住居址出土土器实测图

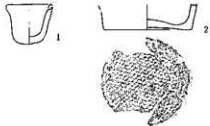
<J34号住居址>



<J37号住居址>



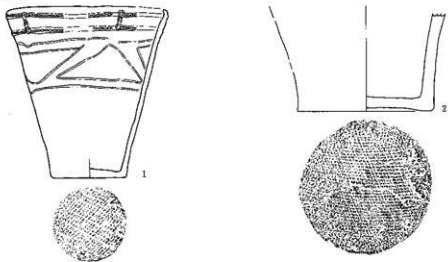
<J39号住居址>



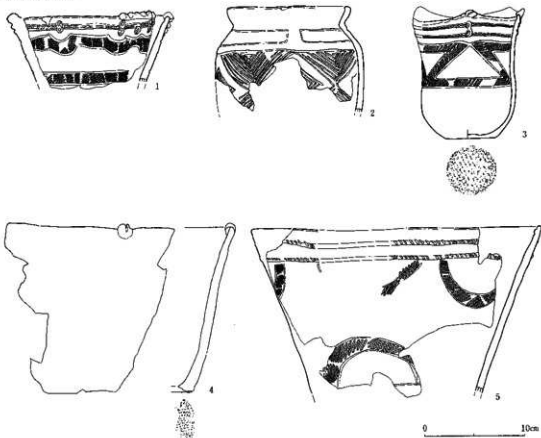
0 10mm

第164图 J34·J37·J39号住居址出土土器实例图

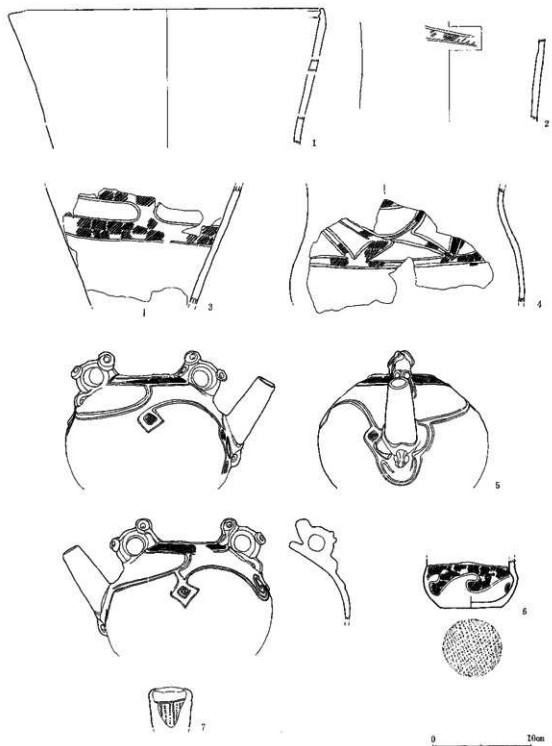
〈J39号住居址〉



〈J40号住居址〉

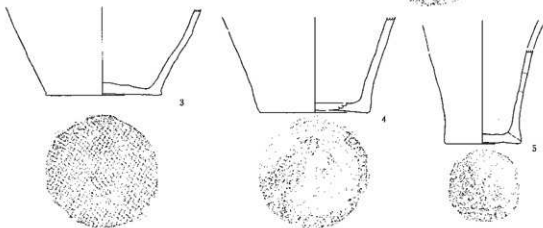
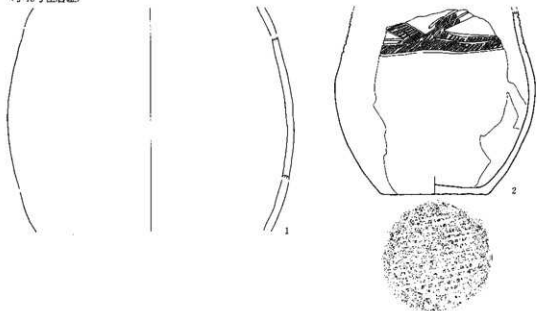


第165图 J39・J40号住居址出土土器実測图



第166图 J40号住居址出土土器实测图

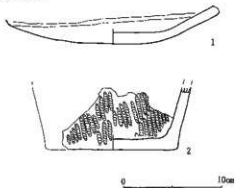
〈J 40号住居址〉



〈J 41号住居址〉

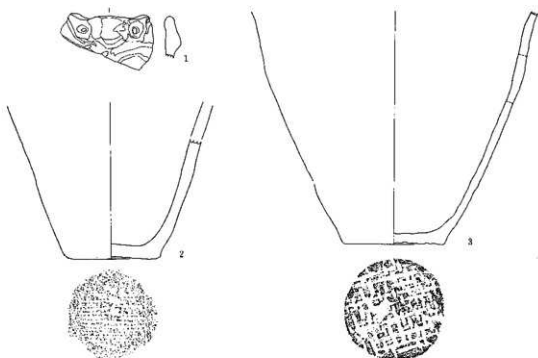


〈J 42号住居址〉

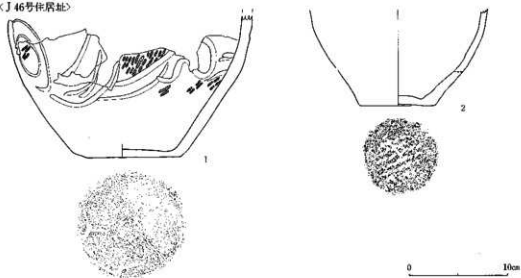


第167图 J 40~J 42号住居址出土土器实测图

<J 44号住居址>



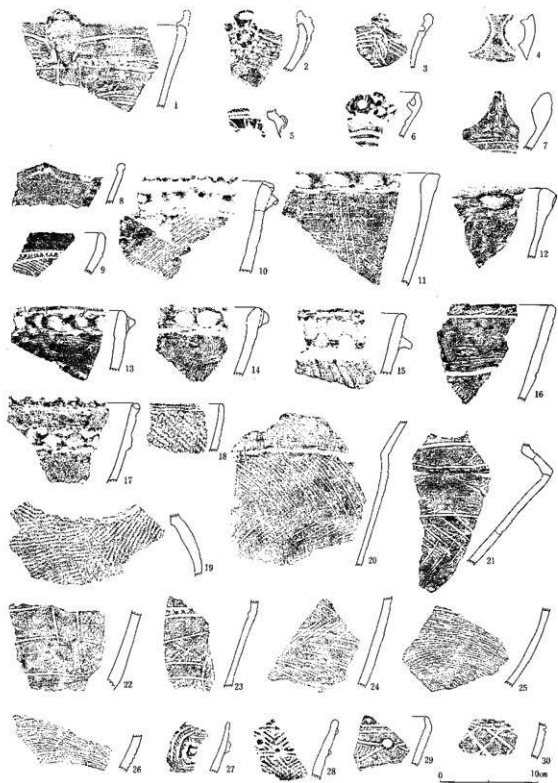
<J 46号住居址>



第168图 J 44・J 46号住居址出土土器実測图

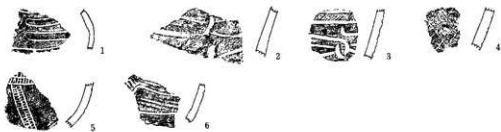


第169图 J1号住居址出土土器拓影图



第170图 J1号住居址出土土器拓影图

〈J 1号住居址〉

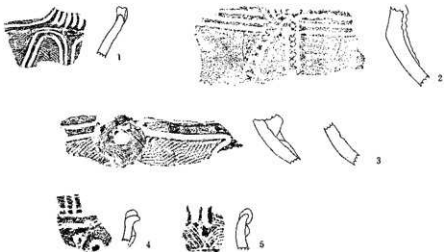


〈J 2号住居址〉

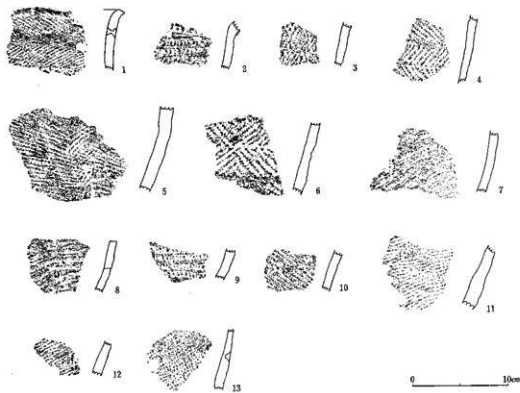


第171图 J 1·J 2号住居址出土土器拓影图

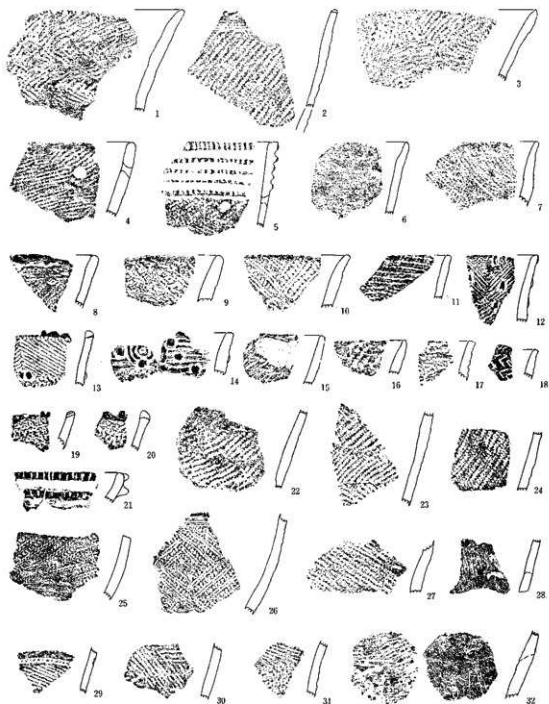
〈J 3号住居址〉



〈J 4号住居址〉



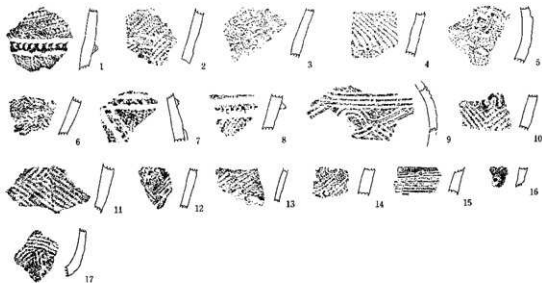
第172图 J 3·J 4号住居址出土土器拓影图



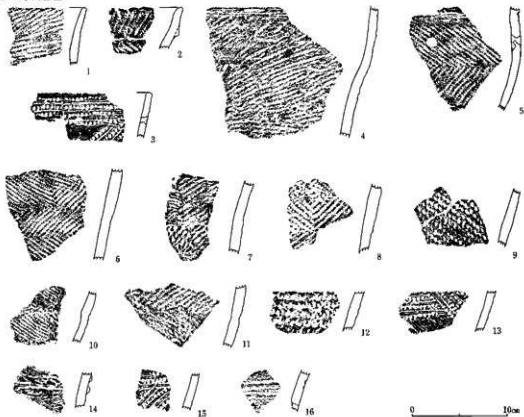
0 10cm

第173图 J5号住居址出土土器拓影图

〈J 5号住居址〉

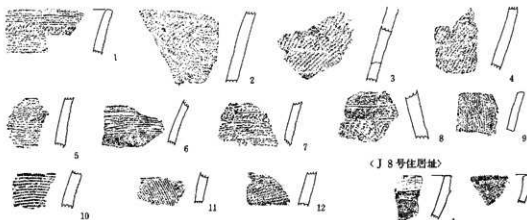


〈J 6号住居址〉



第174图 J 5·J 6号住居址出土器拓影图

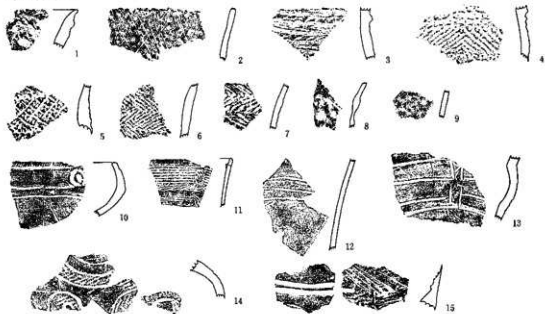
<J 7号住居址>



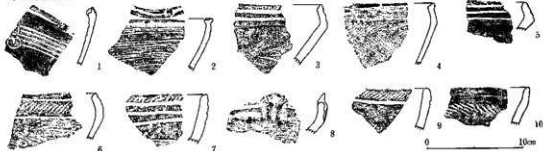
<J 8号住居址>



<J 9号住居址>

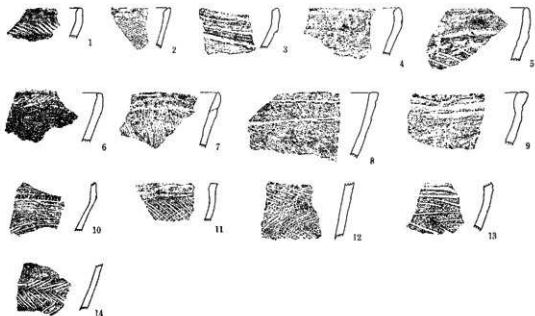


<J 10号住居址>

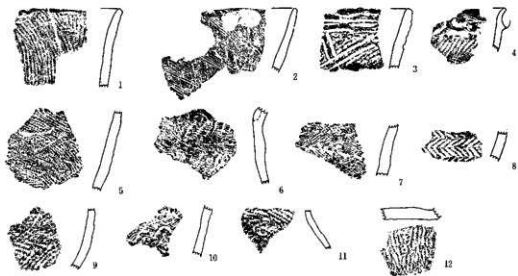


第175图 J 7~J 10号住居址出土土器拓影图

<J 10号住居址>



<J 11号住居址>

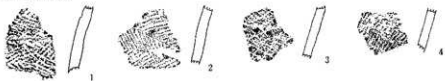


<J 12号住居址>



第176图 J 10~J 12号住居址出土器形影图

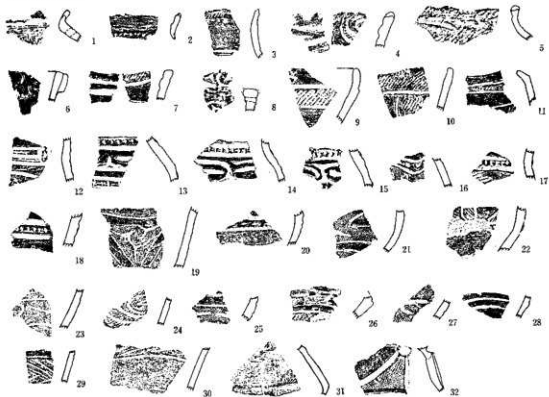
<J13号住居址>



<J14号住居址>



<J15号住居址>



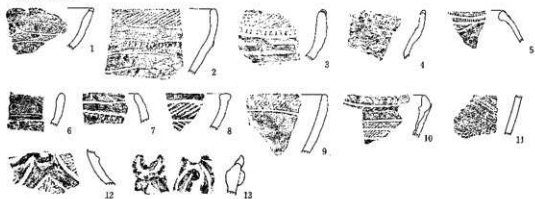
<J16号住居址>



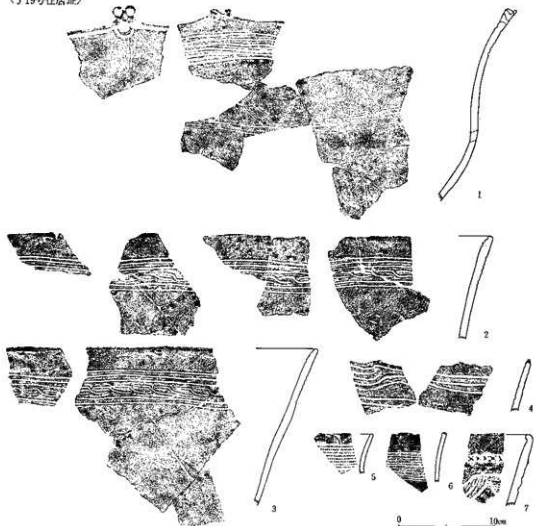
0 10cm

第177圖 J13~J16号住居址出土器拓影圖

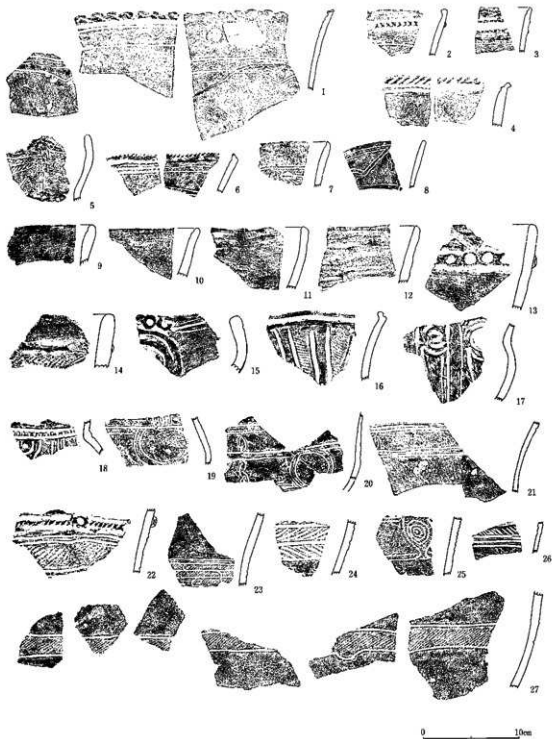
〈J18号住居址〉



〈J19号住居址〉



第178图 J18・J19号住居址出土土器拓影图

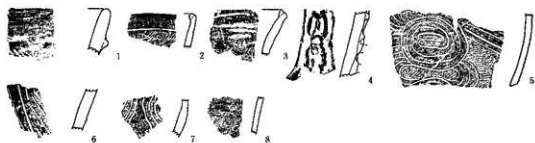


第179图 J19号住居址出土土器拓影图

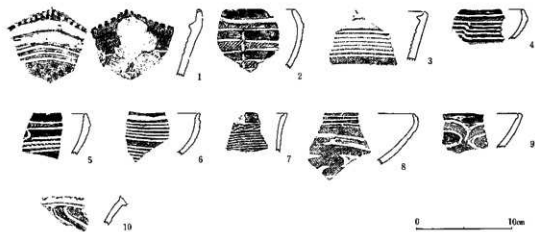
〈J19号住居址〉



〈J21号住居址〉

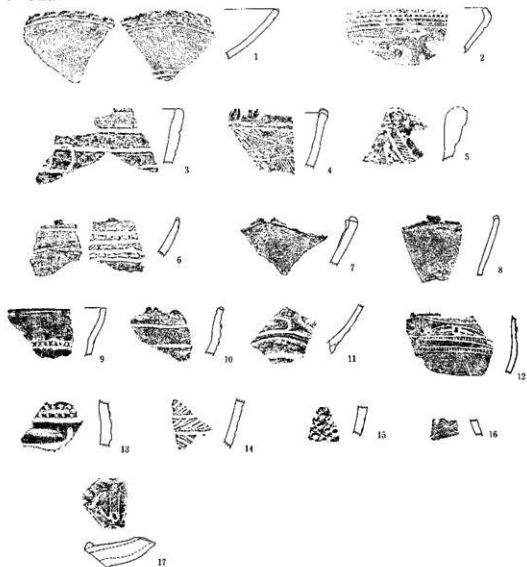


〈J22号住居址〉



第180图 J19·J21·J22号住居址出土土器拓影图

〈J 22号住居址〉



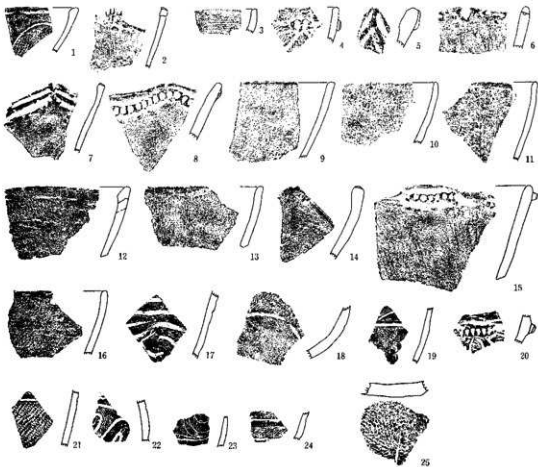
〈J 23号住居址〉



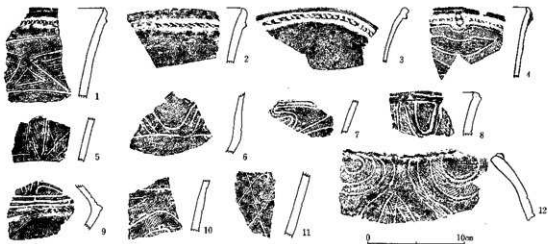
0 10cm

第181图 J 22・J 23号住居址出土土器拓影图

<J 24号住居址>

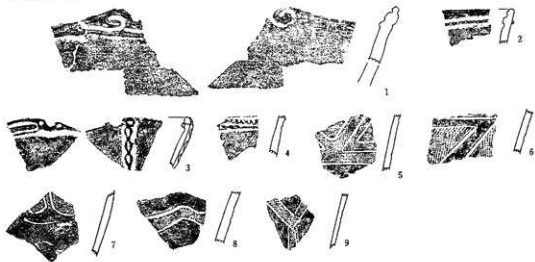


<J 25号住居址>

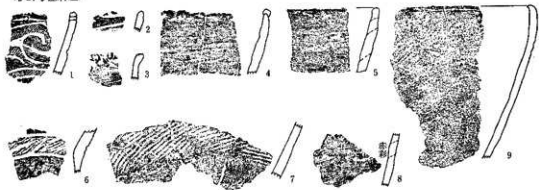


第182图 J 24·J 25号住居址出土器物影图

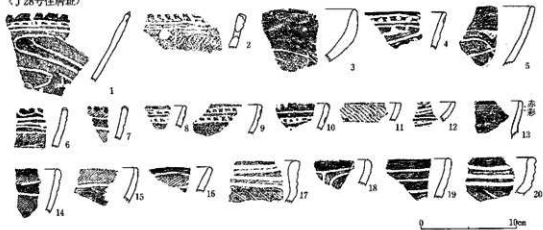
〈J26号住居址〉



〈J27号住居址〉

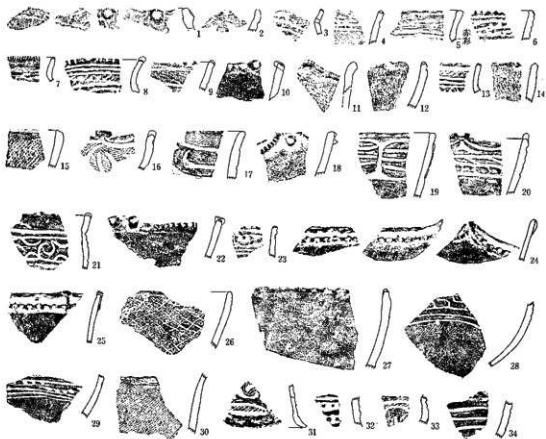


〈J28号住居址〉

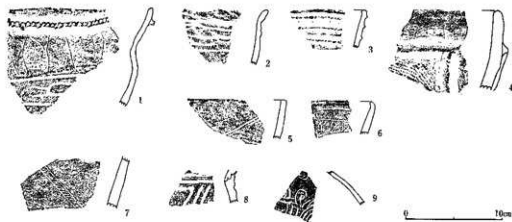


第183图 J26~J28号住居址出土器拓影图

〈J 28号住居址〉



〈J 29号住居址〉



第184图 J 28・J 29号住居址出土土器拓影图

< J 30号住居址 >



< J 31号住居址 >



< J 32号住居址 >

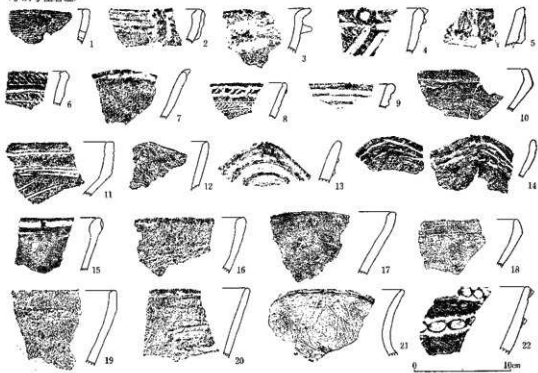


第185图 J 30—J 32号住居址出土器拓影图

< J 32号住居址 >

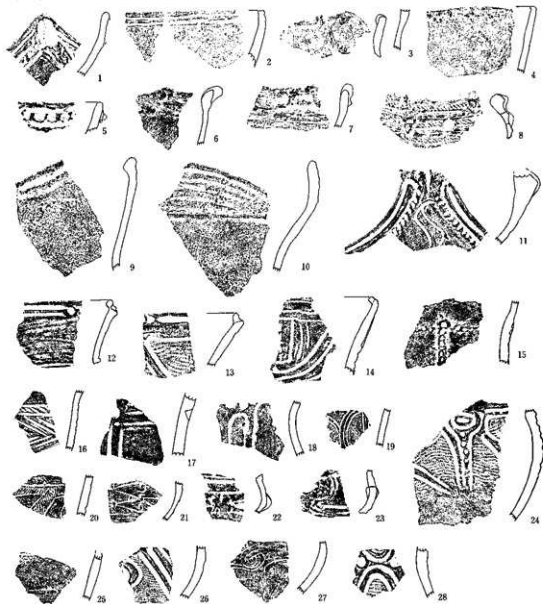


< J 34号住居址 >



第186图 J 32・J 34号住居址出土土器拓影图

〈J34号住居址〉



〈H9号住居址〉



第187图 J34·H9号住居址出土土器拓影图

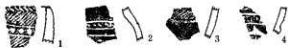
〈H 9号住居址〉



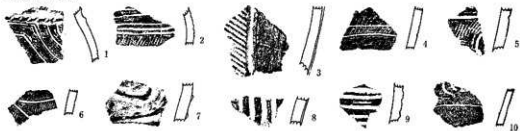
〈J 37号住居址〉



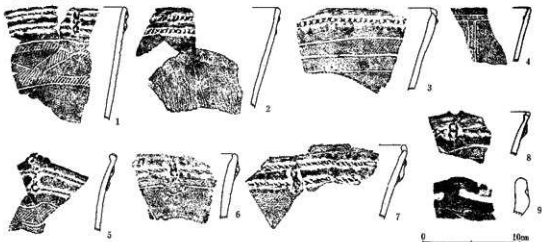
〈J 38号住居址〉



〈J 39号住居址〉

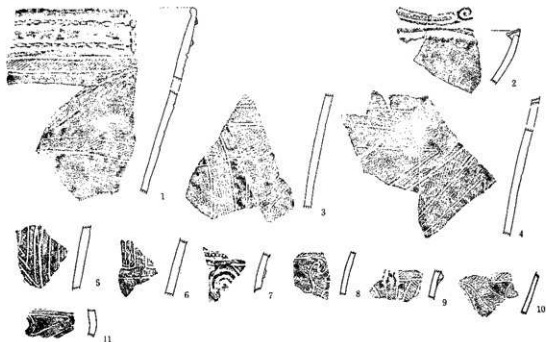


〈J 40号住居址〉



第188图 H 9·J 37~J 40号住居址出土土器拓影图

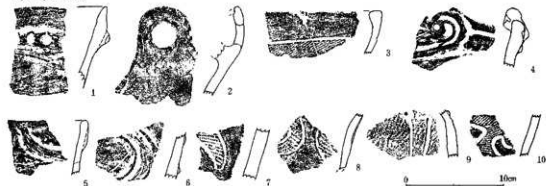
<J40号住居址>



<J41号住居址>

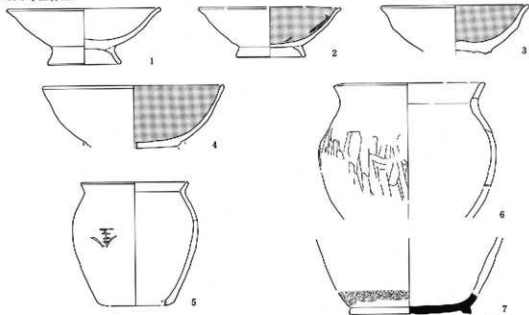


<J44号住居址>

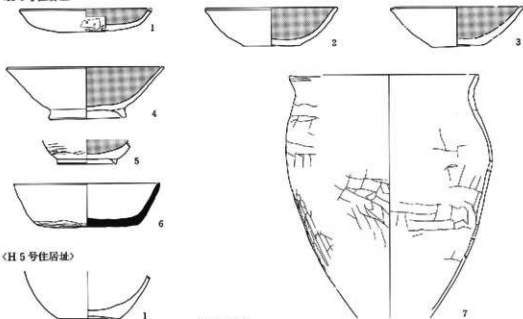


第189图 J40·J41·J44号住居址出土土器拓影图

<H 2号住居址>



<H 4号住居址>



<H 5号住居址>



<H 9号住居址>



<トレンチ>



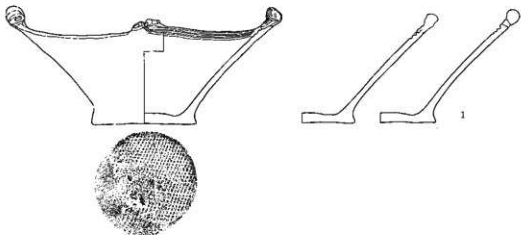
<Ⅲ-F9G>



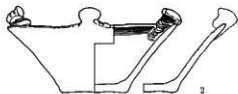
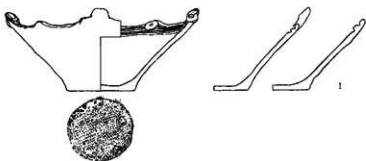
0 10cm

第190図 古代土器実測図

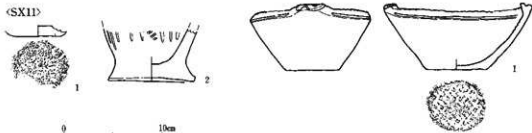
<SX02>



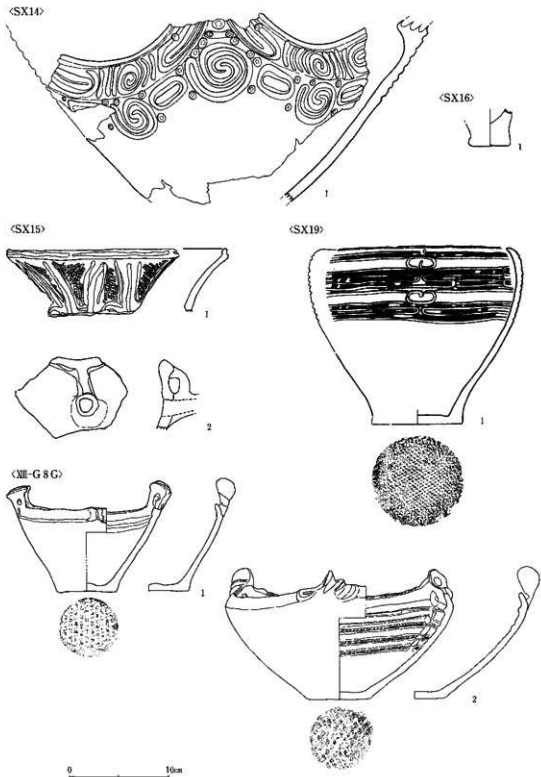
<SX07>



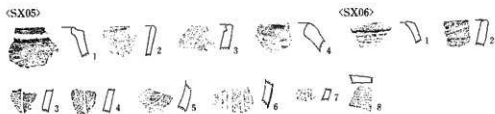
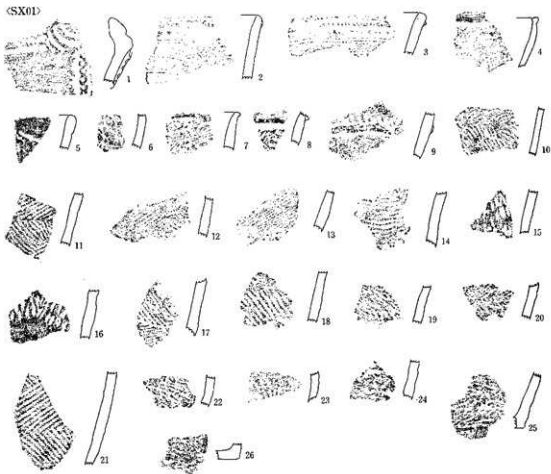
<SX15>



第191图 SX出土土器实测图(A)



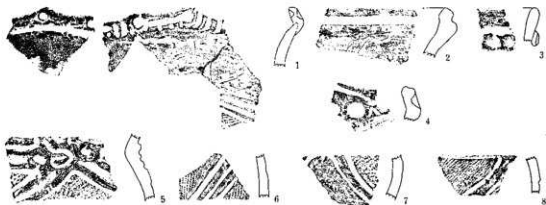
第192图 SX出土石器实图(B)



0 10cm

第193圖 SX01—SX06·SX08出土土器拓影圖

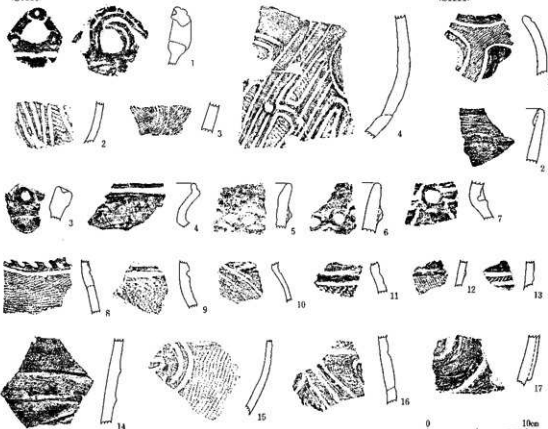
<SX08>



<SX09>



<SX10>



<SX11>



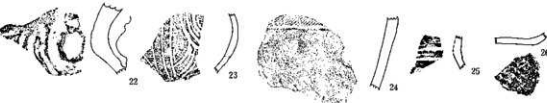
0 10cm

第194图 SX08~SX11出土土器拓影图

(SX11)



(SX12)



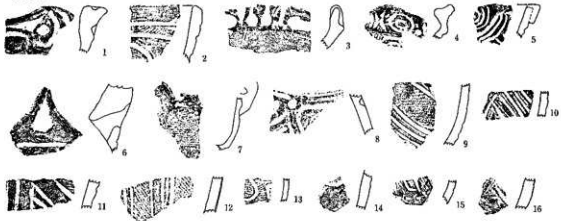
0 10cm

第195圖 SX11・SX12出土土器拓影圖

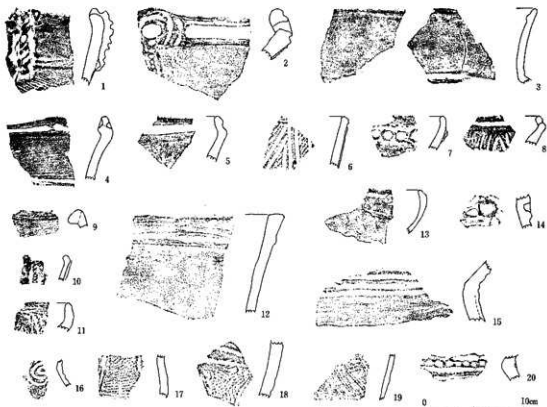
〈SX13〉



〈SX14〉

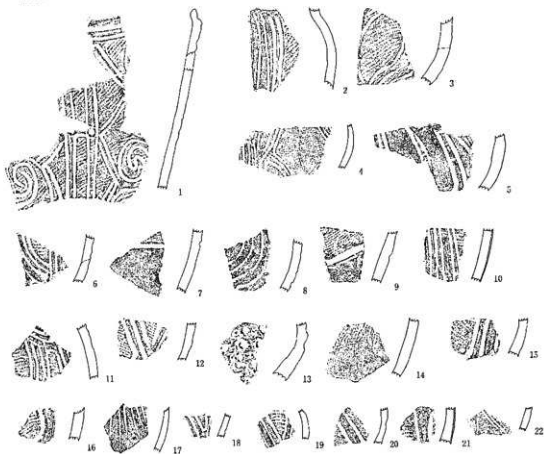


〈SX15〉



第196图 SX13~SX15出土器拓影图

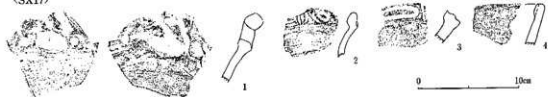
<SX15>



<SX16>

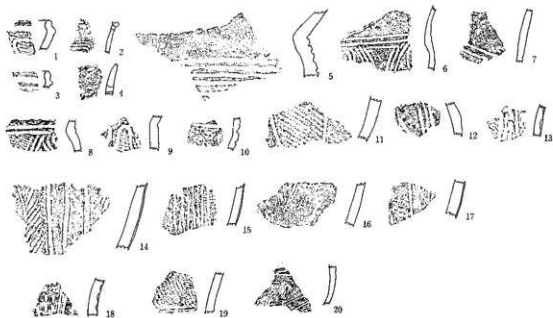


<SX17>

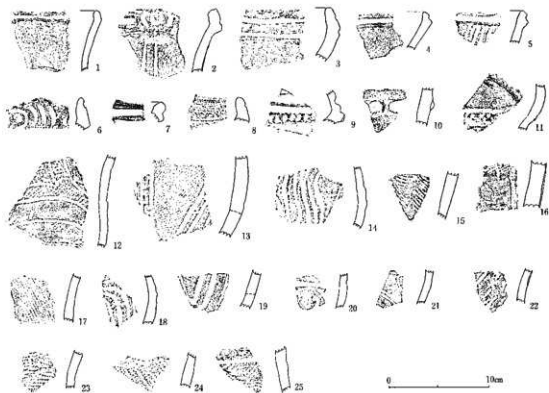


第197图 SX15~SX17出土器物拓影图

(SX17)

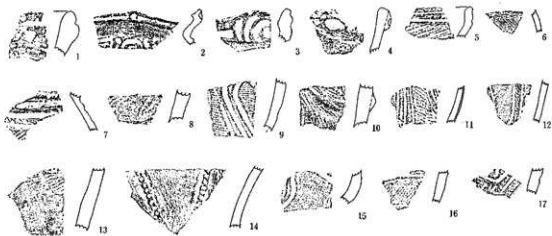


(SX18)



第198图 SX17·SX18出土器拓影图

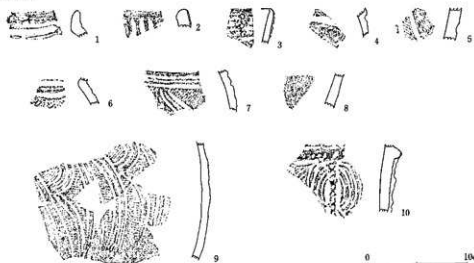
〈SX20〉



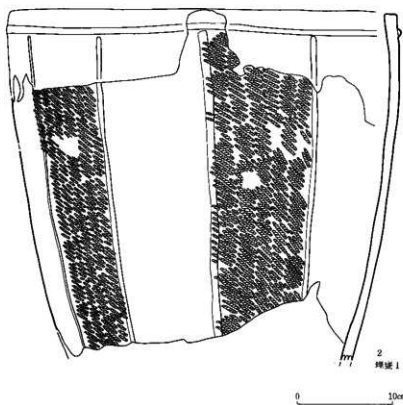
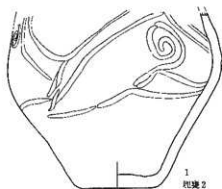
〈SX21〉



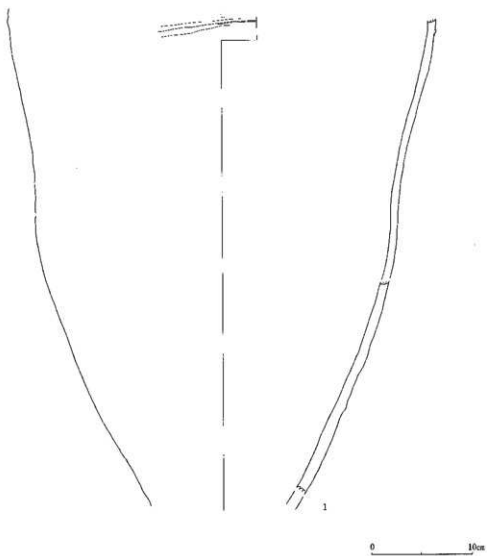
〈SX22〉



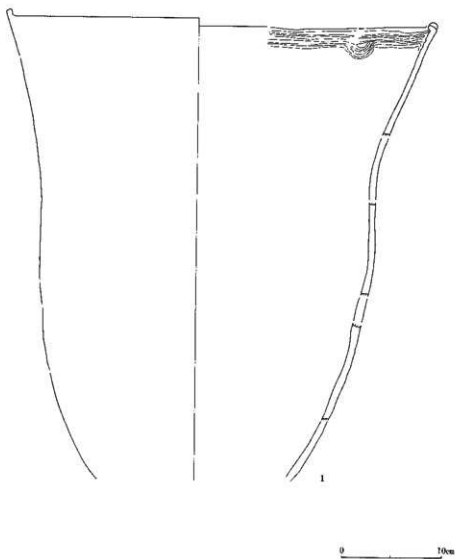
第199图 SX20~SX22出土器拓影图



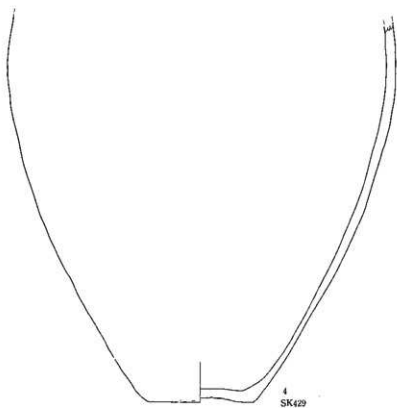
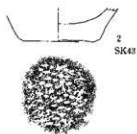
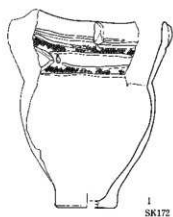
第200圖 壺甕 1・2 実測図



第201圖 埋設3次測圖

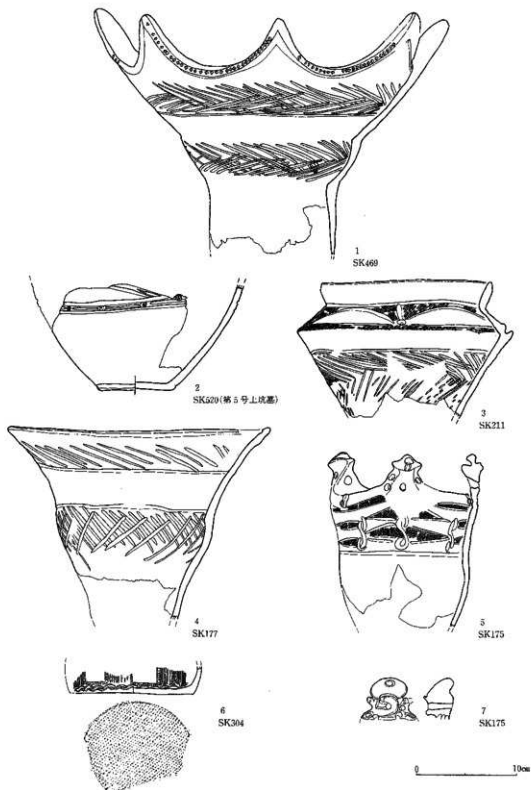


第202图 埋室4实测图

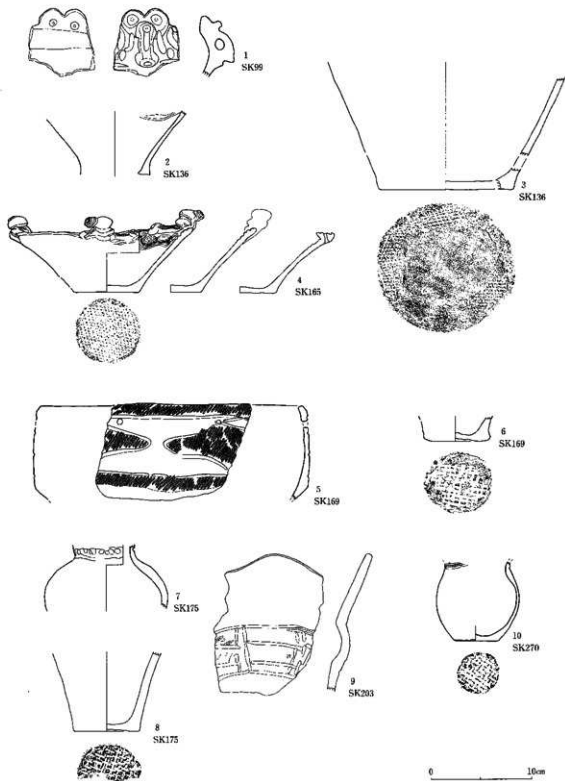


0 10cm

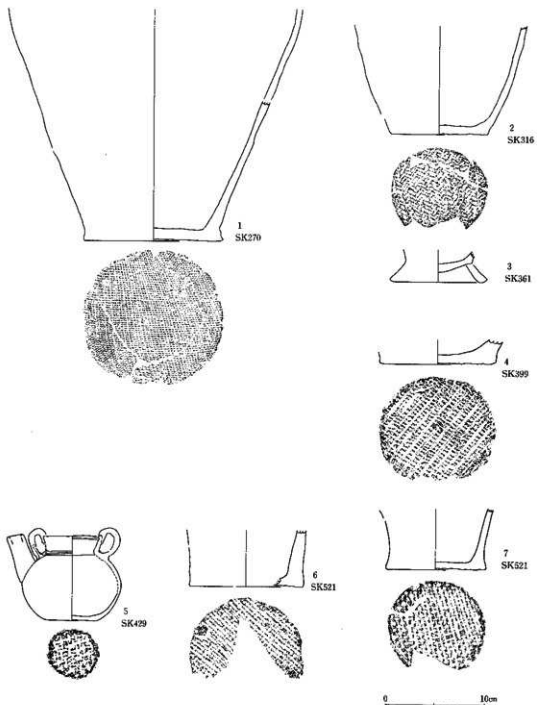
第203图 土坑出土土器类图(A)



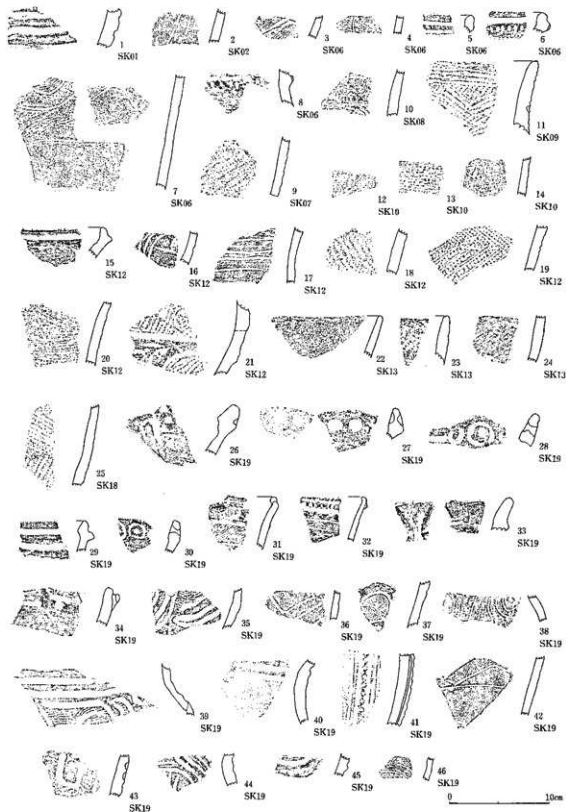
第204图 上坑出土土器实例图(B)



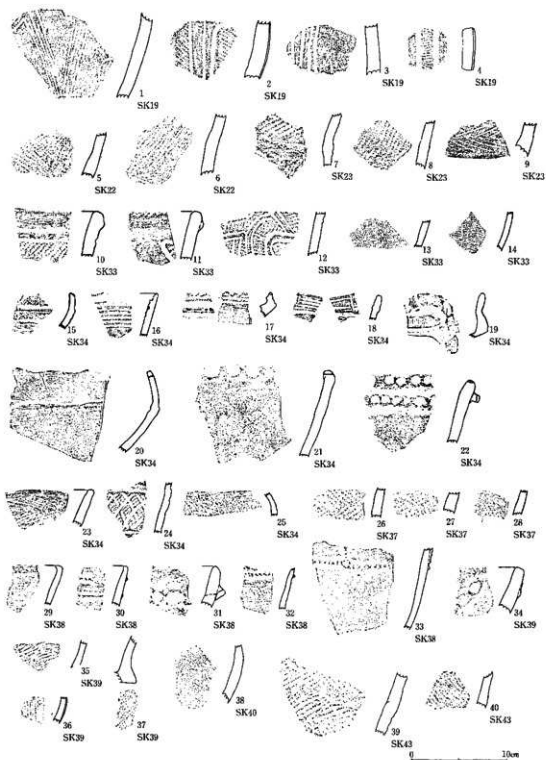
第205图 土坑出土土器类测图(C)



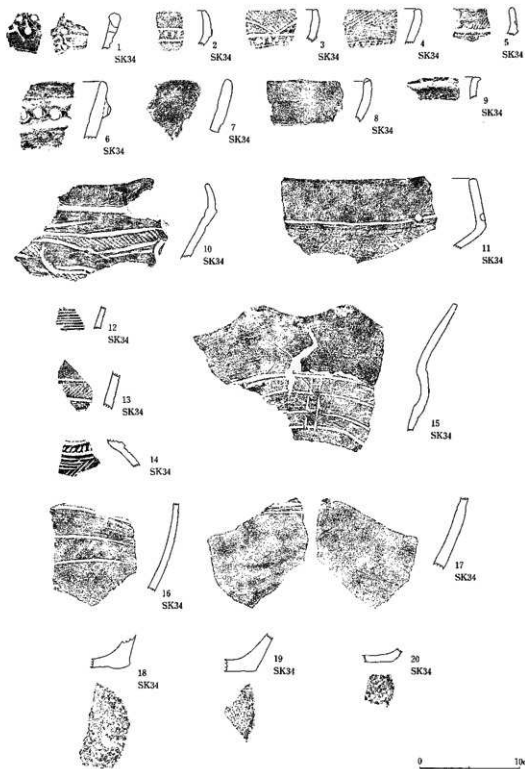
第206圖 土坑出土土器実測圖 (D)



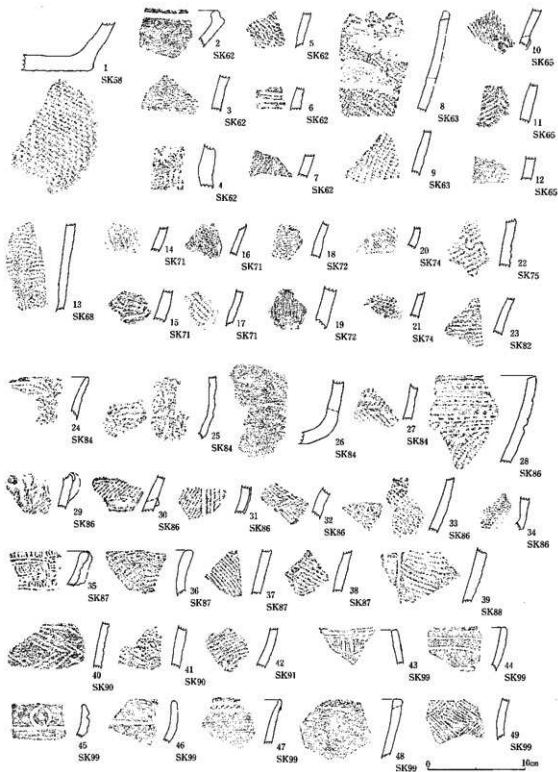
第207图 土坑出土土器拓影图 (A)



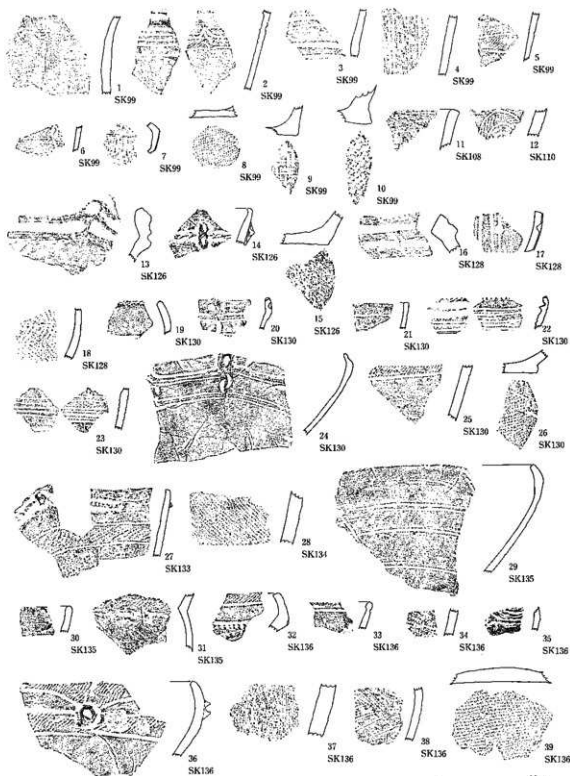
第208圖 土坑出土土器拓影圖 (B)



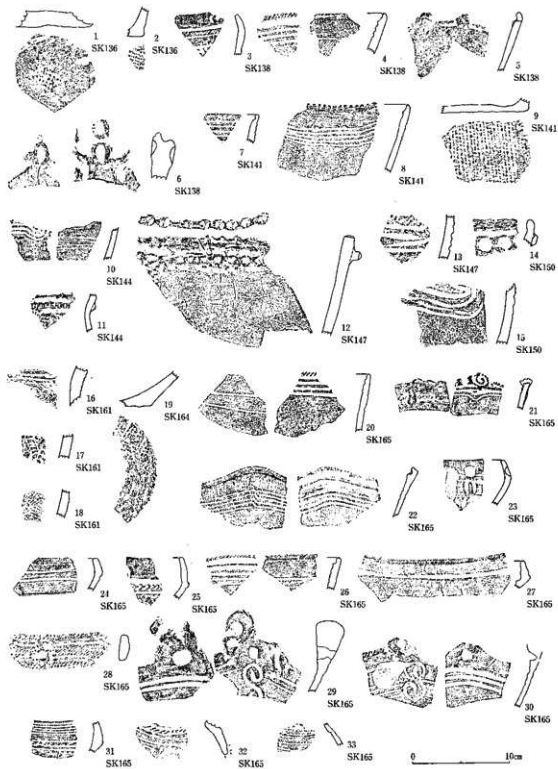
第209圖 土坑出土土器拓影圖 (C)



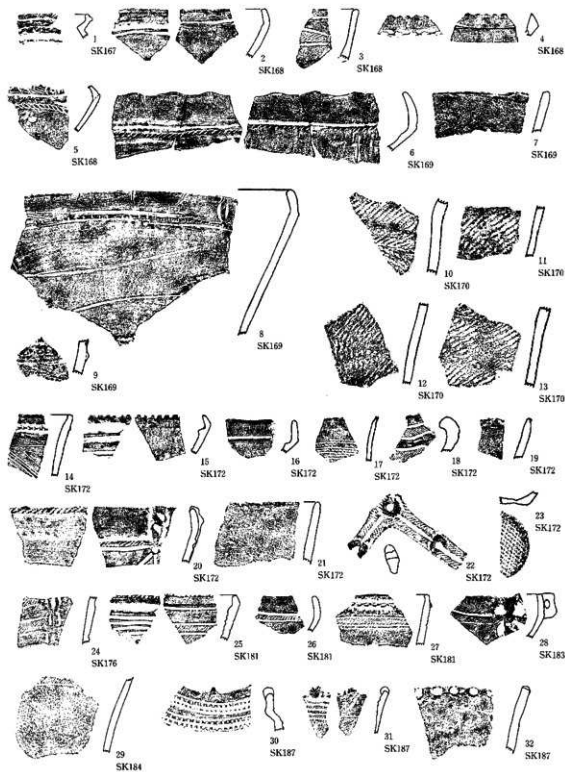
第210圖 上坑出土土器拓影圖 (D)



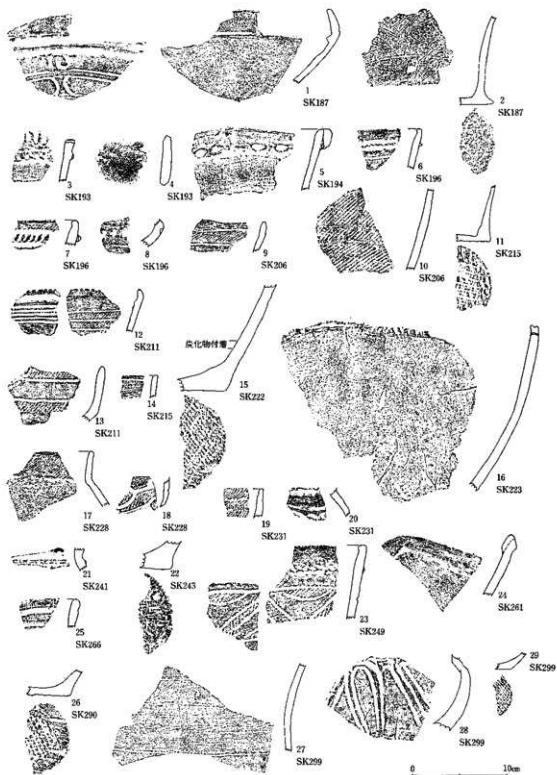
第211图 上坑出土上器拓影图 (E)



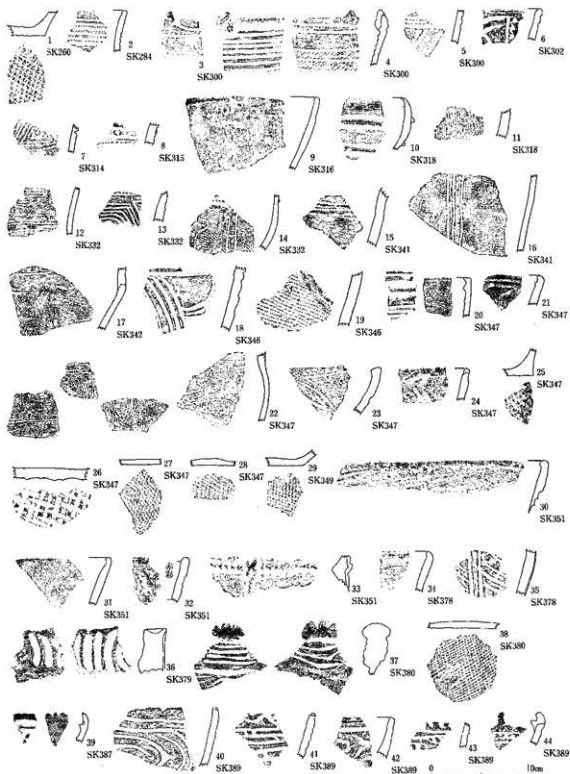
第212图 土坑出土土器拓影图 (F)



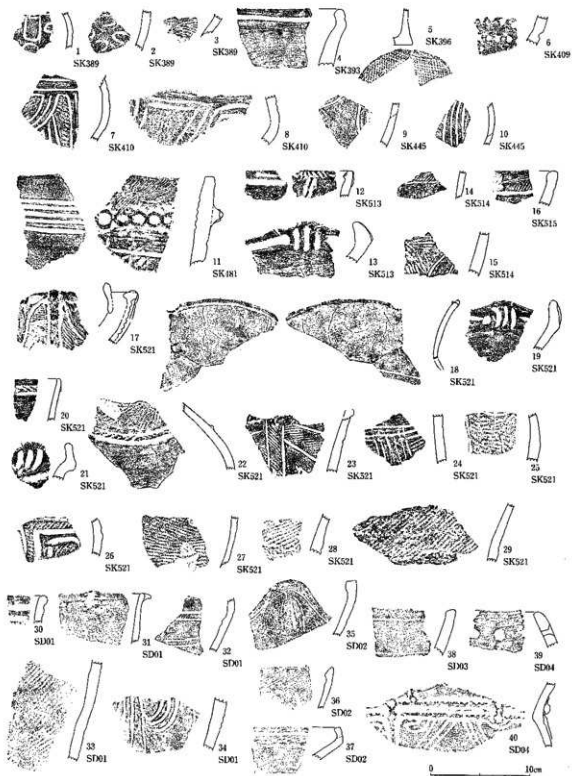
第213图 土坑出土石器拓影图 (G)



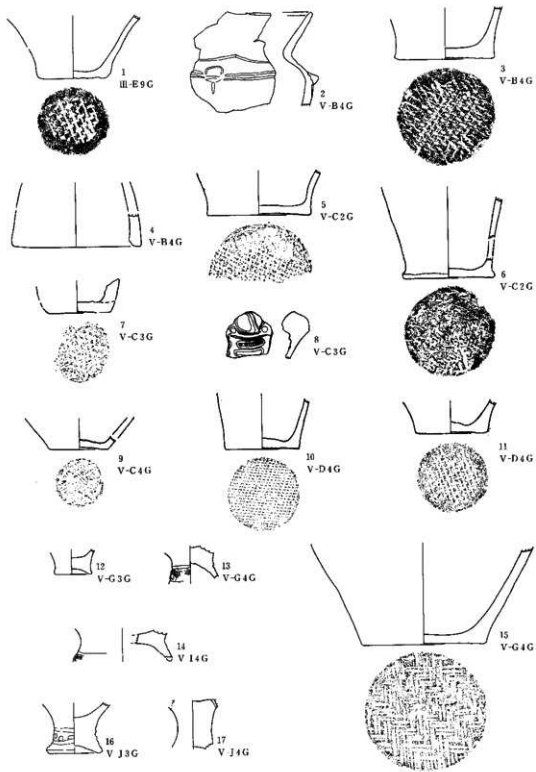
第214图 十坑出土土器拓影图(H)



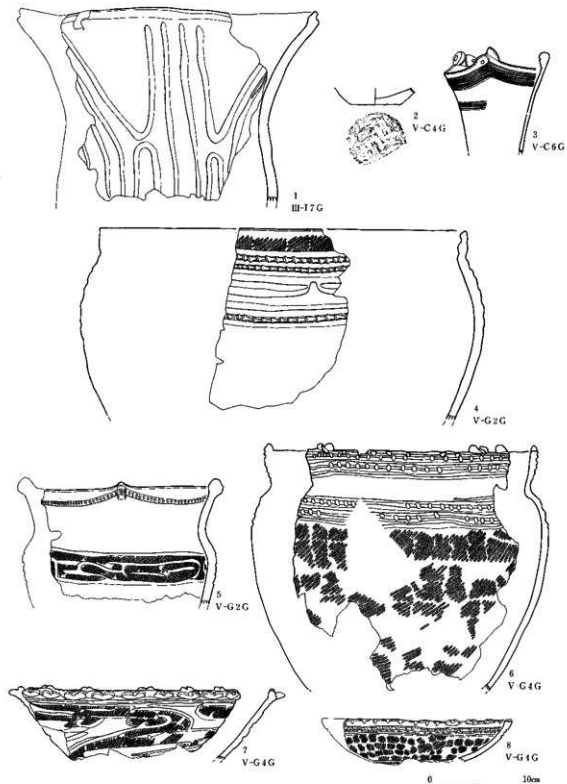
第215圖 十坑出土土器拓影圖(1)



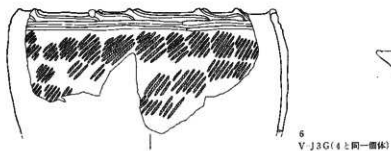
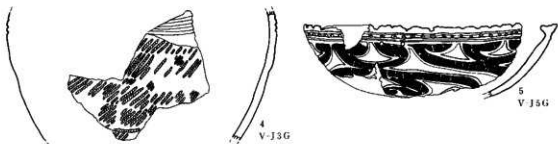
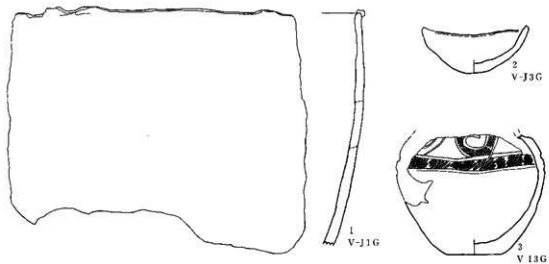
第216图 土坑·溝址出土器物拓影图



第217図 グリッド出土土器実測図 (A)

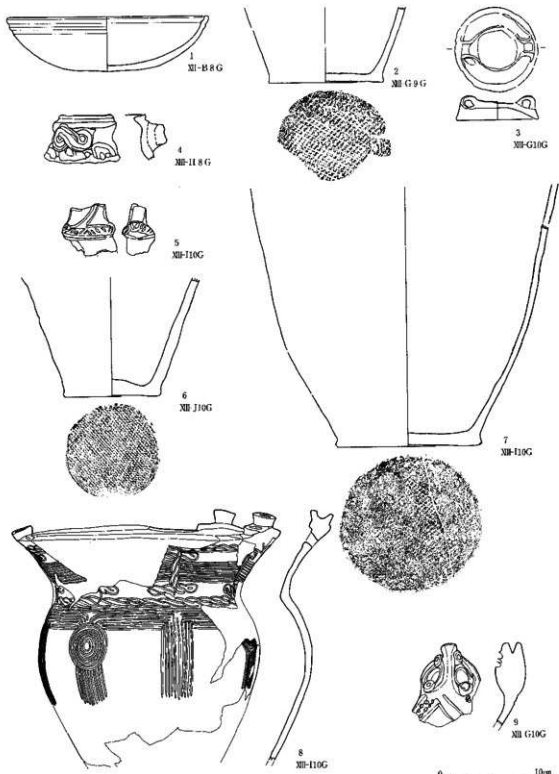


第218図 グリッド出土土器実測図 (B)



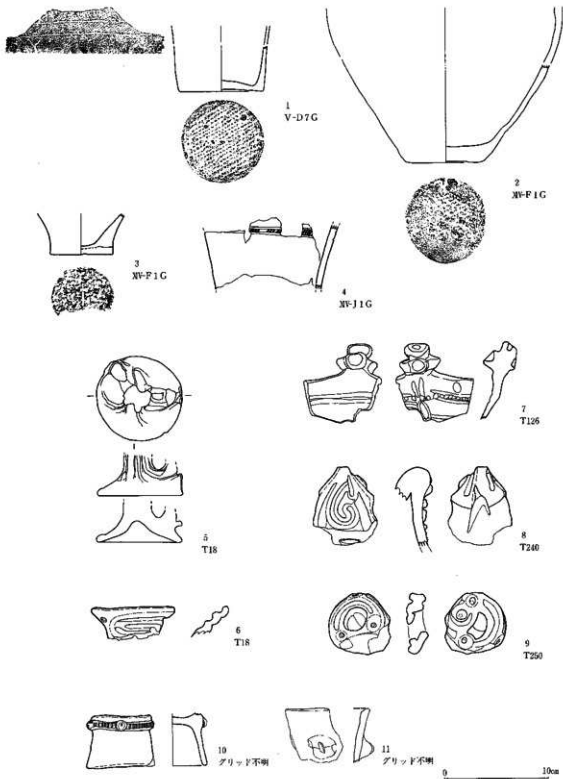
0 10cm

第219号 グリッド出土土器実測図 (C)

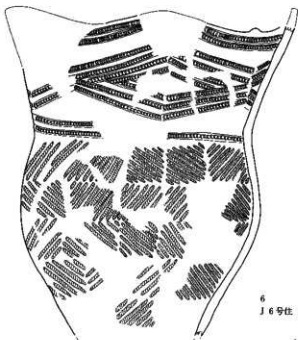


第220図 グリッド出土土器実測図 (D)

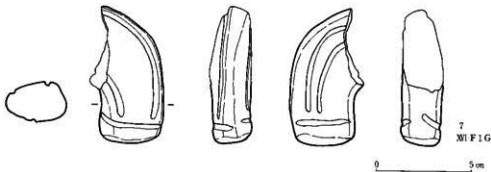
0 10cm



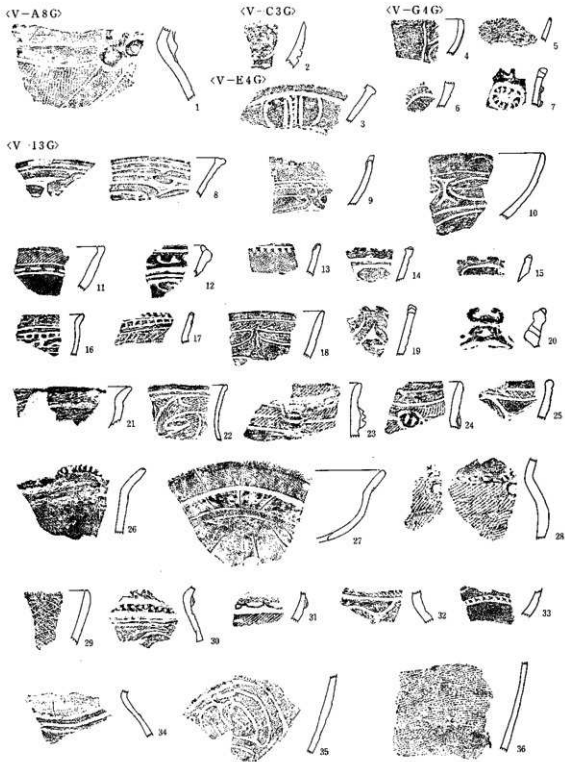
第221図 グリッド出土土器実測図 (E)



0 10cm



第222図 グリッド出土土器・土製品実測図



第223図 グリッド出土土器片影図 (A)

<V-B7G>



<V-C5G>



<V-C6G>



<V-G3G>



<V-13G>



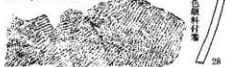
<V-14G>



<V-12G>



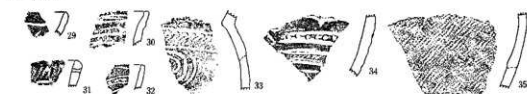
<V-J2・3G>



<J3G>

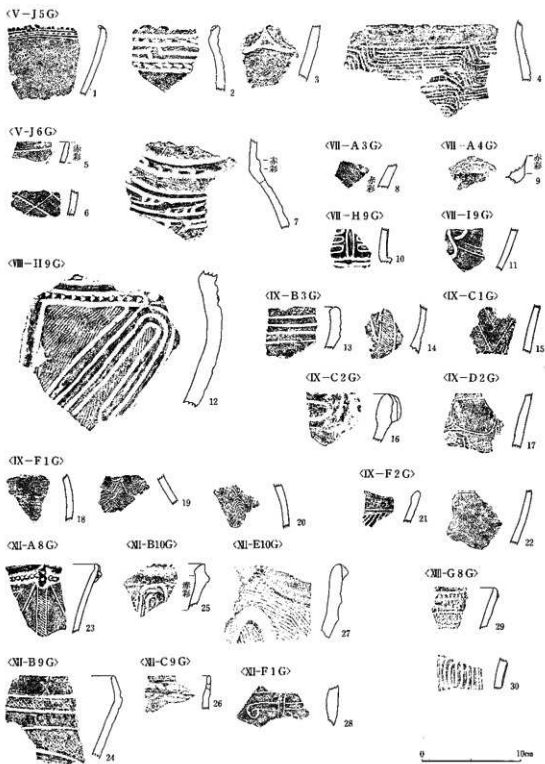
<J2G>

<V-14G>

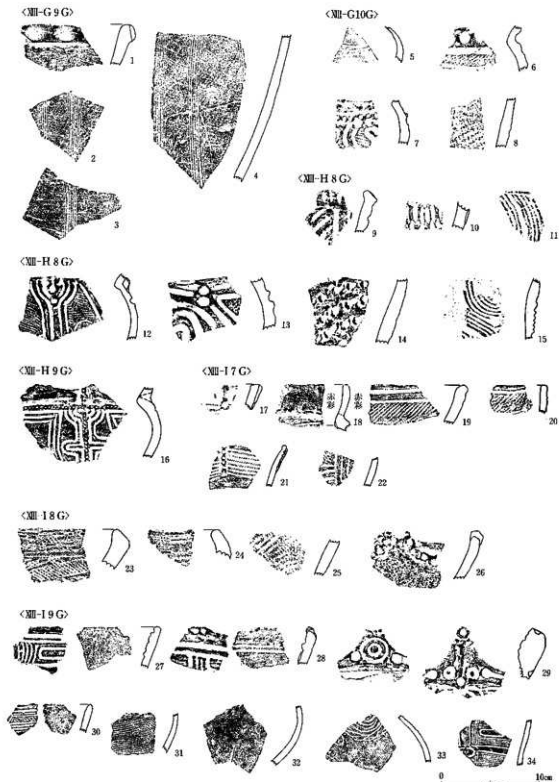


0 10cm

第224図 グリッド出土土器拓彩図 (B)



第225図 グリッド出土土器拓影図 (C)



第226図 グリッド出土土器拓影図 (D)

<MI-19 G>



<MI-J 7 G>



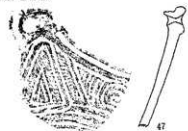
<MI-J 8 G>



<MI-J 9 G>



<MI-D 3 G>



<MI-D 4 G>



<MI-E 1 G>



<MI-E 2 G>



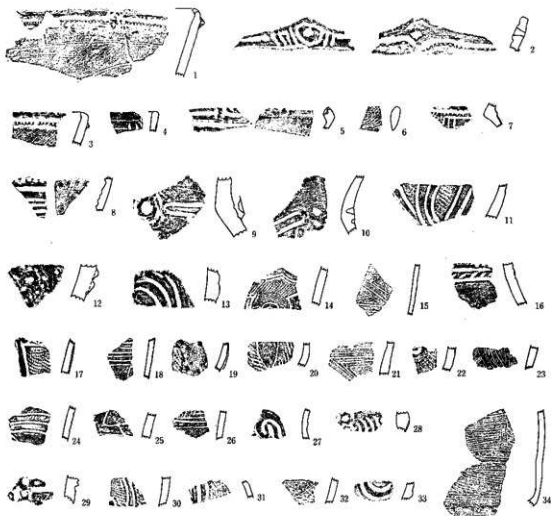
<MI-G 1 G>



0 10cm

第227図 グリッド出土土器拓影図 (E)

〈IV-F1G〉



〈IV-11G〉



〈IV-11G〉

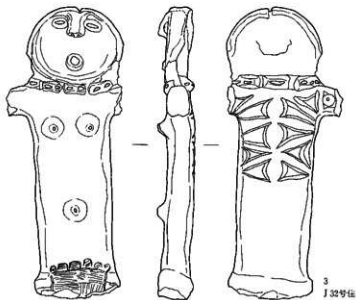
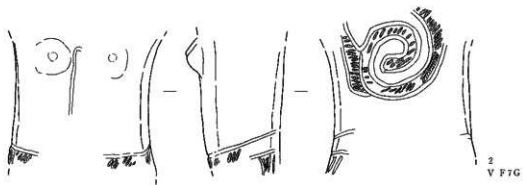
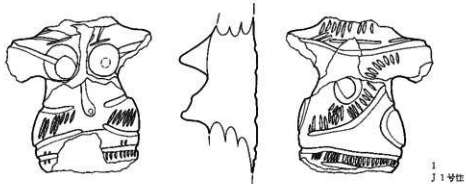


〈V-F3G〉



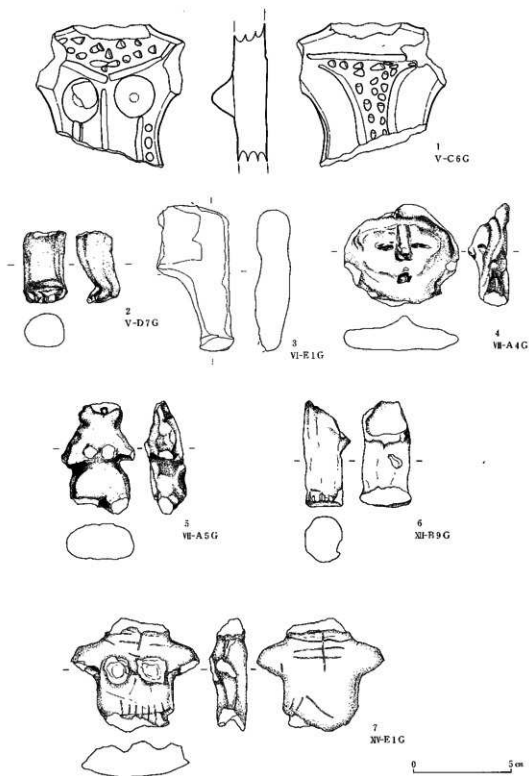
0 10cm

第228図 グリッド出土土器拓影図 (F)

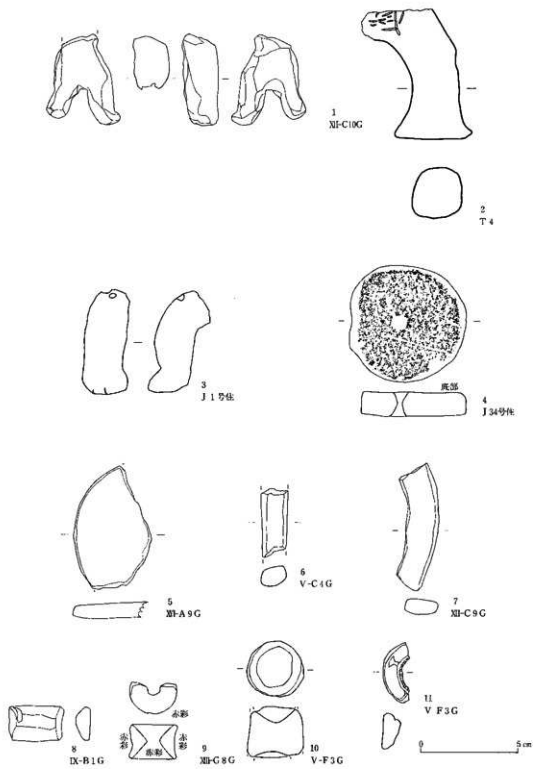


0 5 cm

第229图 土偶実測图 (A)



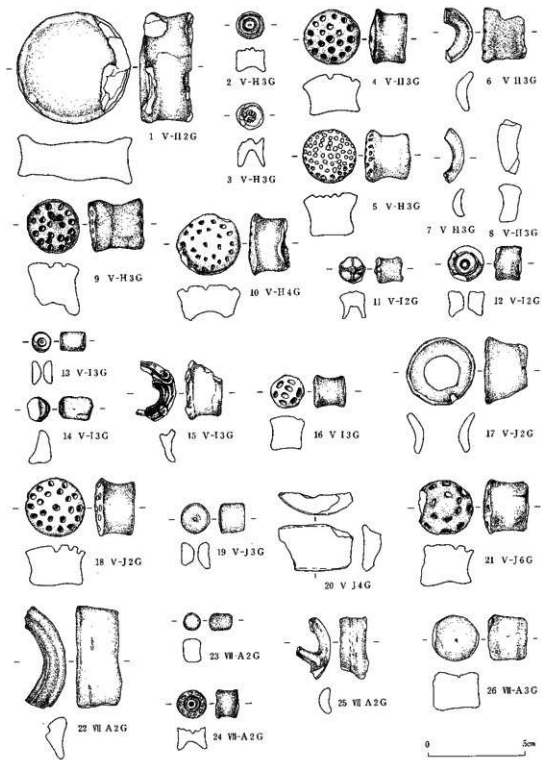
第230图 土偶夹綑图(B)



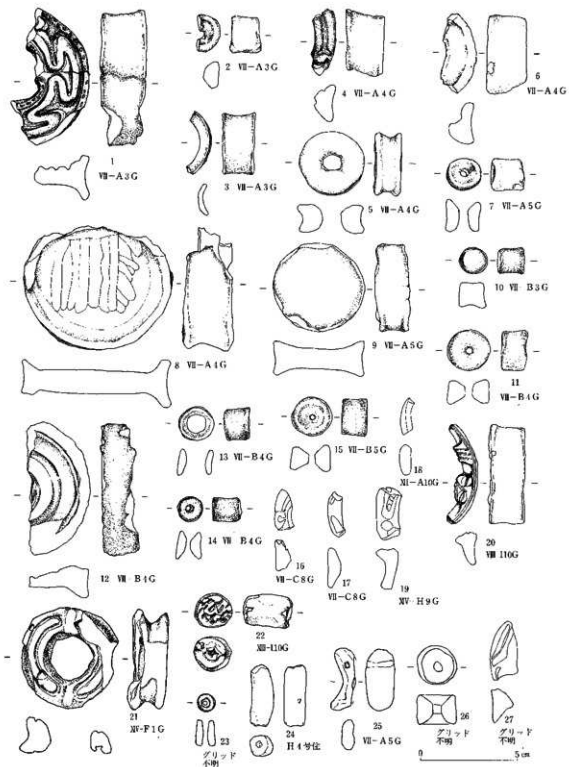
第231图 十、铜・土製品実測图



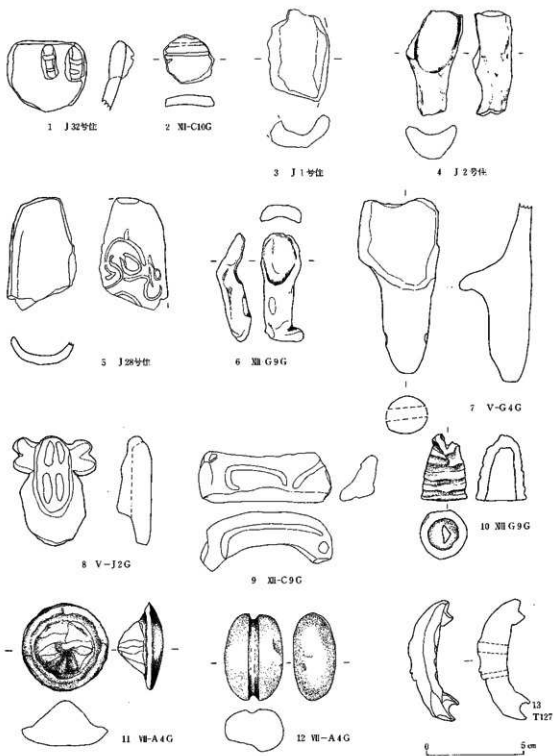
第232图 土製耳飾実測図 (A)



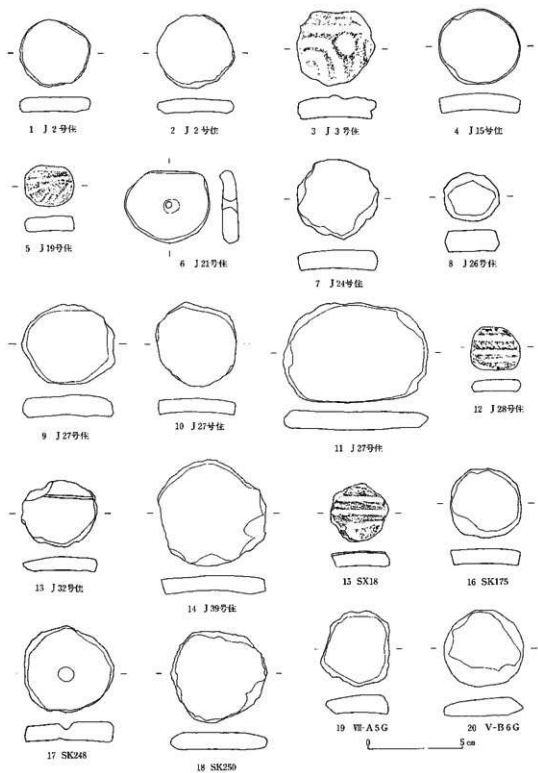
第233图 土製耳飾类测图(B)



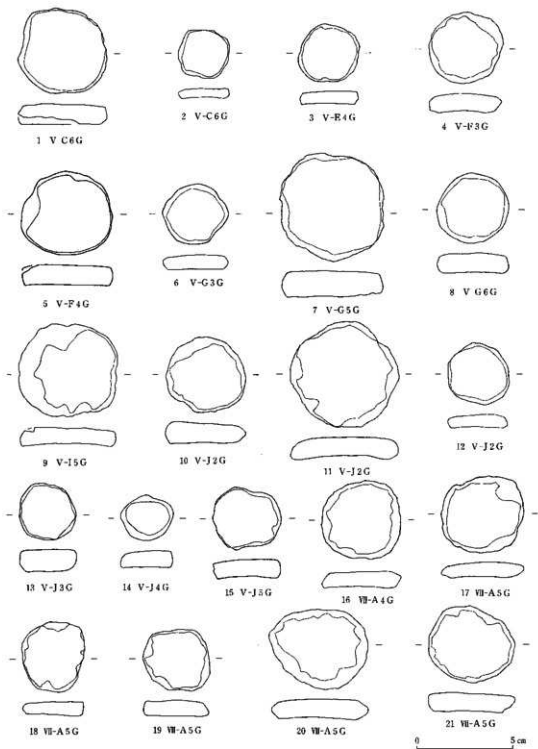
第234図 土製耳飾・土製品実測図



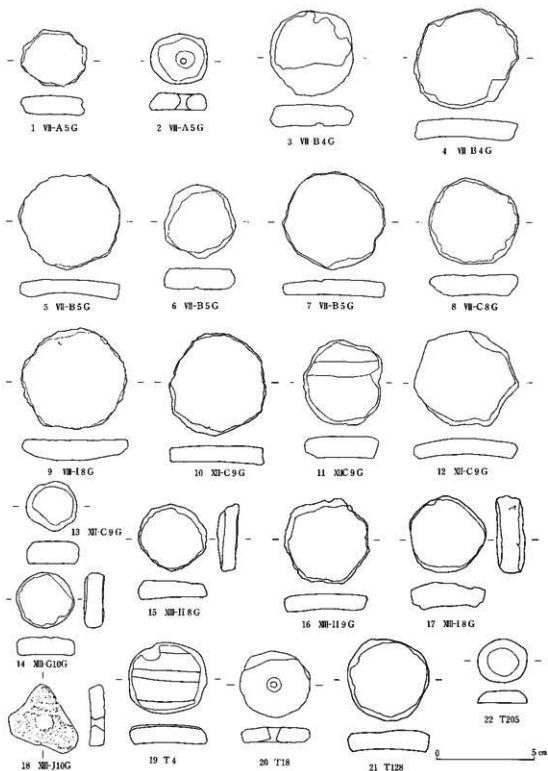
第235图 土製品実測図



第236图 土製門板実測図 (A)

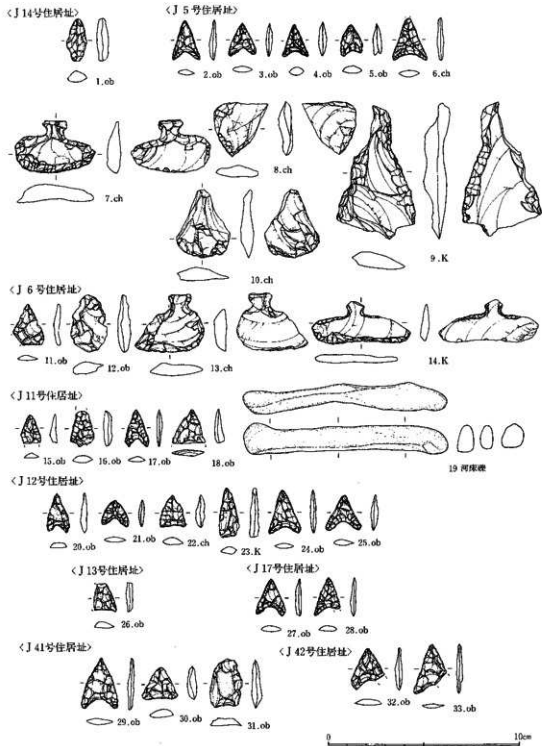


第237図 土製円板実測図 (B)



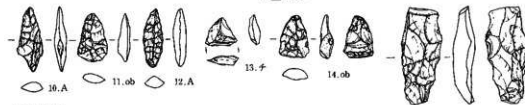
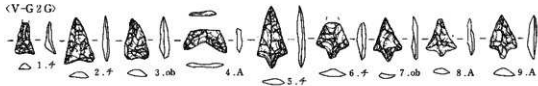
第238图 土製円板夾測図 (C)

縄文時代前期の遺構出土の石器

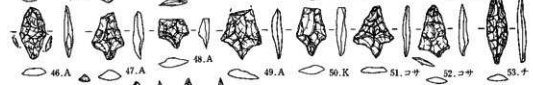
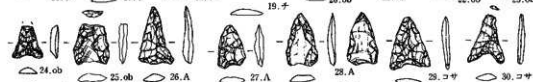
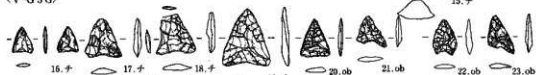


第239図 石器実測図 (A)

(V-G2G)

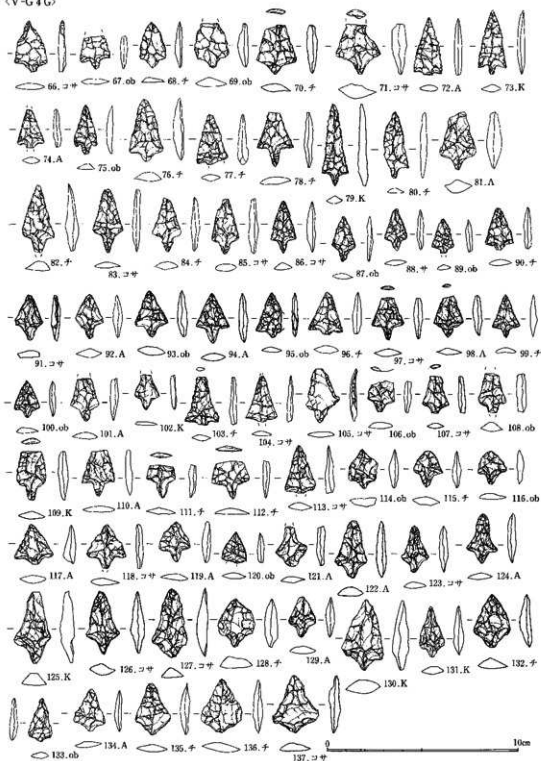


(V-G3G)

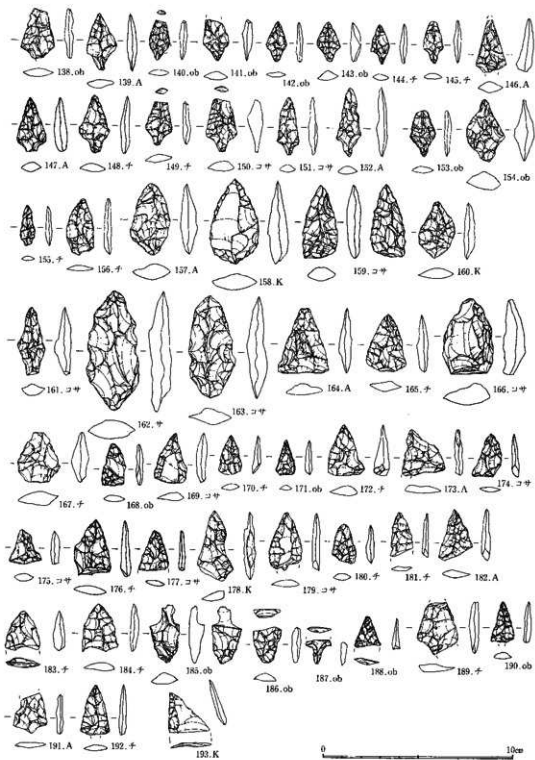


第240圖 石器実測圖 (B)

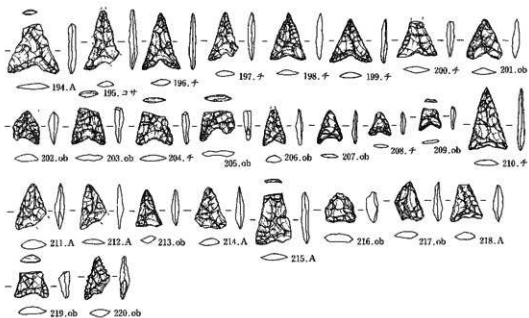
(V-G4G)



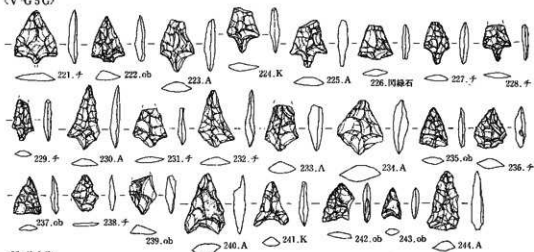
第241図 石器実測図 (C)



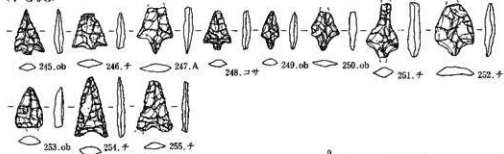
第242図 石器実測図 (D)



<V-G 5 G>

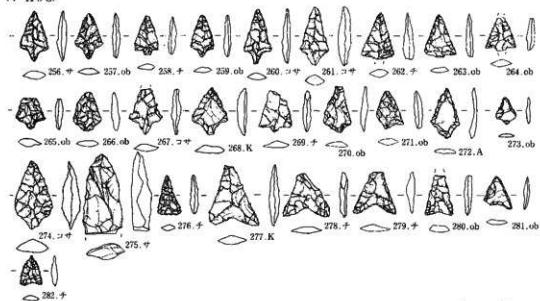


<V-G 6 G>

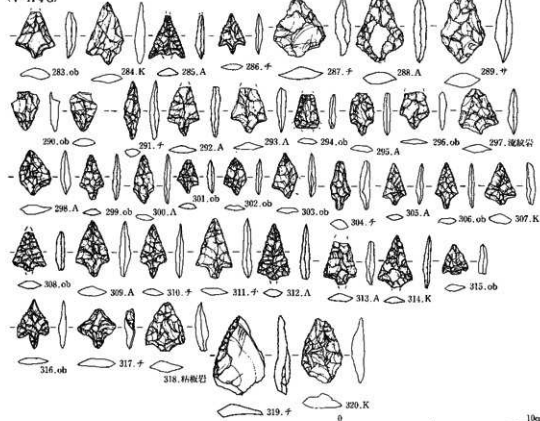


第243図 石器実測図 (E)

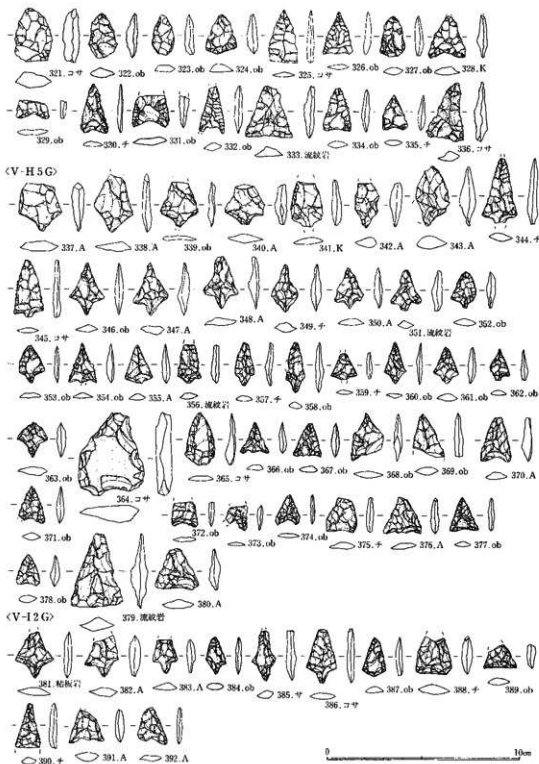
〈V-H 3 G〉



〈V-H 4 G〉

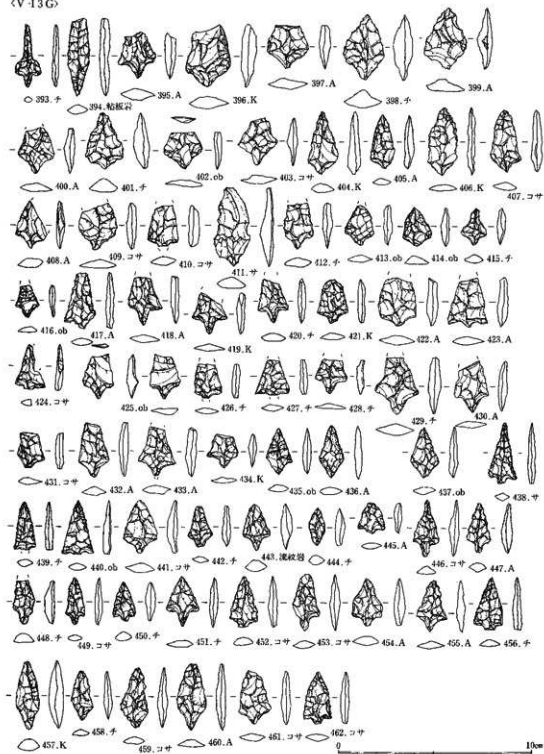


第244図 石器実測図(F)

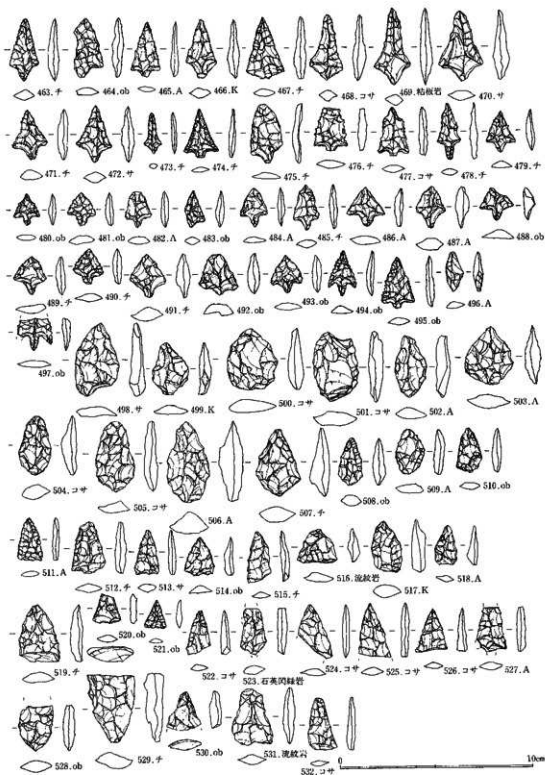


第245图 石器実測图 (G)

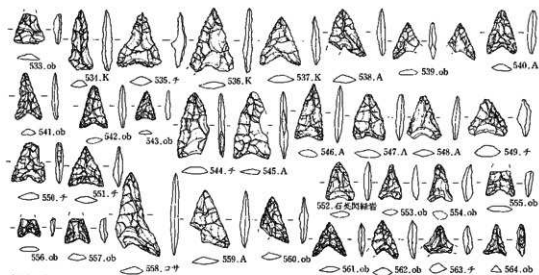
〈V-13G〉



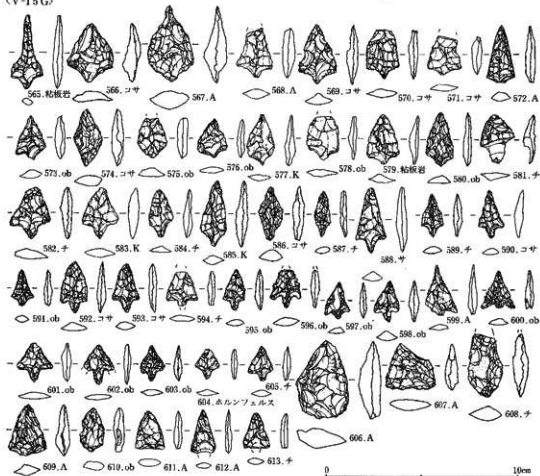
第246図 石器実測図 (H)



第247圖 石器実測圖(1)

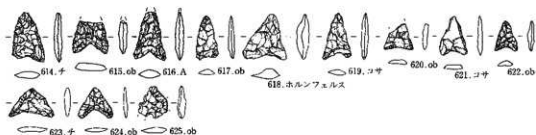


(V-15G)

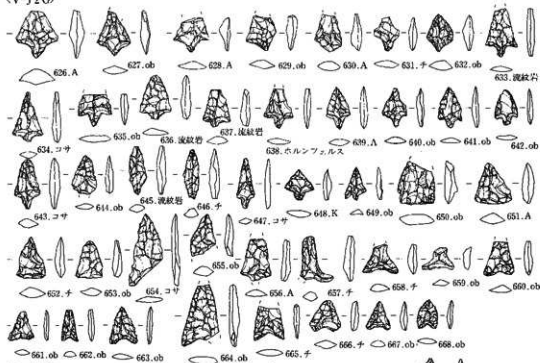


0 10cm

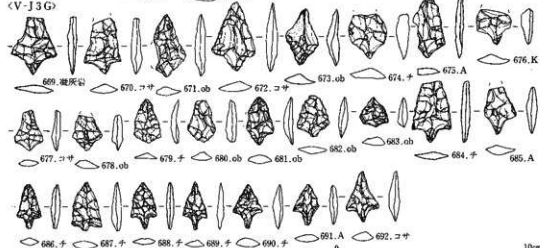
第248図 石器実測図 (J)



<V-J2G>

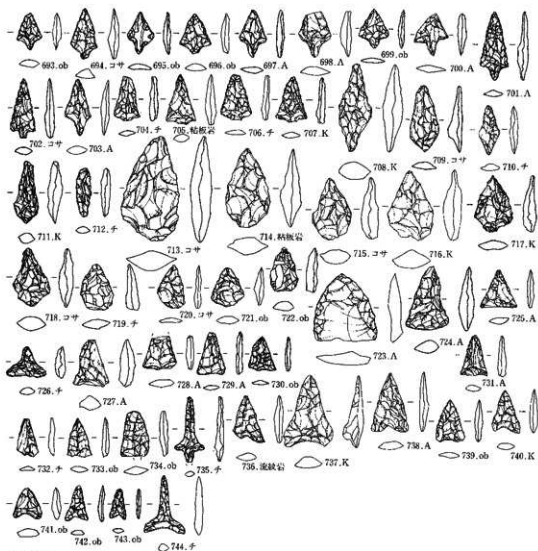


<V-J3G>

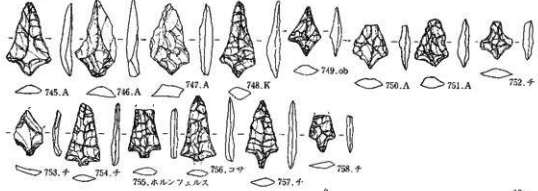


10cm

第249図 石器実測図 (K)

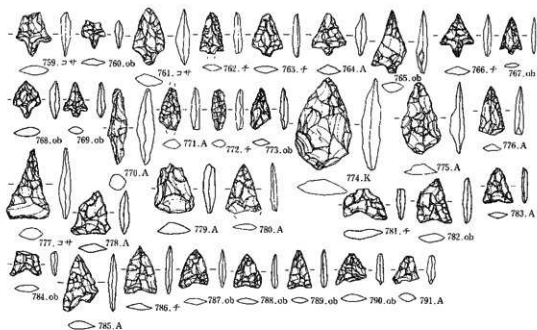


<V-J5G>

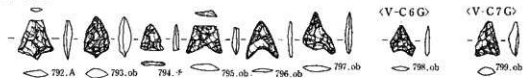


0 10cm

第250図 石器実測図 (L)



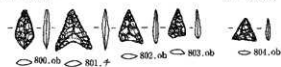
<V-C3G>



<V-C6G>

<V-C7G>

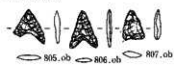
<V-D5G>



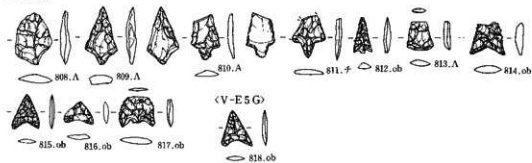
<V-D6G>

804 (ob)

<V-D7G>



<V-E4G>



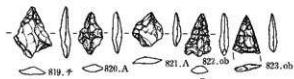
<V-E5G>

818 (ob)

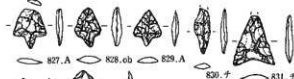
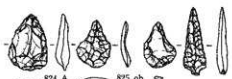


第251図 石器実測図 (M)

<V-F3G>



<V-F4G>



<V-F5G>



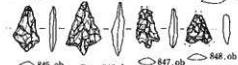
<V-F5G'>



<V-F6G>



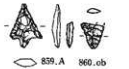
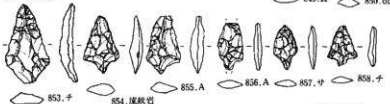
<V-H1G>



<V-H2G>



<V-H6G>



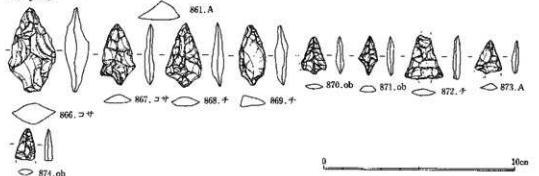
<V-I4G>



<V-I6G>



<V-J1G>



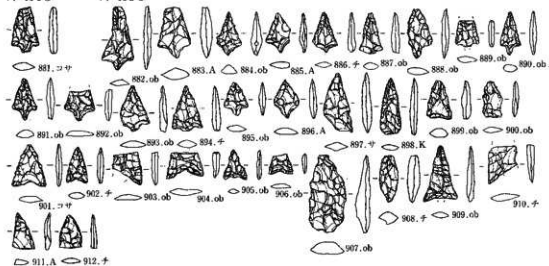
0 10cm

<V-J 6G>

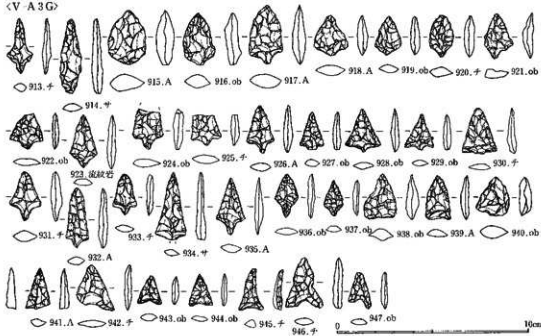


<V-A 1G>

<V-A 2G>

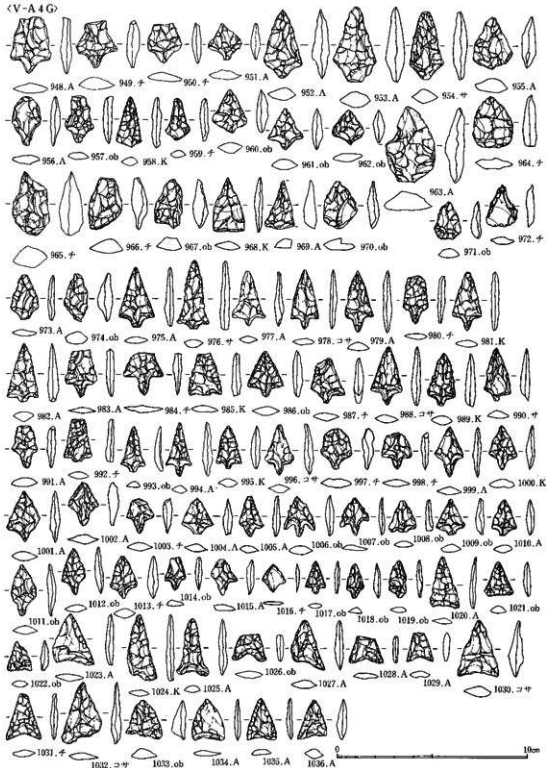


<V-A 3G>



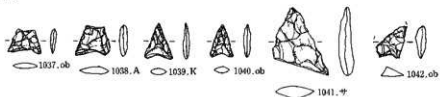
第253圖 石器実測図 (O)

(V-A4G)



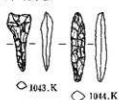
第254图 石器实例图(P)

Ⅶ-A 4 G

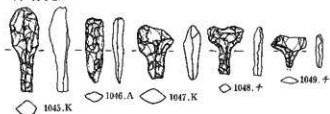


石鏃

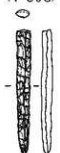
<V-A 3 G>



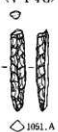
<V-A 4 G>



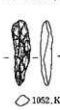
<V-C 3 G>



<V-F 4 G>



<V-F 5 G下>



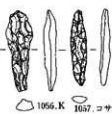
<V-G 2 G>



<V-G 3 G>



<V-G 4 G>



<V-G 5 G>



<V-G 6 G>



<V-H 3 G>



<V-H 4 G>



<V-H 4 G>



<V-H 4 G>



<V-H 4 G>



<V-H 4 G>



<V-H 4 G>



<V-H 5 G>



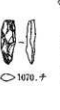
<V-12 G>



<V-12 G>



<V-12 G>



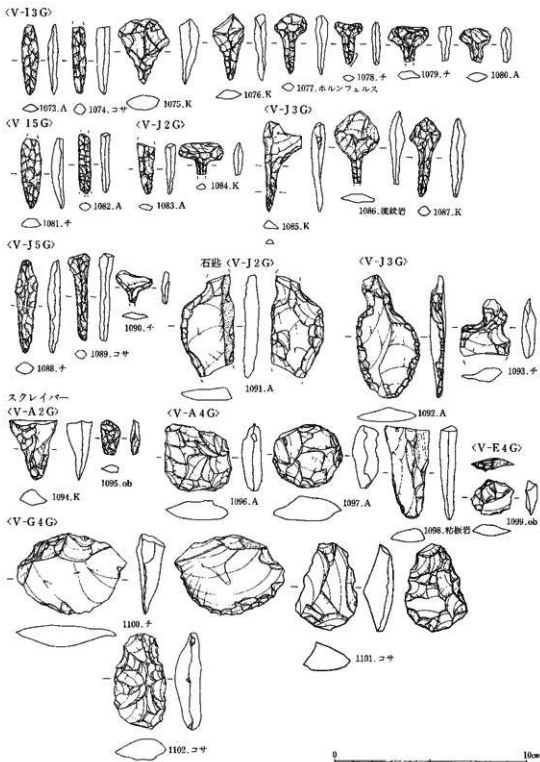
<V-12 G>



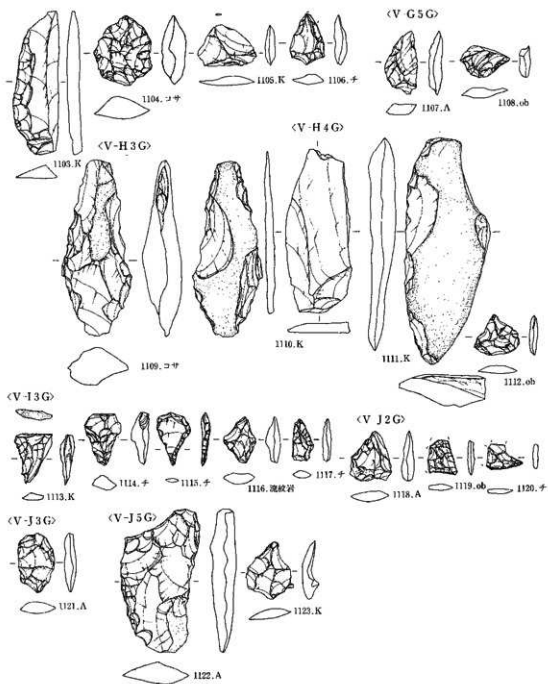
<V-12 G>



第255图 石器实测图(Q)



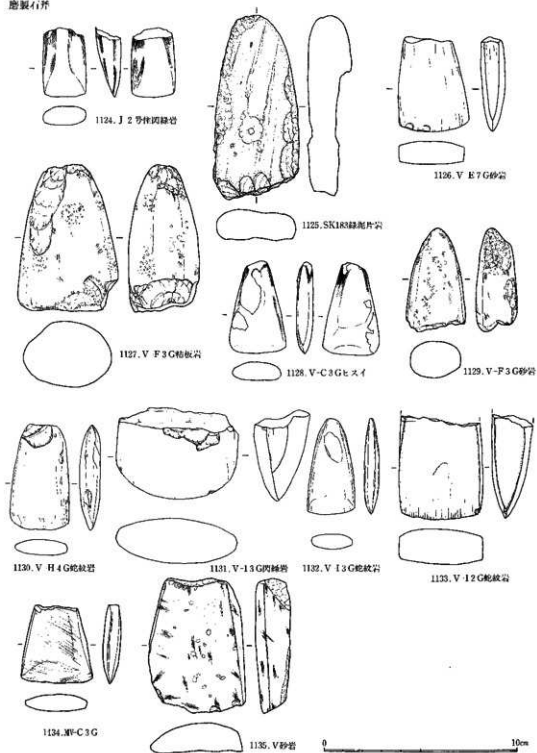
第256図 石器実測図 (R)



0 10cm

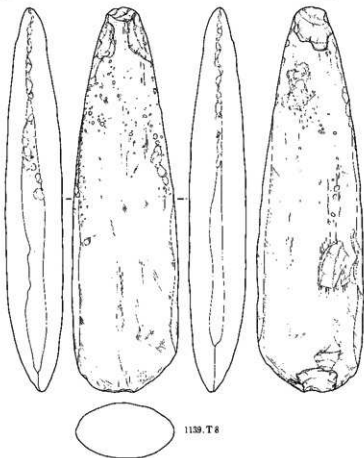
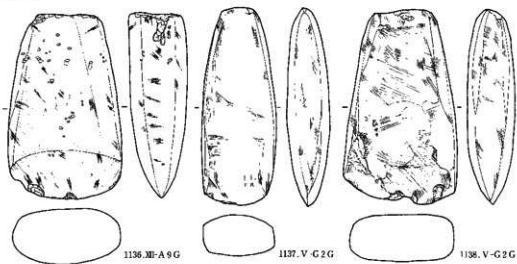
第257图 石器実測図(S)

磨製石斧



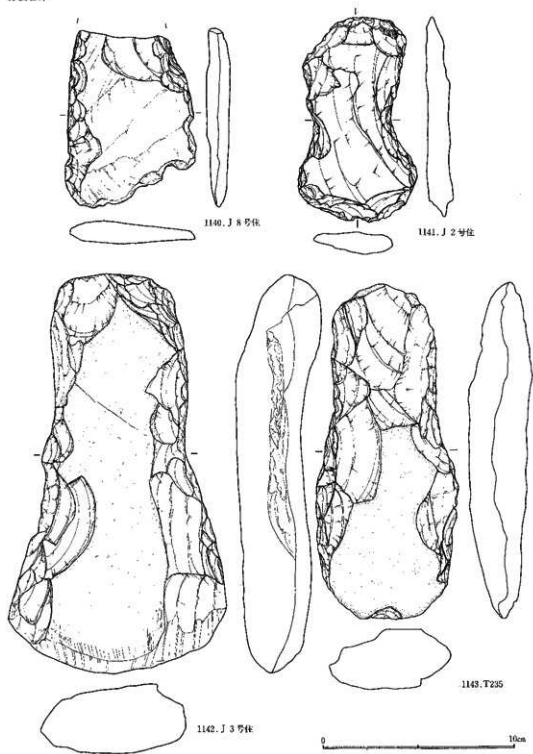
第258図 石器実測図 (T)

磨製石斧



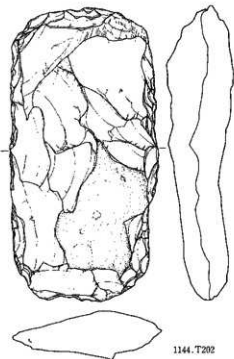
第259图 石器实测图 (U)

打製石斧

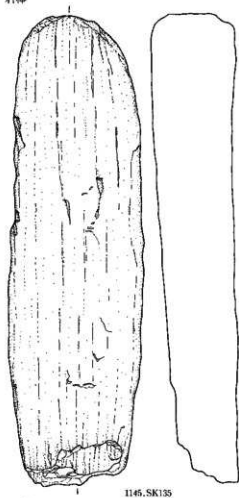


第260图 石器实测图 (V)

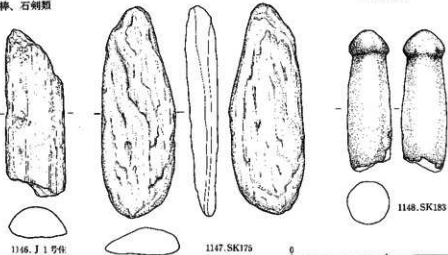
打製石斧



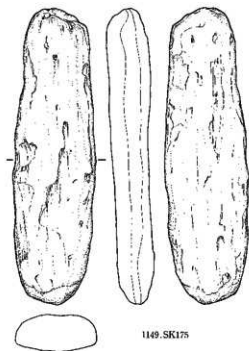
石棒



石棒、石刺類

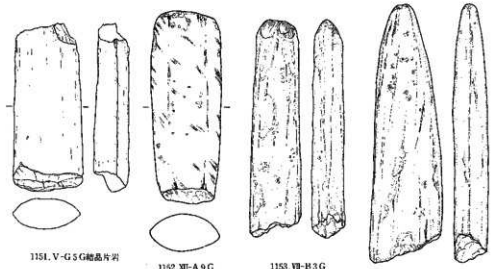


第261圖 石器尖測図 (W)



1149.SK175

1150. V-B 2 G



1151. V-G 5 G 結晶片岩

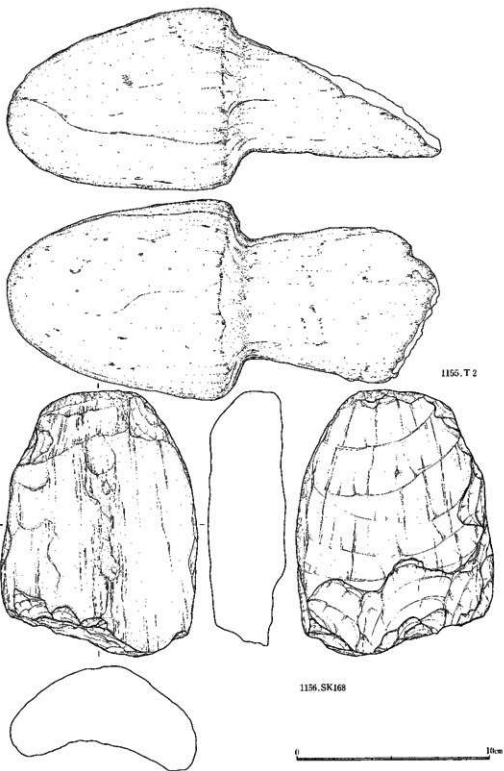
1152. XF-A 9 G

1153. VB-B 3 G

1154. T202

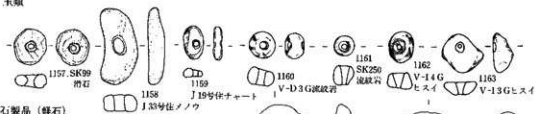


第262图 石器夹图(X)

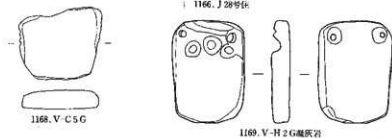
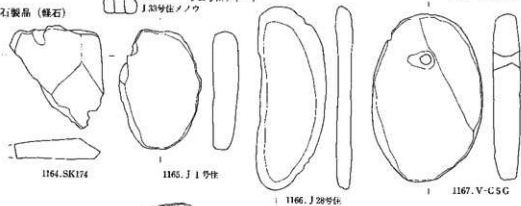


第263图 石器夹测图 (Y)

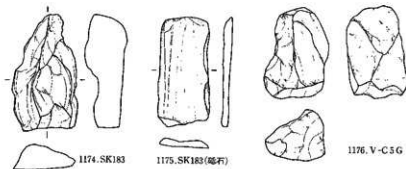
木類



石製品 (礫石)

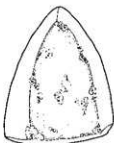
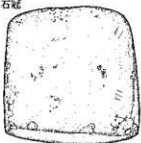


ヒスイ原石



第264図 石器実測図 (Z)

石砧



粗石製石製品

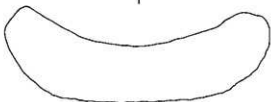
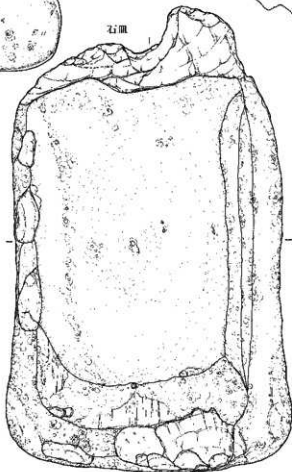


1177.V-E7G



1178.V E7G

石皿

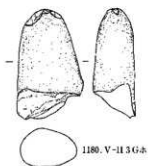


1179.SK148

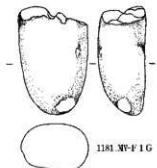
第265圖 石器実測圖 (A')



ハンマー

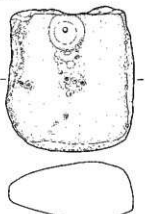


1180. V-II 3 Gホ



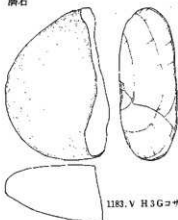
1181. MF-F 1 G

凹石



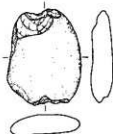
1182. V-G 2 G

磨石



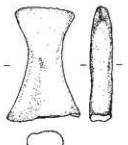
1183. V H 3 Gコサ

礫石錘



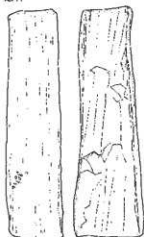
1184. J 19号依

砥石

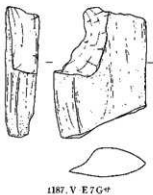


1185. J 1号位
牛伏砂岩

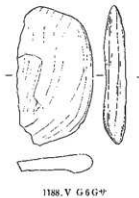
砥石



1186. V-13 Gサ



1187. V E 7 Gサ



1188. V G 6 Gサ



第266図 石器実測図 (B')

葉石狀遺構・石棺墓覆土内出土石器

<SX01>



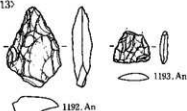
1189.ob

<SX06>



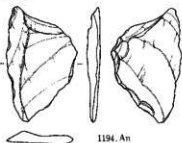
1190.ch 1191.An

<SX13>

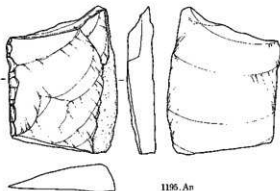


1193.An

1192.An

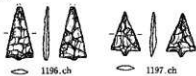


1194.An



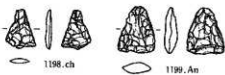
1195.An

<SX14>



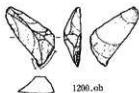
1196.ch

1197.ch

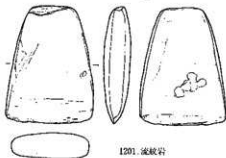


1198.ch

1199.An



1200.ob



1201.波紋岩

<SX15>



1202.ch

1203.ch

<SX17>



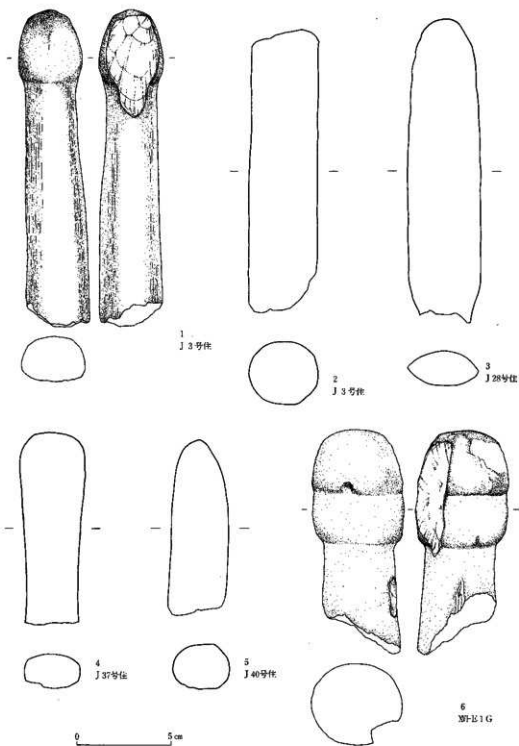
1204.ch

<SX19>

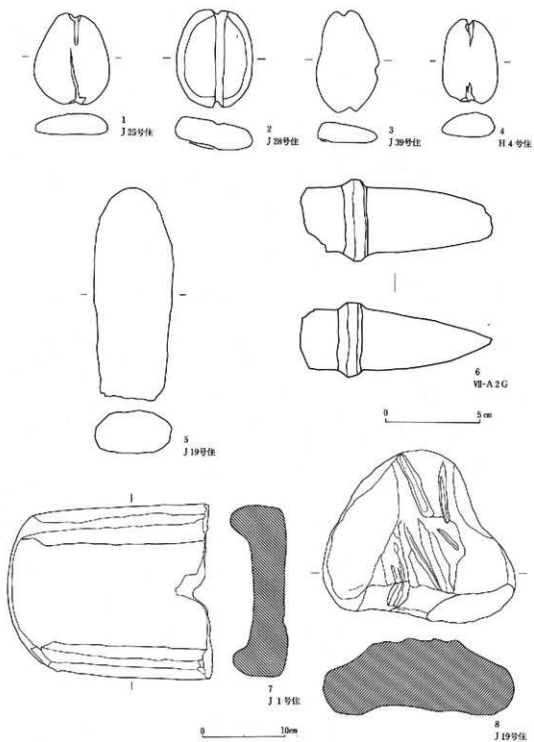


1205.ch

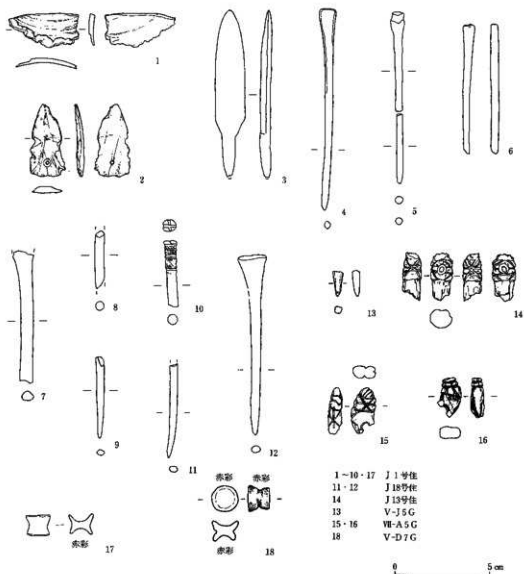




第268图 石器实测图 (D')



第269图 石器实测图 (E)



- 1~10・17 J 1号住
- 11・12 J 18号住
- 14 J 19号住
- 13 V-J 5 G
- 15・16 VII-A 5 G
- 18 V-D 7 G

第270図 骨角器・ミニチュア土器実測図



第271図 銭貨拓影図

V 総 括

1 土器群の様相

本遺跡の縄文土器は早期末から晩期中葉まで断続し、特に後期が充実している。広域にわたる土器が見られ、細分すれば30数型式に上るが、前期前半と後期後半～晩期前半では数型式が同一住居址で混在する場合が多い。このような出土状況と数量の不均一を勘案し、さらに長野県の後・晩期土器編年に検討の余地があることから、次のように分類して記述の便宜を図る。

- | | |
|-----------|---|
| 第Ⅰ群 早期の土器 | 第Ⅰ類 条痕文系土器 |
| 第Ⅱ群 前期の土器 | 第Ⅰ類 前半の土器群 <ul style="list-style-type: none">a：花積下層式、塚田・中道式、木鳥式b：関山式、神ノ木式c：黒浜式、有尾式、清水ノ上Ⅱ式 |
| | 第Ⅱ類 後半の土器群 <ul style="list-style-type: none">a：諸磯b式、北白川下層Ⅱ式b：諸磯c式c：晴ヶ峯式 |
| 第Ⅲ群 中期の土器 | 第Ⅰ類 初頭の土器 五領ヶ台式 |
| | 第Ⅱ類 木葉の土器 加曾利EⅢ・Ⅳ式 |
| 第Ⅳ群 後期の土器 | 第Ⅰ類 称名寺式、三十稻場式 |
| | 第Ⅱ類 堀之内Ⅰ式 |
| | 第Ⅲ類 堀之内Ⅱ式 |
| | 第Ⅳ類 加曾利BⅠ式 |
| | 第Ⅴ類 加曾利BⅡ式、酒見式など |
| | 第Ⅵ類 後葉の土器 加曾利BⅢ式、高井東式など |
| | 第Ⅶ類 木葉の土器 安行Ⅰ・Ⅱ式、新地式、八口市新保式など |
| 第Ⅴ群 晩期の土器 | 第Ⅰ類 前葉の土器 安行Ⅲa式、佐野Ⅰa式、大洞BC式、御経塚式など |
| | 第Ⅱ類 中葉の土器 佐野Ⅰb・Ⅱ式、大洞C ₁ 式、中塚式など |

記述は上記の類の時期に従って、比較的まとまりのある住居址出土土器を優先して説明し、補足的に集石・土坑やグリッド出土土器にふれる。少数例はこの限りではない。なお、第Ⅳ・Ⅴ群

に属する地系土器の一部は呼称が未確定であり、百瀬長秀氏の段階区分（百瀬長秀1984「羽状の沈線文をもつ土器の系統と展開」『長野県考古学会誌』48）に従う。

第Ⅰ群 早期の土器

該当する遺構はないが、J 5号住の第173図28は外面に擦痕、内面に貝殻らしい縦の条痕文、32は内面に絡糸体による粗い横の条痕文を施す。第177図のJ 13号住4は外面に末端結節処理された細かい縄文、内面に軽い条痕文が見られる。早期末葉の条痕文系土器と思われるが、前期初頭に下るかもしれない。

第Ⅱ群 前期の土器

第1類 J 4・6・9・11・14・16号住が該当し、量の多少はあってもa・b・cが混在する。第177図J 14号住は遺物が少量ながらaのみである。3はたが状の隆帯がめぐり無節縄文を施す花積下層式、4は異原体を重複させて羽状縄文を描き、その他は節が細かく条の細い斜縄文で、前期初頭段階と思われる。その他、第174図J 5号住17は尖底、第174図J 6号住2は口縁部の段をはさんだ羽状縄文、14は撫糸側面圧痕文、第175図J 9号住1は渦巻文、3は段の上下に横位の撫糸側面圧痕文、第176図J 11号住1は2本そろえの撫糸文で、いずれも花積下層式である。J 11号住4は逆丁字状の隆帯をもつ塚田式、SK51の第203図3は尖底部に羽状縄文を施す中道式である。第175図J 9号住2・8・9は木島Ⅷ式ころの土器で、胎土に雲母・石英が目立ち、指頭痕を残して格子状に細沈線を施す。

関山式主体のbはJ 5号住が代表的である。口縁部の第173図12～14には貼付文が見られ、櫛歯状工具で鋸歯状文を描く12は珍しい。14と胴上部のふくらむ第174図9には半截竹管文、同5・14には半回転、同4・10には縦長のコンパス文を施す。縄文には付加条（第173図9・11・25、第174図3）、正反の合（第173図10・26）、多段を含むループ文（第173図13・19・20・31、第174図4）、組紐（第174図5）、結節（第173図15、第174図6）が見られるほか、単節・無節原体による斜縄文・羽状縄文があり、0段多条が比較的多い。第173図6は無文である。これらは関山Ⅱ式の古い段階にまとまる。神ノ木式は胎土にほとんど繊維を含まず、櫛歯状工具を多用し、小波状口縁に沿う押し引き（第173図2）、隆帯上の刺突（第173図5・21）、鋸歯状文（第174図12）があり、第173図5の地文には組紐を用いる。無繊維で、刻みのある隆帯と付加条縄文を施す第174図1・7・8は型式がはっきりしない。J 4号住も第172図2・9を除けば関山式段階で、神ノ木式の3には束の縄文が用いられる。第175図J 9号住5は格子巻きの付加条縄文で関山Ⅱ式である。

黒浜式・有尾式のcにはJ 6・9・11号住がある。J 6号住の第152図1は櫛歯状工具による列点状刺突文の区画内に火柄な鋸歯状文を描き、胴部は斜縄文である。同図2は菱形構成の羽状縄文である。第174図J 6号住3・5・13・15にも列点状刺突文が見られ、胴部は足の長い斜縄文や菱形羽状縄文である。グリッド出土の第222図6はJ 6号住に伴い、連続爪形文で大型の菱形文を

描く。第153図J 9号住2・3は明瞭な菱形を構成しない羽状縄文を施される。第154図J 11号住1と第176図の同2は、胴上半に構面状工具で斜位に条線文を施す黒浜式である。第154図J 11号住3は足の長いループ文を施される。第177図J 16号住1は半截竹管で口縁部に菱形文を描く有尾系土器である。J 5号住の第173図18は口縁部に欠羽状の沈線文を施し、清水ノ上II式であろう。

第2類 aの諸磯b式を出土する住居址が2あるいは3軒ある。第152図J 7号住2は割部が一皿ふくらみ、口縁部が大きく外反する深鉢である。半截竹管で横位施文し、屈曲部で文様帯を分けて胴下部には羽状文を描く。第175図J 7号住1・5・7・8は横位、9・11は縦あるいは斜位の竹管文に縄文地文がある。6は竹管文のみ、その他は固く揃った細かい縄文である。これらは諸磯b式の新しい段階に属す。第167図J 41号住1も同時期で、筒形の深鉢に横位の竹管文が間隔をあけて施される。第189図J 41号住1～3は縄文のみである。4は胴下部で、刻みや刺突を施す浮線に羽状縄文を伴う北白川下層IIc式である。第167図J 42号住1は有孔浅鉢の底部、2は深鉢の底部で縄文の条が縦走する。J 41号住と同じ例は第207図12～14・20、これらに先行する浮線文をもつ例には第196図SX15の11、第226図23・24、第227図7などがある。

bの諸磯c式は、第172図J 3号住4・5、第210図10・29などである。cの暗ヶ塚式は、第226図11・15である。

第III群 中期の土器

第1類は第210図35が五領ヶ台式と思われる唯一の例である。

第2類では加曾利EⅢ式には第191図SX11の2、第207図21、第225図27がある。加曾利EⅣ式には唯一の遺構、第200図2の埋壘1がある。直線的な器形の深鉢の口縁部を無文帯として、微隆起帯で横・縦に区画し、1単位ごとに縄文を充填する。このほかに第156図J 21号住1の把手、第180図同1、第179図14、第184図J 29号住4、第188図J 39号住3があり、埋壘1と同類型が多い。

第IV群 後期の土器

第1類 J 44号住は称名寺式後半から終末の唯一の遺構で、磨消縄文の深鉢（第189図J 44号住3・7～10）、圧痕隆帯のみの粗製深鉢（1）、肩に縄文帯をもつ把手付き浅鉢（2）、後出的な隆帯装飾の深鉢（4～6）からなる。平安時代のH 9号住（第187図H 9号住1・2、第188図同2・3）もこれに近い。第196図SX14の2、第213図18、第216図17は称名寺式中頃で、17は垂下隆帯が付く筒状把手である。第178図J 18号住13は開沢類型、第188図J 37号住2、第194図SX10の1、第196図SX14の2、第197図SX17の1、第220図4・9は堀之内1式初頭までの把手などである。特殊な刺突文を特徴とする三十稻場式には、第181図J 22号住15、第195図SX11の4、第226図14などがある。

第2類 堀之内1式主体の住居址はJ33号住が好例で、時期決定しがたい無文土器と第160図2の晩期前葉の器6、第161図2・3の堀之内2式以外は1式中頃にまとまる。第162図2は全面縄文の粗製深鉢で、口縁部文様帯を欠くため2式に下る可能性もあるが、例は多くない。その他は頸部無文の鉢で、胴部文様は横位区画線のない第160図3が懸垂文、それ以外は渦巻文構成らしい。第160図7は無文部で意匠を描き、第162図1は地文を施さない。J46号住炉内埋設の第168図1の鉢、第200図1の埋壘2も同時期である。J3号住からも鉢3個が出土した。炉内埋設の第151図3と第152図1は懸垂文構成で、堀之内1式の新しい段階であろう。ほかに第151図1の無文の小形注口土器がある。第192図SX14の1は4単位の把手付浅鉢で、肩部とその直下に渦巻文と楕円文の対称形の文様を描く。SX15も新しい段階にまとまり（第192図1・2、第196図SX15の1～20、第197図SX15の1～22）、第197図13の三十船場式はこの時期かもしれない。太い沈線と縦位の意匠を描く第218図1は南関東に多い。微隆起帯が把手に連なる蓋（第220図3）は第1類か本類の時期であろう。

第3類 堀之内2式に属す住居址には、J21・25・26・39・40号住がある。J25号住（第157図J25号住1～5）には口縁部文様帯をもつ刻み隆帯付きの鉢（1）、米字状の磨消縄文を描く胴下部に稜をもつ鉢（3）、やや乱れた沈線文を描く深鉢（5）があり、3・5は刻み隆帯がない。これらは2式ではやや古い。J26号住（第158図J26号住1～8、第159図同1）には縦区画文や帯縄文を描く朝顔形深鉢（2～4）、磨消縄文がめぐる広口壺（1）、頸部無文の鉢が深鉢化したような土器（8）、加曾利B1式で盛行する結紐状意匠を描く深鉢（第159図1）がある。第161図J33号住3、第165図J39号住1は三角形、第156図J21号住2は二重三角形を描く朝顔形深鉢で、拓木図にも例が多い。J40号住（第165図J40号住1～5、第166図1～7、第167図1～5）では、朝顔形深鉢に弧状文や杵状文（第165図5、第166図3）もあり、無文が目立つ。ほかに胴部がゆるくくびれる深鉢（第165図3、第166図4、第167図2）、おそらく口縁部が拡大して胴部が委縮した鉢（第166図6）、三角形・菱形文を重ねる広口壺（165図2）、大きめな球形胴の注口土器（第166図5）がある。第188・189図を加味すれば、刻み隆帯が付く器種では、2条が多い。おそらくこれらはJ25号住より後出であろう。堀之内2式の新しい段階では、内面に沈線帯がめぐる突起のある浅鉢が石椁墓や七坑に伴う（第191図SX02の1、SX07の1・2、第205図4）ほか、無文の大形深鉢を用いた埋壘（第201図1、第202図1）も見られる。

第4類 加曾利B1式に属す住居址はJ19・22・23・30・31号住がある。第156図J23号住1は底部が張り出す平縁の朝顔形深鉢で、口縁部に小突起がある。内面に突帯と沈線帯がめぐり、外面は狭い縄文帯を段状に区切る、古段階の例である。第181図J23号住1は外面縄文帯の鉢、2・3は内面文の浅鉢である。第156図J22号住1はJ23号住例と同じく、第180図J22号住1は波状口縁で内外面に文様をもつ深鉢、7は連鎖沈線と細沈線帯がめぐるごく薄手の深鉢、第181図J22

号住3は有文の粗製深鉢である。J19号住では、第178図J19号住1の沈線帯間に細密条線で結紐状意匠を描く8字形突起付きの鉢、同図2や第179図1の連鎖沈線帯がめぐる鉢、同図20の円文を描く鉢などが本類に含まれる。第220図8の胴部がくびれる3単位突起付深鉢はこの仲間で、沈線帯と連鎖沈線の意匠をこらしている。この種の深鉢は長野県に多く、その器形は西日本に連なる。第218図3は3単位把手付深鉢の縄文帯が沈線帯に置き換っている。石棺蓋出土品(第191図SX15の1、第192図SX19の1、Ⅱ-G8Gの1・2)には、縄文帯を蛇行沈線帯で区切り、「の」の字文を加える鉢や、内面に縄文帯・沈線帯や稜をもつ突起付きの浅鉢がある。

第5類 加曾利B2式期の土器は遺構内外から少なからず出土しているが、住居址はJ1号住が良好である。把手付深鉢(第149図4・5)の把手は左右が突出して中央が一段高まり、内面に2条の沈線がめぐる。把手の下に()状文を配して弧線文を縦に区切り、区画外を研磨して弧線間にケズリ痕を残す。第169図22・24は把手中間の貼付文と列点帯、第170図22・23は弧線文の部分で、第169図9は羽状沈線、第170図9は縄文である。平緑の深鉢(第169図6~8・10)は口唇部を縄文で縁どり、6~8は列点帯から下に羽状沈線、10は弧線文を施す。第170図1は口縁部を弧線文で縁どり、同図22などと同じ文様を施す。第170図16はこれらと似るが、列点帯に換る沈線下は縄文である。口縁部が開く深鉢(第149図10、第150図2、第169図13・16~20・26、第170図20)は、口縁部あるいは胴部(第170図20、おそらく第169図26)にもっぱら斜行沈線や羽状沈線を施す。平緑では、口唇部に刻み(第169図13・17・19・26)や内面の沈線1条(同図13・17~19・26)などの加飾があるものと、そうでないもの(同図16・18・20)がある。波状口縁では第169図11、第170図7は口唇部内面が突出し、同図21・28、第149図10には沈線がめぐる。丸みのある波状4山の10は口縁部にケズリ痕を残す弧線文を描き、列点帯以下にわずかに斜行沈線がうかがえる。波頂部が尖る第170図7も狭い平行沈線間にケズリ痕が残る。

鉢にはそろばん玉状の器形(第149図11、第170図21)で口縁部が「く」の字状に外反し、肩部に弧線文がめぐるものと、内湾ぎみの口縁部に弧線文を配す(第149図7?、第169図5)二者があり、いずれも胴部に羽状沈線を施す。碗(第169図1・3・4・23・25、第170図2)は後者と似ているが、棒状の区画もある(4)。23は体部の横位沈線文に弧線を加える。第169図12・27は横位の磨消縄文を施す胴部の丸い鉢と思われ、27には大柄な貼付文と列点帯がある。第170図25・26は同一個体で、胴部に斜行沈線を密に施す鉢であろう。同図19は広口壺の胴部らしく、縄文地に赤彩が残る。第149図3と第171図5は同一個体で、口縁部と同じ2列の刻み帯で文様も描く。第169図14はこれに近い類である。第170図30は第149図10のような器形らしく、格子目の磨消縄文を施す。第150図4は縄文帯がめぐる脚部である。注口土器は4個体見られる。同一個体の第149図8・9は縄文部を除いて赤彩される。第170図5は体上部が刻み帯と瘤で飾られ、宝ヶ峯式などの東北系土器である。第169図15は第177図J15号住31と接合し、扁平な体部上半に鍵の手法などを描く。第171図6は同じ器形の屈曲部で、巻貝の擬似縄文を施す。ともに酒見式あるいは一乗寺K式である。第170図4は3または4窓の香炉形の吊手土器である。

粗製深鉢は紐線文で加飾され(第170図10~15・17)、口縁部のやや下をめぐるもの(10・15・17)や端部をめぐる幅広いもの(11~14)などがある。胴部は条線文と無文がある。同図18は複節縄文が施される。第150図1は内湾口縁の無文深鉢で、ヘラケズリ痕が顕著である。第149図1・2はヘラ磨きされた無文の皿である。これらは加曾利B2式新段階のほぼ単純な一括資料と見られる。

土坑出土の第204図1・3・4、第213図22のランプ形の吊手土器はおおむね同時期である。第203図1、第204図5、第205図9、第155図J19号住1などは、加曾利B2式でも本址より古い。

第6類 加曾利B3式から高井東式と並行する時期を当て、住居址はJ2・10号住が該当する。

J2号住の深鉢第151図7は、縄文で縁どりした狭い口縁部文様帯に半円形の瘤を貼り付けて沈線端部を区切り、胴部に太目の羽状沈線を施す。この仲間の口縁部文様は、同図8が2条の凹線、第171図では2が沈線2条、5は口縁部を列点で縁どり、13は楕円文、22は凹線3条であり、胴部文様は間隔の開いた羽状沈線、種妻状沈線、無文などである。これらはおおむね百瀬編年第3・4段階に対比される。第171図4・12・14・15・17・18などはJ1号住に共通、3・8・9は後出であろう。第150図2・3は第151図2のような波状口縁鉢に付く発達した把手である。第151図5は長めの口が付く注口土器で、短い弧線文を配する。同図10は刻みのある瘤を基点に「コ」の字状の入組帯縄文を描く注口土器で、新地1式あたりに比定されるであろう。同図6は異形台付土器である。

J10号住は、第154図J10号住5を除けばJ1号住より後出である。第175図J10号住3~5はJ2号住にもある。第175図J10号住8や、第176図J10号住5は加曾利B3式、口縁部に縄文のみを施す第175図10、第176図1・6は同式でも後出である。第154図J10号住4は高い把手が付く波状口縁深鉢で、沈線帯を縄文で縁どる。同図3は口縁部に瘤と沈線2条をめくらせる鉢で、4とともに高井東式の段階であろう。ほかに列点がめぐる第176図J10号住4、沈線2条を施す粗いケズリやナデ調整の同図7~9がある。J2・10号住では多少内容が異なるが、本類は高井東式に主体があるらしい。

第7類 安行1・2式と並行する時期で、住居址はJ32・34号住が該当する。J34号住は口縁部の狭い文様帯のみで胴部が無文らしい深鉢にバラエティーが多い(第164図J34号住3・4・6、第186図J34号住2~5・7・9・13~15、第187図J34号住1・2・6・7・9・10)。第164図3は高い波状口縁に凹線が沿い、波底部に突起が付く。同図4は低い波状口縁で隆帯1条が水平にめぐり、波底部に突起がある。沈線あるいは凹線がめぐるものでは、第186図2には弧状貼付文、4はボタン状貼付文と切り込み2列、第187図1は刻み、9は口縁部肥厚、波頂部の10には重複凹線などがある。隆帯がめぐるか突起が付くものでは、第186図3には舌状突起、5は縦長瘤2個、13は隆帯2条、15は口縁部肥厚、第187図6・7は波底部の突起などが見られる。ほかに押圧隆帯がめぐる第186図22、第187図5や、無文の第186図16~21、第187図3・4がある。胴部に沈線が施されるも

には、第186図10、横長列点が沿う11、波状口縁の第187図11、同図16・25がある。注口土器には、2個の瘤を基点に刻み帯が連結する第164図5、体上部に瘤が付く第187図22、注口部を微隆起帯で囲む23がある。鉢や甕らしいものには、沈線の交点に小さな瘤が付く第187図21、渦巻文の27がある。これらの小形器種は、27以外は新地式であろう。第186図1は異形台付土器、同図6と第187図8は安行1式の深鉢である。

J32号住は深鉢の種別構成がシンプルである。胴部無文の深鉢では、肥厚する波状口縁に突起を伴う1条の隆帯が沿う第185図4～8、第186図9・12が主体となり、沈線2条の186図8、押圧隆帯と凹線文の同図6とともにJ34号住と共通する。突起と刺突列がめぐる第185図11・13(同一個体)、第186図5、狭い沈線帯の下に細い刻み隆帯が沿う第185図10・15・16、小さな波頂部を刻む同図14はJ34号住には見られない。胴部に羽状沈線を施す第185図12、第186図1は第6類に多い。第185図3は同図14と同じ口縁部で、横位沈線を渦巻状に連結する。第160図5は沈線3条がめぐる浅鉢である。第185図1・2は狭い文様帯をもつ小形の浅鉢で、1は貼付文間に間延びした楕円文を描き、2は沈線帯に縄文を施す。2点とも八日市新保式に系譜が求められるであろう。有文深鉢の第186図14・16(同一)、15・17・18(接合)、10・22(同一)・4は、いずれも刻み帯や2個一対の縦長瘤があり、終末期の新地式かその模倣であろう。同図3は安行1式の深鉢、7は新地式か安行式の異形台付土器、第160図6は安行2式の異形台付土器である。本類の深鉢の大部分は、百瀬編年の第5・6段階に相当するものである。

第V群 晩期の土器

第1類 J24号住の深鉢は、後期末に見られた深鉢(第182図2・7)や低い押圧隆帯(同図8・15)の深鉢が少数のほか、ナデやケズリ調整の無文土器で、第157図1は輪積み痕が残る。同図4は刻み瘤のある台付鉢、第182図18は鉢の底部である。同図3は八日市新保式あたり、4・20は安行2式であろう。17は安行3d式と似る。J27号住は無文深鉢(第183図4・5は同一、9)、刻み突起のあるもの(同図3)、台付鉢(第159図4・5)と、入組文(第183図1・6)がある。J29号住は遺物が少なく後期と混じるが、第184図1はグリッド出土の第218図5と同じ。

第2類 この時期はJ28・37・15・38号住などが該当するが、土器は時間幅がある。J28号住は有文土器をもっとも多く出土し、簡略化された羊歯状文や雲形文を描く大洞系の鉢や浅鉢(第159図5、第183図1・2・6～10、第184図4～9・13・20・28・29・32)、壺(第159図7)がある。本址がすっぽり入るグリッドV-G4G出土の第217図13・15、第218図6～8も本址に伴うと考えてよからう。第183図5、第184図19・21は北陸系、同図16・17は佐野式の文様である。第159図8、第184図31は三叉文風の透かしのある器台、第184図1～3は異形台付土器などの小形器種である。同図30・31・33には赤彩が残る。粗製深鉢は口縁部に刻みや突起、押圧隆帯を施す無文土器で、第159図4、第184図10・22(接合)、11・12・18・24・25(接合)、27がある。ほかに撫米文

(同図14・26)が見られる。J37号住は後期の土器が少数図示されているが(第188図J37号住1~4)、本址とJ29号住がかかるグリッドV-J・I3Gからは、多数の晩期中葉土器が出土している(第219図2~4・6、第224図7~21・28)。一部の後期末から第1類の土器を除けばJ28号住とほぼ同じ内容である。これらは雲形文主体で典型的な羊歯状文を交えないため、大洞C₁式並行期と考えられる。羊歯状文段階の佐野式に確実に伴う、平行沈線がめぐる粗製深鉢が見当たらないことも、時期差あるいは地域差として注意される。

J15号住は口縁部が屈曲する無文深鉢(第153図J15号住1)を炉に埋設し、口唇部を刻む深鉢を伴う(第155図J15号住1)。有文土器には、口縁部に縄文帯がめぐり内面を彫去するものや(第177図4・5・7)、列点帯の間に粗大な工字文を描く(同図13~15・18)佐野II式が見られ、J28号住より後出的である。遺物の少ないJ38号住(第188図J38号住1~4)も本址に近い時期であろう。

これまで早期末から晩期中葉に至る土器群を説明してきたが、最後に今回の出土資料でもっとも充実している第IV群第2類以下の後期縄文土器についてまとめておきたい。第2類の堀之内1式期は半ばころの段階にまともり、従来指摘されているように渦巻文系列の鉢が優勢である。粗製深鉢はほとんどが無文らしい。第3類の堀之内2式期も時間幅はあるがおおむね半ばころである。精製土器は関東地方と地域差が指摘できないなかで、連鎖沈線で結線状意匠を描く深鉢が現れることは注意される。この種の文様は、第4類の加曾利B1式期になると関東では主に注口土器に見られるが、長野県ではそのほかに精製深鉢に継続する。第5類加曾利B2式期のJ1号住、第6類加曾利B3式~高井東式期のJ2・10号住、第7類安行1・2式期のJ32・34号住は後期後半の長野県の編年基準となる内容をもっている。第6・7類はそれぞれ2軒の住居址が時期差をもつ可能性があり、検討を要する。精製の小形器種には在在外系統が目立つ。J1号住は加曾利B2式の新しい段階にほぼまともり、羽状沈線をもつ器種が多い。杵形手の土器は県内に類例が知られていない。注口土器には酒見式(一乗寺K式)、宝ヶ峯式がある。J2号住の注口土器は新地式(壺?)、および異系統で、加曾利B式の異形台付土器もある。J32・34号住には新地式の注口土器(壺?)と深鉢、安行1式の深鉢、新地式あるいは安行式の異形台付土器が見られ、J32号住には八日市新保式と思われる浅鉢もある。第V群第1類の晩期前葉は資料が不明瞭であるが、第2類のJ28号住は大洞C₁式の模倣品あるいは搬入品と北陸系の多くの器種がそろそろ。このような在在外系統による小形精製器種の占有的動きは、後期半ばの注口土器の補充に始まり、それ以降器種を増加して晩期に確立すると予想され、常に東北・北陸系を側面としている。今後分析が進めば、県内の編年研究はもとより、土器の流通と広域編年に多くの成果が期待される。

2 石神遺跡出土の石器について

(1) 石器実測図の表記について

第239図は縄文前期の遺構内出土の石器である。〈 〉は、住居址番号に対応する。第240～257図は包含層内の石器である。〈 〉はグリッド番号に対応する。第267図は縄文後期の集石状遺構・石棺墓覆土内の石器である。〈 〉は集石状遺構・石棺墓番号に対応する。

石器の図には石質も表記してある。安山岩はA、黒曜石はob、珪岩はチ、頁岩はK、砂岩はサ、硬質砂岩はコサとした。その他粘板岩や流紋岩はそのまま表記してある。

(2) 縄文時代前期の石器

図示した石器は前期の遺構内から出土した石器である。遺構内の器種はすべて図化してある。石器組成は、石鏃が26点（1・6・11・15・18・20・33）、石匙3点（7・13・14）、削器3点（8～10）、棒状石器1点（19）である。総数33点のうち石鏃が8割弱を占めている。また、石鏃には和峠産と思われる良質な黒曜石が利用され、石匙、削器には珪岩と頁岩が利用されている。資料数の貧弱さから断定は避けたいが、器種ごとに石材が選択されている可能性もある。

(3) 縄文時代後期・晩期の石器

縄文時代後期・晩期は石神遺跡の主要時期にあたるが、石器を個別に土器型式と対応させることが不可能なので、幾つかの所見のみを記すことにする。

遺跡内で最も多量に出土した器種は石鏃である。縄文前期の住居から出土した石鏃を除いた石鏃は図示したもので1050点を越えるが、そのうち791点（V-G 2 G-V-J 5 G、第240～251図）がJ15号住居址からJ28・22・29・37・38号住居址を結ぶ半円形内の場で製作されている。791点という石鏃は図中石鏃の8割弱であり、それが12m×8mの狭い範囲から出土している。多量の剥片類も同じ場所から出土している。J22・28・29・38号住居址に伴う土器が晩期前半であることより、多量の石鏃、剥片類は晩期前半に伴う遺物として解釈したい。また剥片類は両極剝離と通常の剝離の2種類があるが、総じて10cmより大きな剥片は少ない。剥片のほとんどが石鏃の素材のために生産されたとして解釈してもよいかもしれない。遺跡内に持ち込まれた石材の中で、最も多量に持ち込まれたのが安山岩である。拳より大きな石核が残っているのは安山岩のみであり、この安山岩は佐久市八風山産である可能性が高い。黒曜石は、肉眼観察ではあるが、和峠近辺の可能性が高く、その石核は掌内におさまる大きさである。珪岩、頁岩、砂岩、硬質砂岩の産地は不明である。しかし珪岩は比較的多く用いられており、千曲川河川敷にも珪岩があるので、いずれ近辺の石材であろうことは予想される。

石鏃の形態は多様である。右葉、無葉を2大別としても、その中で形態の変異が大きい。石

神遺跡の前期の石鏃が無茎石鏃で、形態変異が少ないことと比較すると、きわめて興味のある現象である。即断はできないが、形態変異の幅と製作者人数とに相関があるのではないだろうか。今後、統計分析を活用した分析法を試みてもいいことを課題として残したい。

石鏃の次に多い器種は石鏃や削器類である。ただし削器類は、剥片縁辺に軽いリタッチを施したものはカウントしなかった。

翡翠の原石が6点出土している。原石はパイパーテクニックで分割されており、1173には磨痕がある。

磨製石斧は16点、打製石斧5点である。縄文時代後期・晩期に伴うと断定できない資料がある。

石皿は第148号土坑から1点出土している。磨石は出土していない。

以上のような所見から最も重要な事実は、石斧類や磨石、石皿類の過小量と石鏃の卓越した量の対比であろう。石神遺跡は、ある特定の時期に石鏃を集中的に生産した遺跡という特徴をもつと解釈できる。しかし、この事実は、果たして縄文晩期社会のセツルメントシステムの一環として把握されるのか、それ以外の要因で解釈されたのかは今後の課題であろう。

(4) 石棺墓覆土出土の石器について

石棺墓群の覆土から出土した石器は、石鏃、削器、磨製石斧、剥片類である。石器が出土した石棺は墓群の西群に偏り、東群の石棺からは石器が出土していない。石棺墓覆土中の遺物については慎重な検討が必要だが、遺物の出土状況に偏差がみられることを重視すれば、石棺墓構築後のバイアスがかかっているとは考えにくい。従って、石棺墓覆土中の遺物は、石棺墓構築時の埋土に含まれていると考えたい。

(5) 石神遺跡について石器からの問題提起

石神遺跡を石器から概観すれば、幾つの特徴をあげられる。

a 石鏃形態について

前期では安定した石鏃の形態は、晩期になると様々な形態の石鏃となっている。

作業仮説として、石鏃の形態変異幅が、ある限定された変異幅に収斂し、それがひとつである遺跡と、収斂した変異幅が複数存在する遺跡の場合は、その他の遺物を解釈する有益な情報となるだろう。石鏃形態に集団類型が認識されるのか、個人の製作癖が認識されるのか、今後の分析の課題としてとどめておきたい。前期と後期・晩期を石鏃の形態変異幅の統計分析を行なうことで、縄文時代の社会構造の変化をつかむ端緒となることをここでは予測しておこう。

b 石材利用について

前期ではほぼ90%の石材が黒曜石である。翻って、後期・晩期では八風山の安山岩や千曲川の珪岩などが多く利用されている。時期によって石材構成が異なる現象がある。石材利用も社会構造と集団領域に関連する現象であると思われる。

c 石器組成の偏りから

遺跡全時期を通じて、磨石、石皿、打製石斧、磨製石斧の出土が少ない。特に、磨石、石皿の量の過小さは、縄文時代全時期を通じて、その遺跡立地と利用の変化についてある程度の知見をもたらすことができよう。

縄文時代を通じて、石神遺跡には中期の遺構がなく、前期の遺構も土器型式ごとの細分では、1軒～2軒程度である。前期の遺構内出土の石器も石鏃が主要器種として残されているのみである。したがって、前期の時期の石神遺跡は、ムラと呼べるものではなく、特定セトルメントの遺跡である可能性が高いのではないか。石神遺跡の前期遺構の場合、住居址に切りあいが顕著でなく、拡張や建て替えの痕跡も希薄である。これより特定のセトルメントはいつも決まった場にあるのではなく、随時随機的に同程度の立地が選択される可能性が高い。また中期の遺構がないことと、前期の遺構が特殊セトルメントであるという2つの現象は、前期・中期の時期には別の立地に大集落が営まれた可能性を示しているし、前期と中期の立地選択にはある程度共通性が推定されるのではないか。後述する後期以降とは全く異なる遺跡立地であるといえよう。

後期の石神遺跡はある程度の住居址遺構が検出されている。ここでも磨石、石皿、打製石斧、磨製石斧の出土が少ないが、隣接地に後期以後の遺物包含層が残っていることから即断はできない。数石遺構もあることから、前期のような生業機能的な特殊セトルメントとは片付けられないだろう。後期の石神遺跡については、石器組成からこれ以上踏み込むことはできない。

晩期前半も遺構が検出されているが、最も顕著な特徴は石鏃を多量に生産していることである。石鏃の多量生産の意味は、今後考察されるべき課題となるだろう。

3 遺構の変遷

石神遺跡では、縄文時代前期・中期・後期・晩期、平安時代の遺構が検出されている。以下、住居址を主体とした遺構の変遷と土器・石器以外の遺物について一瞥することにした。

縄文時代前期

まず、早期末～前期初頭の住居址には、J12・J13号住居址の2棟がある。

続く花積下層式期で確実なものは、J14号住居址と第51号土坑がある。なお、J5号住居址出土土器中に花積下層式土器が認められること、重複関係からJ17号住居址などが該期に遡る可能性があり、石神遺跡では、この時期から、集落が形成され始めたものといえる。

前期前半の関山式期の住居址には、J4・J5号住居址がある。

前期中葉の黒浜式期では、J6・J9(A)・J11・J16号住居址の4棟があり、住居址数は増加する。住居址の分布は、南部に拡がりを見せており、住居址数の増加と関連するものかもしれない。

また、第Ⅰ・Ⅺ地区に点在する土坑の大半、第3・5・6号整穴状遺構は、関山式・黒浜式期に位置付けられる可能性が強い。

前期後半の諸磯式期の住居址は、J7・J41・J42号住居址の3棟がある。このうち、J41・J42号住居址は、第Ⅵ・Ⅷ区に位置し、従来の住居址群とは分布を異にしている。また、それまでの方形を基本とするプランと異なり、円形プランとして現われる。

前期を通してみると、拡張の行なわれた住居址があり、J4(B)・J5・J41・J42号住居址の4棟で確認された。平面プランは異なるものの、いずれも、石野博信氏のいわれる一方増築にあたる⁽¹⁾。

なお、炉址は、地床炉であったと考えられるが、明瞭に焼土を残すものは認められなかった。

縄文時代中期

縄文時代中期の遺構で確実なものは、中期後葉の加曾利EⅣ式期の燧燧1の一例にすぎない。

縄文時代後期

新たに住居址が構築されるのは、後期初頭の称名寺式期からといえ、J44号住居址1棟がある。続く後期前葉の堀之内Ⅰ式期には、J3・J33・J46号住居址の3棟がある。分布域は、広範囲を示している。

続く堀之内Ⅱ式期では、J21・J25・J26・J39・J40号住居址の5棟がある。

後期中葉の住居址には、J1・J2・J9・J10・J18・J19・J23・J30・J31号住居址の9棟があり、土器群の様相から、J19・J23・J30・J31号住居址→J1・J9(B)・J18号住居址→J2・J10号住居址の3期に細分される。この点からすると、2～3棟単位で、近接して位置する場合が多いといえる。

後期後葉の住居址には、J32・J34号住居址の2棟がある。

敷石住居址および敷石住居址と考えたものに、J3・J9(B)・J19・J21・J25・J26・J32・J34・J39・J40・J44・J45号住居址の12棟があるが、良好な状態を示すものは、J21号住居址を除き、ほとんどないと言える。敷石住居址の大半は、後期前葉の堀之内Ⅰ式期から後期中葉の加曾利BⅠ式期にかけて構築されたものと考えられる。一方、出土遺物では、J3号住居址で石棒と注口土器のミニチュア土器が認められており、敷石住居址の性格の側面を考える意味で興味深い。

住居址以外では、土坑墓、石棺墓、配石址などがある。

墓坑は、土坑墓、土坑の壁に数点石を配したものと、石棺墓の三種に大別されるが、本書では、土坑の壁に数点石を配したものは、便宜的に土坑墓に含めた。

墓坑には、第1～5号土坑墓、第2～22号石棺墓があり、このうち、第1～5号土坑墓、第2・3・7号石棺墓から人骨が出土している。時期的には、年代を特定できない第1号土坑墓を除き、

第2～4号土坑墓、石棺墓が後期中葉、第5号土坑墓が後期後葉と考えられる。

分布は、第2～4号土坑墓、第2～7号石棺墓がほぼ分布域を同じくし、第8～22号石棺墓が第Ⅲ区を中心に集中している。また、第8～22号石棺墓は、配石址と関連する可能性が強いといえる。さらに、第8～21号石棺墓には、先後関係の認められるものが存在した。

土坑墓・石棺墓の長軸方位は、第272図に示した。

ちなみに、磁北から東西に各々40°の範囲に収まるものが、土坑墓で、3/5=60%、石棺墓では14/21=67%である。

一方、埋葬に関しては、頭部に浅鉢を被せた例が、第2・7号石棺墓で認められた。

また、通常では、一つの墓坑に一体を埋葬するのが一般的と考えられるが、第7号石棺墓のように2体埋葬した例も認められた。

墓坑の大きさから推して、遺体を屈葬したとしてもとても納まりきれない例、さらに遺存状況を考慮しても全部がない例もあり、再葬を考えざるを得ない例が認められた。

先述したように、配石址も後期の所産と考えられるが、窪んだ谷地形を意識して造られたものと思われる。また、配石中には石棺墓も認められた。先述したように、石棺墓同士でも先後関係のあるものが認められたことから、ある程度の時間巾はあるものの、ほぼ同時期に存在したものと考えられ、後期中葉頃に位置付けておく。

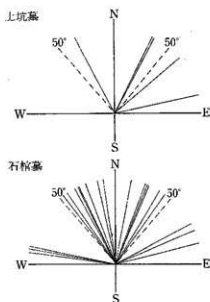
このほか、特異な遺構として、第175号土坑があり、土坑内中央部に石囲炉を設けている。

土層の観察、遺物の出土状況からすると、土坑内に土器片・獣骨などが捨てられたりした後、半ば埋没した段階で炉が造られている。規模等からすると、住居址とするのは、難しく、祭祀的な意味を持つものかもしれない。類例を簡言したい。

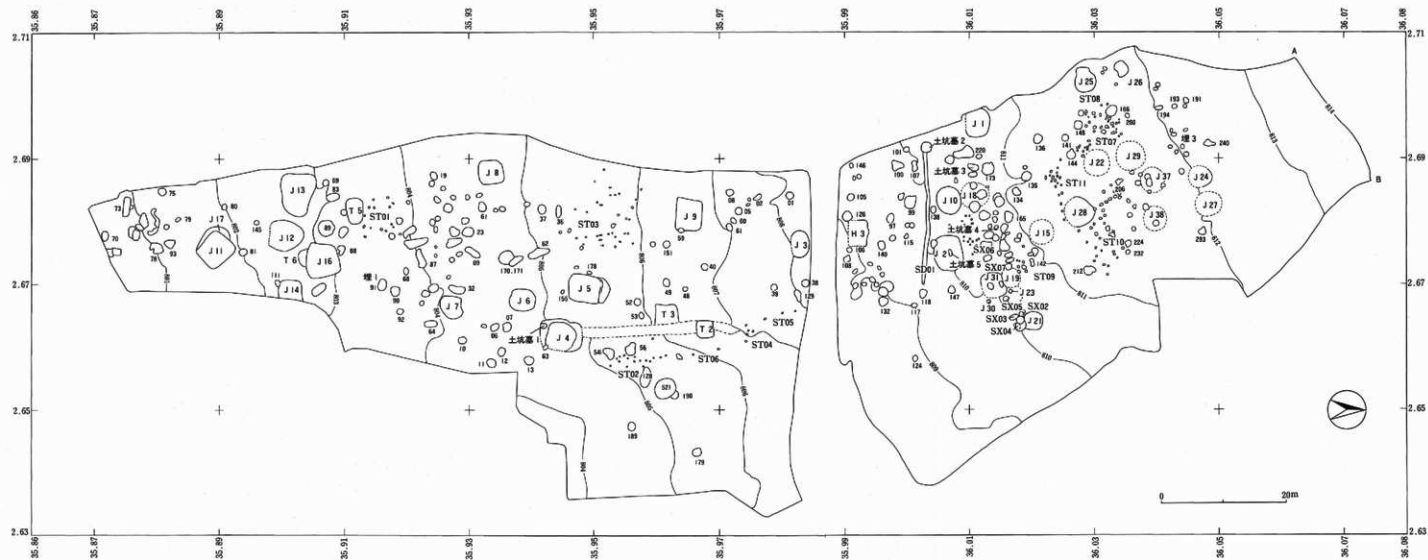
一方、自然遺物が多いのもこの時期の特徴といえ、特にJ1号住居址では多量の獣骨をはじめとする自然遺物が顕著であった。動物遺存体についての詳細は別稿に譲るが、内陸部における動物質食料について大きく寄与するものといえよう。

骨角器・貝類には、牙鏃、鹿角鏃、ヘアピン・骨針のほか、鹹水産のハマグリ、ハマグリ製の貝刃、淡水産の貝と多様である。とりわけ、鹹水産の貝殻は、海岸部との交流を如実に示すものといえる。

さらに、石材まで視野を広げると、翡翠、牛伏砂岩、緑泥片岩、黒色質安山岩は、距離に差はあるものの、当時の交易を知る上で興味深い。

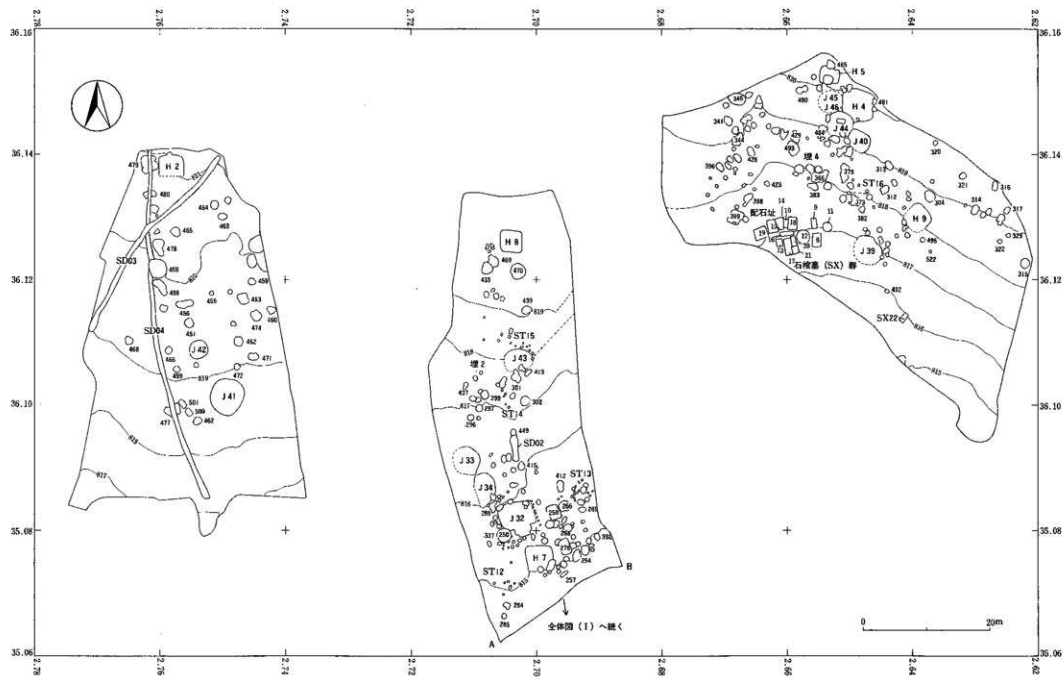


第272図 土坑墓・石棺墓の長軸方位



(註) 土坑はゴシック体の番号のみで表す。

第273図 石神遺跡遺構全体図(1)



第274回 石神遺跡遺構全体図 (II)

また、漁労具として、土製・石製の漁網鎌、軽石製の浮子と考えられる石器(第264図1167)が認められた。これらも、後期の所産と考えられるが、本遺跡では、動物質食料のほかに、魚類もまた、その対象となっていたことを物語るものであろう。また、ヒカリギセルなどの出土は、遺跡付近で採集されたものと思われるが、当時の自然環境を知る一助となろう。

縄文時代晩期

晩期前葉の住居址には、J24・J27号住居址の2棟、続く晩期中葉の住居址には、J15・J28・J37・J38号住居址の4棟がある。大半の住居址が、全体層序第II層の黒色土層から掘り込んでいたものと思われ、平面プランは、柱穴から判断したものが多く、分布域は、第V・IX区に集中している。

なお、J22・J29号住居址は、後期もしくは晩期の所産と考えられるが、特定できなかった。

平安時代

縄文時代晩期後半・弥生時代後期～古墳時代初頭・奈良時代では、土器は出土しているものの、遺構については不明であり、調査範囲では、空白期間といえる。けれども、第II章第2節で触れたように、後期古墳が築造されていたことから、付近に古墳時代の集落址が存在していた可能性が強い。

竪穴住居址は、8棟検出された。このうち、時代を特定できないH1号住居址を除き、平安時代に比定されるものが7棟ある。

カマドは、北壁中央部に設置されるが、H9号住居址のように全く認められなかったものも存在する。

平面プランは、いずれも隅丸方形を基本とするが、規模は、一辺500cm前後のH4号住居址から、一辺350cm前後のH5号住居址とバラエティーが認められる。

出土土器には偏りがあるため、明確ではないが、H8号住居址→H2～H5・H7号住居址→H9号住居址の変遷が考えられる。

年代的には、H2号住居址の段階に光ヶ丘窯式期の灰釉陶器が認められることから、9世紀後半から10世紀初頭、H9号住居址の段階が11世紀後半の年代を与えておきたい。

このほか、平安時代および平安時代以降と考えられる遺構には、第44・350・481号土坑、第3・4号溝址がある。

以上、石神遺跡の遺構・遺物について一瞥してきた。お忙しい中にも関わらず、玉稿・ご教示を頂いた先生方の意に反し、拙ない総括となってしまい、深くお詫び申し上げます。

最後に、調査・報告書作成に携わられた方々、長野県教育委員会文化課、佐久地方事務所をはじめとする関係各位、原稿・ご教示を頂いた先生方に厚く御礼申し上げ、総括としたい。

註

- (1) 石野博信 1990 「第1章 古代日本の住居」 『日本原始・古代住居の研究』 吉川弘文館
- (2) 佐久地方において、海岸部との交流が認められる代表的な遺跡に、縄文時代早期の栃原岩除遺跡があり、貝器としてハイガイ・タカラガイ・ツノガイ・イモガイなど海産貝を用いた装身具などが出土している。宮下健司 1988 「III 生産と生活の道具 2 縄文時代の道具 (3) 骨角器・牙器・貝器」 『長野県史 考古資料編 全1巻 (4) 遺構・遺物』 長野県史刊行会
- (3) 渡辺 誠 1982 「食料の漁獲・採集活動と保存 網漁!」 『季刊 考古学』 創刊号
- (4) 原 明芳氏のご教示による。
- (5) 年代観は、次の文献によった。前川 要 1984 「猿投窯における灰釉陶器生産最末期の様相」 『瀬戸市歴史民俗資料館研究紀要III』 小平和夫 1990 「第3章 遺構・遺物の考察 第5節 古代の土器」 『中央自動車道長野緑地文化財発掘調査報告書4 松本市内その1 総論編』 (財)長野県埋蔵文化財センター

引用参考文献

- 荒川区教育委員会 1990 『日暮里延命院貝塚』
- 安中市教育委員会 1993 『大下原遺跡・吉田原遺跡』
- 大町市教育委員会 1990 『一津』
- 金子浩昌他 1982 『貝塚博物館研究資料第3集 貝塚出土の動物遺体——関東地方・縄文時代貝塚の動物相とその考古学的研究——』 千葉市加曾利貝塚博物館友の会
- 後藤和民 1990 「(3) 漁撈集落と貝塚の形成——東京湾沿岸の大型貝塚を中心として——」 『日本村落史講座2 景観Ⅰ 原始・古代・中世』 雄山閣
- 末木 健 1991 「(1) 縄文時代の呪術世界——中部山岳地域の縄文集落における祭祀——」 『日本村落史講座4 政治Ⅰ 原始・古代・中世』 雄山閣
- 戸沢允則 1988 「第1章 信濃史の黎明 第2節 原始文化の繁栄」 『長野県史 通史編 第1巻 原始・古代』 長野県史刊行会
- 外山和夫 1990 「(2) 縄文時代における集落の景観——群馬県域を中心として——」 『日本村落史講座4 政治Ⅰ 原始・古代・中世』 雄山閣
- 能登 健 1992 「(3) 日本村落史と日本史研究 1 生産領域論 (旧石器・縄文時代)」 『日本村落史講座1 総論』 雄山閣
- 宮下健司 1991 「Ⅰ 原始 (1) 縄文人の歳時記——縄文人の時間と空間——」 『日本村落史講座6 生活Ⅰ 原始・古代・中世』 雄山閣

石神遺跡出土の人骨

信州大学医学部
第二解剖学教室 西沢寿晃

I はじめに

石神遺跡から出土した人骨は、それぞれ石棺 (SX02・03・07) と墓坑 (SK55・102・181・520) に埋葬されていたもので、SX07の2体の合葬を含めて計8体である。石棺、墓坑ともに遺跡内の一地点にやや集中的に位置し、その年代は堀之内2式期を中心とする縄文時代後期に属するものが大半であるという。

人骨の保存状態は、全体的に腐朽が進み、骨質はかなり脆くなり、多くの部位は細片状ないし骨粉化して残る程度である。しかし一方、個体によっては長大な部位の骨などでやや原形を留め、形質的な観察の可能な箇所も残されている。また全身部位の骨の残存例は皆無であり、埋葬位の確認できる個体も少ない。

長野県内での縄文時代後期の人骨出土例としては、1987・88年に発掘調査された北村遺跡(東筑摩郡明科町)での総計190体にはる集団的な人骨群は極めて異例である。その他の遺跡例としては個体数も少なく、遺存状態も良好とはいえず、現在まとまった調査結果は少ない。石神遺跡の人骨は今後の研究資料として好一例となるものであろう。

以下、埋葬の状況や、各人骨の残存の程度、主な形質等についての概要を記載する。

II 出土人骨の所見

SX02

出土状態 頭蓋骨のみが残存し、体幹骨や四肢骨は全く見られない。頭部に浅鉢が被せられていた例であり、再葬の可能性も指摘される。

人骨の形状 頭蓋骨：脳蓋の板状骨の細片が数点と、側頭骨岩様部の破片が残るのみである。歯：上・下顎の全歯が遊離しながら残存している。第3大臼歯4本も欠けていない。いずれもエナメル質の歯冠は概ね保存されるが、歯頭をわずかに残すもの他は、歯根はすべて欠失している。

歯の咬耗 上・下顎の切歯の切縁結節は明瞭であり、犬歯とともに咬耗は全く生じていない。小臼歯の咬頭はわずかに咬耗する程度であり、上顎第1大臼歯の咬合面でやや面状の咬耗が現われているが、他のすべての大臼歯の各咬頭や溝は明瞭に残る。プロカの分類の1度に相当する。う蝕痕は特に認められない。

第3大臼歯の萌出後で、軽度な咬耗の発現からみて、およそ20歳以降の青年期と推定される。

SX03

出土状態 石棺の一方に頭蓋骨、他方に人腿骨、脛骨が屈曲された姿勢で残存しているが、他の部位は全く残っていない。狭い石棺内での屈葬位を推測されるが明確でない。

人骨の形状 頭蓋骨：後頭骨の内後頭隆起を残す小片などが認められる程度で、その他は土中に取り込まれて微細な骨粉状となっている。歯：全く残っていない。

大腿骨：折損した骨体の中央部分が3本(5~15cm)大型片として残るが、他は細片状となっている。竹壁はかなり厚いが、太さは中等度であろうか。骨表面の剥落が著しく、粗線(各内転筋の附着部位)の発達程度などは不明である。ヒラメ筋線の一部が弱度に認められる。脛骨：骨体の一部(約9cm)の他は崩壊が進み小片のみとなっている。他の部位の骨は残存していない。

性別・年齢などは不明である。

SX07

出土状態 石棺の一方の隅に2顆の頭蓋骨が相接して残り、それぞれに浅鉢が被せられていた。体幹骨は全く消失しているが、上肢骨の一部が認められ、また下肢の大腿骨や脛骨の骨体の一部が複数残存していた。これらの長骨は右横方に倒れた位置となる。頭部は上方を向くが、全体としては屈葬位が推測できる。2体の合葬といえるが、各個体の姿勢は不明である。

人骨の形状 頭蓋骨(1号)：脳頭蓋の部分が多く残り、発掘時には比較的形態は保たれていたが、以後の変化で崩壊が著しい。骨表面はかなり粗糲となる。骨壁は薄いが接合できた形態ではかなり大きな頭蓋といえる。冠状縫合はやや簡単な線状であり、矢状・ラムダ縫合は複雑な鋸歯状で、ともに内板にわずかな癒着が生じている。側頭骨(右)は鱗部や岩様部を残す。下顎窩は広く深い。乳様突起は基部のみであるがかなり大型で、全体として頑丈な形態といえる。外後頭隆起は櫛状にやや強く発達し、プロカのⅢ型である。歯：32の歯冠が残る。切縁や尖頭に咬痕は現われていない。

頭蓋骨(2号)：1号頭蓋骨に比べて骨の残量は少ない。縫合部分も殆ど残っていない。側頭骨の下顎窩は狭小で、頬骨弓も細小、岩様部も小型である。外後頭隆起はわずかに粗糲に高まる程度であり、プロカのⅡ型。

四肢骨は2体が一括した状態で取り上げられた。上腕骨・橈骨：わずかな細片として残る程度である。大腿骨：骨体部分(10~15cm)が3本大型片として残り、その上・下端の破片が多い。骨表面の剥落が進むが、滑沢な骨質の細片も混在している。それぞれの形状に明確な相違は見られず、2個体としての識別は困難である。脛骨：骨体部分が細片で残るのみである。

1号頭蓋骨は男性であり、青年期と見なされるが、2号頭蓋骨は女性的な形質ではあるが詳細は不明である。

第1号土坑墓 (SK55)

出土状態 墓坑中で顔面を右に向け、左肩部をやや上方とする。下肢は股・膝関節で強く屈曲され右側へ倒されている側臥屈葬位である。

人骨の形状 頭蓋骨：骨質は脆く、脳頭蓋は殆ど細片となる。ラムダ縫合の一部が残り離脱している。側頭骨岩様部(左右)が残る。乳様突起は大きな円形を呈する。外後頭隆起は弱く膨隆する程度でプロカのII型。下顎骨：骨体中央辺の下縁が主に残る。切歯部の歯槽がわずかに残るのみで、歯槽縁は欠損する。オトガイ隆起は通常、同棘の発達も弱い。オトガイ高29.5mm。歯：すべて遊離している。歯冠の欠損する歯種不明が4本。

残存歯 6 5 4 3 2 1 | 1 2 3 4 5 6

歯の咬耗 各歯とも著しく咬耗が進行している。切歯の切縁は殆ど失われ、露出した象牙質が軋をもっている。犬歯は象牙質が面状に露出する。小白歯の頬側縁辺にエナメル質が稜状に残り、舌側へ陥凹して象牙質が大きく露出している。大白歯でもエナメル質が縁辺に稜状であり、露出した象牙質は拡大して結合する。咬耗度はプロカの3度に相当する。

大腿骨：左右ともに近・遠位端を欠くが、骨体は比較的完存に近い。骨表面の剥落は激しいが、その形態はかなり頑丈である。骨体はやや前弯する。粗線は強度ではないが強い稜状で、外側唇も鋭い。骨体中央断面示数(右)100.4で柱状性は弱度であり、骨体上断面示数75.3は扁平大腿骨に近い数値である。脛骨：左右の骨体部分のみが残る。前後や各稜はさほど鋭くない。

男性人骨で、およそ50歳前後の熟年期と推定される。

第2号土坑墓 (SK102)

出土状態 顔面を右方に向け、肩部はおよそ正位である。上肢は肘関節で折れ曲がる。下肢は両側が揃えられて屈曲する。側臥屈葬位であろう。

人骨の形状 頭蓋骨：脳頭蓋がやや大型の破片となるが量は少ない。頭蓋冠の厚さは中等度であり、ラムダ縫合は離開しているが、一部内板の癒着が認められる。下顎骨：両側の下顎枝を欠くが骨体はほぼ原形を保つ。全体的に骨体は低く、かなり小型といえる。オトガイ隆起は弱く、同棘の発達も弱度である。顎舌骨筋線の形成も弱い。下顎の全歯の歯槽は残るが、歯根は植立して歯冠が欠失した歯が多い。また左大白歯はすべて脱落し、それぞれの歯槽中隔は吸収により消失し、底部は粗粒な溝状となる。顎堤は頬側でオトガイ孔の直上に達するが、舌側は高く残る。

歯と歯槽

□ 7 6 5 □ □ □ □ | □ □ □ 4 △ △ △ △

□ 空槽

△ 歯槽閉鎖

歯の咬耗 小白歯の咬合面の大部分に広がり、頬側で象牙質が露出する。大白歯での象牙質の

露出面はほぼ全面に及んでいる。プロカの2度に相当する。

肩甲骨：関節窩の一部が残存。月状骨。手指骨：基節骨、中節骨が各1本完存している。膝蓋骨：左が半欠で残り、上外側縁に生じた切痕が認められる。その他、橈骨、大腸骨、脛骨などは極めて脆く崩壊した骨片となって残る。

女性人骨で熟年期と見なされるが、ことに性別については明言できない。

第3号土坑墓 (SK181)

出土状態 頭蓋骨とともに下肢骨がやや形状を残す。下肢は屈曲するが、各骨は位置が移動して埋葬位は明確でない。

人骨の形状 頭蓋骨：部分的にかなり保存されるが、骨表面に剥落が生じ、崩壊が著しい。しかし大型の骨片も多く、特に頭蓋冠はほぼ接合できる。骨壁は厚く頑丈である。冠状縫合は外板で痕跡的であり、内板は癒着する。矢状縫合のプレグマ附近から頂部にかけて内板は癒着。ラムダ縫合は離断する。眉弓などの形態は不明。上顎骨の口蓋突起と歯槽の一部が残る。正中口蓋縫合は離れている。乳様突起は先端を欠くがかなり大型である。下顎窩は広く深い。外後頭隆起は欠損する。下顎骨：両側の骨体部分が残るが、前方部を欠く。下顎枝(右)は完存。下顎切縁は比較的浅く、顎舌骨筋線は強く隆起する。全体にかなり頑丈な形態で骨体も厚い。

歯と歯槽

8	7	6	5	4	●●	×	×	●●	4	5	6	7	8	
□	7	6(5)	×	×	×	×	×	×	×	×	5	6	7	8

×欠失

●抜歯

()歯根のみ

歯槽が細く鋭い稜状に閉鎖し抜歯痕と見なせる箇所は23で、32の歯槽縁はクリーニングの際にわずかに崩壊した。抜歯の遠心側に隣接する臼歯は空槽または植立して完存している。なお下顎前歯は全く検出されていない。

歯の咬耗 上顎小臼歯の咬耗は先端から頬舌的に結合してくる。咬頭に象牙質が点状に露出。同大臼歯の咬耗局面は結合して、切端が稜状となる。下顎小臼歯は咬合面全域に及ぶ。同大臼歯もほぼ同様で、舌側へ傾斜する咬耗面が生じている。プロカの1度ないし2度に相当する。

軸椎：歯突起と椎体の一部が残る。大腸骨：右、小転子の一部を含む骨体。左内側顆の一部と骨体がそれぞれ保存は良好である。しかし骨表面の剥落は強い。骨壁は厚くかなり頑丈で、骨体はやや前弯の傾向がみられる。粗線は稜状でなく全体に隆起する形状で、骨体の横径に対して矢状径が大である。殿筋粗面はやや膨隆する。転子間線も著明。骨体中央断面示数119.7で柱状性は強に近く、同上部断面示数83.9は扁平性を示す。脛骨：左右ともに近位関節部や骨体の一部が断片状で残るのみである。距骨・踵骨：骨表は粗粒となりわずかに形状を留める程度である。その

他の部位の骨は全く残存していない。

男性人骨で壮年期のものと思なされる。

第5号土坑墓 (SK520)

出土状態 頭部と肩部ともに仰向きで、体幹も同様であろう。上肢は体側で折り曲げられ、大腕・下腕も強く屈曲されているが、その方向は明らかでない。仰臥屈葬位であろうか。体幹骨を除き、全身部位の骨が認められるが、保存は良好でない。

人骨の形状 頭蓋骨：脳頭蓋の板状骨片が多くはないが堅い骨質で残されている。ラムダ縫合は離開するが、他の縫合は不明である。上顎骨の口蓋突起と歯槽部がやや形態を保つ。正中口蓋縫合は離れている。側頭骨はやや大型片で顎窩は深く大きい。乳様突起もかなり大型である。外後頭隆起は突起状でプロカのIII型にはいる。下顎骨は両側の骨体が残る。切歯部は欠損するが各臼歯は植立している。顎舌骨筋線は櫛状に形成される強度な発達であり、下顎小舌も鋭い。翼突筋粗面の膨隆も強い。全体としてかなり頑丈な形態である。

歯と歯槽

8	7	6	5	●	●	2	1		1	2	●	●	□	6	7	×
8	7	6	□	×	×	×	×		□	×	×	×	□	□	7	8
				?												

[] 遊離歯

上顎の43|34が対称的に抜去されている。15は空槽となるが他のすべての歯種は植立している。抜去歯の歯槽は萎縮し鋭い稜状となっている。下顎の4も同様な傾向がうかがえる。いずれも風習による抜歯痕と見なされる。

歯の咬耗 上顎切歯は切縁全体に幅をもって象牙質が露出し、下顎では線状に現われている。上顎第1・2大臼歯に象牙質が点状に露出し、第3大臼歯でエナメル質が水平状となる。同じく下顎では咬頭は消失し、象牙質は点状ないし一部で広がりを見せている。プロカの1度ないし2度に相当する。大臼歯の咬合面に軽度のう蝕がみられる。なお上・下顎の噛み合せは錯子状咬合であろう。

肩甲骨：右、肩甲棘の一部。鎖骨：右、両端を欠き、円形靱帯結節、菱形靱帯結節ともに弱度である。中央断面形は楕円形で、きゃしゃな形状である。上腕骨：左右の骨体が残るが、筋付着部などの観察は不可能である。尺骨：左、骨体上半部で回外筋線は鋭く、尺骨粗面は深く陥凹している。

大腿骨：右、竹頭と遠位関節を欠くが、ほぼ完存する（現長38cm）。左、骨体中央部のみ。骨体は比較的伸直である。粗線は一部で強く形成される程度で、内・外側順上線も弱い。殿筋粗面も中等度である。骨体中央断面示数104.5で柱状性は弱度であり、同上部断面示数75.4は扁平大腸骨となる。脛骨：左右ともに近位端などを欠くが完存に近い（現長36cm）。前縁はやや鋭く、軽いS字状を呈する。ヒラメ筋線は弱い。後面に弱度ながら一稜の形成がみられる。中央横断面示数65.1

で中脛、脛示数66.7は中脛に属する。腓骨：左、近位端を欠くがほぼ完存（現長34cm）。前縁、骨間縁などは細く鋭い。外側面の縦溝が顕著で、いわゆる槌状腓骨である。距骨：左右、踵骨：左、ともにかなり原形を保つが、骨表面の剥落が著しい。

大腿骨と脛骨・腓骨の欠失部分を補い、推定身長を算定すると約160cmの数値となる。

男性人骨で壮年期と見なされる。

III 要 約

石神遺跡出土の人骨は計8体となる。石棺や墓坑内に埋葬されていたが、各人骨はかなり崩壊が進み、長大な骨もすべて上・下端を欠失するなど原形を留める骨は皆無である。そのため各骨の形質を表わす計測値も殆ど記載は不可能である。

埋葬について 埋葬の様式としては、上肢とともに下肢を強く屈曲させた屈葬位が多い。頭部や肩部は横向き、または仰向きとなる姿勢でもある。しかし全身部位を残す個体は無く、骨の連結状態からみた正確な葬位は明確でない。石棺の狭小さなどからも例えば頭部などが選択された再葬も推考されるところである。浅鉢が被せられた事例も傍証の一つとなり得よう。

性別・年齢など 男女の性差を具えた骨の特有な形質が殆ど欠失しているため、判定は極めて困難である。あえて各個体の全体的な傾向から推定すると男性4体、他は女性的ないし不明となる。殊にSX07における合葬例の内容は興味あるところであるが、1体が青年期の男性と見なされる外は残念ながら特定できない。

本例の人骨の年齢鑑定は、頭蓋骨の主として三主縫合の程度や、歯の咬耗状態などが手掛りとなるところである。しかし縫合閉鎖の場合の開始・終了の時期は変異幅が大きく、例えばラムダ縫合では開始26歳、終了40歳以後とされている⁽¹⁾。本例の同縫合も概ねその範囲内であり、わずかに内板に閉鎖の徴候が現われている個体が見られる程度である。

咀嚼・咬合による歯の消耗を咬耗というが、縄文時代人、特に早期人のそれは極端に強度であり、時代による食生活の相違が大きく反映するのは当然である⁽²⁾。第3大臼歯の総ての萌出完了後、未だ殆ど咬耗の発現していない青年期の個体から、壮年期を含め、エナメル質が全く失われた熟年期までの各年齢段階を本例に見ることができる。ちなみに縄文時代人の平均死亡年齢は男性31.1歳、女性31.3歳とされている⁽³⁾。石神人骨の場合も縄文時代人の短命と早老の傾向に共通する傾向が指摘される。

身長について 第5号土坑墓（男性）人骨は、大腿骨・脛骨・腓骨がかなり原形を保って残存している。各骨を組み合せ欠失した部位を補足し、あえて身長を推定すると（藤井式）約161cmとなる。縄文時代人の平均身長は男性159.11cm、女性148.05cmとされている⁽⁴⁾。わずかに1体のみの推定値であるが、やや高身長の種類にはいる一例である。

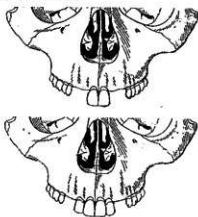
抜歯について 石神人骨の中で、第3号土坑墓（壮年期の男性）、第5号土坑墓（同）出土の各例に抜歯の痕跡が認められた。抜歯は残存する上顎のみであり、また一部に崩壊が生じ、上・下顎

揃った全体像に欠けるが、抜歯に伴う歯槽の変化や隣接歯との関連からみてほぼ確認できる例である。

風習による抜歯—健康な歯を故意に抜去する行為—は縄文時代中期末から弥生時代にかけて各地で盛行した一奇習である。その意図は様々で、成人、婚姻、服喪などいわゆる通過儀礼の標識とみられるもので、対象となる歯種により多くの様式に分けられる。

長野県内の諸遺跡でもすでに幾つかの出土例が挙げられている⁽⁵⁾。芝垣外遺跡、大明神遺跡、野口墳墓遺跡などは木曾川、天竜川沿いに点在し、千曲川流域では月明沢遺跡、深町遺跡、保地遺跡、生仁遺跡、官遺跡などから検出されている。以上の諸遺跡の抜歯様式をみると、上顎または下顎の大歯のみを抜去する例が基本的であり、これに側切歯が加わり、更に中切歯を伴う様式となる。大明神、生仁遺跡例では下顎の全切歯・大歯が対象とされている。

石神人骨の場合は、第3号土坑墓例で上顎側切歯・大歯の左右対称の抜去例であり、第5号土坑墓では即出の様式に新たに上顎大歯・小臼歯が加わる類例となる。抜歯の様式としては時代と地域により変化があり、初現としては上顎側切歯のみであり、次いで犬歯中心となり、これに切歯が加わるとされ、V群12様式に分類する論考があるが⁽⁶⁾、本例はIV群に含まれることになる。また上・下顎の小臼歯を伴う場合の意図として、近親者や配偶者の死去に対する服喪の表示として促える考え方もある⁽⁷⁾。しかし北村遺跡出土の人骨の場合、前歯の脱落した10個体(抜歯の対象となる歯群)について、明確な抜歯痕とみられる例は皆無であること



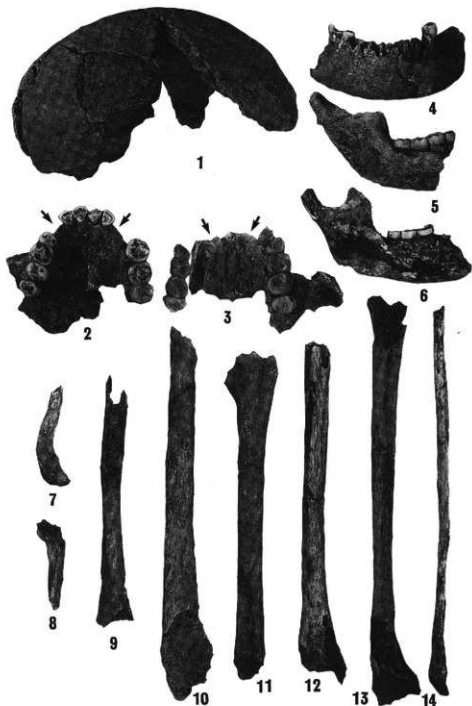
上：SK181 上顎の抜歯
下：SK520

ことから、同遺跡が周辺遺跡に対して比較的独立した状態であった可能性が示唆されている⁽⁸⁾。

各地の遺跡を通じて人骨の保存状態は概して不良であり、個体数にも限られている。今後の例数の集積がまたれるところである。

参考文献

- 1) 森本岩太郎 (1984) 人骨の分析法 考古学調査研究ハンドブック2、室内編
- 2) 鈴木 尚 (1963) 日本人の骨 岩波新書
- 3) 山口 敏 (1982) 縄文人骨 縄文文化の研究I
- 4) 平本嘉助 (1981) 骨からみた日本人身長の変り変わり 考古学ジャーナル 197
- 5) 西沢寿晃 (1982) 中部高地諸遺跡出土の抜歯人骨 中部高地の考古学II
- 6) 渡辺 誠 (1967) 日本の抜歯風習と周辺地域との関係 考古学ジャーナル 10
- 7) 森成秀爾 (1973・74) 抜歯の意義I、II 考古学研究 20-2・3
- 8) 茂原信生 (1993) 北村遺跡出土の人骨の形質 北村遺跡 長野県歴史文化財センタ—発掘調査報告書14



石神遺跡出土の人骨

1: SK181 頭蓋骨 2: SK520 上顎骨(矢印一抜歯) 3: SK181 上顎骨(矢印一抜歯) 4: SK102 下顎骨 5: SK181 下顎骨 6: SK520 下顎骨 7: SK520 鎖骨 8: 同尺骨 9: 同上腕骨
10: SK181 大腸骨 11: 同 12: SK520 脛骨 13: 同 14: 同腓骨

縄文時代後期の住居址から検出された貝片・骨角器(獣骨片)の分類・同定

早稲田大学 金子浩昌

1. 試 料

試料は、縄文時代後期(加曾利B2式)の住居址(J1号住居址・J18号住居址)と奈良・平安時代の住居址(H14号住居址)内から検出された貝片および骨角器・獣骨片である(表1)。

2. 同定結果

本遺跡において検出された動物遺体は陸産・淡水・鹹水産貝種および獣骨とその加工品である。これらは縄文時代後期の住居址内から検出されたものという。伴出した骨製品には明らかにこの時代のものと思われるものが含まれているので、貝類もこの時代の人々によって採集されたものを含むのであろう。

検出された動物遺体の種名表

1. 軟体動物門 Phylum MOLLUSCA

腹足綱 Class GASTROPODA

柄眼目 Order Stylommatophora

曲輪尿管亜目 Suborder Sigmurethra

コハクガイ科 Family Zonitidae

ヒメコハクガイ *Hawaiiia minuscula*

中輪尿管亜目 Suborder Mesurethra

キセルガイ科 Family Clausiliidae

ヒカリギセル *Zptychopsis buschi*

腹足綱 Class GASTROPODA

ほんえら(弁螺)亜綱 Subclass EULAMELLBRANCHIA

古異歯目 Order Palaeohererodonta

イシガイ科 Family Unionidaer

ドブガイ/カラスガイ *Anodonta woodiana*

イシガイ *Unio douglasiae*

異歯目 Order Heterodonta

マルスダレガイ科 Family Veneridae

ハマグリ *Meretrix lusoria*

(1) 貝類

貝類は陸産種のヒメコハクガイ・ヒカリギセルガイの2種で、ヒメコハクガイは標本1点があったのみであるが、ヒカリギセルガイは8点があり、このうち2点はこの種の貝の幼貝であると思われる、この場所でもかなり生息していたのであろう。

腹足類の貝種で多かったのは、淡水産のイシガイである。殻が真珠質で脆弱であるために完存する貝殻はなく、殻頂部あるいはその近域を残すみの破片であるが、10数点が採集されている。他に小さな破片が土塊の中にみられるので、いまま少し多くの殻が埋存していたのではないかと思われる。当時人々の生活地の近くにあったと考えられる池や沼に棲息し、食用に採取されたものであろう。小規模な貝塚様などがあったのであろうか。ドブガイもしくはヌマガイとしたのは、数センチ角の大きさになって残るだけの破片であるが、これも発掘調査時に壊れた標本であると思われる。

鹹水産種としてハマグリ2点があり、1点は殻長40mmほどの小さい殻で、他の1点はやや大型の殻の腹縁部の破片である。この殻は長さ3.5cm幅1.7cm程の小片であるが、腹縁部に細かい打ち欠きの裏がみられ、この貝殻がいわゆる貝刃として使われていたものではないかと推測される。

(2) 獣骨類

1. 加工品

獣骨として採集されているのは、小さい破片までを含めて8点であったが、その半数はそれを素材としてつくられた骨角製品であった。それらの動物種と加工品について述べる。

・イノシシ *Sus scrofa*

a. 下顎犬歯の加工品（「貝ペンダント」とされていたもの） 試料名：J-1 貝14

大型のイノシシの左側下顎犬歯の舌側ほうろう質面から長三角形の鐵の形を切り取ったものである。

全長38.28mm、最大幅18.16mm、厚さ3.16mm

製品の全体をわずかに欠損すると、両側にかかなり大きな欠損部分があるが、この欠損は使用による破損箇所から腐蝕が生じ、それが拡大したのではないかと思われる。この鐵はイノシシの犬歯を素材にしているために、わずかな湾曲をもつが、鐵として作られた全体の形はよく整形されたものであり、左右均整がとれ、全体は薄く仕上げられている。底面は若干膨らむように加工され、そこに近い部分に一つの孔が穿孔される。

表面つまりほうろう質面には、擦痕その他の加工痕を見ることはないが、裏面になる象牙質面はよく研磨され、主として横方向に走る細かい擦痕が一面につく。断面がレンズ状になるように整形され、穿孔部にはその両脇と下に浅い溝が擦り込むような加工によって付く。

b. 腓骨の加工品

① 試料名：J-18 No.9

全長95.24mm、基部幅14.72mm、骨幹部幅5.45mm

イノシシの右側腓骨の近位骨端を切断し、その直下から遠位部までの骨幹部分が使われている。切断した近位部を尖らし、多少その周辺も加工しているが、ほとんど自然の腓骨の形が使われている。柄の部分に相当する遠位部も骨端は外れたままの状態であり、特別の加工はされていない。擦痕などもほとんどみられない。髪飾りの一種と思われる。

② 試料名：J-18 No13

現長49.01mm、骨幹部幅3.85mm

幹部で折れ、全体を窺うことができない。破損は検出時のものであり、もともとは上記のような製品が残されていたのであろう。形は③のものに似て細身に仕上げられている。先端に近い部分は、近位部骨幹の薄い部分を削りこんでいるために少し反り返るような形になっている。全面に加工のために細かい擦痕がみられ、③の製品ほど使い込まれていないことがわかる。

③ 試料名：J-1 No20

全長107.29mm、基部幅8.30mm、骨幹部幅3.97mm

イノシシの左側腓骨を使ったもので、素材の扱いは上記の例と変わらないが、加工はいっそう入念で、全体は腓骨の元の形態を残さないほどである。遠位部は細かく削り込み、そのために骨の内側には海綿質の一部がみられる。骨幹も細く、断面が円形になるまで削られている。器体表面には荒い擦痕は残るが、大体は手擦れによって滑らかな面になっている。製作の手法は上記の例と基本的には同じであり、用途も髪飾りの一種とみられる。

・ニホンジカ *Cervus nippon*

鹿角製の垂飾り品

試料名：V-H4 No18

現存するのがわずかに24.68mmほどの小さい破片である。両端を欠損するので原型を窺い難いが、基に近い部分の破片であろう。残欠部分のやや膨らんだ箇所には大きな穿孔が貫通し、さらに平行線と斜行線による線刻がつく。上端と思われる部分は角の先の方にあたるのであろうが、その反対側はソケット状にくり抜かれていたらしい。この製品の径が19mmと太いのもそのためであるらしい。

(3) 獣骨破片

試料名：J-1 貝12

焼けた獣骨片は4点あるが、小さい骨片のために種名は不明である。しかし、イノシシ・シカのような大型獣の骨片であろう。

試料名：J-18 No13

肋骨1：イノシシの若い個体のものか。

肋骨1：中型の獣類のものか。一端に切り痕がみられる。

破片2

表1 分類・同定結果

試料名	貝類	骨角器・獣骨片
J-1 貝9	ヒメコハクガイ1, ドブガイ/ヌマガイ片5, イシガイ左殻1	
J-1 貝10	ヒカリギセル(幼)1, ヒメコハクガイ1, イシガイ右殻1, ドブガイ/ヌマガイ片8	
J-1 貝11	ドブガイ/ヌマガイ片2	
J-1 貝12	ナミコギセル7, イシガイ左殻1・右殻4, 徳威片4	大型獣骨片4
J-1 貝13	イシガイ片2, ハマグリ左殻1	
J-1 貝14		イノシシ下顎大歯の加工品
J-1 貝20		イノシシ腓骨の加工品
J-1 灰層中の貝片	イシガイ左殻1・右殻3	
J-18 No9 カミカザリ		イノシシ腓骨の加工品
J-18 No13 カミカザリ		イノシシ腓骨の加工品, 大型獣肋骨1, 中型獣肋骨1
V-H4 No18		ニホンジカ鹿角製の垂飾り品

3. 結 語

(1) 貝類

淡水産の貝種が主体になっていたのは、本遺跡が内陸河川の沿岸域に立地することから、その場所で採られていた貝種とみてよいであろう。ただし、こうした淡水域の貝としては、他にオオタニシなどが普通に採られるのであるが、そうした貝種を今回の試料中に発見することはできなかった。あるいは殻が薄いため破損した可能性もある。陸産貝を多数検出したのは興味あることであった。おそらくこの地方では初めての検出例であろう。ヒカリギセルガイは落ち葉の堆積地などに棲み、本遺跡の周囲にかなりの樹木の繁っていた様子を示している。

鹹水貝であるハマグリが検出されたのは、こうした貝種が海岸域から運ばれていることを示しており、しかもそのハマグリが貝刃であるらしいことを考えると、はじめからそのための材料として運ばれたことも考えられるが、いずれにしてもこの地域でのハマグリ貝刃の出土例としても注目されよう。

(2) 骨角製品

イノシシの下顎大歯を使っつくられた鎌は、骨角製品のなかでも代表的なもののひとつであるが、これまでの発掘調査事例では、貝塚・洞窟などの遺跡に検出例が多い。したがって内陸地域での出土例は稀である。したがって、この鎌が他地域から持ちこまれたものか、あるいは本遺跡内で製作されていたのか詳細は不明である。

イノシシの腓骨でつくられる刺突具も縄文時代に多い製品である。イノシシの腓骨はそれ自体骨を切り裂くなどの加工をしなくとも細身のものを作ることができるので、各時代でも作られている。しかし、本遺跡のようにこの製品のさまざまな形態の製品が知られたのは珍しいことである。

鹿角の加工品は精巧な作りのものであるが、余りに断片であるために原型を明らかにできなかったのが惜まれる。

以上に述べた骨角製品は、縄文時代後期の特徴を十分に表現しており、こうした製品が内陸地域で確認されたことの意義は大きい。これまでこうした製品の発見例がこの地域に少なかったからであるが、こうした例によって骨角器文化のこれまで知られなかったひろがりや地域的な特色が新たに理解されていくと思われる。

縄文時代後期の住居址から検出された貝片・鳥・獣類遺体・骨角器の分類・同定(第2報)

早稲田大学 金子浩昌

石神遺跡では縄文時代後・晩期の住居址や土坑から、骨・貝類や骨角器が豊富に出土している。浅間山南麓という極めて酸性が強いと思われる土壤条件下にあるにもかかわらず、本遺跡から出土したこれらの試料の保存は良好である。通常内陸部の集落では欠落することの多い当時の動物資源の実態について実試料に基づいて語ることのできる好材料である。

当社では、すでに第1報として、縄文時代後期(加曾利B2式)のJ1号住居址とJ18号住居址より出土した骨・貝・骨角器、および奈良・平安時代のH4号住居址より出土した骨角器について報告を行った。その際試料としたものは、多数の試料中から抽出された骨角器・貝類が中心で、縄文時代後期のJ1・J18号住居址ではイノシシ製の骨角器が、奈良・平安時代のH4号住居址ではニホンジカ製の骨角器が確認された。また、J1号住居址の貝類はイシガイ・ヌマガイ・ドブガイなど淡水産や陸産のヒカリギセルガイが主体であったが、貝刃として使用された可能性がある鹹水産のハマグリが含まれており、本遺跡と海岸域との関係が示唆された。

今回、新たにJ1号住居址から骨角器や貝が抽出されたので、第1報を補う意味で、その分類・同定を行うこととした。また、前回食料残渣などと考えられる骨片についてはほとんど検討を行っていないので、これを補うため、出土量が豊富で保存が極めて良好なJ10号住居址を中心に、分類・同定を行うこととした。

分類・同定は、本遺跡の骨・貝類の観察を継続的にお願いしている早稲田大学金子浩昌先生の御協力を得た。また試料の抽出および洗浄作業の一部は、当社にて行った。

(パリオ・サーヴェイ株式会社)

はじめに

本遺跡からは多くの保存のよい動物骨が出土している。酸性土壤の発達する日本の場合大変珍しいことである。本遺跡の動物遺体によって、これまで貝塚、低湿地遺跡あるいは洞窟遺跡においてしか知ることのできなかつた動物骨の調査が内陸部においても可能になり、われわれの知見を深めたのであった。今回はJ1・J10号住居址において検出した試料を中心に観察を行ったので、全体からみれば標本の数は少なかったが、本遺跡における動物遺体の在り方について理解するに充分であった。

1. 試料

試料は、縄文時代後期(加曾利B2式)の住居址(J1号住居址・J10号住居址)から検出されたものである。J1号住居址は貝片7点(貝2~8)、骨角器4点、J10号住居址は、鳥・獸骨片26袋である。1袋中には、複数の試料が入っていることが多い。J10号住居址試料の袋には、B1~19までの番号が付されているものもあるが、番号が重複するものがある。またこのような番号が全く付されていないものもある。発掘調査担当者に確認したところでは、住居址内の試料は一括して取り上げられたようで、B1~19までの番号は取り上げた順を示すものらしい。本報文ではこれを踏襲して結果表を作成したが、本文中では一括して記載を進めた。

2. 同定結果

今回、J1・J10号住居址から検出された動物遺体は、淡水・鹹水産の貝類、鳥類・哺乳類の骨および骨角器である。貝類の分類については、第1報を参照されたい。

(1) 貝類

①イシガイ *Unio douglasiae*・ドブガイ *Anodonta woodiana*

淡水産種のイシガイ(5点)、ドブガイ(1点)と鹹水産種のハマグリ(1点)が確認された。第1報で報告した組成中にみられるものばかりであったが、ヒカリギセルなどの陸産種はみられなかった。

腹足類の貝類では、イシガイが最も多い。前回同様殻頂部およびその近域付近の破片のみである。殻が真珠質で脆弱なため、住居址内への廃棄時や発掘調査時に壊れたと考えられる。取り上げ時にある程度の大きさ以下のものは排土とともに捨てられたのであろうから、前回報告文を加えた以上の数の殻がJ1号住居址内にあったと考えるのが自然である。付近の池・沼状の水域で採取され、食用とされたのであろう。

②ハマグリ *Meretrix lusoria*

鹹水産種のハマグリは、殻長約40mmの小さい殻で、第1報で報告したものと形質が良く似る。

腹縁部に長さ1cm程の小剥離痕が3箇所連続して認められるが、発掘調査時に傷ついたものか貝刃として使用された痕跡なのか判断に迷うところである。

表1 J1 骨位層址貝類分類・測定結果

試料名	種 名
貝2	ハマグリ 右殻1
貝3	イシガイ(?) 1
貝4	ドブガイ 右殻1
貝5	ドブガイ 1
貝6	イシガイ 1
貝7	イシガイ 1
貝8	イシガイ 1
貝9	ヒメコハクガイ1、ドブガイ/ヌマガイ片5、イシガイ 左殻1
貝10	ヒカリギセル(幼) 1、ヒメコハクガイ1、イシガイ右殻1、ドブガイ/ヌマガイ片8
貝11	ドブガイ/ヌマガイ片2
貝12	ナミコギセル7、イシガイ左殻1・右殻4、他破片4
貝13	イシガイ片2、ハマグリ左殻1
灰層中	イシガイ左殻1・右殻3

*貝2～8が今回報告分で、他は第1報で報告済み分である。

(2) 鳥類 Aves

①キジ *Phasianus colchicus*

・大腿骨L 骨体 1、脛骨L 1

大腿骨は近、遠位骨端は欠くが、脛骨は近位骨端をわずかに欠くほかはほぼ完存する。骨髄食のために骨体は壊されることが普通である。この骨は付いていた肉を食用とする他に、骨を利用しようとする目的があったとも考えられる。例えば骨体を輪切りにして垂飾品などがつくられる。この骨の遠位骨端前面、内・外頰の部分には切痕がみられ、この部分に付く靭帯を切断するための加工であったことがわかる。この切断によって中足以下が切り外されたのであろう。

大腿骨略中央径6.50mm (ヤマドリに近い計測値である。)

脛骨遠位骨端幅9.96mm

(3) 哺乳類

①ヒト *Homo sapiens*

頭蓋後頭骨片1点があるのみである。外後頭隆起が認められ、内側には縦に走る内後隆起が認められる。

②オオカミ *Canis lupus*

・踵骨 L 1

完存する骨である。がっちりとした形で距骨との関節面が大きい。イヌ科のなかでは大きく、当時の飼いイヌと比べるとはるかに大きい。この頃の飼いイヌの大きさはせいぜい中型までである。この標本は大型犬のそれに一致する。縄文時代には大型犬が飼育されていないと考えているので、本標本はオオカミになると判断した。

踵骨全長50.90mm (大型犬の踵骨全長：48.47mm)

③イノシシ *Sus scrofa*

シカとともに多くの遺体が出土しているが、量的にはシカに比べて少ない。

・上顎骨

L・R (i¹CP²~P⁴) 雌獣

L (P⁴・M¹~M²) 及び頬骨突起の一部がのこる。この突起は大きく雄獣のものと思われる。

上顎犬歯 L 1：この犬歯と上の上顎骨が同一個体のものであるかどうかは不明。

他に遊離した左右の上顎臼歯M²がある。ただし、破損標本もあり、上記の顎骨標本と個体関係を厳密にみるのは難しい。

・下顎骨

下顎骨関節突起Rは関節突起部の幅が、29.82mmある大型のもの。他に下顎犬歯破片L1。

・側頭骨頬骨突起L

幼獣のもので、生後半年ほどの個体のものである。この大きさの個体の他の部分の骨は検出されていない。

・四肢骨

上腕骨はすべて破片のみであり、右のみ3点がある。

上腕骨R：遠位骨端幅54.31mm、骨端のみを残して打ち割っているもの。大型。

上腕骨R：骨端を欠くが若い個体のももの。

上腕骨R：骨端に近い破片。

桡骨R：近位骨端幅35.33mm、大型である。

頭骨L：遊離した近位骨端骨1。

距骨L：全長(GL1) 48.77mm。

イノシシは幼獣1、若い個体1、成獣で大型の雄、雌各1。最小個体数で計4個体あったと推定される。

④ニホンジカ *Cervus nippon*

もっとも多くの遺体が検出されている。おそらく主体的に捕獲された獣であったのだろう。

・脊椎骨

環椎 2

B-6: 完存する若い個体のもの、環椎幅82.15mm、同長72.85mm。

B-19: 二分の一を残すのみの標本であるが、上記標本よりもさらに小さいもの。

頸椎

B-9: 2点、上記環椎と同一の個体のものか。

胸椎、腰椎も少数出土している。

・頭蓋骨

1) 幼獣骨

上顎骨

J-10: L ($dm^2 \sim dm^4 M^{1.2}$)

B-12: L ($dm^2 \sim M^1$)

下顎骨

B-8: L ($dm_{1,2}, M_{1,2}$) この下顎骨は上記上顎骨と歯牙の萌出状況がほとんど同じであるが、大きさが異なり別個体である。若獣3個体(1年数カ月位の年齢)。

2) 成獣骨

B-3: R ($P_{1,2}, M_1$)、 M_1 の咬耗はかなり進行している。

M_3

R 3点 (歯冠長:L, 歯冠幅:B)

1: L: 24.95mm, B: 11.58mm, 2: L: 24.50mm, B: 11.67mm, 3: L: 25.55mm, B: 12.46

mm

上記の1~3までの M_3 は咬耗の状況から、1は2.5才、2は3.5才、3は5.5才と推定される。

J-10: R ($P^4 M^{1-3}$)、 LM^2 は大きさ、咬耗ともにほぼ似ているもの。

成獣2個体になる。

・四肢骨

肩甲骨

B-6: R 頸部最小幅22.81mm。

B-15: L 頸部最上幅17.86mm、若くて小さい個体のもの。

上腕骨

骨端の完存する標本はなかった。

橈骨

B-17: 近位骨端R・Lがあり、ほぼ同じ大きさである。近位骨端幅39.08mm(R)。近位骨端幅36.37mm。

尺骨

B-19: 近位骨端L SDO 35.42mm, DPA 42.40mm、大型のもの。

距骨

左右の部位がもっとも多く出土している骨である。

B-17: 下表の通り

	右		左			
長さ	47.32mm	41.75mm	43.97mm	43.69mm	43.24mm	41.36mm
幅	27.98mm	25.70mm	28.62mm	—	26.88mm	

上記の標本を左右比較すると、5個体を推定してよいであろう。いずれも雄獣ではないかと思われる。

脛骨

B-18: R 遠位骨端幅35.66mm、骨体最小幅24.15mm。

シカは上述の歯牙から若獣3個体、成獣3個体が最小個体数として推定される。

(4) 骨角器

第1報で報告した骨角器はいずれもイノシシであったのに対して、今回の4点の試料はいずれも鹿角製(ニホンジカ *Cervus nippon*)であった。

縄文時代後期の骨角器の素材として、本地域ではイノシシの骨の他にニホンジカの角が用いられたことがわかる。

①試料名: J1-1 骨角器…鹿角鏃

全長88.55mm、最大幅15.78mm、最大厚5.88mm、基部最大幅6.35mm、基部最大厚5.07mm。

基部の末端をわずかに欠損するが、ほぼ完形の有茎の鹿角鏃。鹿角の角幹を縦に薄く削ったものを素材としたらしく、片面に角幹緻密部が、もう片面の中央部に海綿体がみられる。これを左右対称に磨き出したと考えられる。縁辺部に刃こぼれや磨減はみられず、製作時の調整痕とみられる擦痕は、基部付け根付近を中心に表裏とも明瞭に観察できるところから、製作後使用されることなく埋積したものと考えられる。

②試料名: J1 骨角器…骨針頂部

現存長34.89mm、軸部直径4.75mm、頂部直径6.19mm。

頂部端より約15mmまで、条線による装飾が施されている。

深い条線と浅い条線の順で計5本が円周方向に平行して刻まれており、条線によって区画された巾1~2mmの区画内は、さらに細かい斜行する条線が刻まれている。これらの条線内には丹が付着している。また、頂部端には十字の条線がみられる。これらの装飾の1/3は、発掘調査時に欠損したと考えられる。軸部の直径などから長さ100mm程度の骨針であったと考えられる。なお、軸

部直径や表面の質感色調などの形質からみて、③に記す試料と同一個体であった可能性もある。しかし、両者の破損面は接合しない。

③試料名：J 1-1…骨針軸部

現存長28.36mm、軸部直径4.63mm。

外觀は②の試料に極めてよく似るが、直接の接合関係はない。しかし、一端の破損面は折れたのではなく、鋭利なもので斜めに断ち切られたことは明らかである。発掘調査時の破損(いわゆる「ガジリ」)の可能性がある。

④試料名：J 1トレンチ…骨針頭部と竹針先端部

頭部 現存長52.91mm、頭部直径7.28mm、軸部直径3.33mm。

先端部 現存長36.49mm、軸部直径3.42mm。

本来同一個体であったものであることは、形質や軸部直径の近似からわかる。両者とも破損面は磨滅もなく新しいもので、発掘調査時の破損とみられる。頭部は素材の形状をそのまま残し、頭部端では海绵体が一部みとめられる。軸部は、断面が円形になるまで整形されているが、表面は滑らかで擦痕などはみとめられない。本来90mm前後の長さであったと考えられる。

あとがき

上述したように本遺跡J 10号住居址で採取された動物遺体は、シカ、イノシシを主体とし、さらにキジ、オオカミのような種類も含むものであった。1住居址の出土資料としては量的にも多く、縄文時代後期の特徴をよく示すものであったと思われる。特にシカを主体とする点は関東地方の後期貝塚の様相と共通しており、本地域でも海岸部と狩猟の条件が大きく変わっていないことを示して興味深く思われるのである。四肢骨の大きさから雄獣を主とした狩猟があったことも推定されよう。

オオカミは遺体出土の稀な種類であり、その骨の出土数も少ない。今回もそのような状況であった。僅か1点の距骨であったが、この骨には何か意味が含まれていたに違いない。骨の表面についた傷は、この骨が単に捨てられたものではなかったことを推測させる。

また、J 1号住居址より出土した貝類は、陸産種や周辺の淡水域から食用として採取されたとみられるイシガイやドブガイが主体であった。しかし、これらに混じって鹹水産種のハマグリが確認されたことは重要である。3点のうち2点は長さ約40mmと小型のものであったが、注目されるのは貝刃の破片とみられる1点である。糸魚川産とみられるヒスイが周辺の縄文時代後晩期の遺跡から出土することなどとともに、本地域と海岸部との物品の流通を示唆するものであった。

本遺跡の動物遺体については今後の検討によってさらに新しい事実が指摘されるものと思う。その作業をこれからも行い、第1報・第2報の成果を再吟味するつもりである。

表2-1 J10号住居出土骨類調査結果(鳥骨)

地点	種名	r		i		scap.		verl.		hum.		rad.		ul.		mc.		cox.		fc.		tib.		fib.		その他
		r	i	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	
—	キン	r	i																							
	キン	r	i																							
	合計	r	i																							

表2-2 J10号住居北出土骨類調査結果(新骨-1)

地点	種名	r		i		scap.		verl.		hum.		rad.		ul.		mc.		cox.		ta.		tib.		psd		その他
		r	i	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	psd	
—	ヒト	r	i																							
	ヒト	r	i																							
	合計	r	i																							
B-19	オオカミ	r	i																							
	オオカミ	r	i																							
	合計	r	i																							
B-1	イノシシ	r	i																							
B-5	イノシシ	r	i																							
B-18	イノシシ	r	i																							
B-19	イノシシ	r	i																							
が	イノシシ	r	i																							
—	イノシシ	r	i																							
	イノシシ	r	i																							
	合計	r	i																							

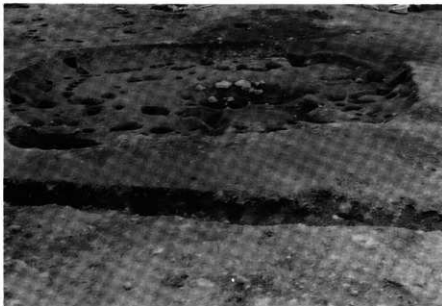
表2-3 J10号生服社出土骨簡面定数表(紙巻-2)

地点	種名	肩胛骨 scap. rib.	肩胛骨 scap. hum.	肋骨 rad.	肋骨 ul.	肋骨 mc.	肋骨 cox.	肋骨 fe.	肋骨 tib.	肋骨 ca.	肋骨 mt.	肋骨 pro.med.	肋骨 dis.	その他		
B-3	シカ	1	1											md.には(P ¹² , M ¹¹)が付く		
B-4	シカ	1														
B-6	シカ	1	1													
B-7	シカ	1														
B-8	シカ	1												md.には(dm ¹⁴ , M ¹¹)が付く		
B-9	シカ	1				cl2					1			max.には(dm ¹⁴ , M ¹¹)が付く 中手/中足骨片		
B-12	シカ	1														
B-13	シカ	1														
B-14	シカ	1														
B-15	シカ	1												met.(d) P/1. 肩甲骨(破片)		
B-16	シカ	1														
B-17	シカ	1								2						
B-18	シカ	1												M ¹ , I.		
B-19	シカ	1												M ¹ , r., (2個), P ¹ , r., P ¹ , r		
—	シカ	1	3	1	1	1	1	2	1	1	1	4	3	1	md.のうち1つには(P ¹ , M ¹¹)が付く max.のうち1つには(dm ¹⁴ , M ¹¹)が付く 腕骨と肋骨突起(3個), ass., st., P ¹ , M ¹¹ , 指関節, 中足骨-第1趾骨, 1.M ¹ , 1.2趾骨, 第2趾骨	
—	シカ	1	1	1	1	1	1	2	1	2	1	1	4	3	1	
5 ^号	イノシシ/シカ	1	1	1	1	1	1	2	1	2	1	1	1			
—	イノシシ/シカ	1														
—	イノシシ/シカ	1														
—	イノシシ/シカ	1														
—	小豚	1												小豚骨片 1		

圖 版



J 1 号住居址

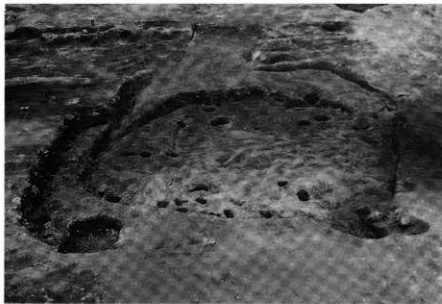


J 2 号住居址

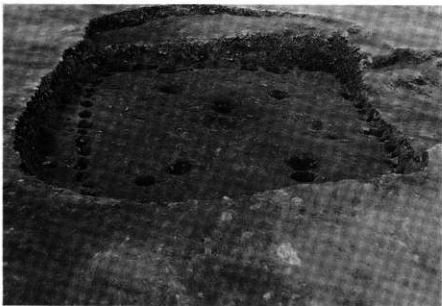


J 3 号住居址

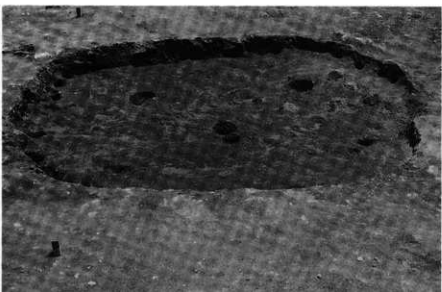
图版 2



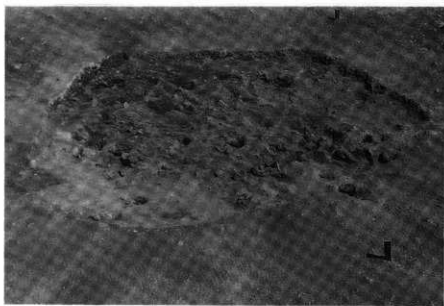
J 4号住居址



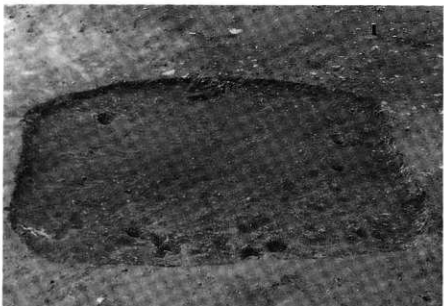
J 5号住居址



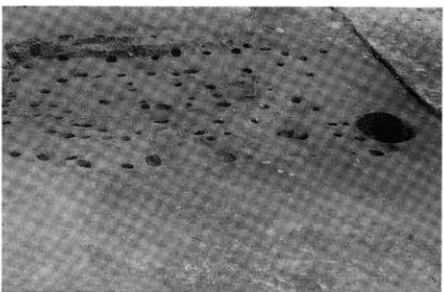
J 6号住居址



J 7号住居址



J 8号住居址

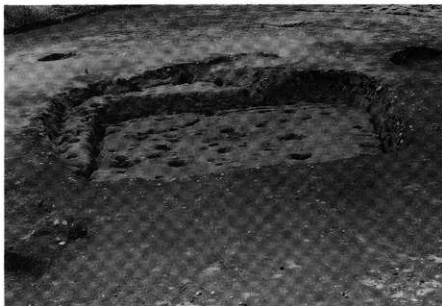


J 9号住居址

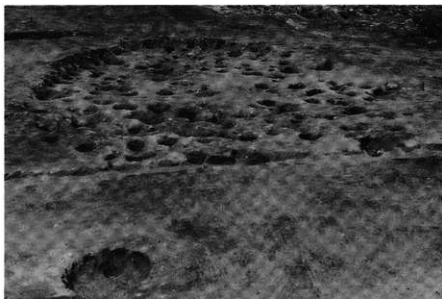
图版 4



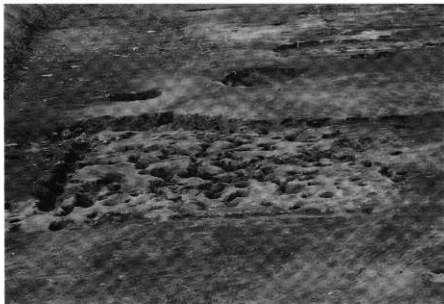
J 10号住居址



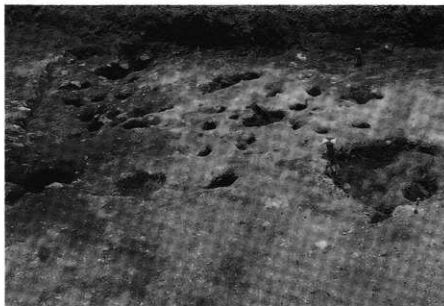
J 11号 (右)
J 7号 (右上)
住居址



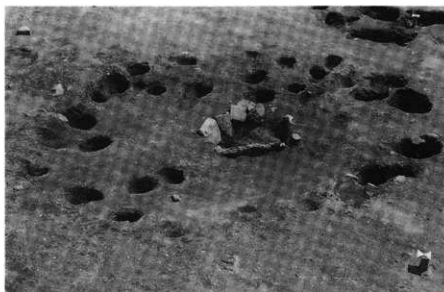
J 12号住居址



丁13号住居址

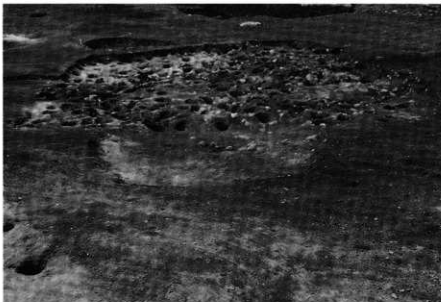


丁14号住居址



丁15号住居址

图版 6



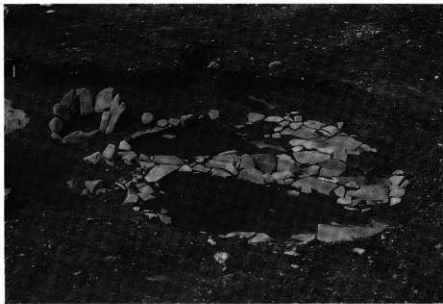
J 16号住居址



J 18号住居址



J 19号住居址



J 21号住居址



J 22号住居址

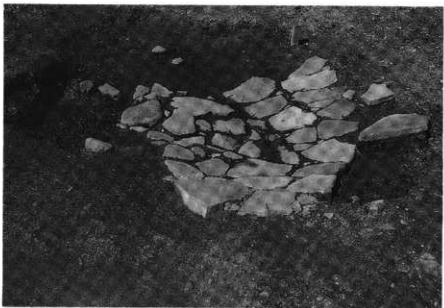


J 24号住居址

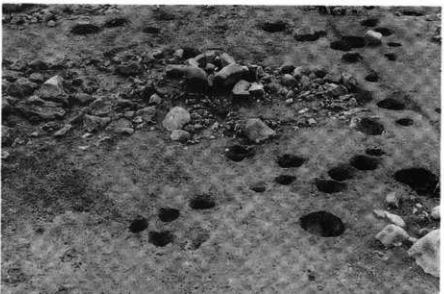
图版 8



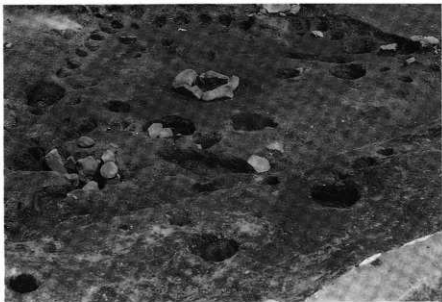
J 25号住居址



J 26号住居址



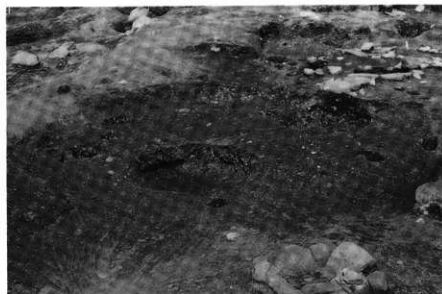
J 27号住居址



J 28号住居址

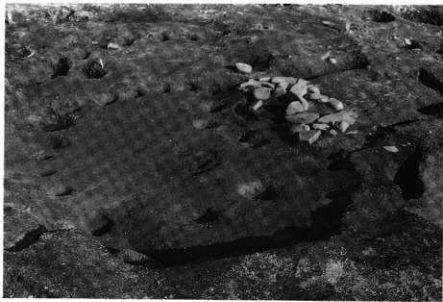


J 29号住居址

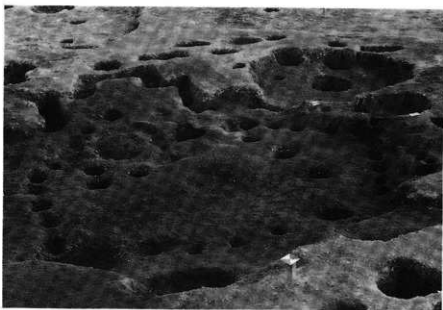


J 31号住居址

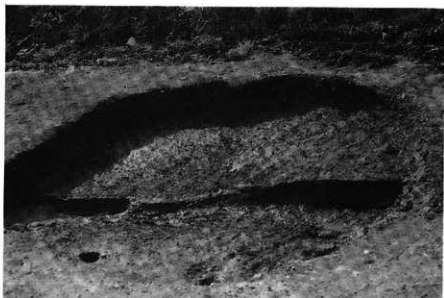
图版10



J 32号住居址



J 32号住居址
(摄影)



J 33号住居址



J 34号住居址



J 37号住居址

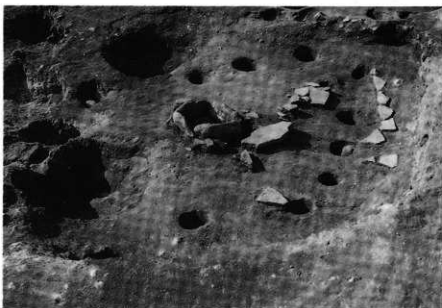


J 38号住居址

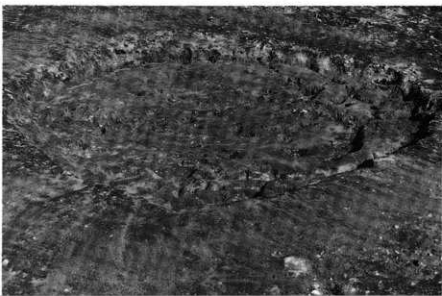
图版 12



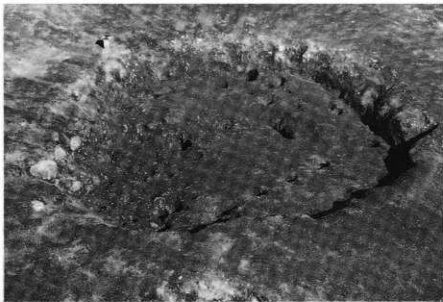
J 39号住居址



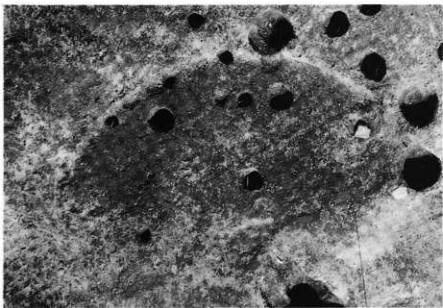
J 40号住居址



J 41号住居址



J 42号住居址



J 43号住居址



J 44号住居址

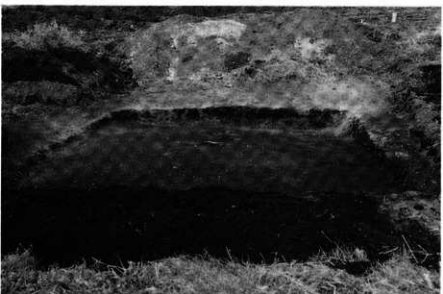
图版14



J 46号住居址



SK175号土坑内
炉址



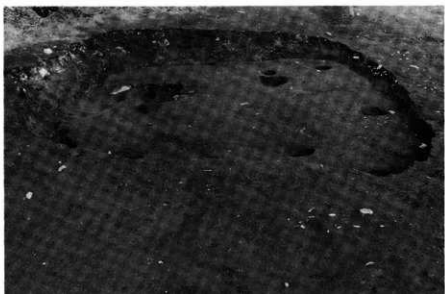
H 1号住居址



H 2 号住居址



H 3 号住居址



H 4 号住居址

图版16



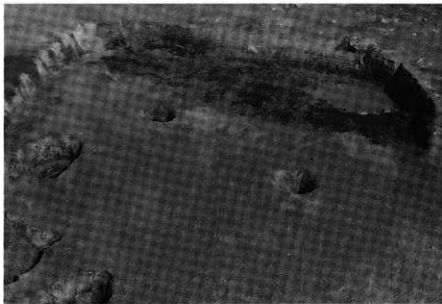
H 5 号住居址



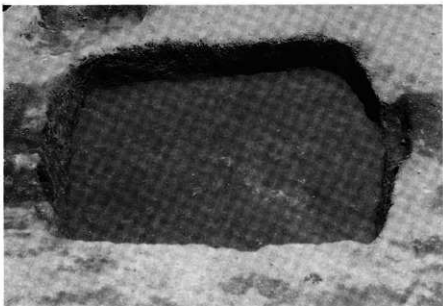
H 7 号住居址



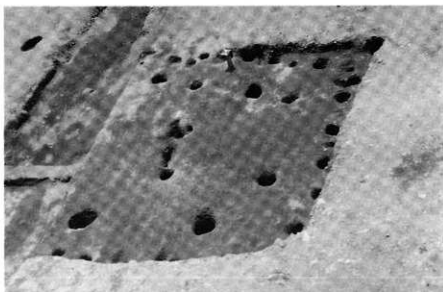
H 8 号住居址



H9号住居址

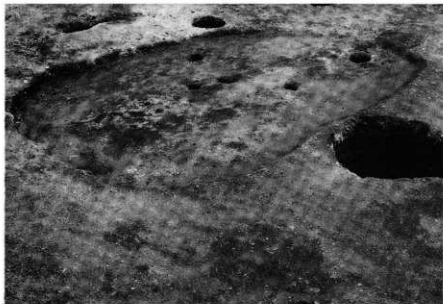


第2号竖穴状遺構

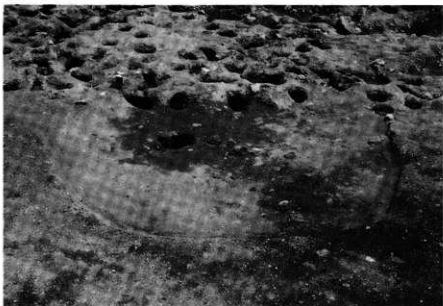


第3号竖穴状遺構

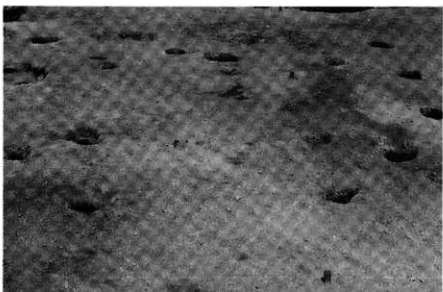
図版18



第5号壑穴状遺構



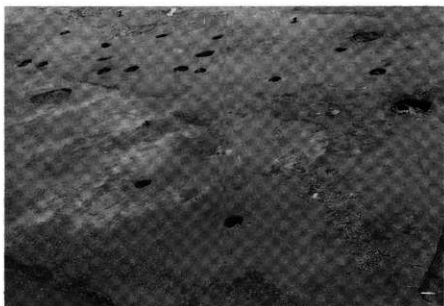
第6号壑穴状遺構



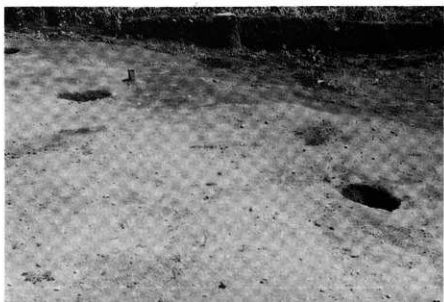
第1号
掘立柱建物址



第2号
掘立柱建物址



第3号
掘立柱建物址

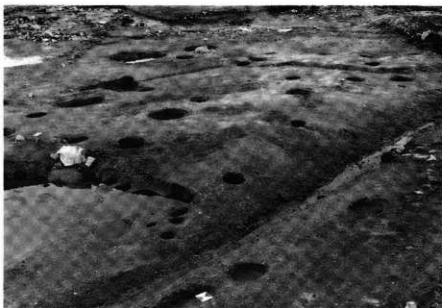


第5号
掘立柱建物址

図版20



第9号
掘立柱建物址



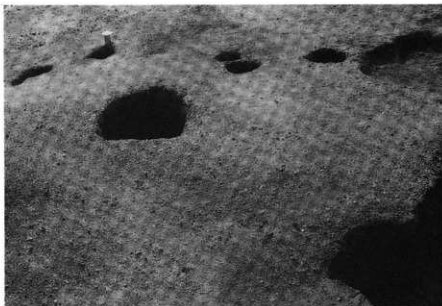
第10号
掘立柱建物址



第12号
掘立柱建物址



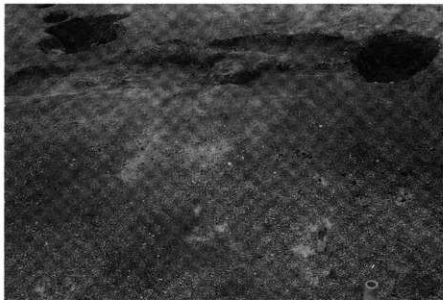
第13号
掘立柱建物址



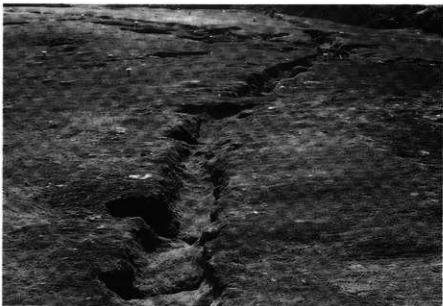
第14号
掘立柱建物址



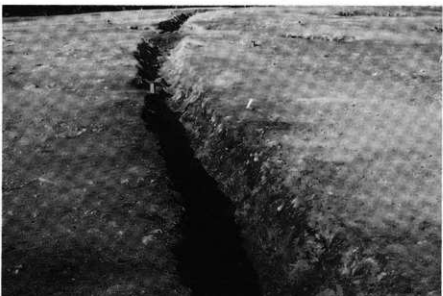
第1号溝址



第2号沟址



第3号沟址



第4号沟址



第2号石棺墓



第3号石棺墓



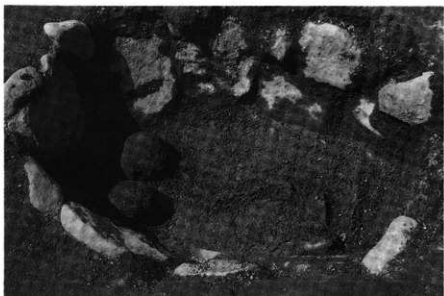
第4号石棺墓



第5号石棺墓



第6号石棺墓



第7号石棺墓



第8号石棺墓



第9号石棺墓



第10号石棺墓

图版26



第11号石棺墓



第12号石棺墓



第13号石棺墓



第14号石棺墓
(奥)



第15号石棺墓



第16号石棺墓

图版28



第17号石棺墓



第18号石棺墓



第19号石棺墓



第20号石棺墓



第21号石棺墓



第22号石棺墓

图版30



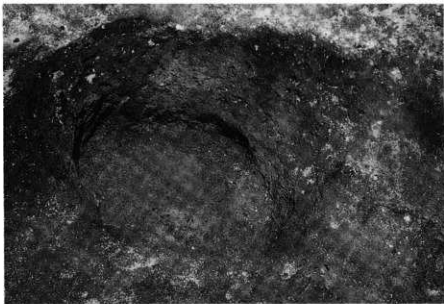
第1号土坑墓



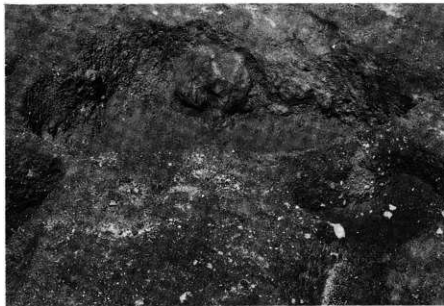
第2号土坑墓



第3号土坑墓



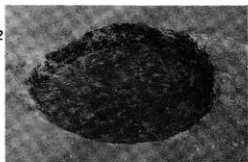
第4号土坑墓



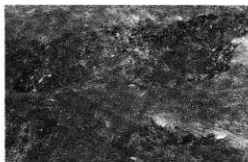
第5号土坑墓



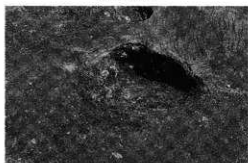
配石址



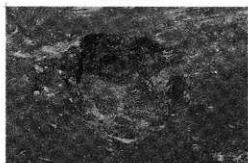
第1号土坑



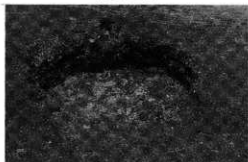
第2号土坑



第3号土坑



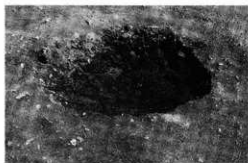
第4号土坑



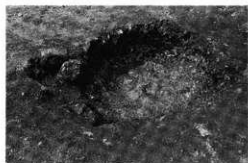
第5号土坑



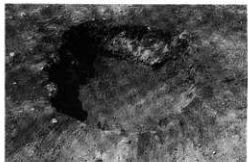
第6号土坑



第7号土坑



第8号土坑



第10号土坑



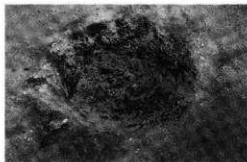
第11号土坑



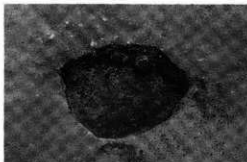
第12号土坑



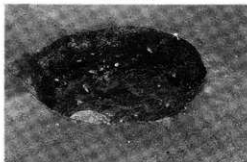
第13号土坑



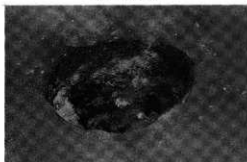
第14号土坑



第15号土坑



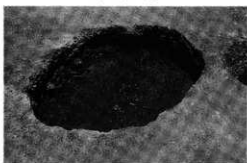
第16号土坑



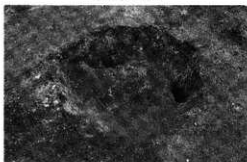
第17号土坑



第18号土坑



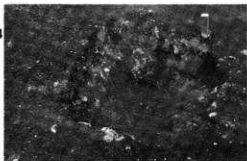
第19号土坑



第20号土坑



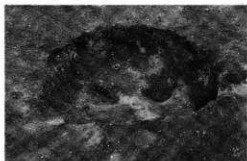
第21号土坑



第22号土坑



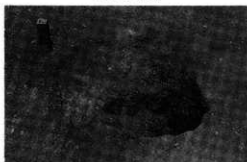
第23号土坑



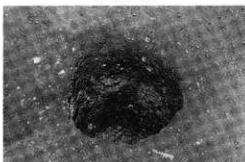
第24号土坑



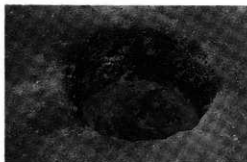
第25号土坑



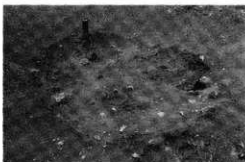
第26号土坑



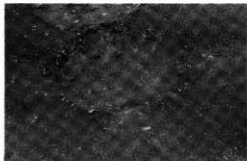
第27号土坑



第28号土坑



第29号土坑



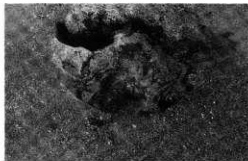
第30号土坑



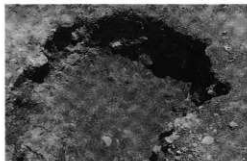
第31号土坑



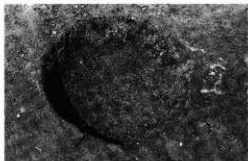
第32号土坑



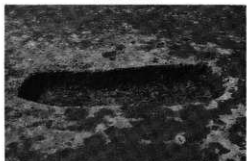
第33号土坑



第34号土坑



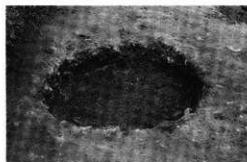
第35号土坑



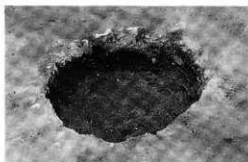
第36号土坑



第37号土坑



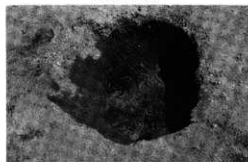
第38号土坑



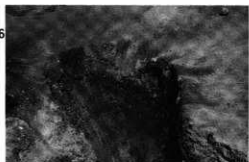
第39号土坑



第40号土坑



第41土坑



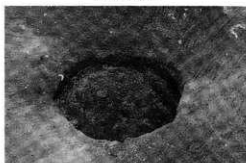
第42号土坑



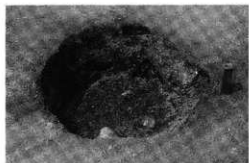
第43号土坑



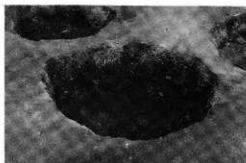
第44号土坑



第45号土坑



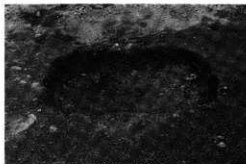
第46号土坑



第47号土坑



第48号土坑



第49号土坑



第50号(手前)51号(奥)土坑



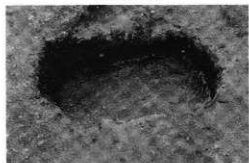
第52号土坑



第53号土坑



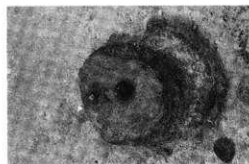
第54号土坑



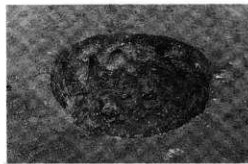
第55号土坑



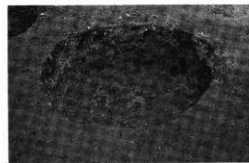
第56号土坑



第59号土坑



第60号土坑



第61号土坑



第62号土坑



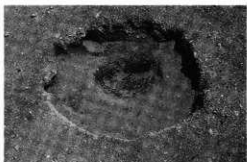
第63号土坑



第64号土坑



第65号土坑



第66号土坑



第67号土坑



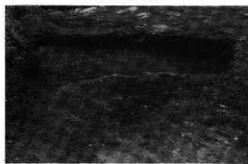
第68号土坑



第69号土坑



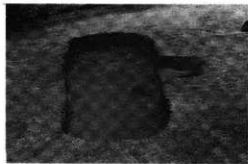
第70号土坑



第71号 (右) 96号 (左) 土坑



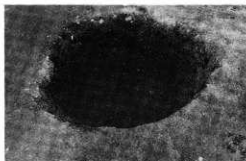
第72号 (右) 95号 (左) 土坑



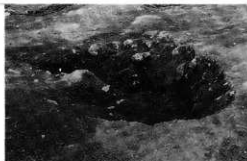
第73号 (左) 123号 (右) 土坑



第75号土坑



第77号土坑



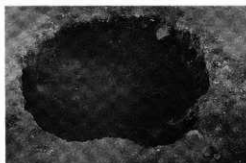
第78号土坑



第79号土坑



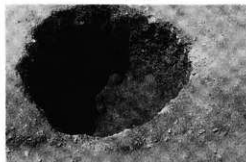
第80号土坑



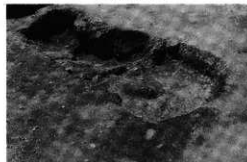
第81号土坑



第83号土坑



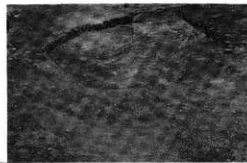
第84号土坑



第87号土坑



第88号土坑



第89号土坑



第90号土坑



第91号土坑



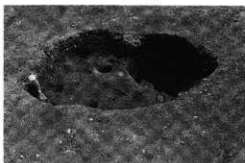
第92号土坑



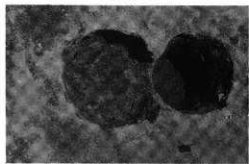
第93号土坑



第94号土坑



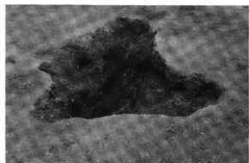
第97号土坑



第98号(右) 112号(左) 土坑



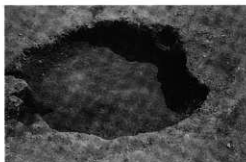
第99号土坑



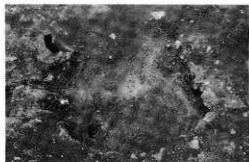
第100号土坑



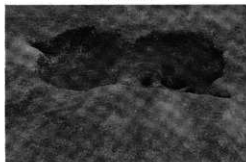
第101号土坑



第105号土坑



第106号土坑



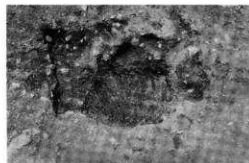
第107号土坑



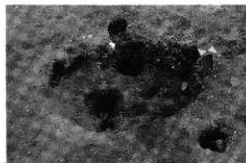
第108号土坑



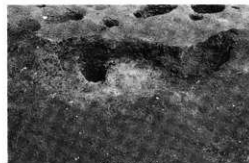
第109号土坑



第110号土坑



第111号土坑



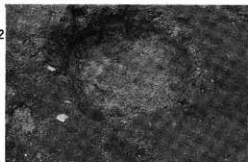
第114号土坑



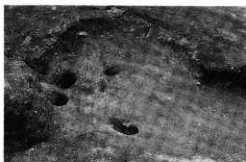
第115号土坑



第116号土坑



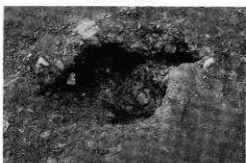
第117号土坑



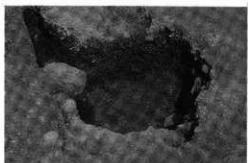
第118号土坑



第119号土坑



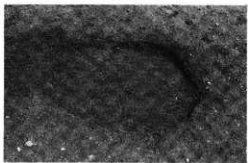
第120号土坑



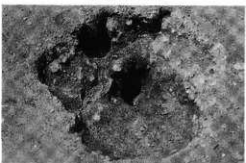
第121号土坑



第122号土坑



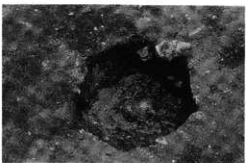
第124号土坑



第125号土坑



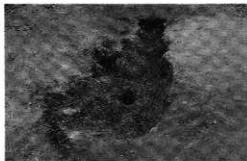
第126号土坑



第127号土坑



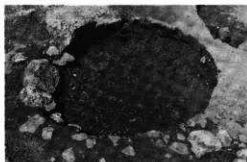
第128号土坑



第129号土坑



第130号土坑



第131号土坑



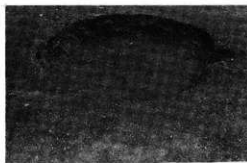
第132号土坑



第133号土坑



第134号土坑



第135号土坑



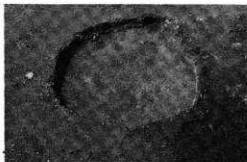
第136号土坑



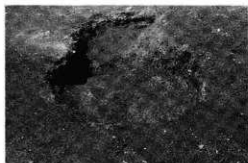
第137号土坑



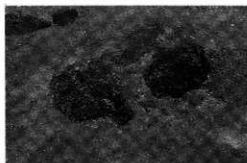
第138号土坑



第139号土坑



第141号土坑



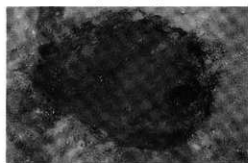
第142号土坑



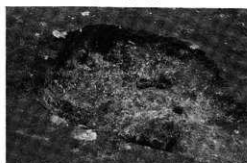
第143号土坑



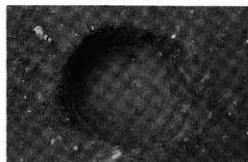
第144号土坑



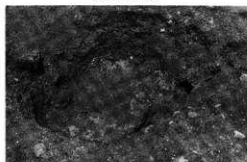
第145号土坑



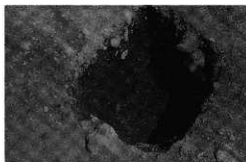
第147号土坑



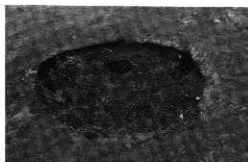
第148号土坑



第149号土坑



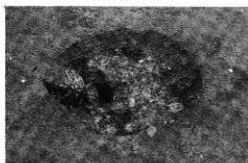
第150号土坑



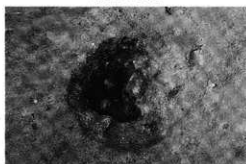
第151号土坑



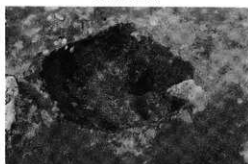
第152号土坑



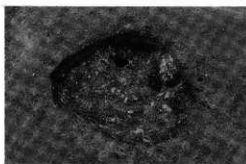
第153号土坑



第154号土坑



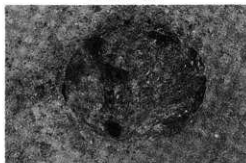
第155号土坑



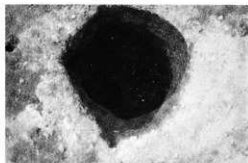
第156号土坑



第157号土坑



第158号土坑



第159号土坑



第160号土坑



第161号土坑



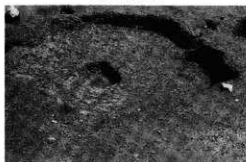
第162号(右) 163号(左)土坑



第164号土坑



第165号土坑



第166号土坑



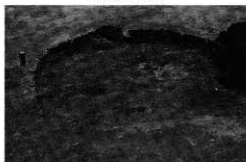
第167号土坑



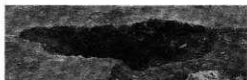
第168号土坑



第169号(左) 176号(右)土坑



第170号土坑



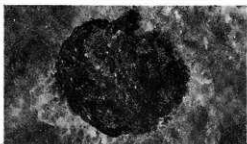
第171号土坑



第173号土坑



第175号土坑



第178号土坑



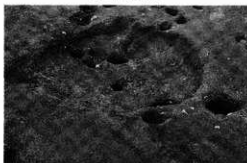
第180号土坑



第172号土坑



第174号土坑



第177号土坑



第179号土坑



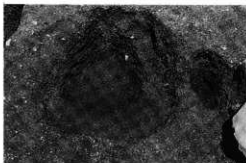
第182号土坑



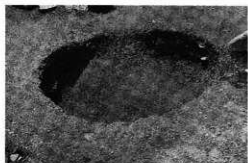
第183号土坑



第184号土坑



第185号土坑



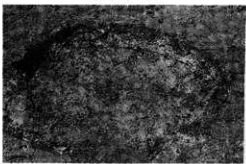
第186号土坑



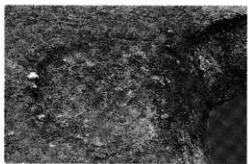
第187号土坑



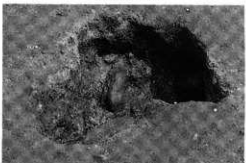
第188号土坑



第189号土坑



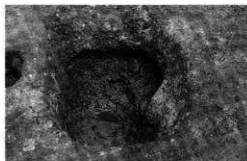
第190号土坑



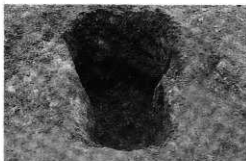
第191号土坑



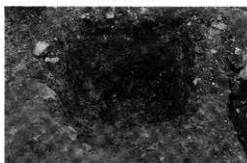
第192号土坑



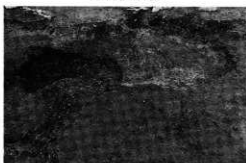
第193号土坑



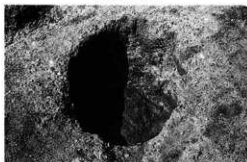
第194号土坑



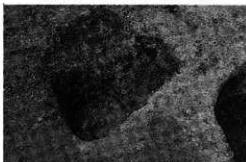
第195号土坑



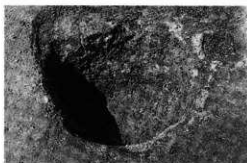
第196号(左) 197号(右) 土坑



第198号土坑



第199号土坑



第200号土坑



第201号土坑



第202号(奥) 土坑



第203号(左上) 236号(上中) 237号(下右)
238号(下左) 242号(上右) 土坑



第204号土坑



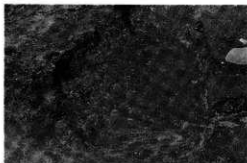
第205号土坑



第206号土坑



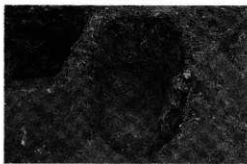
第207号土坑



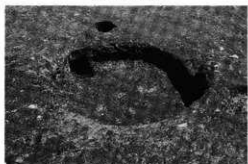
第208号土坑



第209号土坑



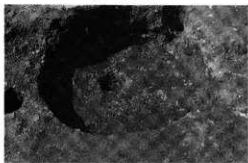
第210号土坑



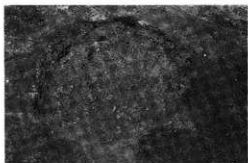
第211号土坑



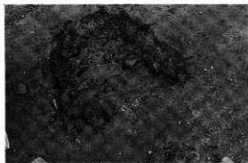
第212号土坑



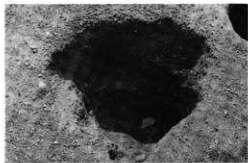
第213号土坑



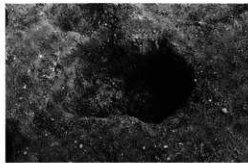
第215号土坑



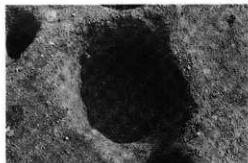
第216号土坑



第217号土坑



第218号土坑



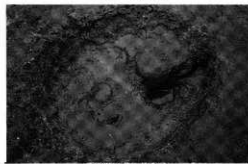
第219号土坑



第220号土坑



第221号土坑



第222号土坑



第223号(右) 231号(左)土坑



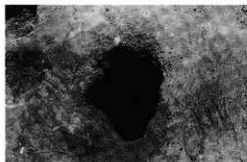
第224(右) 232(左) 239(中)号土坑



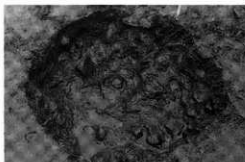
第225号土坑



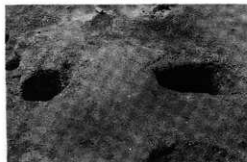
第226 (右奥) 234 (右) 235 (左) 号土坑



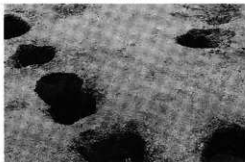
第227号土坑



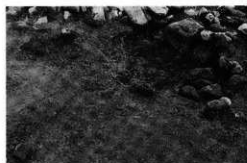
第228号土坑



第229号 (右) 230号 (左) 土坑



第233 (上左) 263 (下左) 264 (右) 号土坑



第240号土坑



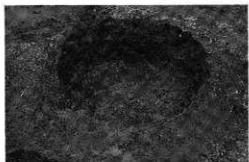
第241号土坑



第243号 (左上) 244号 (右上)
246号 (左下) 262号 (右下) 土坑



第245号土坑



第247号土坑



第248 (左) 249号 (右) 土坑



第250号土坑



第251号 (右) 252号 (左) 土坑



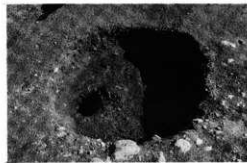
第253号 (右) 336号 (左) 土坑



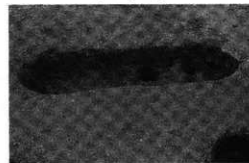
第254号土坑



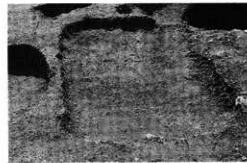
第255号土坑



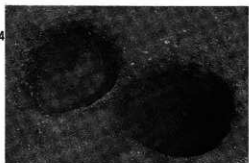
第256号土坑



第257号土坑



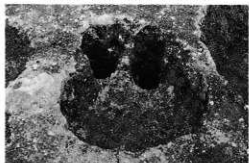
第258号土坑



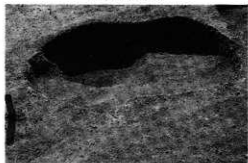
第259号(左) 260号(右) 土坑



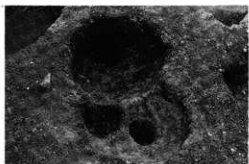
第261号土坑



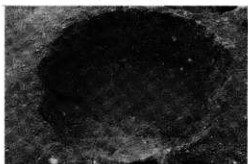
第265号土坑



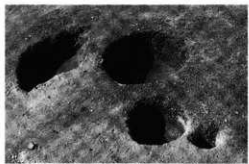
第266号土坑



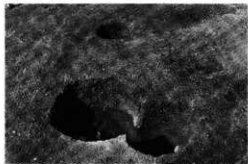
第267号土坑



第268号土坑



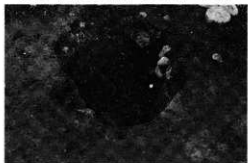
第269号(左) 270(右) 282(下) 号土坑



第271(左) 272(右) 283(上) 号土坑



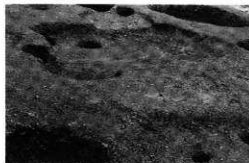
第273号土坑



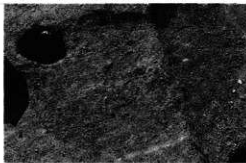
第274号土坑



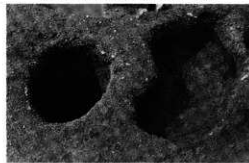
第275 (右) 276 (左) 277 (中) 号土坑



第278号 (上) 357号 (下) 土坑



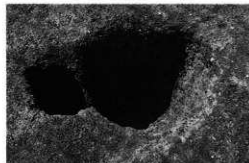
第279号土坑



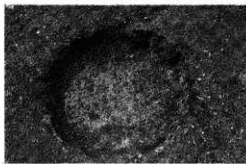
第280号 (左) 334号 (右) 土坑



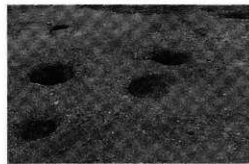
第281号 (右) 359号 (左) 土坑



第284号土坑



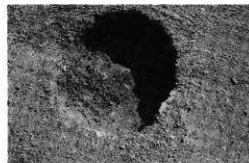
第285号土坑



第286号 (右) 287号 (右) 土坑



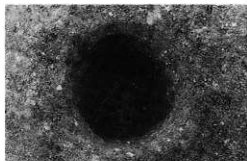
第288号 (下) 355号土坑 (上)



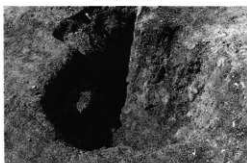
第289号土坑



第290号土坑



第291号土坑



第292号土坑



第293号土坑



第294号土坑



第295号土坑



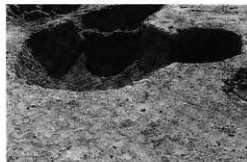
第296号土坑



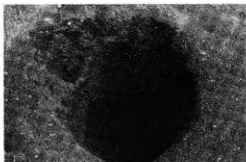
第297号土坑



第298号土坑



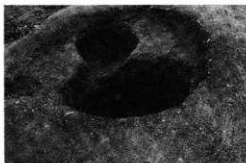
第299号(左) 363号(右)土坑



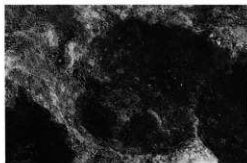
第300号土坑



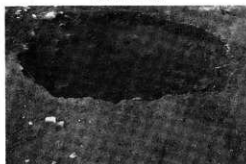
第301号土坑



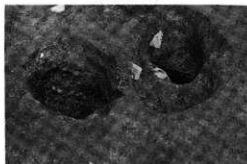
第302号土坑



第303号土坑



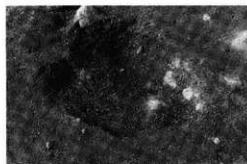
第304号土坑



第305号(右) 306号(左)土坑



第307号土坑



第308号土坑



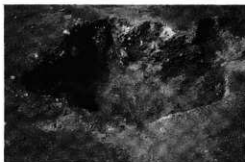
第309号土坑



第310号土坑



第311号土坑



第312号土坑



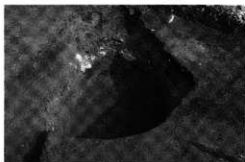
第313号土坑



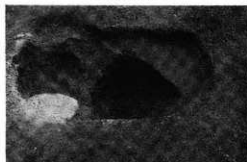
第314号(手前) 330号(奥)土坑



第315号土坑



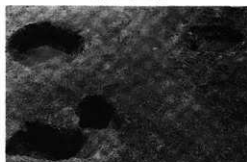
第316号土坑



第317号土坑



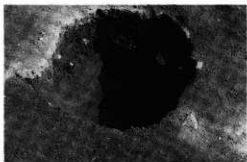
第318号(奥) 366号(手前)土坑



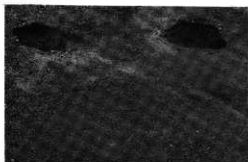
第319号(左) 381号(右)土坑



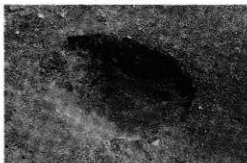
第320号土坑



第321号土坑



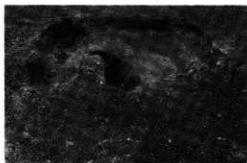
第322号(右) 329号(左)土坑



第323号土坑



第324号(右) 325号(左)土坑



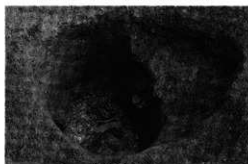
第326号土坑



第327号(左) 328号(右)土坑



第331号土坑



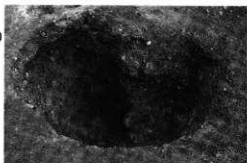
第332号土坑



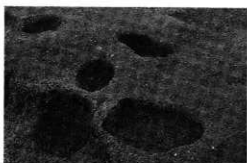
第333号(左) 335号(右)土坑



第337号土坑



第338号土坑



第339号土坑と周辺ピット



第340号土坑



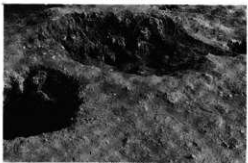
第341号土坑



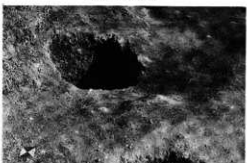
第342号土坑



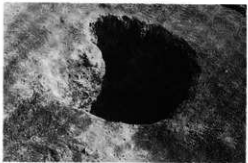
第343号土坑



第344号土坑



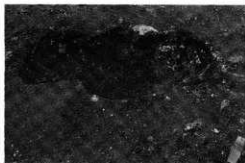
第345号土坑



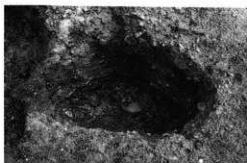
第346号土坑



第347号(右) 358号(左)土坑



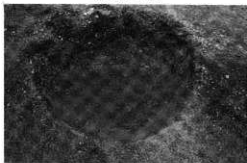
第348号土坑



第349号土坑



第350号土坑



第351号土坑



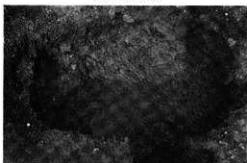
第352 (右) 353 (左) 354 (奥) 号土坑



第356号土坑



第360号土坑



第361号土坑



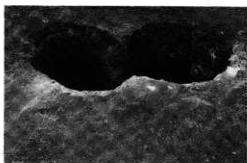
第362号土坑



第364号土坑



第365 (中) 380 (奥) 383 (手前) 号土坑



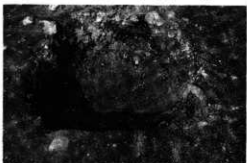
第367号 (左) 368号 (右) 土坑



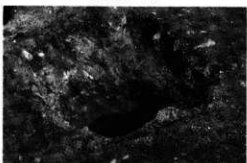
第369号 (左) 376号 (右) 土坑



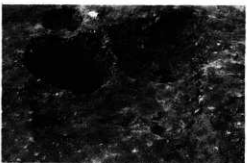
第370号土坑



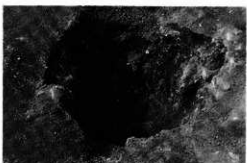
第371号土坑



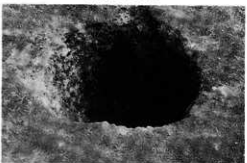
第372号土坑



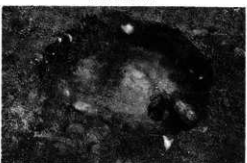
第373号土坑



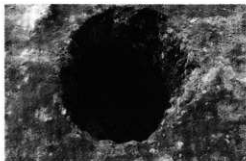
第374号土坑



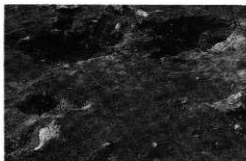
第375号土坑



第377号土坑



第378号土坑



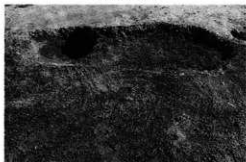
第379号土坑



第382号土坑



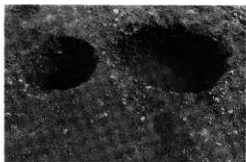
第384号土坑



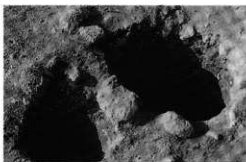
第385号土坑



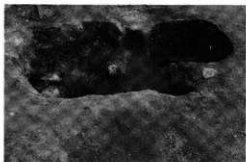
第386号土坑



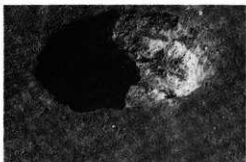
第387号 (左) 388号 (右) 土坑



第389号土坑



第390号土坑



第391号土坑



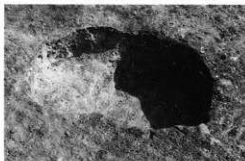
第392号土坑



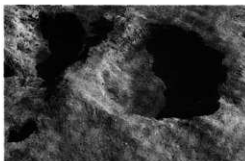
第393号(奥) 397号(手前)土坑



第394号土坑



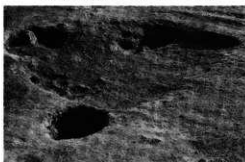
第395号土坑



第396号(右) 421号(左)土坑



第398号(右) 405号(左)土坑



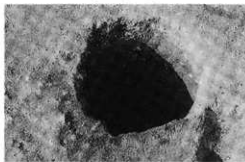
第399·400·401·424号土坑



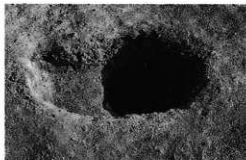
第402号土坑



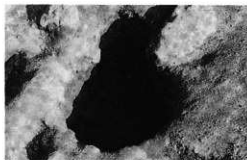
第403号土坑



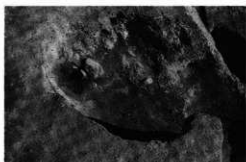
第404号土坑



第406号土坑



第407号土坑



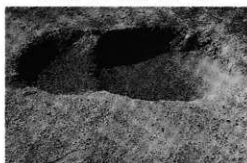
第408号土坑



第409号(上) 410号(下) 土坑



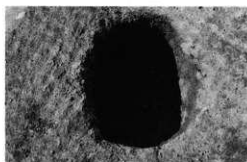
第411号土坑



第412号土坑



第413号土坑



第414号土坑



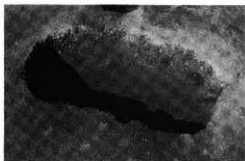
第415号土坑



第416号(左) 417号(右) 土坑



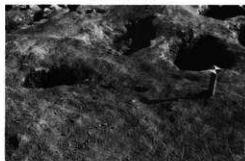
第418号土坑



第419号土坑



第420号土坑



第422 (右) 426 (左) 483 (中) 号土坑



第423号土坑



第425号土坑



第427号土坑



第428号土坑



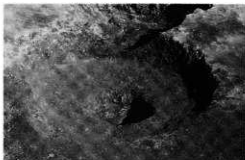
第429号土坑



第431号土坑



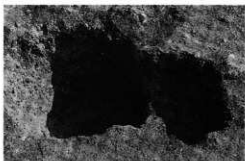
第432号土坑



第433号土坑



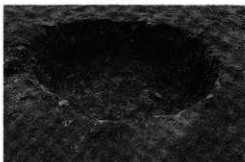
第434 (中) 435 (右) 436 (左) 号土坑



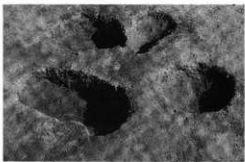
第437号土坑



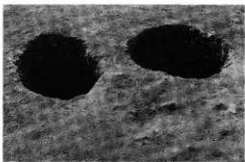
第438号 (左) 444号 (右) 土坑



第439号土坑



第440·441·442·443号土坑



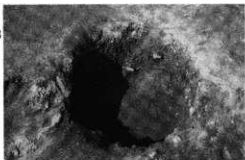
第445号 (左) 446号 (右) 土坑



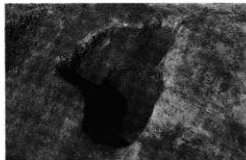
第447号土坑



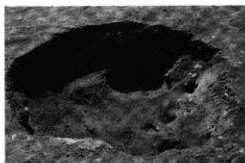
第448号土坑



第449号土坑



第450号土坑



第451号土坑



第452号土坑



第453号土坑



第454号土坑



第455号土坑



第456号土坑



第457号土坑



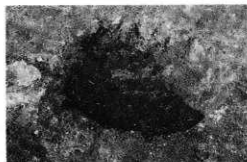
第458号土坑



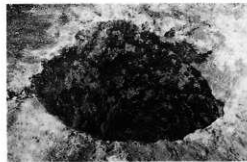
第459号土坑



第460号土坑



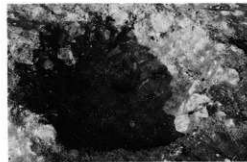
第461号土坑



第462号土坑



第463号土坑



第464号土坑



第465号土坑



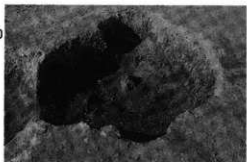
第466号土坑



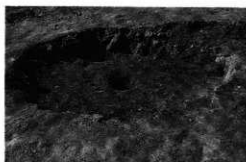
第467号土坑



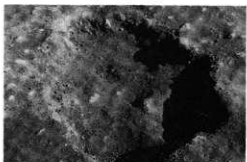
第468号土坑



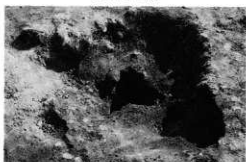
第469号土坑



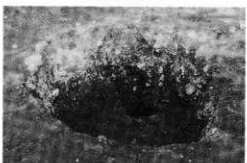
第470号土坑



第471号土坑



第472号土坑



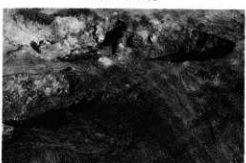
第473号土坑



第474号土坑



第475号土坑



第476号土坑



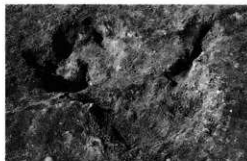
第477号土坑



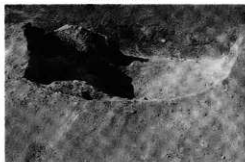
第478号土坑



第479号土坑



第480号土坑



第481号土坑



第482 (上) 503 (中) 504 (下) 号土坑



第484号土坑



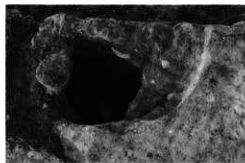
第485号土坑



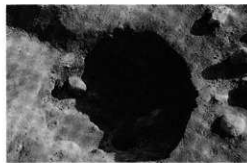
第486号土坑



第487号土坑



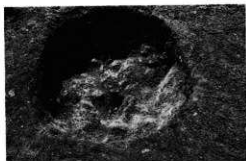
第488号土坑



第489号土坑



第490号土坑



第491号土坑



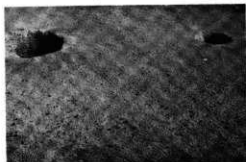
第492号土坑



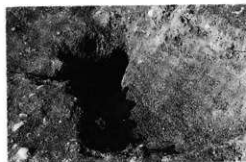
第493号土坑



第494号土坑



第495号 (左) 522号 (右) 土坑



第496号土坑



第497号土坑



第498号土坑



第499号土坑



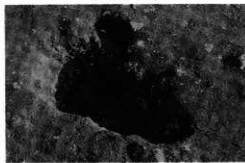
第500号土坑



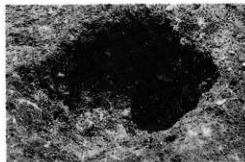
第501号土坑



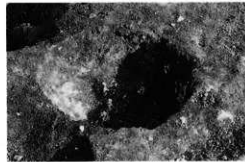
第502号土坑



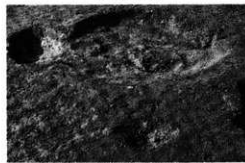
第505号土坑



第506号土坑



第507号土坑



第508号(右) 509号(左)土坑



第510号土坑



第511·512·513·514·515号土坑



第516号土坑



第517号土坑



第518号土坑



第519号土坑



第521号土坑

遗物出土状态



埋葬1



J 24号住居址



SX07



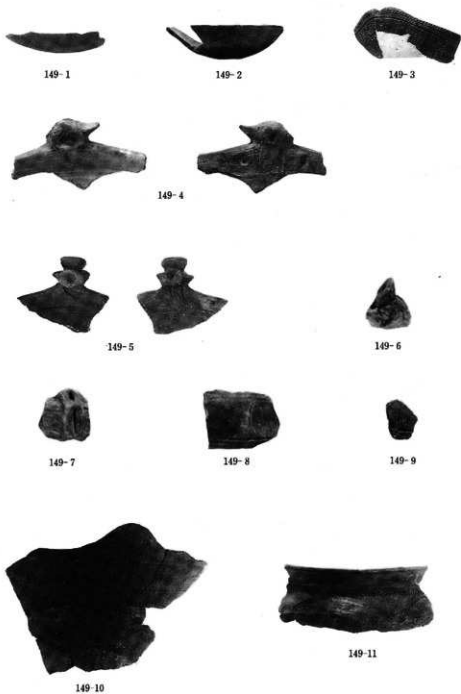
J 1号住居址



J 18号住居址



J 32号住居址



丁1号住居址出土土器

J 1号住居址



150-1



150-2



150-3



150-4

J 2号住居址



150-1



150-2

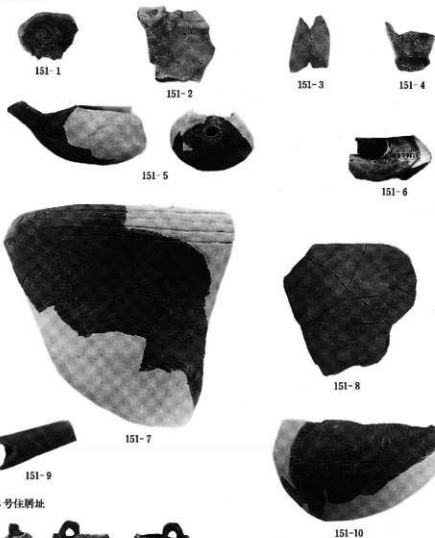


150-3



150-4

J 2 号住居址



J 3 号住居址



J 2 · J 3 号住居址出土土器

J 3号住居址



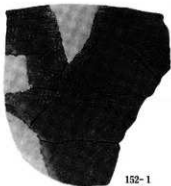
152-1

J 5号住居址



152-1

J 6号住居址

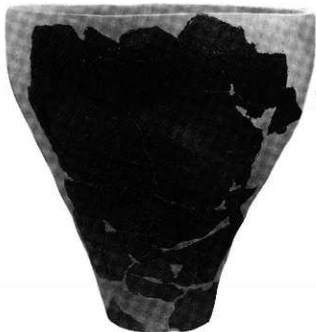


152-1

J 7号住居址



152-1



152-2



152-2

J 3・J 5~J 7号住居址出土土器

J 9号住居址



153-1



153-2



153-3

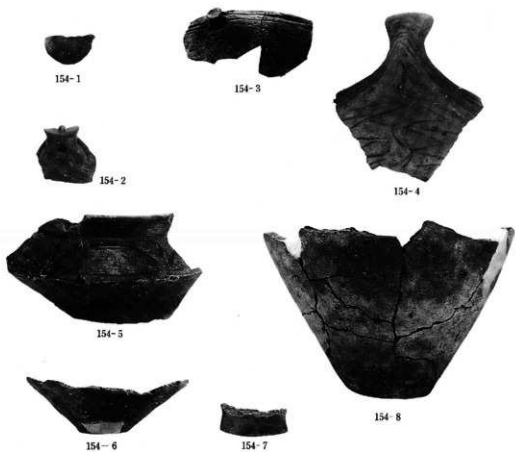
J 15号住居址



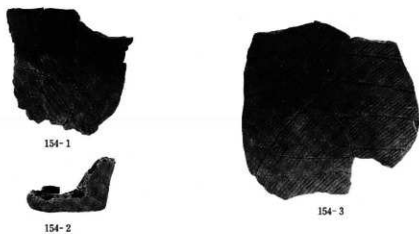
153-1

J 9 · J 15号住居址出土土器

J 10号住居址



J 11号住居址



J 11号住居址



155-1

J 15号住居址



155-1



155-2

J 18号住居址



155-1



155-3



155-5



155-2



155-4

J 19号住居址



155-1



155-2



155-3



155-4



155-5

J 21号住居址



156-1



156-2

J 22号住居址



156-1



156-2



156-3



156-4

J 23号住居址



156-1



156-2

J 24号住居址



157-1



157-2



157-3



157-4

J 25号住居址



157-1



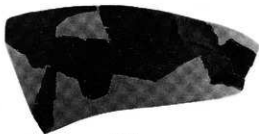
157-2



157-3



157-4



157-5

J 24 · J 25号住居址出土土器

J 25号住居址



158-1



158-2



158-5

J 26号住居址



158-2



158-1



158-3



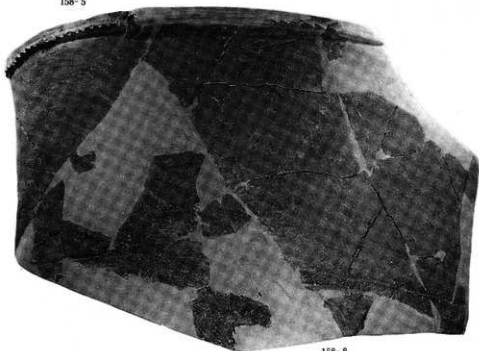
158-4



158-6



158-7



158-8

J 25 · J 26号住居址出土土器

J 26号住居址



159-1

J 27号住居址



159-1



159-2



159-3



159-4



159-5



159-6

J 28号住居址



159-1



159-2



159-3



159-4



159-5



159-6



159-7



159-8



159-9



159-10



159-11



J 26~J 28号住居址出土土器

J 31号住居址



160-1



160-4

J 32号住居址



160-1

160-2



160-5



160-3



160-6



160-7

J 33号住居址



160-1



160-2



160-3



160-4



160-5



160-6



160-7



161-1



161-2



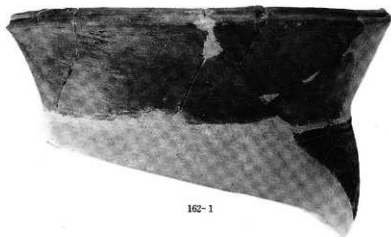
161-3



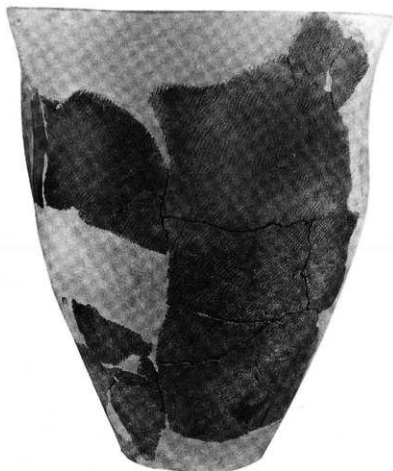
161-4



161-5



162-1



162-2

J 33号住居址出土土器



163-1

J 33号住居址出土土器

J 34号住居址



164-1



164-2



164-3



164-4



164-5



164-6



164-7



164-8



164-9



164-10



164-12

J 37号住居址



164-1

J 39号住居址



164-1



164-2

J 39号住居址



165-1



165-2

J 40号住居址



165-1



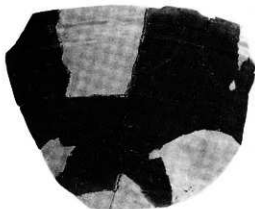
165-2



165-3



165-4



165-5



166-1



166-2



166-3



166-4



166-5



166-6



166-7

J 40号住居址



167-1



167-2



167-3



167-4



167-5

J 41号住居址



167-1

J 42号住居址



167-1



167-2

J 44号住居址



168-1



168-2



168-3

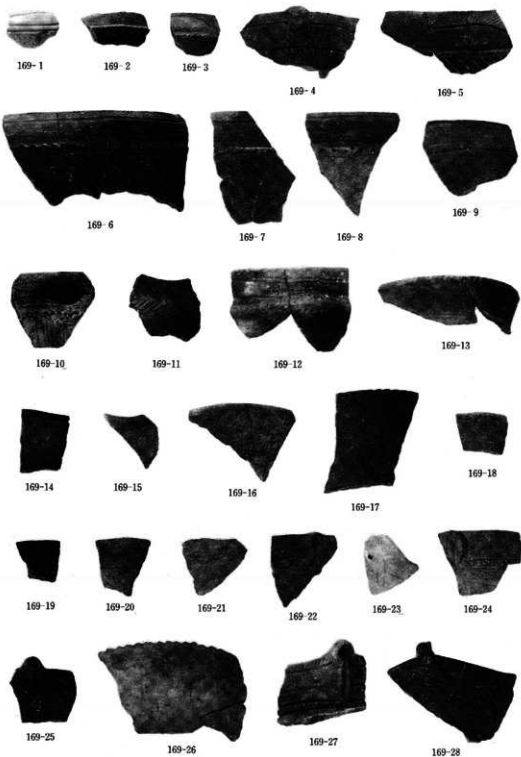
J 46号住居址



168-1



168-2



丁1号住居址出土土器



170-1



170-2



170-3



170-4



170-5



170-6



170-7



170-8



170-9



170-10



170-11



170-12



170-13



170-14



170-15



170-16



170-17



170-18



170-19



170-20



170-21



170-22



170-23



170-24



170-25



170-26



170-27



170-28



170-29



170-30

J 1号住居址



J 2号住居址



J 3 号住居址



172-1



172-2



172-3



172-4



172-5

J 4 号住居址



172-1



172-2



172-3



172-4



172-5



172-6



172-7



172-8



172-9



172-10



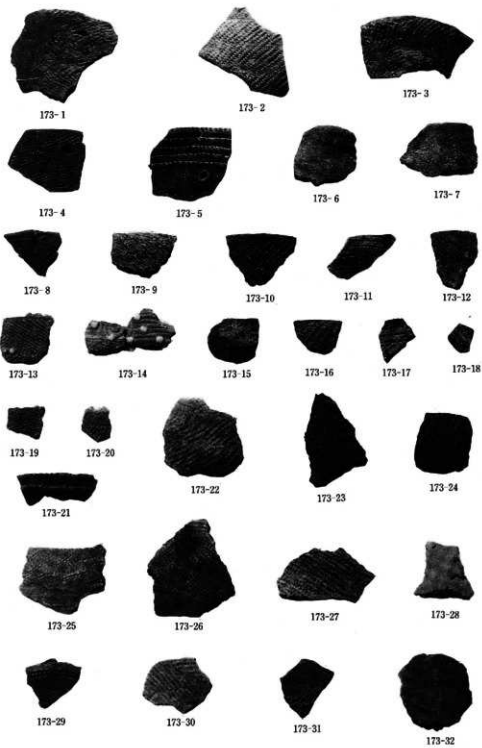
172-11



172-12

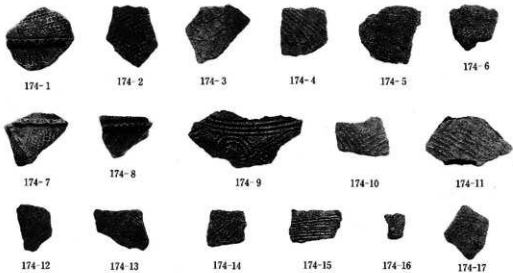


172-13

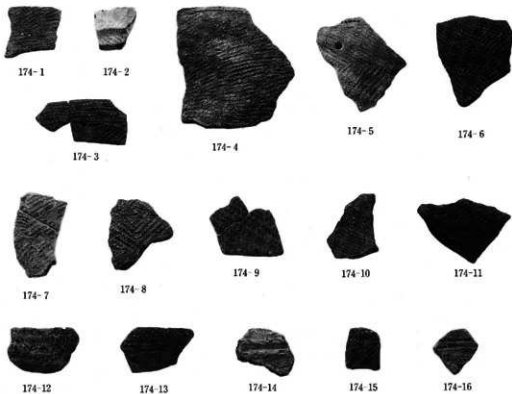


J 5 号住居址出土土器

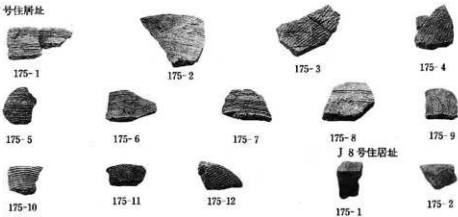
J 5号住居址



J 6号住居址

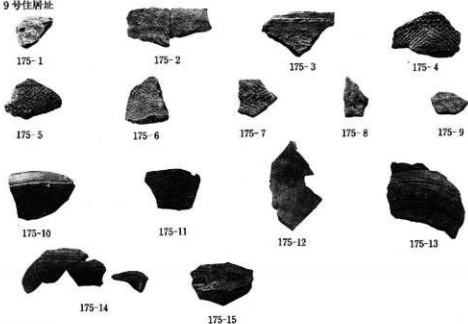


J 7号住居址

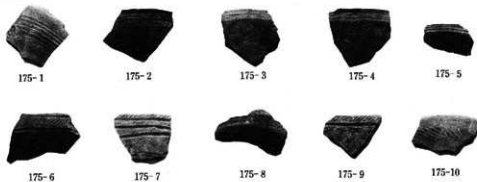


J 8号住居址

J 9号住居址

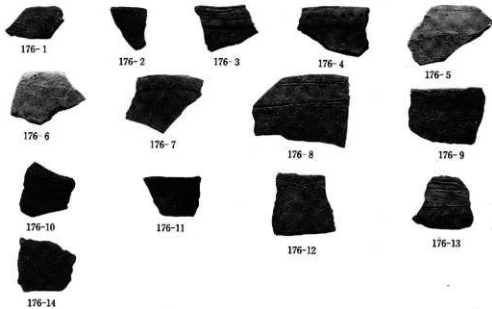


J 10号住居址

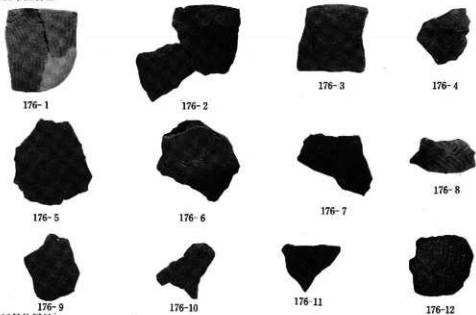


J 7~J 10号住居址出土土器

J 10号住居址



J 11号住居址



J 12号住居址



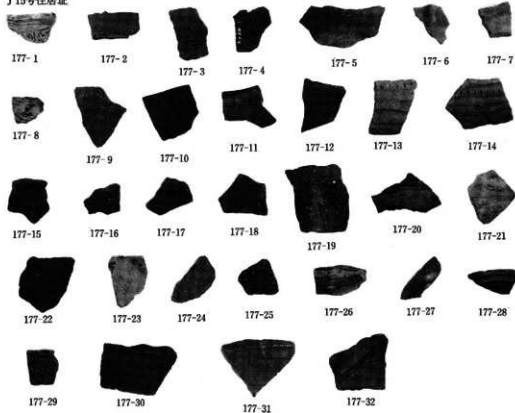
J 13号住居址



J 14号住居址



J 15号住居址

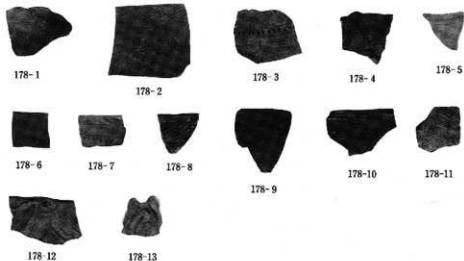


J 16号住居址

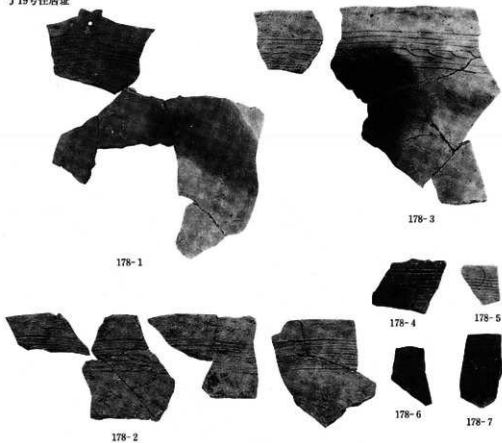


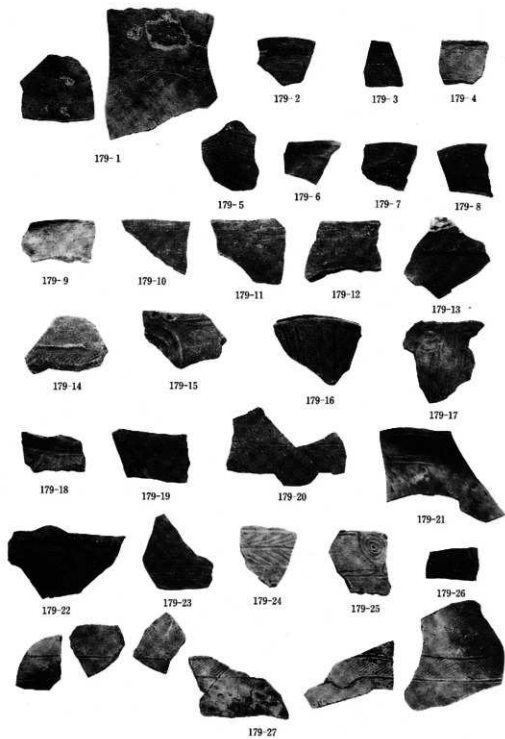
J 13~J 16号住居址出土土器

J 18号住居址



J 19号住居址





丁19号住居址出土土器

J 19号住居址



180-1



180-2



180-3

J 21号住居址



180-1



180-2



180-3



180-4



180-5



180-6



180-7



180-8

J 22号住居址



180-1



180-2



180-2



180-3



180-4



180-5



180-6



180-7



180-8



180-9



180-10

J 22号住居址



181-1



181-2



181-3



181-4



181-5



181-6



181-7



181-8



181-9



181-10



181-11



181-12



181-13



181-14



181-15



181-16



181-17

J 23号住居址



181-1

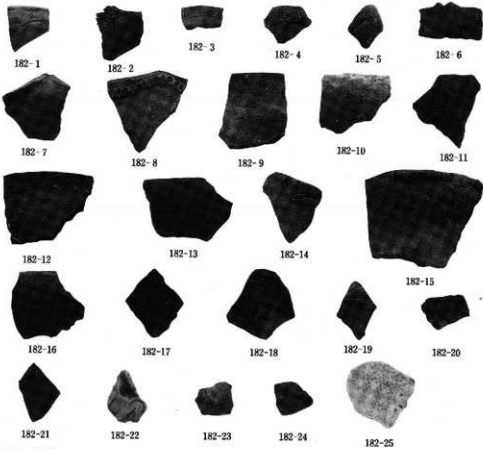


181-2

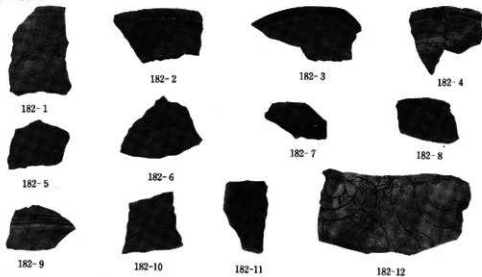


181-3

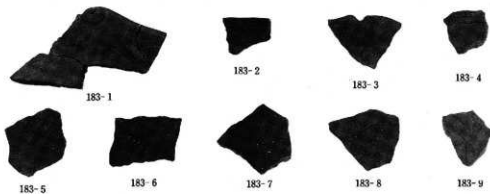
J 24号住居址



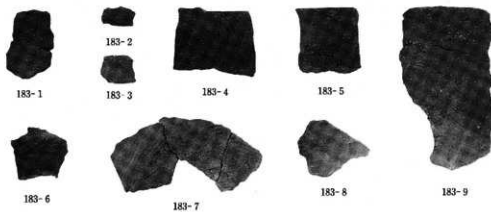
J 25号住居址



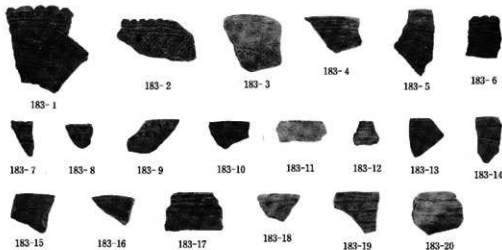
J 26号住居址



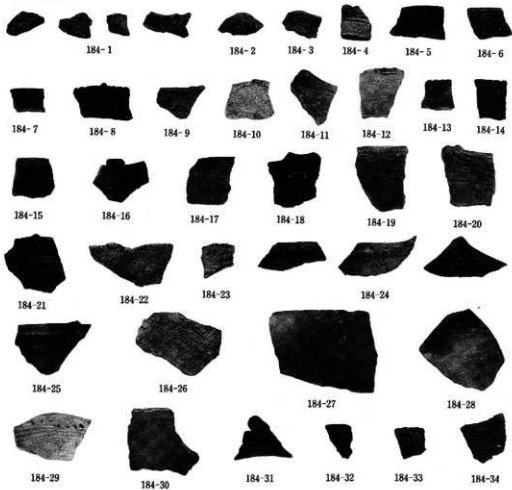
J 27号住居址



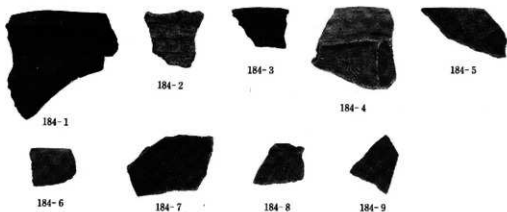
J 28号住居址



J28号住居址



J29号住居址



J 30号住居址



185-1



185-2



185-3



185-4



185-5



185-6

J 31号住居址



185-1



185-2



185-3



185-4



185-5

J 32号住居址



185-1



185-2



185-3



185-4



185-5



185-6



185-7



185-8



185-9



185-10



185-11



185-12



185-13



185-14

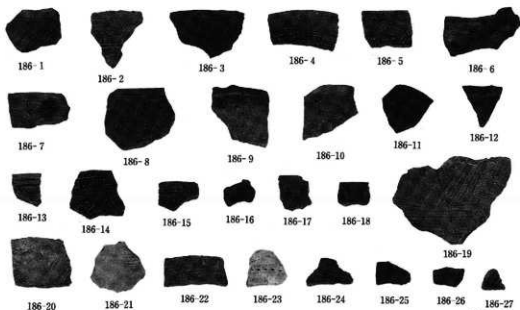


185-15

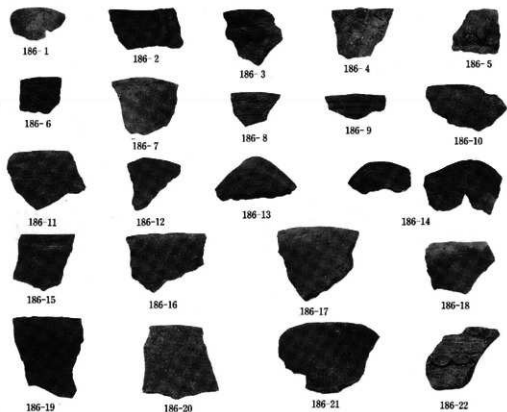


185-16

J 32号住居址

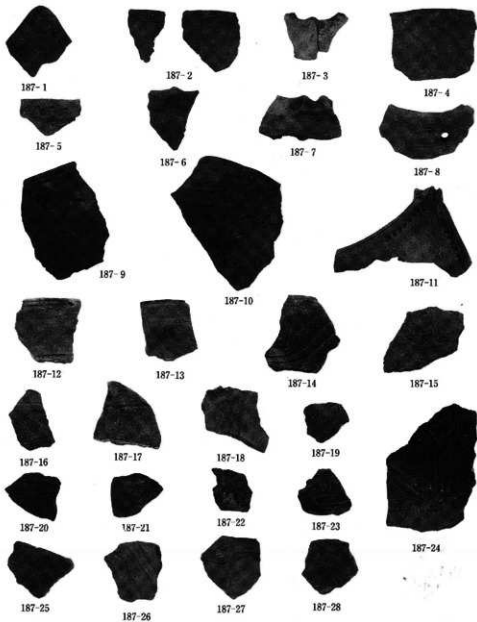


J 34号住居址



J 32 · J 34号住居址出土土器

J 34号住居址



H 9号住居址



H 9号住居址



188-1



188-2



188-3

J 37号住居址



188-1



188-2



188-3



188-4

J 38号住居址



188-1



188-2



188-3



188-4

J 39号住居址



188-1



188-2



188-3



188-4



188-5



188-6



188-7



188-8



188-9



188-10

J 40号住居址



188-1



188-2



188-3



188-4



188-5



188-6



188-7

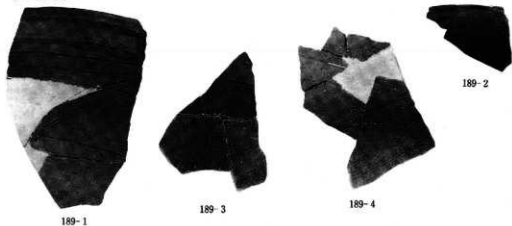


188-8

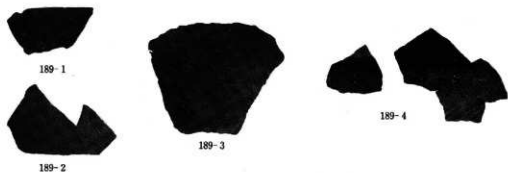


188-9

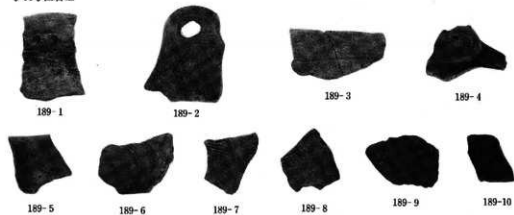
J 40号住居址



J 41号住居址



J 44号住居址



H 2 号住居址



190-1



190-2



190-3



190-4



190-6



190-5



190-7

H 4 号住居址



190-1



190-2



190-3



190-4



190-5



190-6



190-7

H 5 号住居址



190-1

トレンチ



190-1

H 9 号住居址



190-1



190-2



187-1

XIII-F9G

SX02



191-1

SX07



191-1



191-2

SX11



191-1

SX15



191-2



191-1

SX出土土器

SX14



192-1

SX16



192-1

SX15



192-1

SX19



192-1



192-2

XII-G 8 G



192-1



192-2



200-1



200-2

埴 甕



201-1

埴 甕



202-1

埴 甕



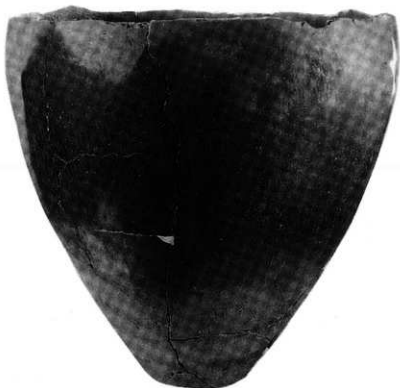
203-1



203-2



203-3



203-4

土坑出土土器



204-1



204-2



204-3



204-4



204-5



204-6



204-7

土坑出土土器



205-1



205-2



205-4



205-5



205-3



212-29



205-6



205-7



205-9



205-10



206-1



206-2



206-3



206-4



206-5



206-7



206-6

土坑出土土器



217-1



217-2



217-3



217-4



217-5



217-6



217-7



217-8



217-9



217-10



217-11



217-12



217-13



217-14



217-15



217-16



217-17



218-1



218-2



218-3



218-4



218-5



218-6

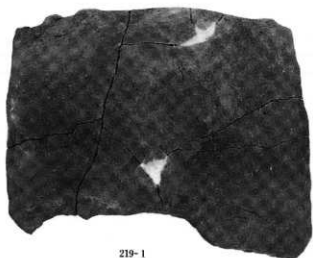


218-7



218-8

グリッド出土土器



219-1



219-2



219-3



219-6



219-5



219-7



219-8



219-9



219-10



219-11



220-1



220-2



220-3



220-4



220-5



220-7



220-6



220-8



220-9



221-1



221-2



221-3



221-4



221-5



221-7



221-6



221-8



221-9



221-10



221-11



222-1



222-2



222-3



222-4



222-5



222-6



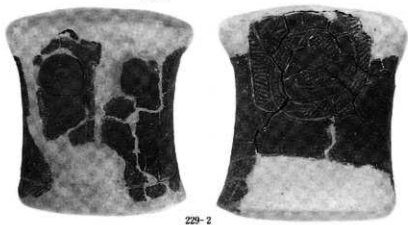
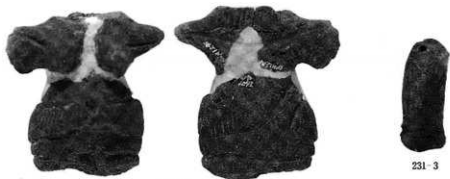
III-17G (218-1と同一個体)



219-2



XIV-J1G





230-1



230-2



230-3



230-4



230-5



230-6



230-7

土 偶



231-6

231-7

231-2



231-5



J40号住



222-7



グリッド不明



グリッド不明



232-1



232-2



232-3



232-4



232-5



232-6



232-7



232-8



232-10



232-12



232-9



232-11



232-13



232-14



232-15



232-16



232-17



232-18



232-19



232-20



232-22



232-21



232-23



232-24



232-25



232-26



232-27



232-28



232-29



232-30



232-31



233-1



233-2



233-4



233-6



233-3



233-5



233-7



233-9



233-10



233-11



233-12



233-13



233-15



233-16



233-17



233-14



233-18



233-19



233-20



233-21



233-22



233-23



233-25



233-26



233-24



234-1



234-2



234-4



234-6



234-3



234-5



234-7



234-8



234-9



234-10



234-12



234-13



234-15



234-11



234-14



234-16



234-17



234-19



234-20



234-21



234-22



234-24



234-25



234-23



234-26



IX-B 1G



XII-G 8 G



V-F 3G



J 15号住



J 22号住



V-H 3G



SK 175



V-F 2G



V-F 3G



V-F 3G



V-G 2G



V-H 3G



V-11G



V-12G



V-12G



MI-A 10G



XII-H 8 G



XIV-B 5 G



T 18



T 30



T 129



235-1



235-2



235-3



235-4



235-5



235-6



235-7



235-8



235-9



235-10



235-11



235-12



235-13



T107



T18



J34号住

土製品



236-1



236-2



236-3



236-4



236-5



236-6



236-7



236-8



236-9



236-10



236-11



236-12



236-13



236-14



236-15



236-16



236-17



236-18



236-19



236-20



237-1



237-2



237-3



237-4



237-5



237-6



237-7



237-8



237-9



237-10



237-11



237-12



237-13



237-14



237-15



237-16



237-17



237-18



237-19



237-20



237-21

土製円板



238-1



238-2



238-3



238-4



238-5



238-6



238-7



238-8



238-9



238-10



238-11



238-12



238-13



238-15



238-16



238-17



238-14



238-18



238-19



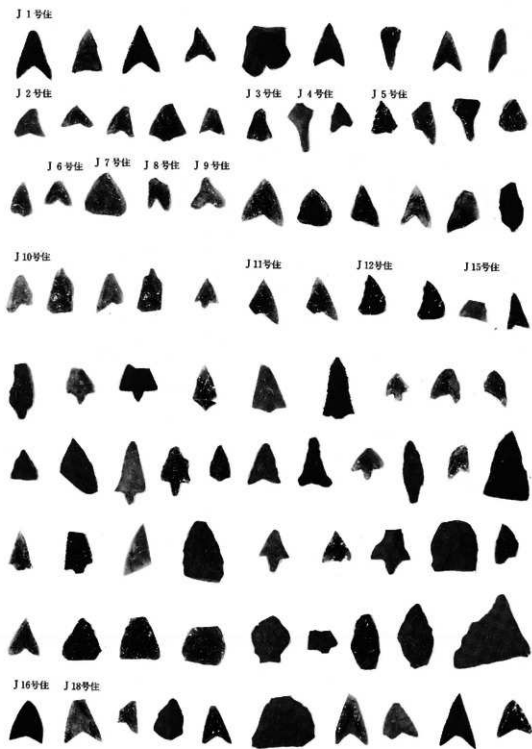
238-20



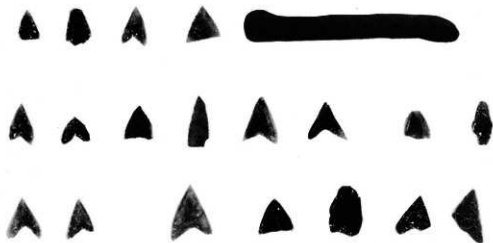
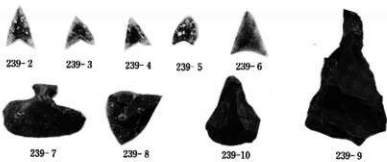
238-21



238-22



J 1 ~ J 12 · J 15 · J 16 · J 18号住居址出土石器



J 18号住

J 19号住

J 22号住



J 24号住



J 25号住

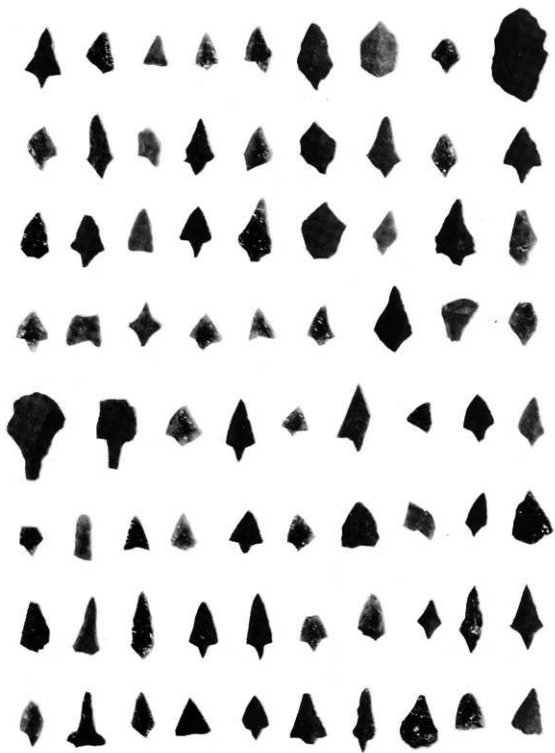
J 27号住



J 28号住

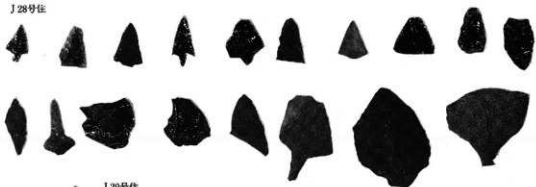


J 18 · J 19 · J 22 · J 24 · J 25 · J 27 · J 28号住层出土石器



J 28号住居址出土石器

J 28号住



J 29号住



J 32号住



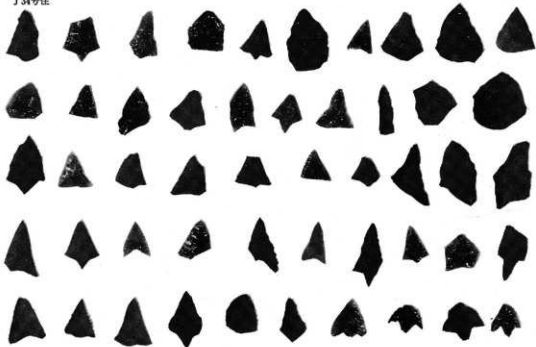
J 33号住



J 34号住



J 34号住



J 37号住

J 38号住

J 39号住

J 40号住 J 42号住

J 44号住



J 46号住



H 4号住

H 5号住



H 8号住



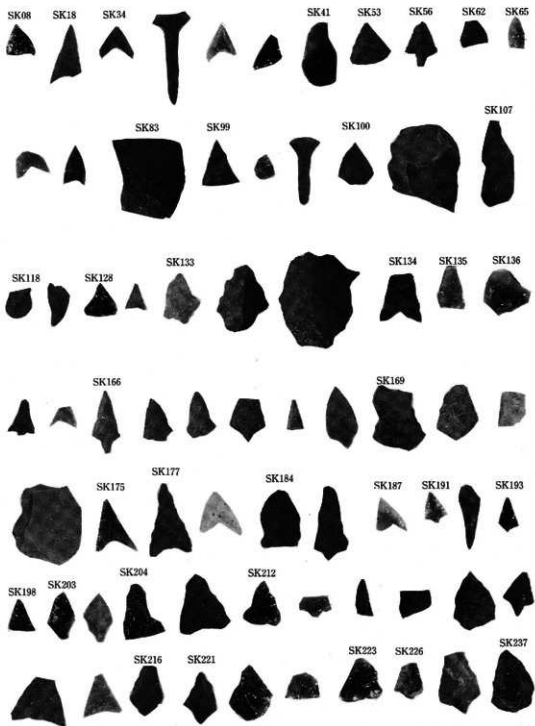
第2号竖穴状遺構

第3号竖穴状遺構

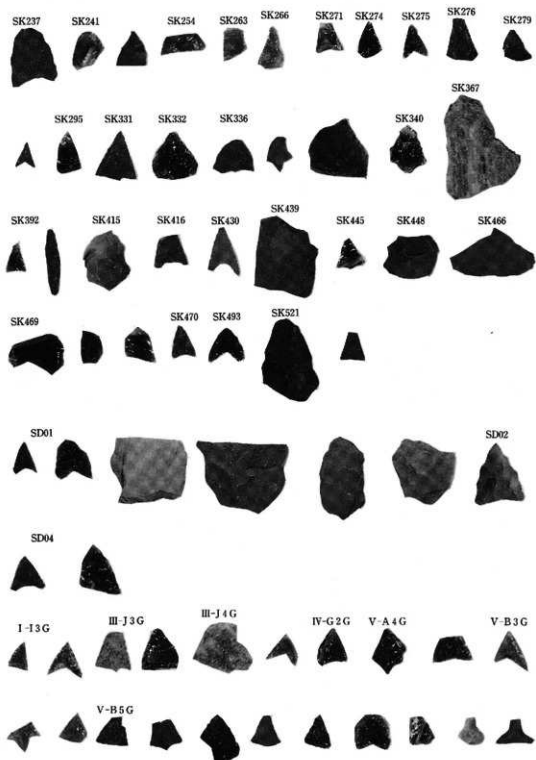
第4号竖穴状遺構

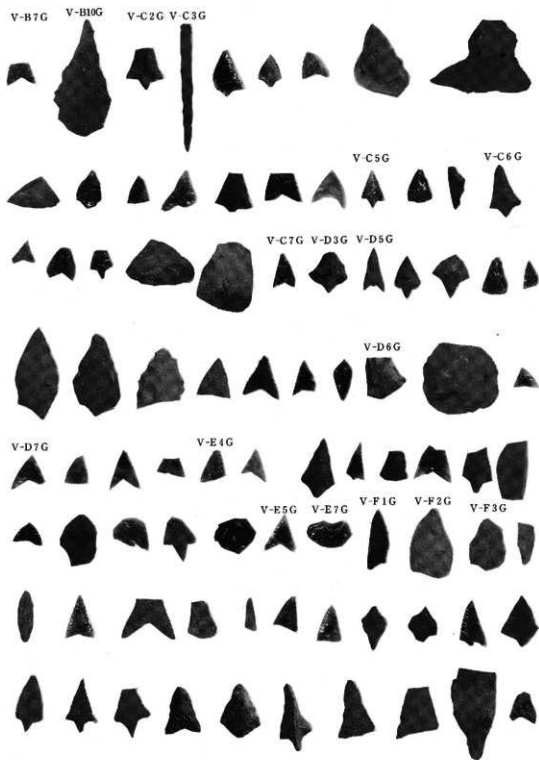
第6号竖穴状遺構





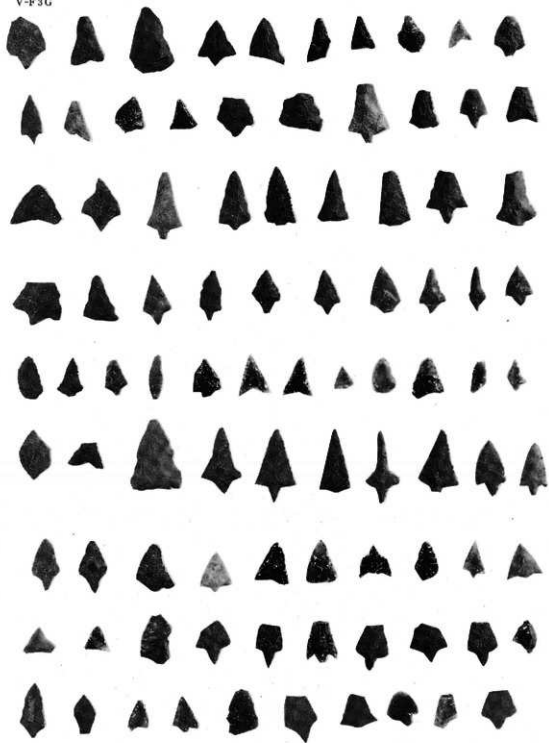
土坑出土石器





グリッド出土石器

V-F3G



グリッド出土石器

V-F3G



V-F4G



V-F5G



グリッド出土石器

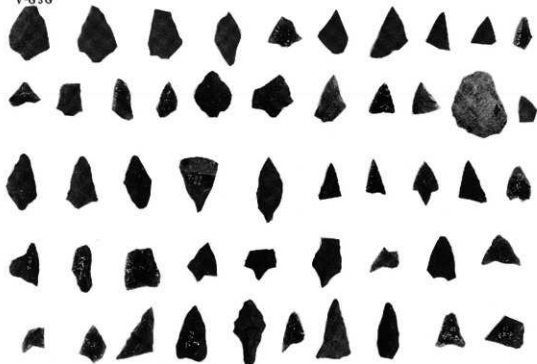


グリッド出土石器

V-G2G

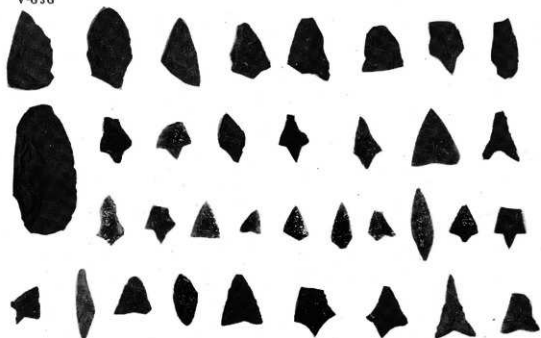


V-G3G

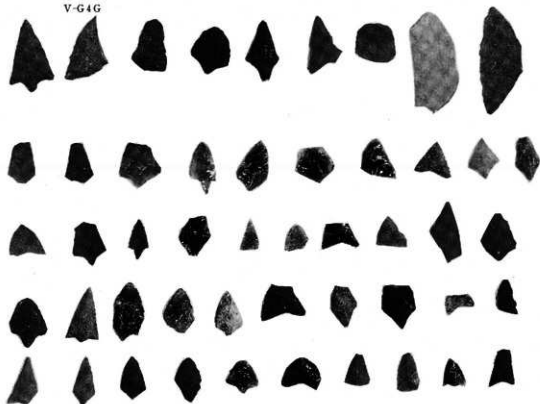


グリッド出土石器

V-G3G



V-G4G

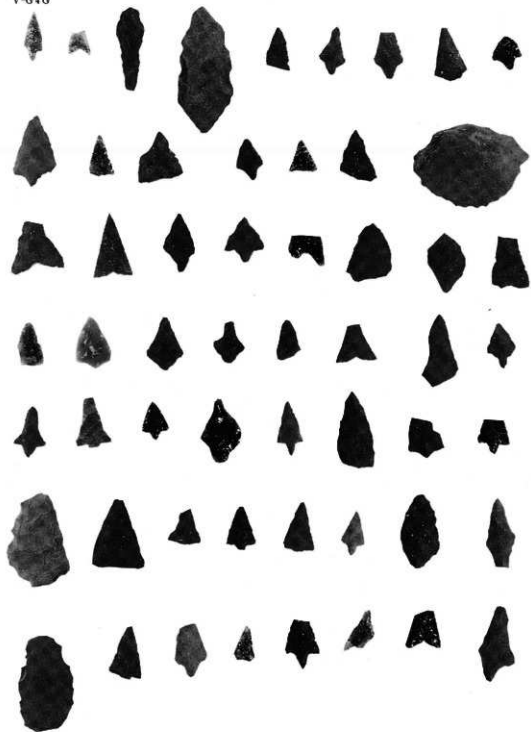


V-G4G



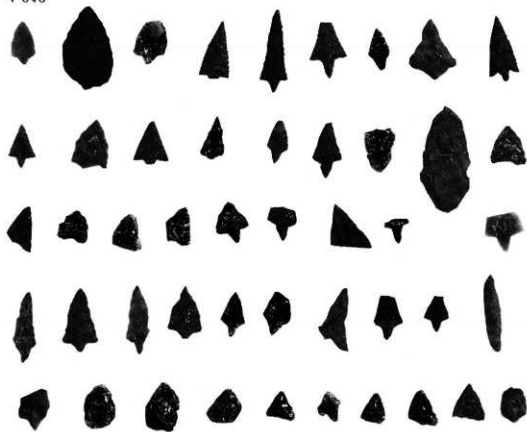
グリッド出土石器

V-G4G

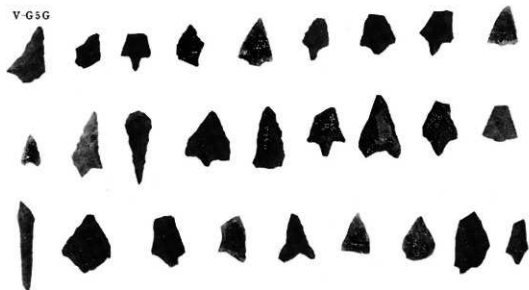


グリッド出土石器

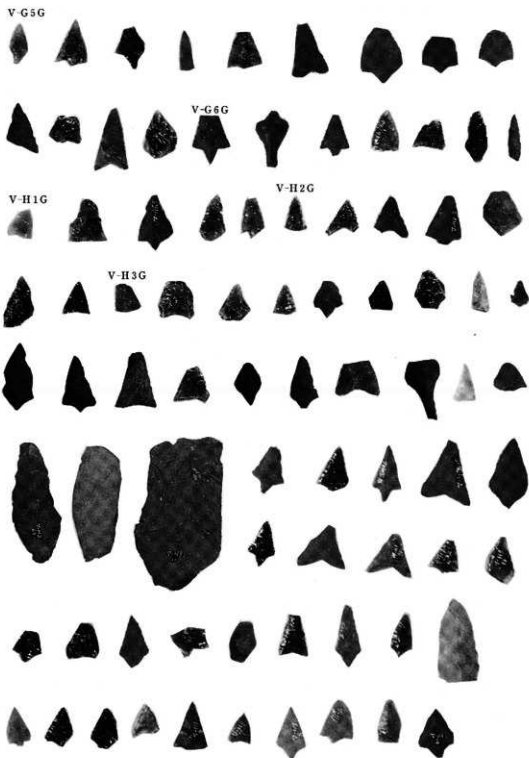
V-G4G



V-G5G

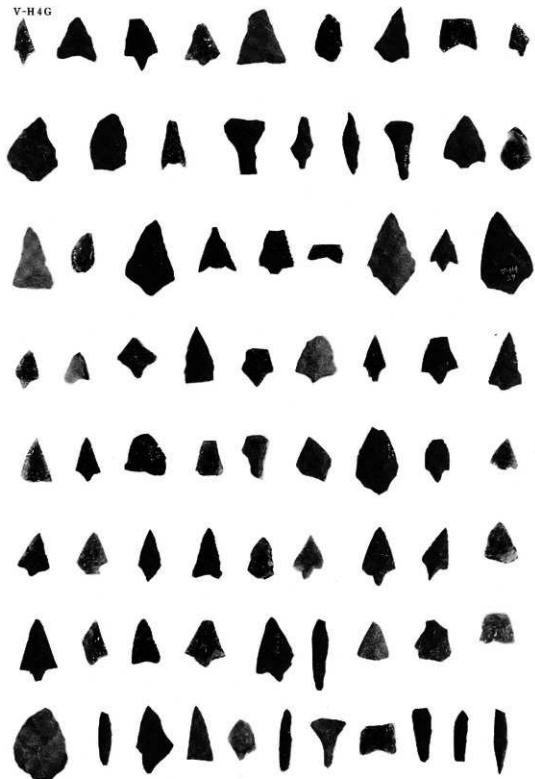


グリッド出土石器



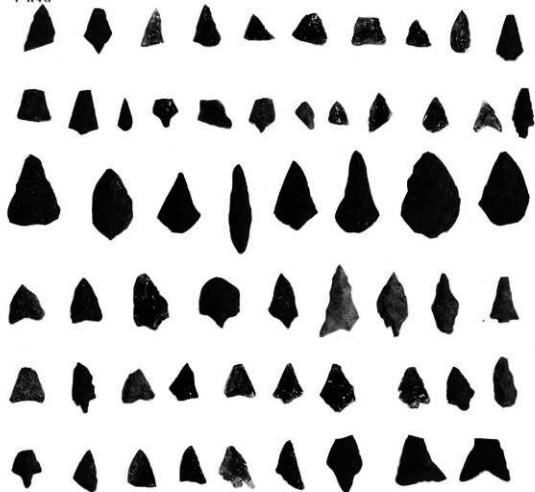
グリッド出土石器

V-H4G

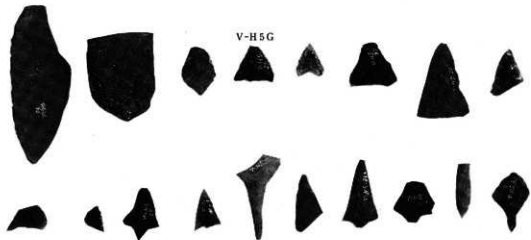


グリッド出土石器

V-H4G



V-H5G



グリッド出土石器

V-H5G



V-H6G



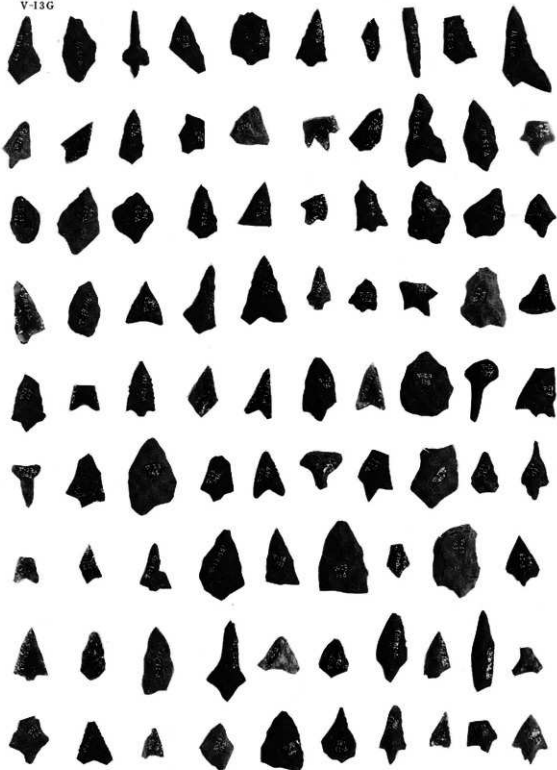
V-12G



V-13G

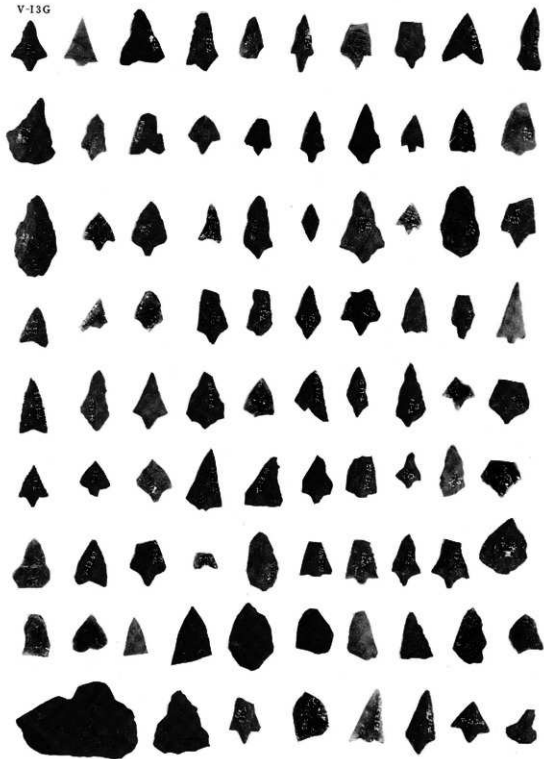


V-13G



グリッド出土石器

V-13G



グリッド出土石器

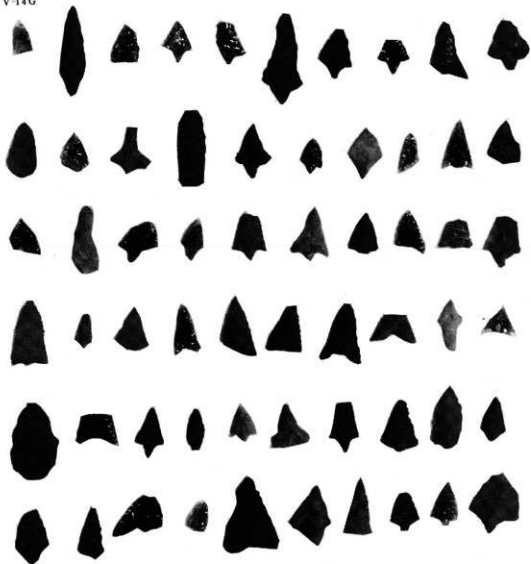
V-13G



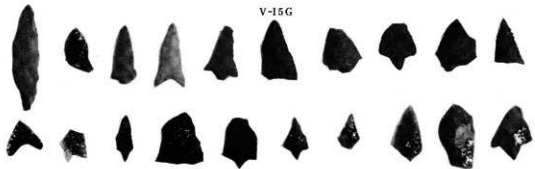
V-14G



V-14G

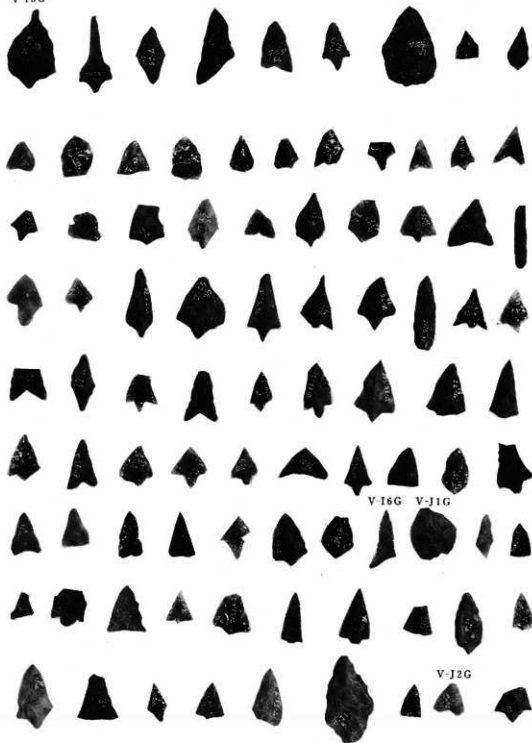


V-15G



グリッド出土石器

V-15G



V-16G V-J1G

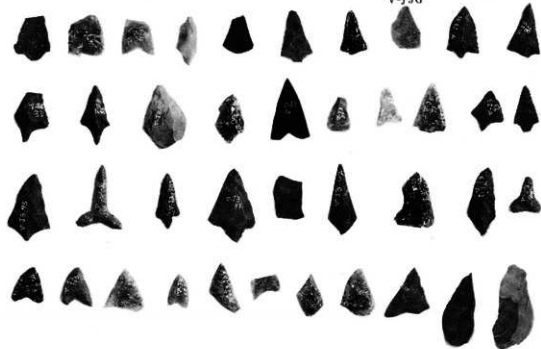
V-J2G

グリッド出土石器

V-J2G



V-J3G



グリッド出土石器

V-J3G



グリッド出土石器

V-J3G

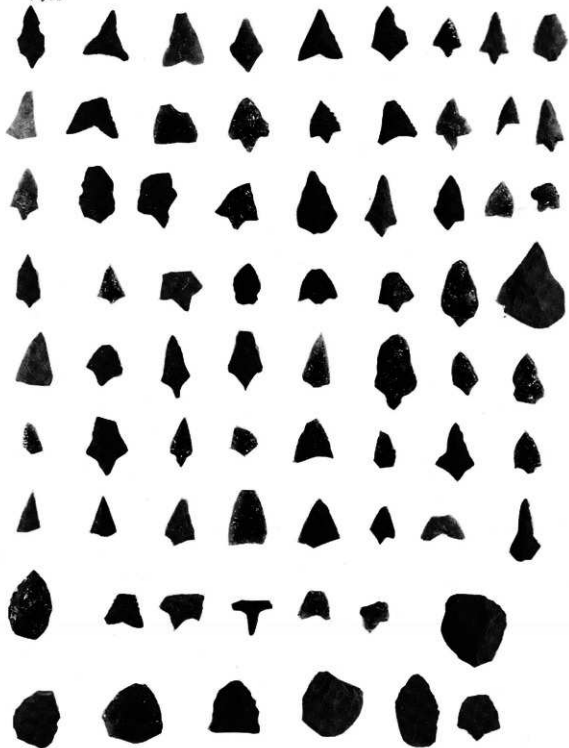


V-J4G

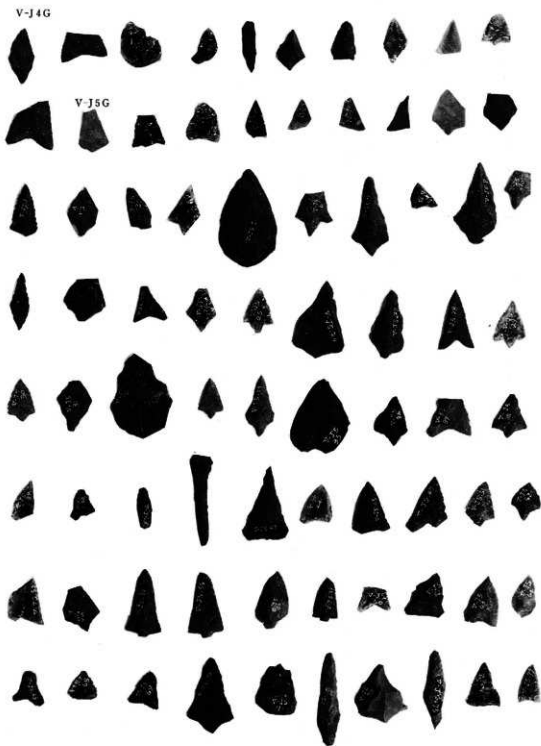


グリッド出土石器

V-J4G



グリッド出土石器



グリッド出土石器

V-J5G



V-J6G



VI-C1G VII-A1G

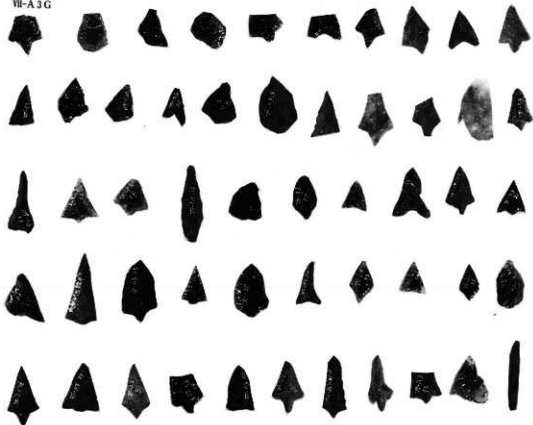
VII-A2G



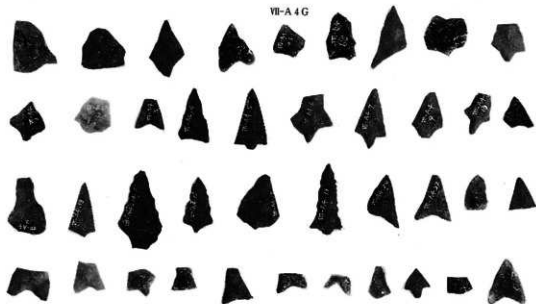
VII-A3G



VII-A 3G

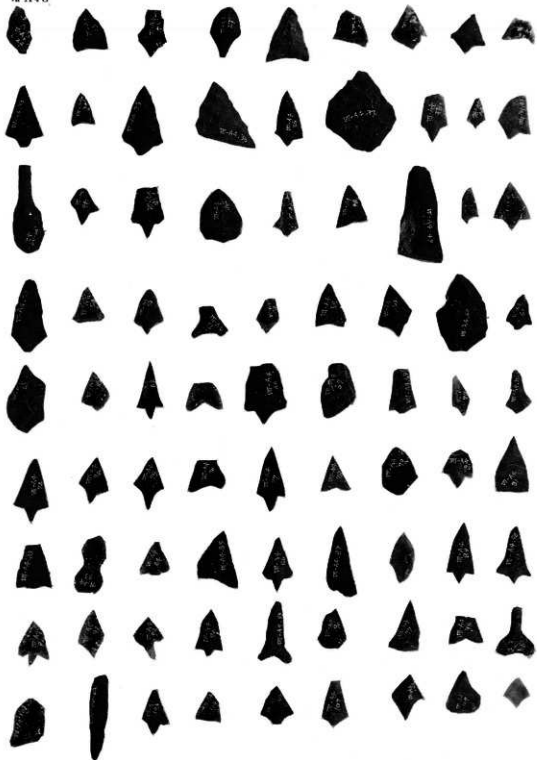


VII-A 4G



グリッド出土石器

W1-A4G



グリッド出土石器

VI-A 4 G

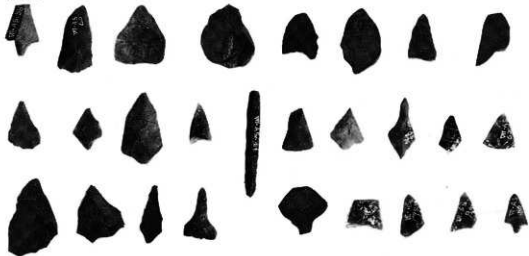


VI-A 5 G



グリッド出土石器

VI-A5G



VI-A9G



VI-A10G VI-B2G



VI-B3G

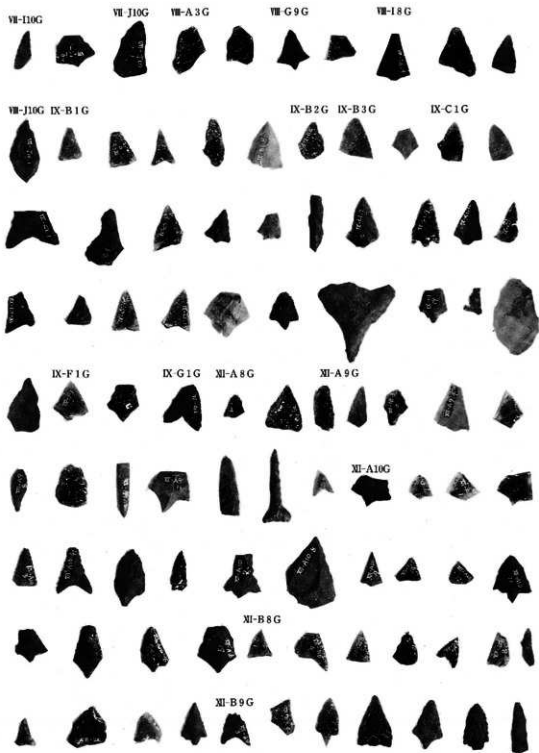
VI-B4G



グリッド出土石器



グリッド出土石器



MI-B9G



MI-B10G



MI-C7G MI-C8G

MI-C9G



MI-C10G



MI-C4G MI-F8G MI-F9G

MI-G6G MI-G8G



MI-G9G MI-H8G

MI-H9G

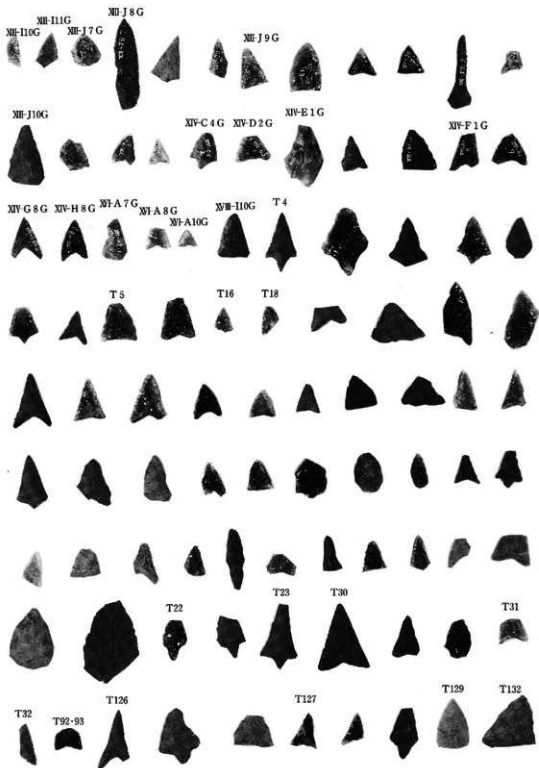


MI-I8G MI-I9G

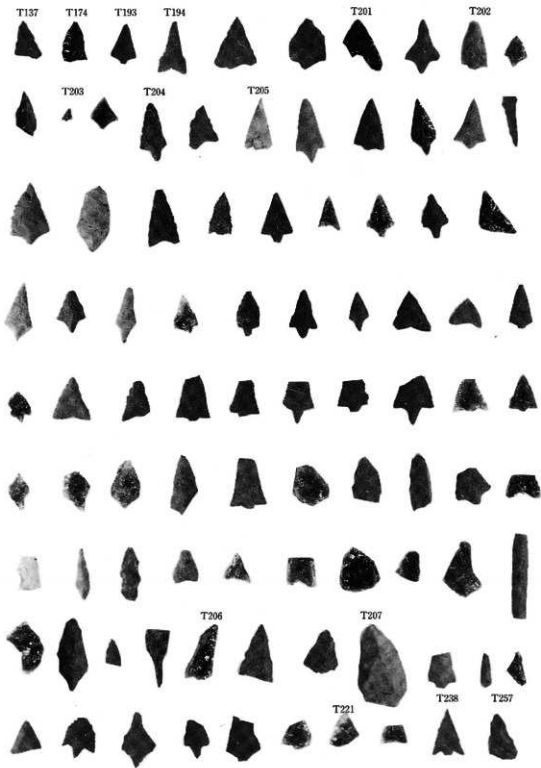
MI-I10G



グリッド出土石器



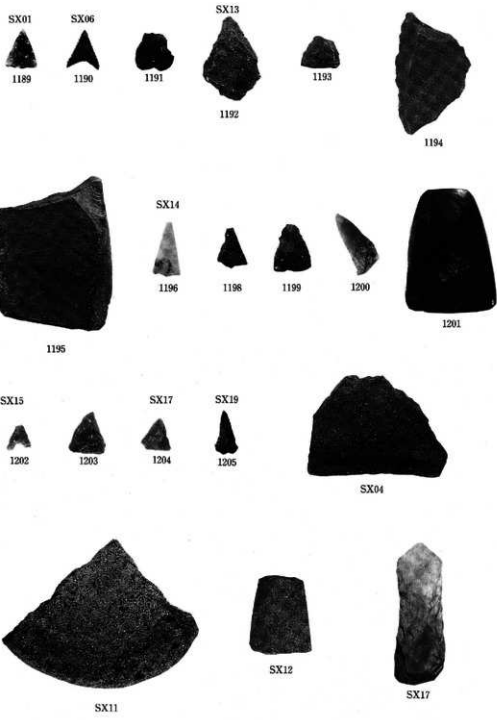
グリッド・トレンチ出土石器



トレンチ出土石器



グリッド出土石器



集石状遺構・石棺墓出土石器



J 1号住



1141



J 2号住



1142



1140



J 9号住



J 9号住



J 13号住



J 24号住



J 26号住



J 28号住



J 29号住



J 32号住



J 32号住



J 32号住



J 32号住



H 8号住



SK499



V-A3G



V-C4G



V-F2G



V-G3G



V-G2G



V-H6G



V-J4G



VII-A 2G



VII-A 4G



VII-A 4G



VII-B 5G

打製石斧



VII-G9G



VII-G10G



VII-II10G



VII-II0G



IX-C1G



IX-C1G



IX-C1G



XI-A9G



XI-A10G



XI-B7G



XI-B10G



XI-A9G



XI-G8G



XI-G10G



XI-H8G



XI-H8G

打製石斧



XI-H 9 G



XII-H 9 G



XII-I10G



XII-J 8 G



XIV-J10G



XIV-J10G



T34



T34



T67



T134



1144



1143

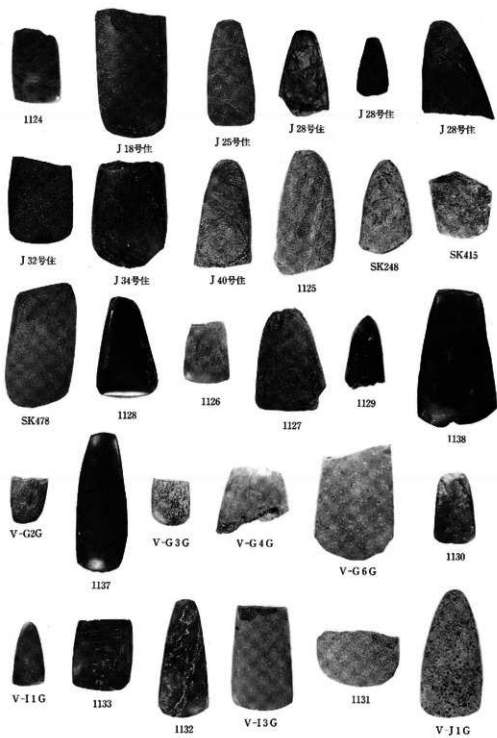


グリッド不明



V-J3G

打製石斧



磨製石斧



V-J2G



V-J4G



V-J4G



V-J4G



1135



1136



XII G 8 G



XII-G 8 G



XII-H 9 G



XII-J 9 G



XII-J10G



XII-J10G



1134



XIV-D 2 G



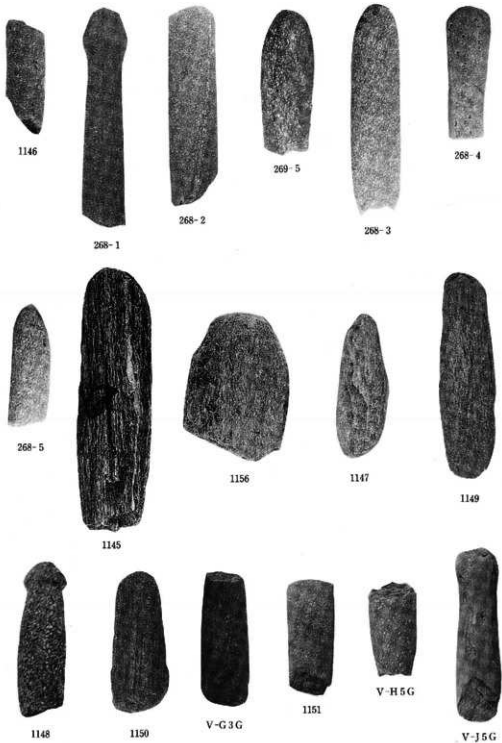
XIV H 9 G



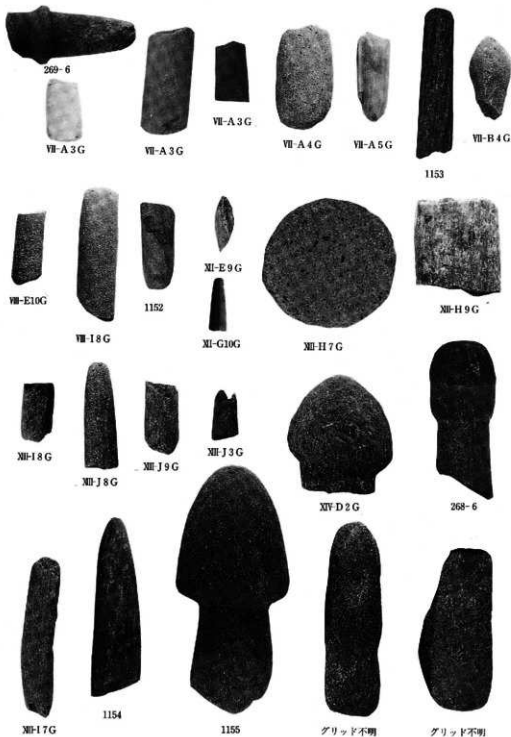
グリッド不明



1139



石棒・石刻



石棒・石剣等



1185



J 2号住



1184



J 19号住



269-1



1166



269-2



J 32号住



J 34号住



269-3



269-4



SK39



SK183



SK497



V-C 5 G



1187



1182



V-G 4 G



1188



1183



V-H 3 G



1180



V-13 G



1186



1177



1165



J 18号住



J 22号住



J 28号住



J 28号住



J 32号住



J 37号住



J 40号住



1164



SK165



SK469



V-C3G



V-C4G



V-C4G



V-C4G



1167



1168



1178



V-G4G



V-G4G



V-13G



V-13G



XI-C9G



XI-F10G



XI-F10G



XI-H9G



XI-H9G



XI-J8G



XI-J10G



XI-J10G



XI-D4G



XI-F1G



1169

磨石製品



J28号住



SK41



SK59



SK59



SK100



SD04



I-18G



V-14G



V-14G



1093



VI-A3G



VI-A4G



VI-E9G



VI-I10G



T5



J13号住



V-A3G



V-F2G



V-G4G



V-G4G



V-J2G



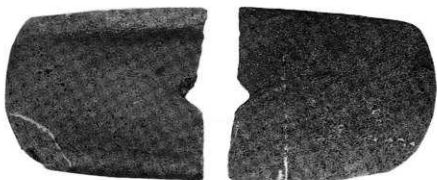
VI-A4G



VI-A4G



SK175



269-7



1179



J 3号住



J 18号住

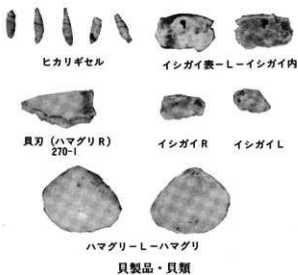
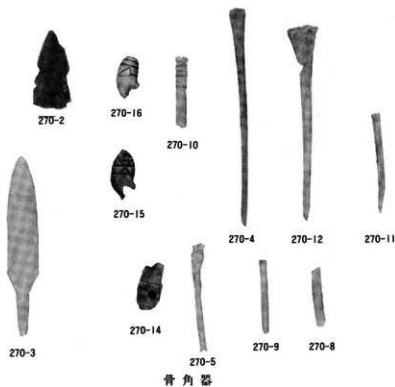


J1-J 8G



269-8

石皿・砾石



271-1



271-2

銭貨



報告書抄録

ふりがな	いしがみいせきぐん いしがみ
書名	石神遺跡群 石神
副書名	長野県小諸市石神遺跡発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	小諸市埋蔵文化財発掘調査報告書
シリーズ番号	第19集
編著者名	小淵武一・西沢寿晃・金子浩昌・綿田弘実・角張淳一・花岡弘
編集機関	小諸市教育委員会
所在地	〒384 長野県小諸市相生町三丁目3番3号
発行年月日	西暦1994年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
いしがみいせきぐん 石神遺跡群 いしがみいせきぐん 石神遺跡	小諸市大字八満 字狐島・石神	20208	90	36°19'30"	138°28'10"	19910416- 19911213	20,000㎡	県営園場整備

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
石神遺跡群 石神遺跡	集落跡	縄文時代前期	住居址 13 土坑 多数	土器・石器	縄文時代前・後・晩期、平安時代集落址 動物遺体・骨角器の遺存が良好であった。	
		縄文時代中期	埋燹 1			
		縄文時代後期	住居址 20 土坑墓 4 石棺墓 21 配石址 1 埋燹 3 土坑 多数			
		縄文時代晩期	住居址 6			
		平安時代	整穴住居址 8			土器・石器 土器

石神遺跡群
石 神

——長野県小諸市石神遺跡発掘調査報告書——

1994年3月 発行

編集者 長野県小諸市教育委員会

発行者 佐久地方事務所
長野県小諸市教育委員会

印刷所 ほおずき書籍株式会社

